

# 子ども・子育てに関するアンケート調査

## 調査結果報告書

平成 26 年 3 月

仙台市



# 目次

I 調査概要 .....	1
1. 調査の目的.....	3
2. 調査内容.....	3
3. 調査対象及び調査方法.....	4
4. 報告書の見方.....	4
II 調査結果の概要.....	5
1. 就学前児童の保護者向け.....	7
2. 小学生の保護者向け.....	9
III 調査結果（就学前児童の保護者向け）.....	11
1. 子どもと家族の状況について.....	13
2. 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況について.....	17
（1）平日の幼稚園・保育施設等の利用状況.....	17
（2）定期的に利用している事業.....	19
（3）利用している事業の実施場所.....	21
（4）幼稚園・保育施設等を利用している理由.....	23
（5）幼稚園・保育施設等を選んだ理由.....	25
（6）幼稚園・保育施設等を利用していない理由.....	27
3. 平日の幼稚園・保育施設等の利用希望について.....	28
（1）定期的に利用したい事業.....	28
（2）利用を希望する事業の実施場所.....	31
（3）幼稚園・保育施設等の利用状況と利用希望の比較.....	33
4. 土曜・休日の幼稚園・保育施設等の利用希望について.....	37
（1）土曜日の利用希望.....	37
（2）日曜日・祝日の利用希望.....	40
（3）毎週ではなく、たまに利用したい理由.....	43
5. 病気の際の対応について.....	44
（1）幼稚園・保育施設等が利用できなかったことの有無.....	44
（2）幼稚園・保育施設等が利用できなかった場合の対応.....	45
（3）病児・病後児のための保育施設等の利用希望.....	47
6. 不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて.....	48
（1）不定期に利用している一時預かり事業.....	48
（2）一時預かり事業を利用していない理由.....	50
（3）一時預かり事業の利用希望.....	51
（4）子どもを泊りがけで預ける用事の有無.....	53
（5）子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応.....	54

7.	地域の子育て支援事業の利用状況について .....	56
	(1) 仙台すくすくサポート事業の利用状況 .....	56
	(2) 仙台すくすくサポート事業の利用目的 .....	57
	(3) 仙台すくすくサポート事業の利用希望 .....	58
	(4) 地域の子育て支援事業の利用状況 .....	60
	(5) 地域の子育て支援事業の利用希望 .....	62
8.	小学校就学後の放課後の過ごし方について .....	63
	(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望 .....	63
	(2) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望 .....	65
9.	子育てに関する悩みや不安、相談先等について .....	67
	(1) 子育てに関して不安や負担を感じるか .....	67
	(2) 子育て上の悩みや負担の内容 .....	69
	(3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無 .....	72
	(4) 子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無 .....	73
	(5) 子育てに関する相談先 .....	74
	(6) 気軽に相談できる仙台市の子育て関連担当窓口 .....	76
	(7) 子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無 .....	77
	(8) 近所づきあいの程度 .....	78
10.	保護者の就労状況について .....	80
	(1) 保護者の就労状況 .....	80
	(2) 保護者の就労日数・時間 .....	82
	(3) フルタイムへの転換希望 .....	83
	(4) 就労希望の有無 .....	84
11.	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について .....	87
	(1) 育児休業の取得状況 .....	87
	(2) 育児休業を取得していない理由 .....	88
	(3) 育児休業取得後の職場への復帰状況 .....	90
	(4) 育児休業の取得期間 .....	91
	(5) 職場復帰時期が希望と異なる理由 .....	92
	(6) 短時間勤務制度の利用状況 .....	94
12.	子育てに関する市への意見等について .....	95
	(1) 市に充実して欲しい子育て支援 .....	95
	(2) 意見・要望 .....	98
<b>IV</b>	<b>調査結果（小学生の保護者向け） .....</b>	<b>105</b>
1.	子どもと家族の状況について .....	107
2.	平日の放課後や、休日の過ごし方について .....	111
	(1) 平日の放課後や、休日の過ごし方 .....	111
	(2) 放課後を過ごさせたい場所 .....	114

3.	放課後児童クラブの利用状況について.....	117
	(1) 平日の利用状況.....	117
	(2) 土曜日の利用状況.....	120
	(3) 長期の休みの利用状況.....	123
	(4) 放課後児童クラブを利用しない理由.....	126
4.	放課後児童クラブの利用希望について.....	128
	(1) 低学年の間の利用希望.....	128
	(2) 高学年の間の利用希望.....	134
5.	地域の子育て支援事業の利用状況について.....	140
	(1) 仙台すくすくサポート事業の利用状況.....	140
	(2) 仙台すくすくサポート事業の利用目的.....	141
	(3) 仙台すくすくサポート事業の利用希望.....	142
6.	子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望について.....	144
	(1) 子どもを泊りがけで預ける用事の有無.....	144
	(2) 子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応.....	145
	(3) 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望.....	147
	(4) 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望日数.....	148
7.	子育てに関する悩みや不安、相談先等について.....	149
	(1) 子育てに関して不安や負担を感じるか.....	149
	(2) 子育て上の悩みや負担の内容.....	151
	(3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無.....	154
	(4) 子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無.....	155
	(5) 子育てに関する相談先.....	156
	(6) 気軽に相談できる仙台市の子育て関連担当窓口.....	158
	(7) 子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無.....	159
	(8) 近所づきあいの程度.....	160
8.	保護者の就労状況について.....	161
	(1) 保護者の就労状況.....	161
	(2) 保護者の就労日数・時間.....	162
	(3) フルタイムへの転換希望.....	163
	(4) 就労希望の有無.....	164
9.	子育てに関する市への意見等について.....	167
	(1) 市に充実して欲しい子育て支援.....	167
	(2) 意見・要望.....	170
<b>V</b>	<b>資料（調査票）.....</b>	<b>175</b>



# I 調査概要





## 1. 調査の目的

平成 27 年度にスタートする「子ども・子育て支援新制度」のもと、幼児期の学校教育・保育や子育て支援の充実を図るため、子育てを行っている家庭の現状やニーズを把握し、現行の「すこやか子育てプラン 2010」に代わる、本市の新たな子ども・子育て支援に係る計画（子ども・子育て支援法の規定に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」を含む）策定の基礎資料を得るため、本調査を実施した。

## 2. 調査内容

子育て家庭の現状とニーズを把握するため、以下の内容についてアンケート調査を実施した。

※なお、調査を行うにあたり、アンケートに係る仙台市の主な子ども・子育て支援関連事業の内容等について記載した説明書きを同封した。

【就学前児童の保護者向け】	【小学生の保護者向け】
1. 子どもと家族の状況について	1. 子どもと家族の状況について
2. 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況について	2. 平日の放課後や、休日の過ごし方について
3. 平日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	3. 放課後児童クラブの利用状況について
4. 土曜・休日の幼稚園・保育施設等の利用希望について	4. 放課後児童クラブの利用希望について
5. 病気の際の対応について	5. 地域の子育て支援事業の利用状況について
6. 不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて	6. 泊りがけでの預かりについて
7. 地域の子育て支援事業の利用状況について	7. 子育てに関する悩みや不安、相談先等について
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	8. 保護者の就労状況について
9. 子育てに関する悩みや不安、相談先等について	9. 子育てに関する市への意見等について
10. 保護者の就労状況について	
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	
12. 子育てに関する市への意見等について	

### 3. 調査対象及び調査方法

	【就学前児童の保護者向け】	【小学生の保護者向け】
(1) 対象	仙台市に居住する 就学前児童の保護者	仙台市に居住する 小学1～6年生の保護者
(2) 標本数	9,000人	4,800人
(3) 標本抽出	住民基本台帳より、0～5歳の年齢ごとに、各区から300人を無作為抽出	住民基本台帳より、学年ごとに、各区から160人を無作為抽出
(4) 調査方法	郵送配布・郵送回収	
(5) 調査期間	平成25年10月18日～平成25年11月1日	
(6) 回収結果	有効回収数：4,173件 (有効回収率：46.4%)	有効回収数：2,111件 (有効回収率：44.0%)

### 4. 報告書の見方

- ①グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示している。
- ②比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%にならない場合もある。
- ③複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合がある。
- ④グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略している場合がある。また、問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- ⑤就学前児童の年齢については、0歳～5歳と表記している。各年齢が該当する誕生日は次のとおり。  
「0歳」＝平成24年4月2日～平成25年4月1日      「3歳」＝平成21年4月2日～平成22年4月1日  
「1歳」＝平成23年4月2日～平成24年4月1日      「4歳」＝平成20年4月2日～平成21年4月1日  
「2歳」＝平成22年4月2日～平成23年4月1日      「5歳」＝平成19年4月2日～平成20年4月1日
- ⑥本書で「平成6年度調査」、「平成12年度調査」、「平成15年度調査」、「平成20年度調査」として表しているのは、市が平成6年度に実施した『児童をとりまく環境等の実態調査』、平成12年度に実施した『仙台市子供をとりまく環境等に関する総合調査』、平成15年度に実施した『仙台市子供の権利等に関するアンケート調査』、平成20年度に実施した『子育てに関するアンケート調査』のことであり、参考として比較を行っている。

## II 調査結果の概要



## II 調査結果の概要

### 1. 就学前児童の保護者向け

#### (1) 幼稚園・保育施設等の利用状況、利用希望

- ◆ 幼稚園・保育施設等（幼稚園や保育所など、月単位で定期的に利用している事業）の利用状況については、全体の約6割が利用しているが、0歳児の利用が3割程度であるのに対し、3歳児では8割以上、4歳児、5歳児になるとほぼすべての児童が利用しており、児童の年齢が上がるにつれて利用率が高くなっている（P. 17）。
- ◆ 平日における幼稚園・保育施設等の利用希望については、「幼稚園」（58.6%）が最も高く、次いで「認可保育所」（36.2%）、「幼稚園の預かり保育」（24.4%）、「認定こども園」（19.2%）の順となっている（P. 28）。
- ◆ 幼稚園・保育施設等の利用状況と利用希望を比較すると、現在「幼稚園」、「認可保育所」、「認定こども園」を利用している人は、今後も引き続きその利用を希望する人が多いが、それら以外を利用している人は、「認可保育所」の利用を希望する人が多い（P. 33）。
- ◆ 土曜、日曜・祝日における幼稚園・保育施設等の利用希望については、土曜日は全体の4割弱、日曜・祝日は全体の2割弱が利用したいと考えており、平日の利用希望に比べ低くなっている（P. 37、40）。

#### (2) 子どもが病気の際の対応や不定期の一時預かり

- ◆ 子どもが病気やケガで、幼稚園・保育施設等が利用できなかったことは、全体の8割が「あった」と回答し、その際の対応方法については「母親が休んだ」が最も多く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」となっている（P. 44、45）。
- ◆ 病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、全体の約3割が利用したいと考えており、子どもの年齢が上がるにつれて利用希望は低くなる傾向にある（P. 47）。
- ◆ 不定期の一時預かりについては、全体の約8割が利用していないものの、利用希望においては、全体の約4割が利用を希望している（P. 48、51）。

#### (3) 地域の子育て支援事業

- ◆ 仙台すくすくサポート事業については、全体の9割以上がこの1年間に利用しておらず、今後の利用希望においても、全体の約8割が利用する予定はないとしている（P. 56、58）。
- ◆ 幼稚園、児童館、のびすく、保育所での親子交流や子育て相談といった、地域の子育て支援事業については、全体の約5割が利用しておらず、今後の利用希望においても、全体の約6割が利用の拡大を考えていない。ただし、0歳児、1歳児では利用したいと考えている比率が他の年齢に比べ高い（P. 60、62）。

#### (4) 小学校就学後の放課後の過ごし方

- ◆ 小学校就学後の放課後の過ごし方については、「自宅」や「習い事」を希望する人が多く、子どもが低学年（小学1～3年生）の間は「放課後児童クラブ」を希望する人が約4割に対し、高学年（小学4～6年生）の間は約2割となっている（P.63）。

#### (5) 子育てに関する悩みや不安、相談先

- ◆ 子育てに関する不安や負担について、「不安や負担を感じない」と「不安や負担を感じる」は、同程度となっている（P.67）。
- ◆ 子育ての悩みについては、「子どもの教育に関すること」が最も高く、次いで「子育てで出費がかさむこと」といった悩みが続いている（P.69）。
- ◆ 子育てに関する相談先については、「配偶者・パートナー」が最も高く、次いで「祖父母等の親族」、「友人や知人」など、身近な人を相談相手としている（P.74）。

#### (6) 保護者の就労状況

- ◆ 母親の就労状況については、全体の約5割が就労しており、子どもの年齢が0～2歳に比べ、3～5歳でその比率は高くなる（P.80）。
- ◆ 両親の就労状況については、平成12年度の調査時から経年でみると、共働きの比率が上昇している（P.81）。

#### (7) 育児休業・短時間勤務制度等の利用状況

- ◆ 保護者の育児休業の取得状況については、母親において全体の約8割が取得しているのに対し、父親では全体の1割に満たない状況である（P.87）。
- ◆ 保護者の短時間勤務制度の利用状況については、母親において全体の約4割が利用しているのに対し、父親では全体の1割に満たない状況である（P.94）。

#### (8) 子育てに関する市への意見等

- ◆ 保護者が市に望む子育て支援は、「認可保育所や幼稚園等にかかる出費負担を軽減して欲しい」が全体の5割強、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が全体の5割弱となっている（P.95）。

## 2. 小学生の保護者向け

---

### (1) 平日の放課後や、休日の過ごし方

- ◆ 平日の放課後の過ごし方については、小学1年生～6年生において、14時～16時にかけて、「兄弟姉妹や友達と校庭、公園、広場などの外の遊び場にいる」、「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」の比率が高い（P.111）。
- ◆ 放課後を過ごさせたい場所としては、「自宅」や「習い事」と回答した人が多い。（P.114）

### (2) 放課後児童クラブの利用状況、利用希望

- ◆ 放課後児童クラブの利用状況については、平日において、全体の約9割が利用しておらず、子どもの学年が上がるにつれて利用している比率は減少している。（P.117）
- ◆ 今後の利用希望については、「平日」の放課後で、低学年（小学1～3年生）の間は全体の約4割、高学年（小学4～6年生）の間は全体の約2割程度である。「土曜日」や「日曜日」の利用希望は、低学年の間、高学年の間ともに、「平日」の利用希望を下回るが、「長期の休み」では「平日」の利用希望を上回っている（P.128、134）。

### (3) 地域の子育て支援事業

- ◆ 仙台すくすくサポート事業については、回答者の殆どがこの1年間に利用しておらず、今後の利用希望においても、全体の約9割が「利用する予定はない」と考えている（P.140、142）。

### (4) 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望

- ◆ 保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外に預ける用事の有無について、全体の約2割が「あった」と回答し、その際の対応方法については、「親族・知人にみてもらった（同居者を含む）」が最も多く、次いで「子どもを同行させた」となっている（P.144、145）。
- ◆ 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望については、全体の約9割が「利用する予定はない」と考えている（P.147）。

### (5) 子育てに関する悩みや不安、相談先

- ◆ 子育てに関する不安や負担については、「不安や負担を感じない」が、「不安や負担を感じる」を上回っている。（P.149）。
- ◆ 子育ての悩みについては、「子どもの教育に関すること」が最も高く、次いで「子育てで出費がかさむこと」となっている（P.151）。
- ◆ 子育てに関する相談先については、「配偶者・パートナー」が最も高く、次いで「祖父母等の親族」、「友人や知人」など、身近な人を相談相手としている（P.156）。

## (6) 保護者の就労状況

- ◆ 母親の就労状況については、全体の約 6 割が就労しており、小学 1～3 年生に比べ、小学 4～6 年生でその比率は高くなるが、とりわけ「パート・アルバイト等」の比率が高くなっている (P. 161)。

## (7) 子育てに関する市への意見等

- ◆ 保護者が市に望む子育て支援は、「子どもが医療機関にかかる費用負担の軽減」が全体の約 6 割、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が全体の約 4 割、「子どもが多くいる世帯の経済的負担を軽減して欲しい」が全体の約 3 割となっている (P. 167)。



### **Ⅲ 調査結果(就学前児童の保護者向け)**

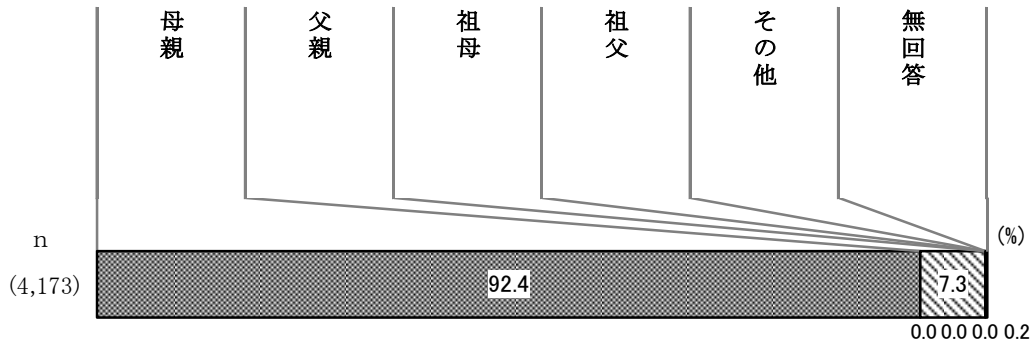


### Ⅲ 調査結果（就学前児童の保護者向け）

#### 1. 子どもと家族の状況について

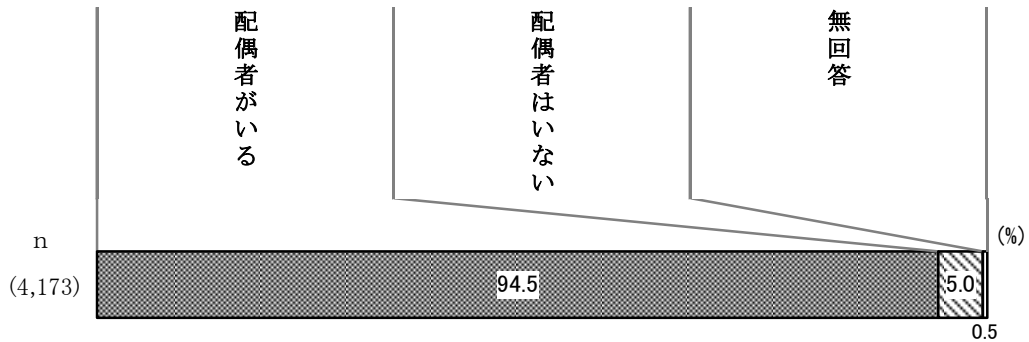
##### （1）回答者

図表 1-1-1 回答者（○は1つだけ）



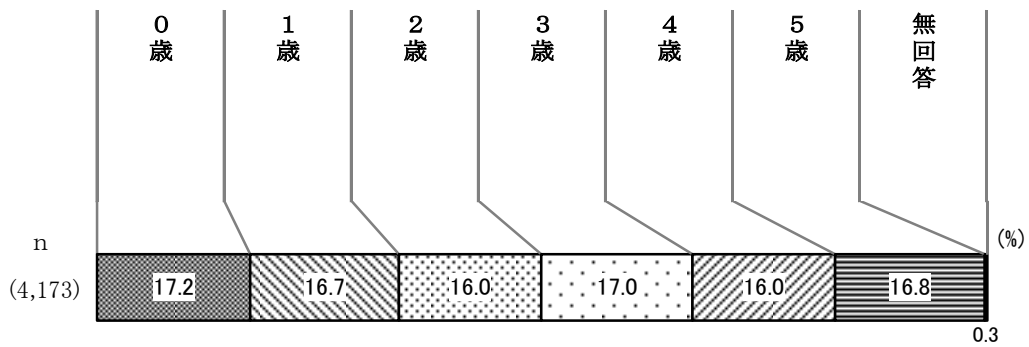
##### （2）配偶者の有無

図表 1-2-1 配偶者の有無（○は1つだけ）



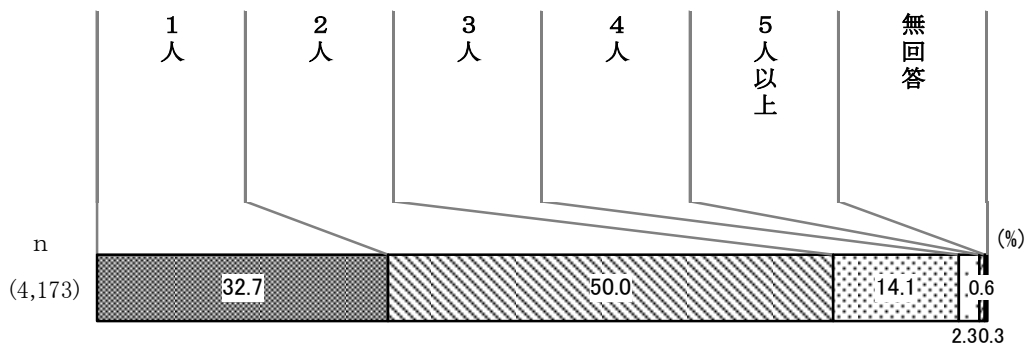
### (3) 子どもの年齢

図表 1-3-1 子どもの年齢 (○は1つだけ)

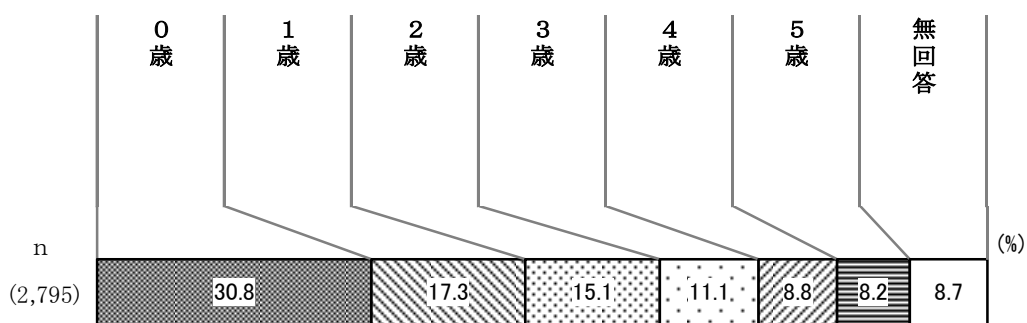


### (4) きょうだいの数と末子の年齢

図表 1-4-1 きょうだいの数

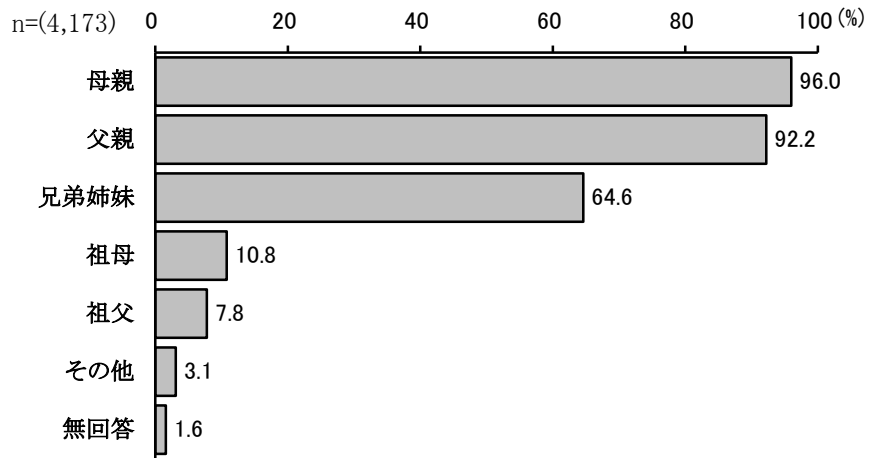


図表 1-4-2 末子の年齢

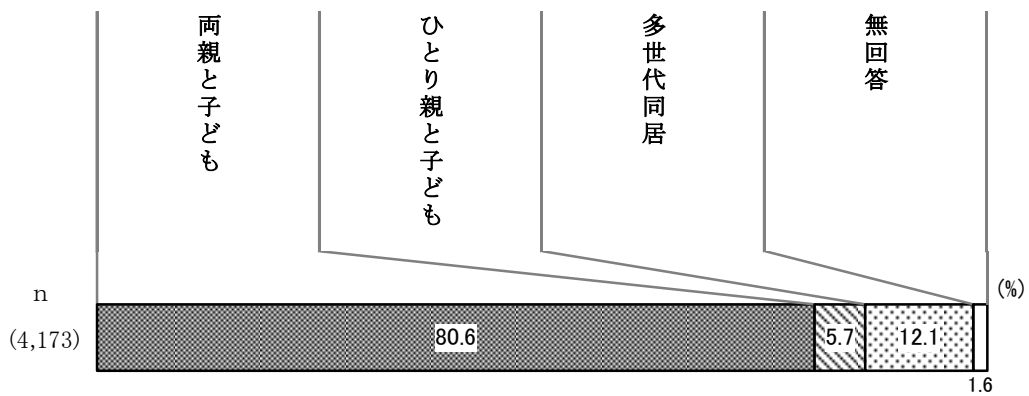


### (5) 家族構成と人数

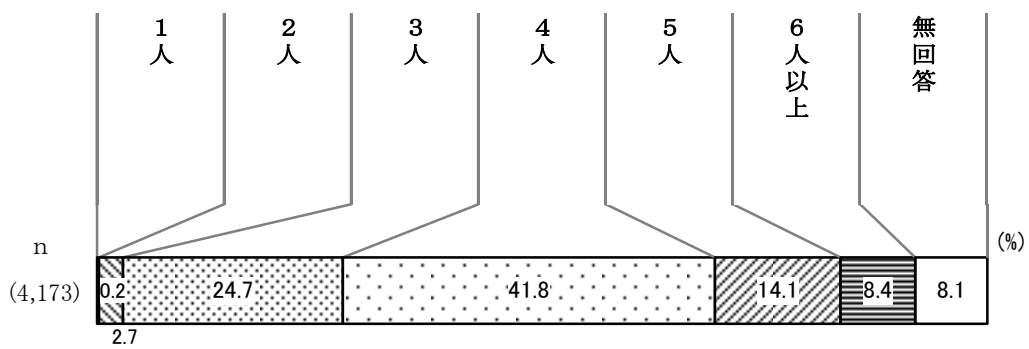
図表 1-5-1 同居家族 (〇はいくつでも)



図表 1-5-2 家族構成

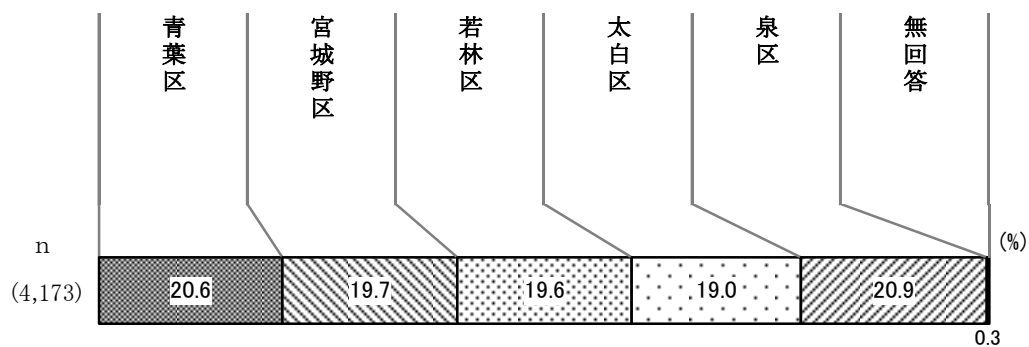


図表 1-5-3 家族の人数



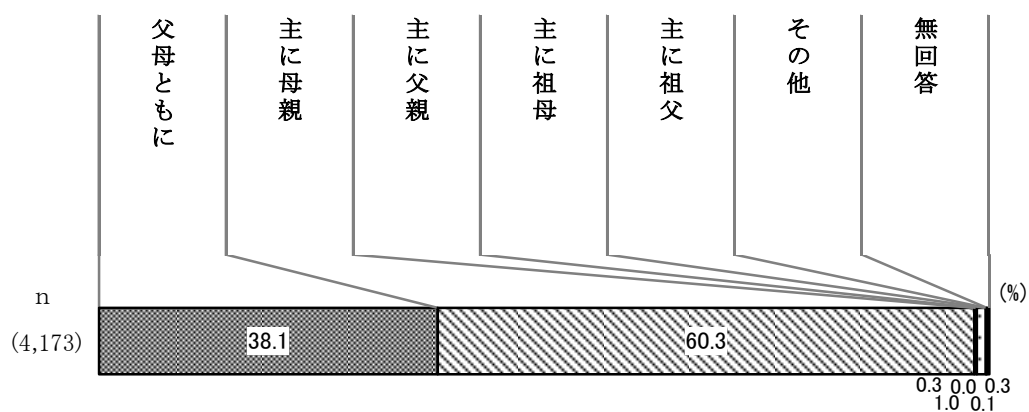
## (6) 居住地区

図表 1-6-1 居住地区 (○は1つだけ)



## (7) 子育てを主に行っている人

図表 1-7-1 子育てを主に行っている人 (○は1つだけ)

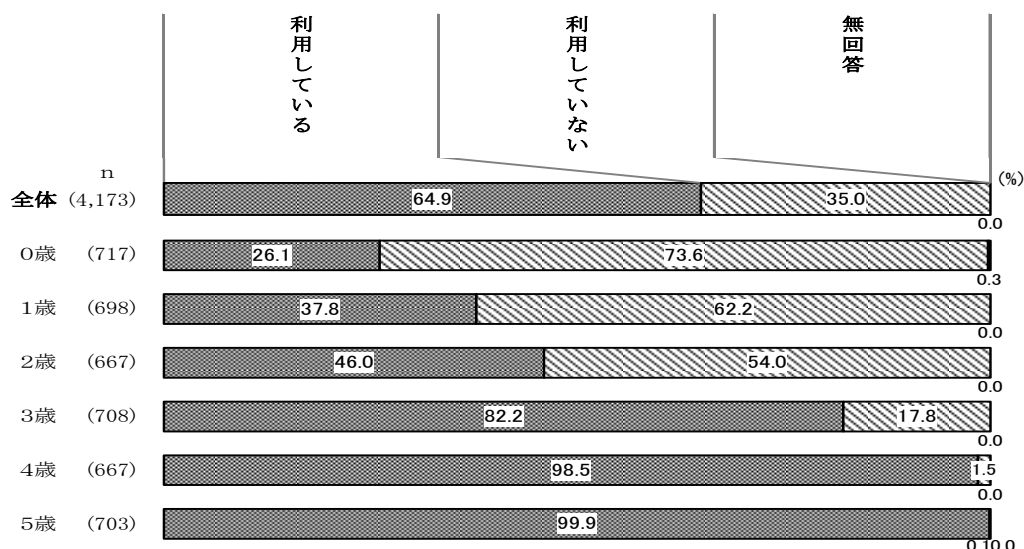


## 2. 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況について

### (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況

問8 宛名のお子さんは現在、平日に「幼稚園・保育施設等」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

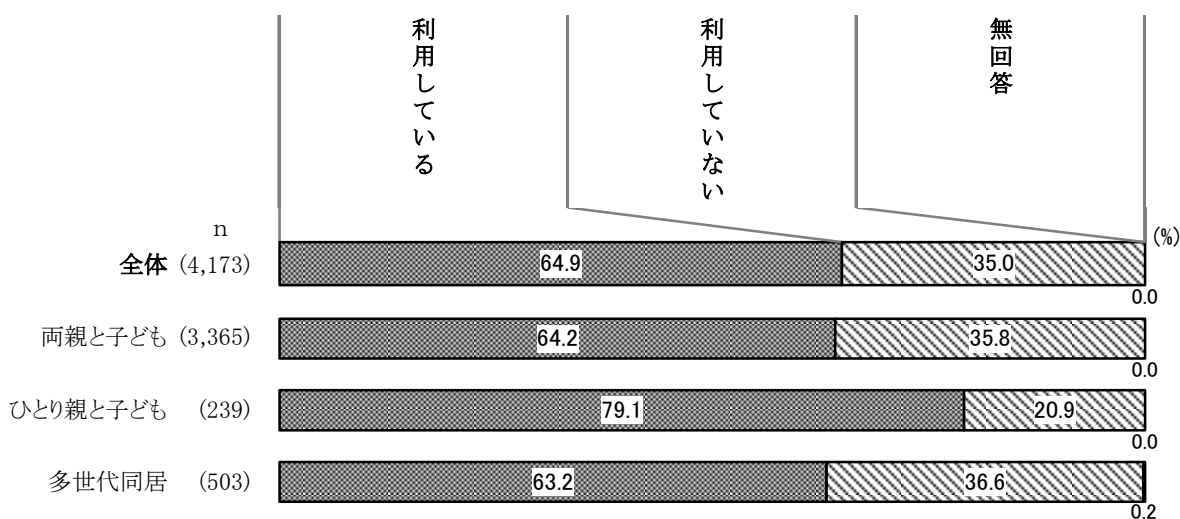
図表 2-1-1 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況／全体・年齢別（○は1つだけ）



平日の幼稚園・保育施設等の利用状況を尋ねたところ、全体では「利用している」が64.9%、「利用していない」が35.0%となっている。

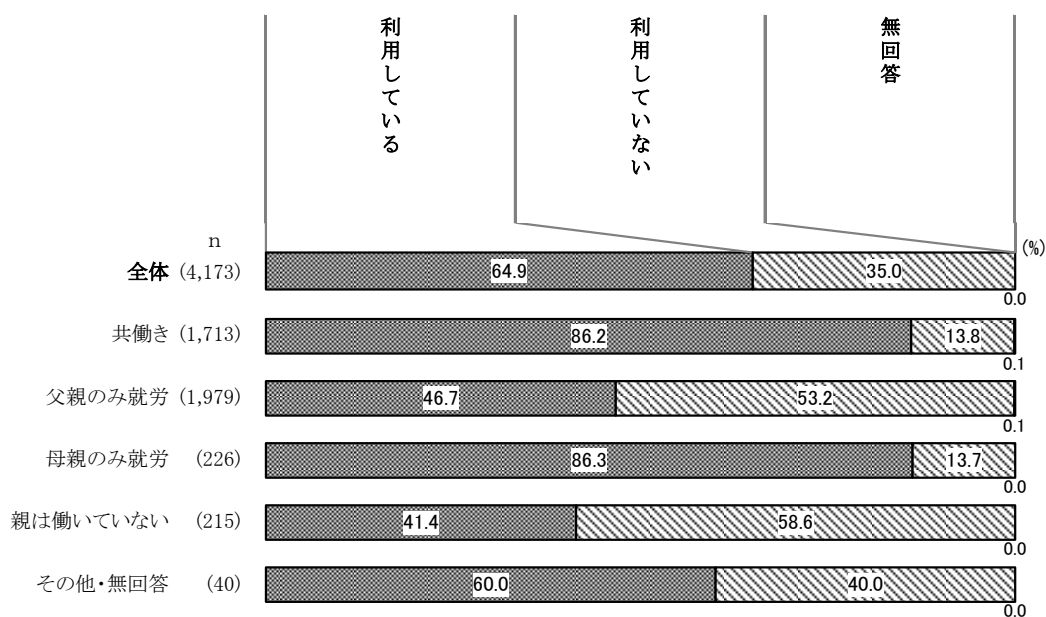
年齢別にみると、「利用している」は、年齢が上がるにつれて上昇し、3歳では82.2%となり、0～2歳までに比べ大きく上昇している。4歳、5歳になると、ほぼ全ての児童が何らかの施設等を「利用している」となっている。（図表 2-1-1）

図表 2-1-2 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況／家族構成別（○は1つだけ）



家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「利用している」が79.1%となり、他の家族構成に比べ、平日の幼稚園・保育施設等を利用している比率が高い。（図表 2-1-2）

図表 2-1-3 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況／両親の就労状況別（○は1つだけ）



両親の就労状況別にみると、「利用している」は、「共働き」の場合で86.2%、「母親のみ就労」の場合で86.3%と高く、「父親のみ就労」の場合で46.7%、「親は働いていない」の場合で41.4%となっている。（図表 2-1-3）

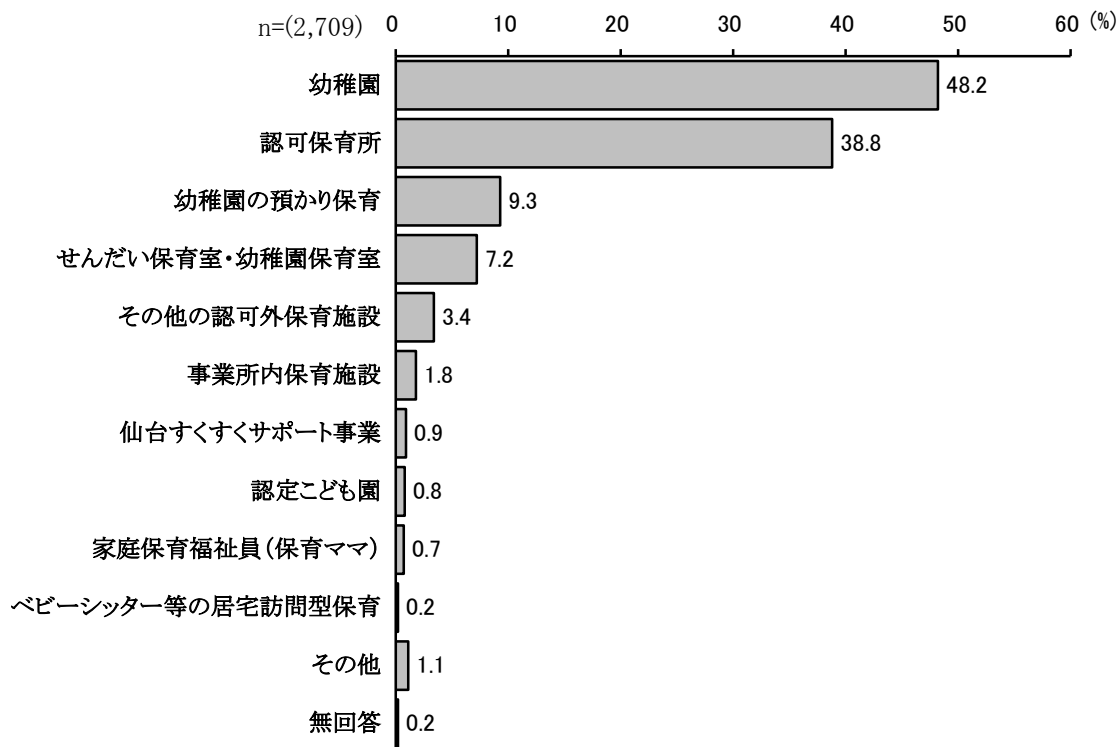


## (2) 定期的にご利用している事業

問8-1 年間を通じて「定期的に」利用している事業の番号すべてに○をつけてください。

※ 『2 (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で、「利用している」と回答した方のみ

図表 2-2-1 定期的にご利用している事業／全体（該当するものに○）



定期的にご利用している事業について尋ねたところ、「幼稚園」(48.2%)が最も高く、次いで「認可保育所」(38.8%)、「幼稚園の預かり保育」(9.3%)、「せんだい保育室・幼稚園保育室」(7.2%)の順となっている。(図表 2-2-1)

図表 2-2-2 定期的にご利用している事業／子どもの年齢別（該当するものに○）

		(上段：件 下段：%)												
		調査数	幼稚園	認可保育所	幼稚園の預かり保育	せんだい幼稚園保育	その他の認可外施設	事業所内保育施設	仙台すくすくサポート事業	認定こども園	家庭保育福祉員(保育ママ)	等ベビーシッター居宅訪問型保育	その他	無回答
子どもの年齢別	0歳	187	1	109	2	39	17	8	3	4	5	-	4	-
		100.0	0.5	58.3	1.1	20.9	9.1	4.3	1.6	2.1	2.7	-	2.1	-
	1歳	264	8	186	2	32	19	16	3	2	6	-	2	1
		100.0	3.0	70.5	0.8	12.1	7.2	6.1	1.1	0.8	2.3	-	0.8	0.4
	2歳	307	36	189	8	42	24	7	4	3	6	-	10	1
		100.0	11.7	61.6	2.6	13.7	7.8	2.3	1.3	1.0	2.0	-	3.3	0.3
3歳	582	330	195	51	34	12	9	4	6	-	2	4	-	
	100.0	56.7	33.5	8.8	5.8	2.1	1.5	0.7	1.0	-	0.3	0.7	-	
4歳	657	439	183	76	24	12	5	5	6	2	2	6	-	
	100.0	66.8	27.9	11.6	3.7	1.8	0.8	0.8	0.9	0.3	0.3	0.9	-	
5歳	702	489	188	112	24	7	3	6	1	-	1	5	-	
	100.0	69.7	26.8	16.0	3.4	1.0	0.4	0.9	0.1	-	0.1	0.7	-	

年齢別にみると、0～2歳では「認可保育所」の比率が最も高いが、幼稚園の利用が可能となる3～5歳では、「幼稚園」が最も高い。(図表 2-2-2)

図表 2-2-3 定期的に利用している事業／家族構成別（該当するものに○）

(上段：件 下段：%)

		調査数	幼稚園	認可保育所	保育園の預かり	室・幼稚園保育	室・幼稚園保育	その他の認可外	事業所内保育施設	ポトト事業	仙台すくすくサ	認定こども園	（家庭保育福祉員） （保育ママ）	等々の居宅訪問型	ベビーシッター	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	2,159	1,047	838	204	158	72	35	21	19	16	5	25	2			
		100.0	48.5	38.8	9.4	7.3	3.3	1.6	1.0	0.9	0.7	0.2	1.2	0.1			
	ひとり親と子ども	189	58	99	19	16	7	8	2	1	1	-	4	-			
	100.0	30.7	52.4	10.1	8.5	3.7	4.2	1.1	0.5	0.5	-	2.1	-				
	多世代同居	318	184	97	26	20	11	5	1	2	1	-	2	-			
	100.0	57.9	30.5	8.2	6.3	3.5	1.6	0.3	0.6	0.3	-	0.6	-				

家族構成別にみると、「両親と子ども」、「多世代同居」の場合、「幼稚園」の比率が最も高く、「ひとり親と子ども」の場合、「認可保育所」が最も高い。(図表 2-2-3)

図表 2-2-4 定期的に利用している事業／両親の就労状況別（該当するものに○）

(上段：件 下段：%)

		調査数	幼稚園	認可保育所	保育園の預かり	室・幼稚園保育	室・幼稚園保育	その他の認可外	事業所内保育施設	ポトト事業	仙台すくすくサ	認定こども園	（家庭保育福祉員） （保育ママ）	等々の居宅訪問型	ベビーシッター	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,476	337	870	160	161	69	37	15	18	16	3	10	1			
		100.0	22.8	58.9	10.8	10.9	4.7	2.5	1.0	1.2	1.1	0.2	0.7	0.1			
	父親のみ就労	925	839	42	58	9	12	3	5	3	3	2	21	4			
		100.0	90.7	4.5	6.3	1.0	1.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.2	2.3	0.4			
	母親のみ就労	195	48	116	23	21	8	8	4	1	-	-	-	-			
	100.0	24.6	59.5	11.8	10.8	4.1	4.1	2.1	0.5	-	-	-	-				
	親は働いていない	89	72	13	6	3	1	1	1	-	-	-	-	-			
	100.0	80.9	14.6	6.7	3.4	1.1	1.1	1.1	-	-	-	-	-				

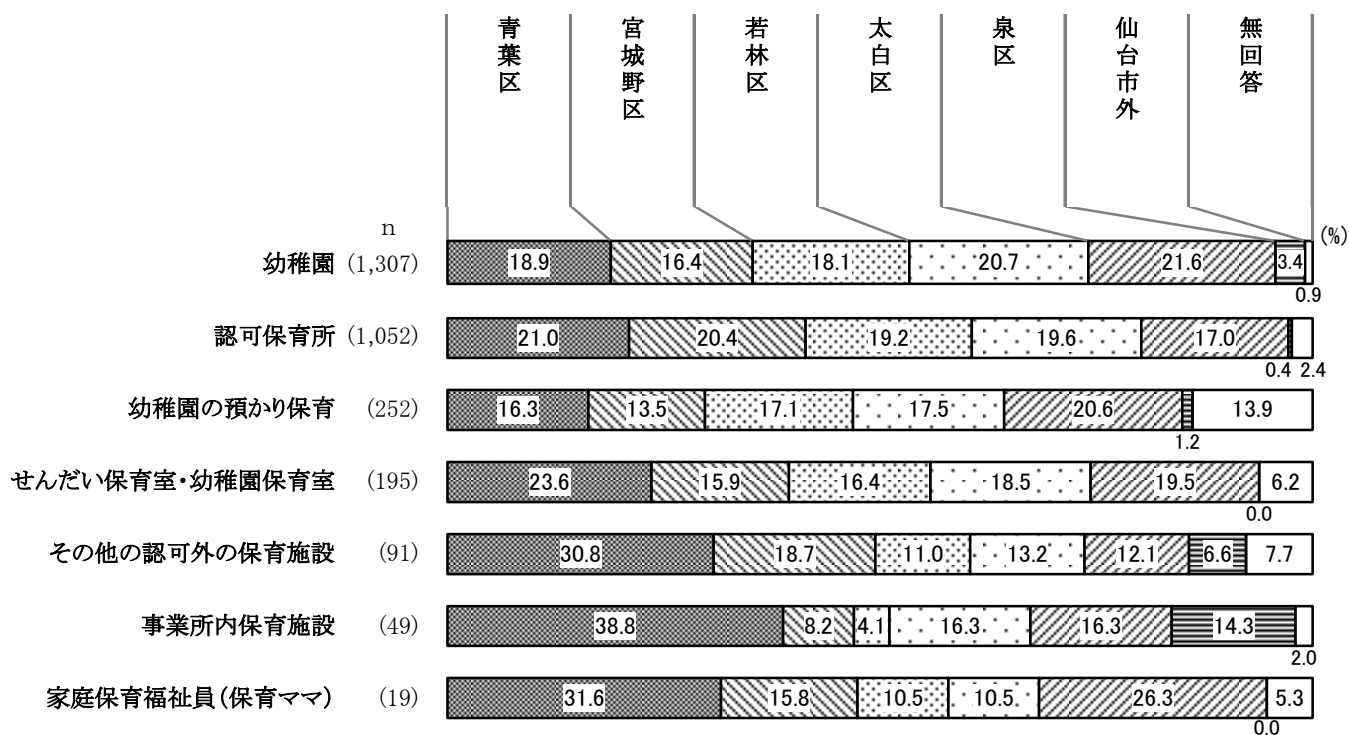
両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「認可保育所」の比率が最も高く、「父親のみ就労」、「親は働いていない」の場合、「幼稚園」が最も高い。(図表 2-2-4)

### (3) 利用している事業の実施場所

問8-1 利用している事業の実施場所について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 『2 (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で、「利用している」と回答した方のみ

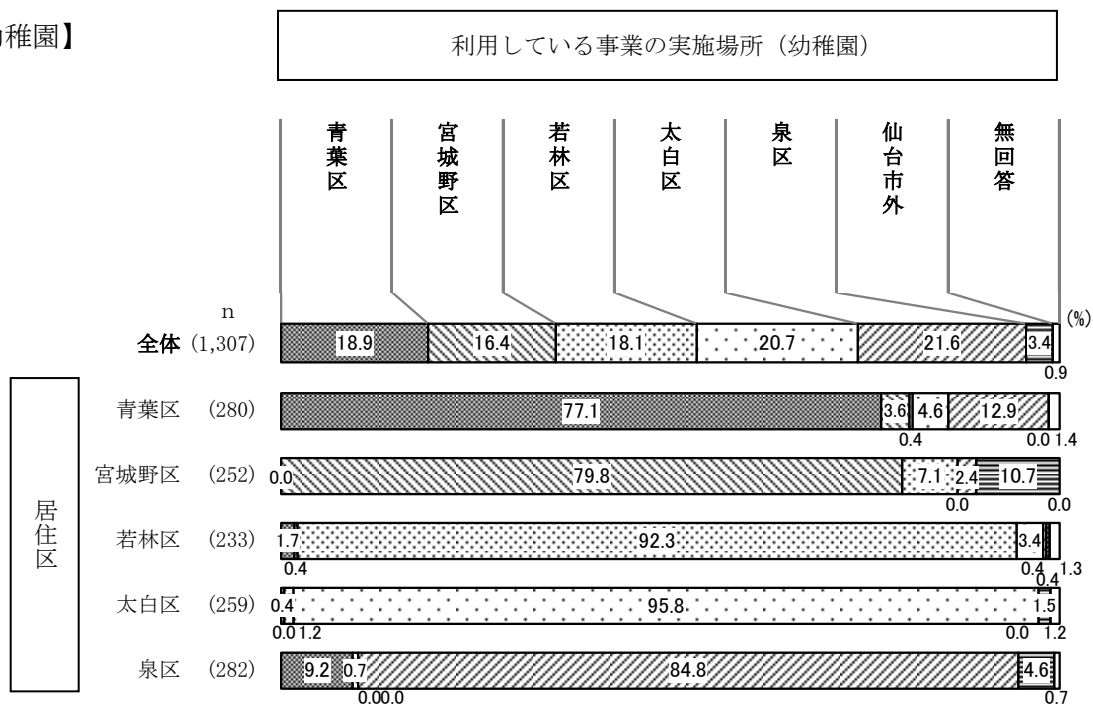
図表 2-3-1 実施場所／全体 (○は1つだけ)



利用している事業の実施場所について尋ねたところ、利用者数の多い「幼稚園」や「認可保育所」では、区毎に大きな差は見られないが、「事業所内保育施設」では「青葉区」が38.8%となるなど、その他の事業では、実施場所にばらつきが見られる。(図表 2-3-1)

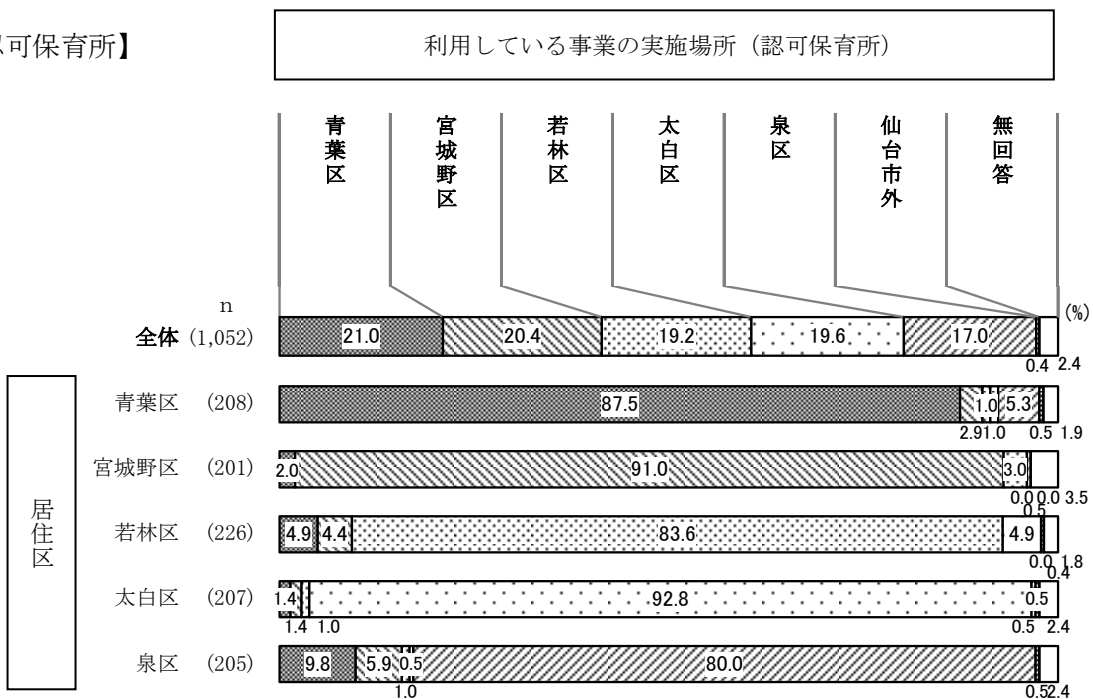
図表 2-3-2 実施場所（幼稚園）／居住区別（○は1つだけ）

【幼稚園】



図表 2-3-3 実施場所（認可保育所）／居住区別（○は1つだけ）

【認可保育所】



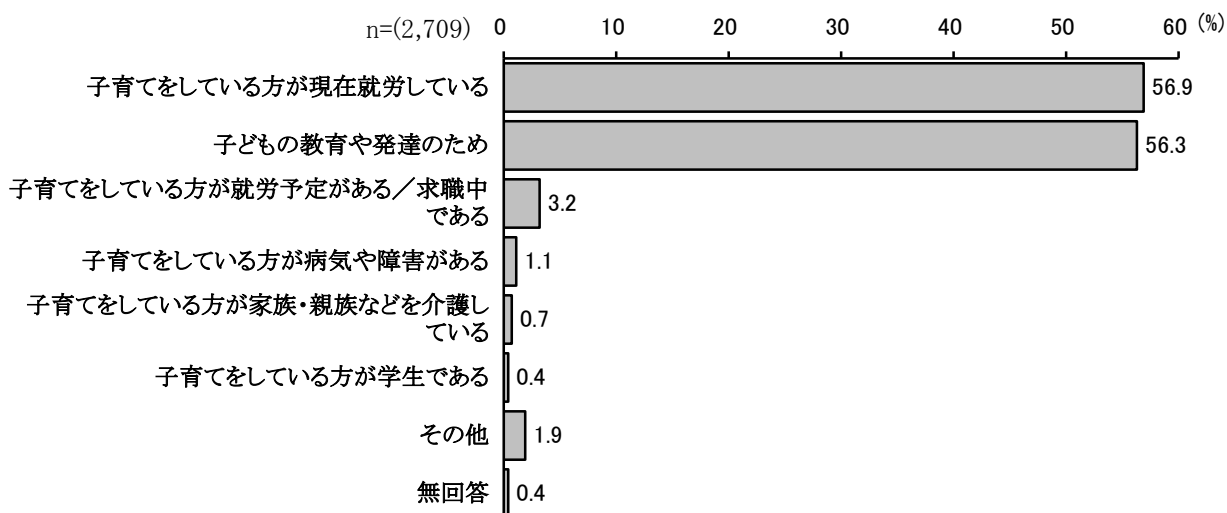
利用者数の多い「幼稚園」、「認可保育所」について、居住区と利用している事業の実施場所についてみると、ともに居住区内で利用している比率が最も高いが、「幼稚園」利用者のうち、青葉区と宮城野区の居住者は、居住区以外での利用が2割程度と他区の居住者に比べ高い。また、「認可保育所」利用者のうち、若林区と泉区の居住者は、居住区以外での利用が2割弱と他区の居住者に比べ高く、居住区によって、居住区外の事業の利用状況は異なる。（図表 2-3-2、図表 2-3-3）

#### (4) 幼稚園・保育施設等を利用している理由

問8-2 平日に幼稚園・保育施設等を利用している理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『2 (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で、「利用している」と回答した方のみ

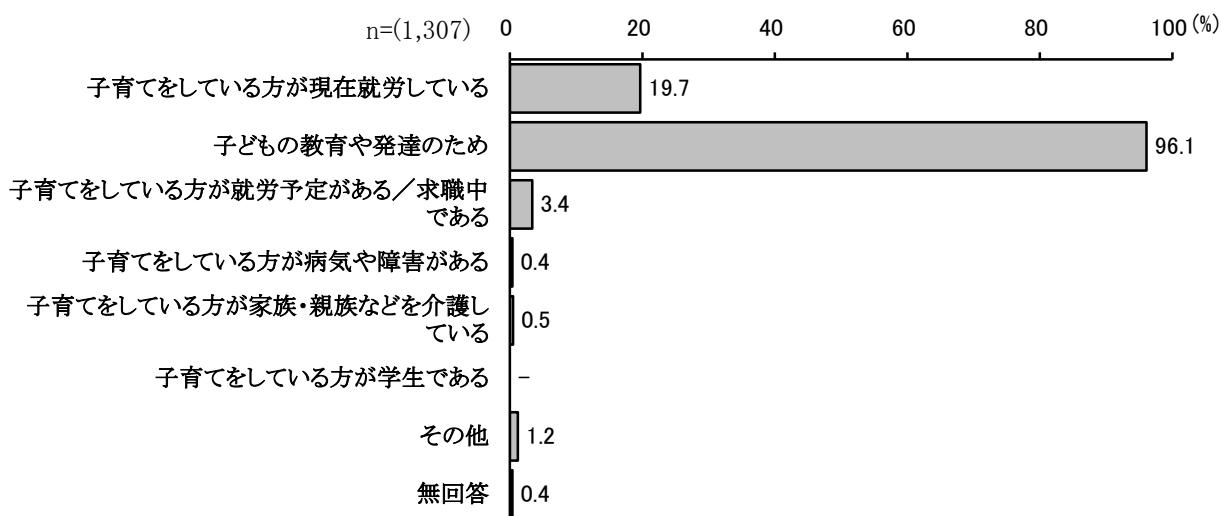
図表 2-4-1 幼稚園・保育施設等を利用している理由／全体 (○はいくつでも)



平日に幼稚園・保育施設等を利用している理由について尋ねたところ、「子育てをしている方が現在就労している」(56.9%)が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(56.3%)となっており、この2つと他の選択肢との差が顕著である。(図表 2-4-1)

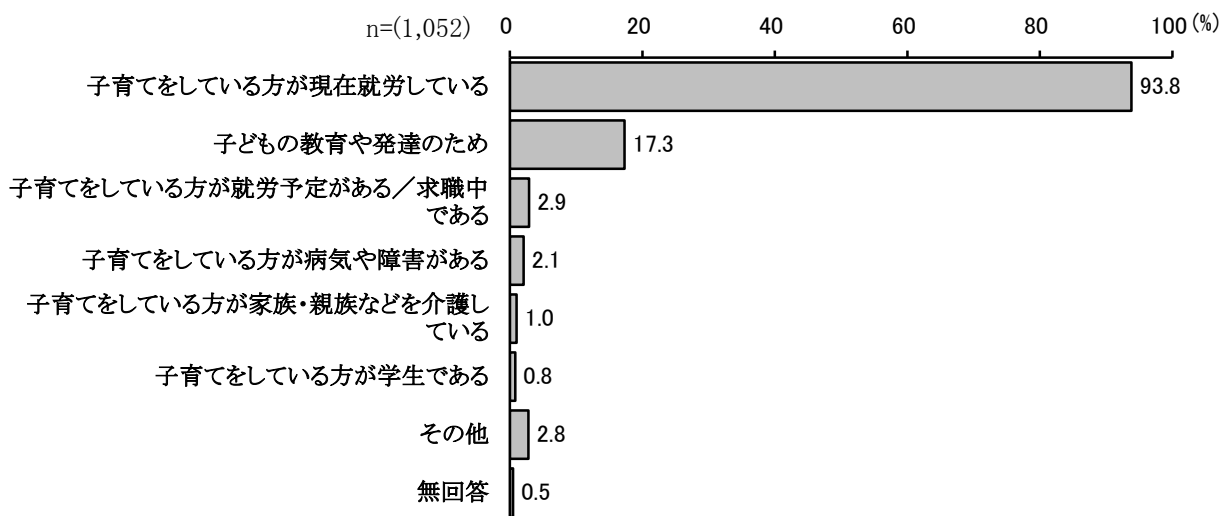
図表 2-4-2 幼稚園・保育施設等を利用している理由／幼稚園利用者（〇はいくつでも）

【幼稚園】



図表 2-4-3 幼稚園・保育施設等を利用している理由／認可保育所利用者（〇はいくつでも）

【認可保育所】



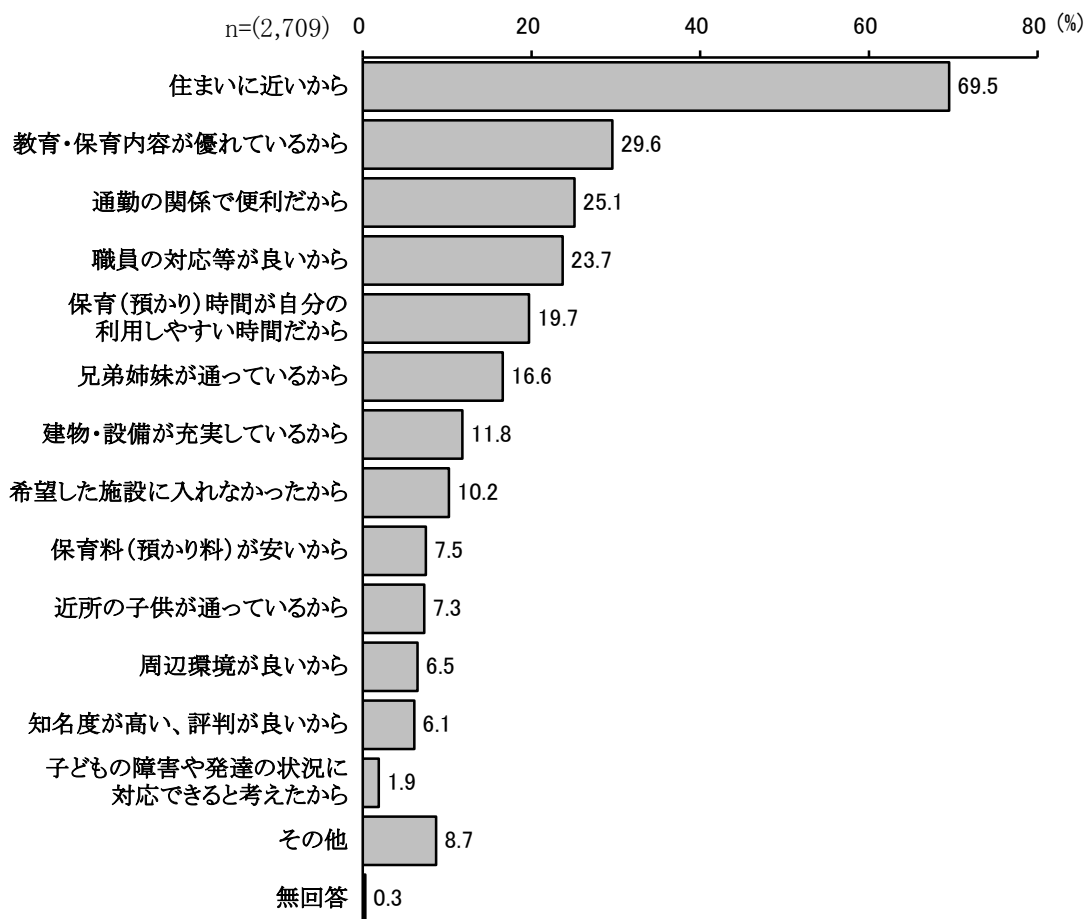
利用者数の多い「幼稚園」、「認可保育所」について、それぞれの利用している理由をみると、「幼稚園」では「子どもの教育や発達のため」（96.1%）が最も高く、「認可保育所」では「子育てをしている方が現在就労している」（93.8%）が最も高い。（図表 2-4-2、図表 2-4-3）

## (5) 幼稚園・保育施設等を選んだ理由

問8-3 現在利用している幼稚園・保育施設等を選んだ理由は何ですか。次の中から当てはまるものを優先度の高い順に3つまで○をつけてください。

※ 『2 (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で、「利用している」と回答した方のみ

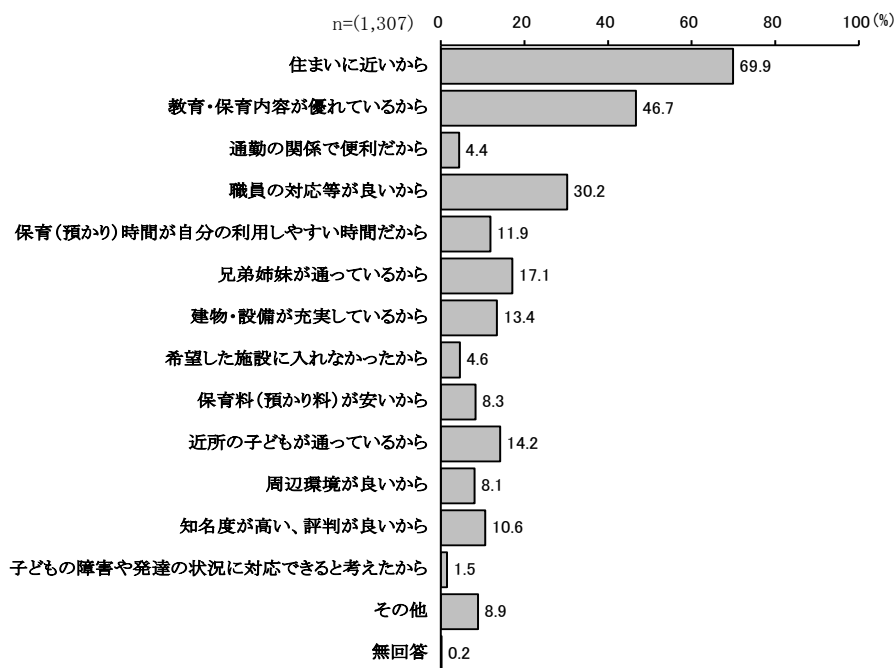
図表 2-5-1 幼稚園・保育施設等を選んだ理由／全体（○は3つまで）



現在利用している幼稚園・保育施設等を選んだ理由について尋ねたところ、「住まいに近いから」(69.5%)が最も高く、次いで「教育・保育内容が優れているから」(29.6%)、「通勤の関係で便利だから」(25.1%)、「職員の対応等が良いから」(23.7%)、「保育(預かり)時間が自分の利用しやすい時間だから」(19.7%)といった、利用者の利便性や、施設の内容を評価する回答が多い。(図表 2-5-1)

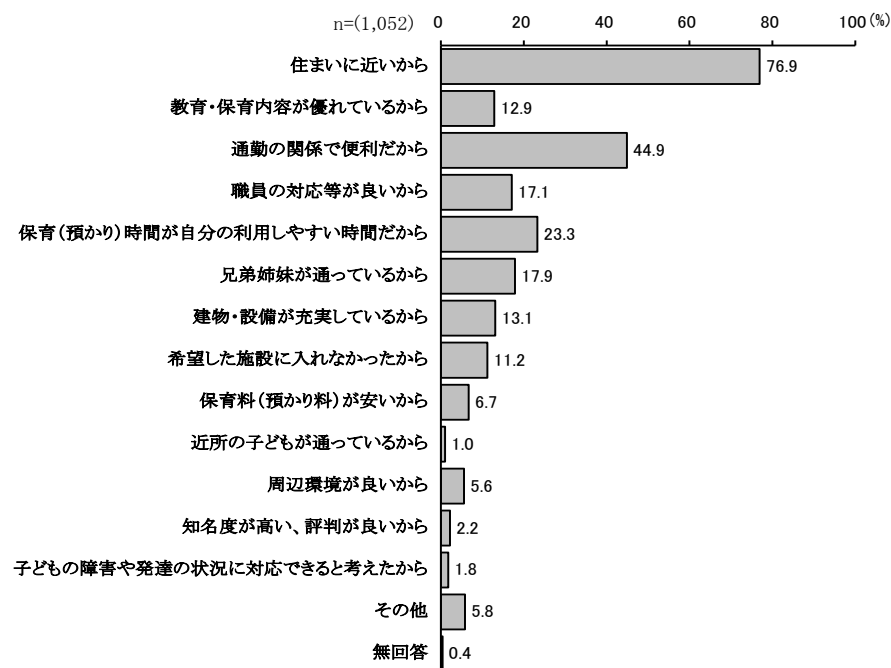
図表 2-5-2 幼稚園・保育施設等を選んだ理由／幼稚園利用者（〇は3つまで）

【幼稚園】



図表 2-5-3 幼稚園・保育施設等を選んだ理由／認可保育所利用者（〇は3つまで）

【認可保育所】



利用者数の多い「幼稚園」、「認可保育所」についてみると、ともに「住まいに近いから」の回答が最も多いが、「幼稚園」では「教育・保育内容が優れているから」、「職員の対応等が良いから」といった、施設の内容を評価する回答も多く、「認可保育所」では「通勤の関係で便利だから」、「保育(預かり)時間が自分の利用しやすい時間だから」といった、利用者の利便性を評価する回答が多い。(図表 2-5-2、図表 2-5-3)

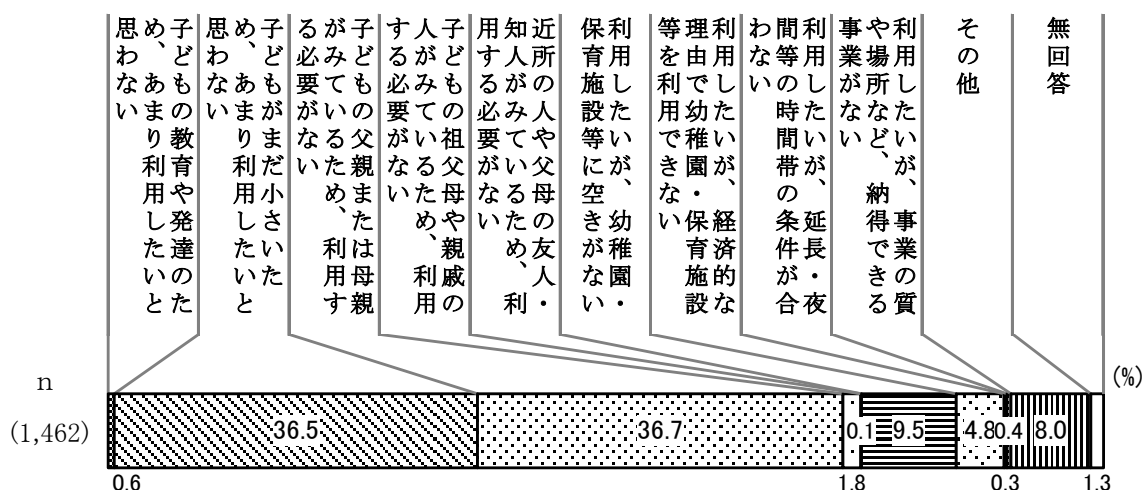


## (6) 幼稚園・保育施設等を利用していない理由

問9 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 『2 (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で、「利用していない」と回答した方のみ

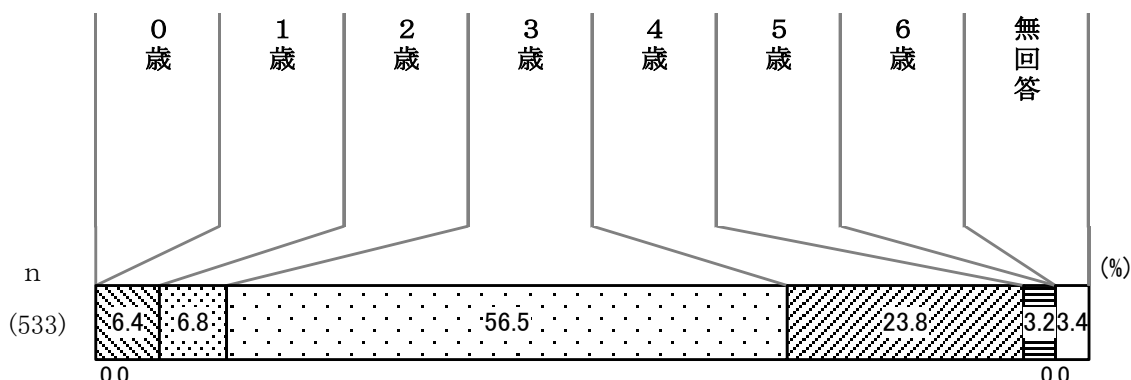
図表 2-6-1 幼稚園・保育施設等を利用していない理由／全体 (○は1つだけ)



幼稚園・保育施設等を利用していない理由について尋ねたところ、「子どもの父親か母親、または祖父母等がみているため、利用する必要がない」が 38.6%、「子どもがまだ小さいため、あまり利用したいと思わない」が 36.5%と高い。

一方、「幼稚園・保育施設等に空きがない」、「延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」、「事業の質や場所など、納得できる事業がない」、「経済的な理由で幼稚園・保育施設等を利用できない」を合わせた《利用したいが、利用できない》と回答した比率の合計は 15.0%となっている。(図表 2-6-1)

図表 2-6-2 幼稚園・保育施設等の利用開始希望年齢／全体



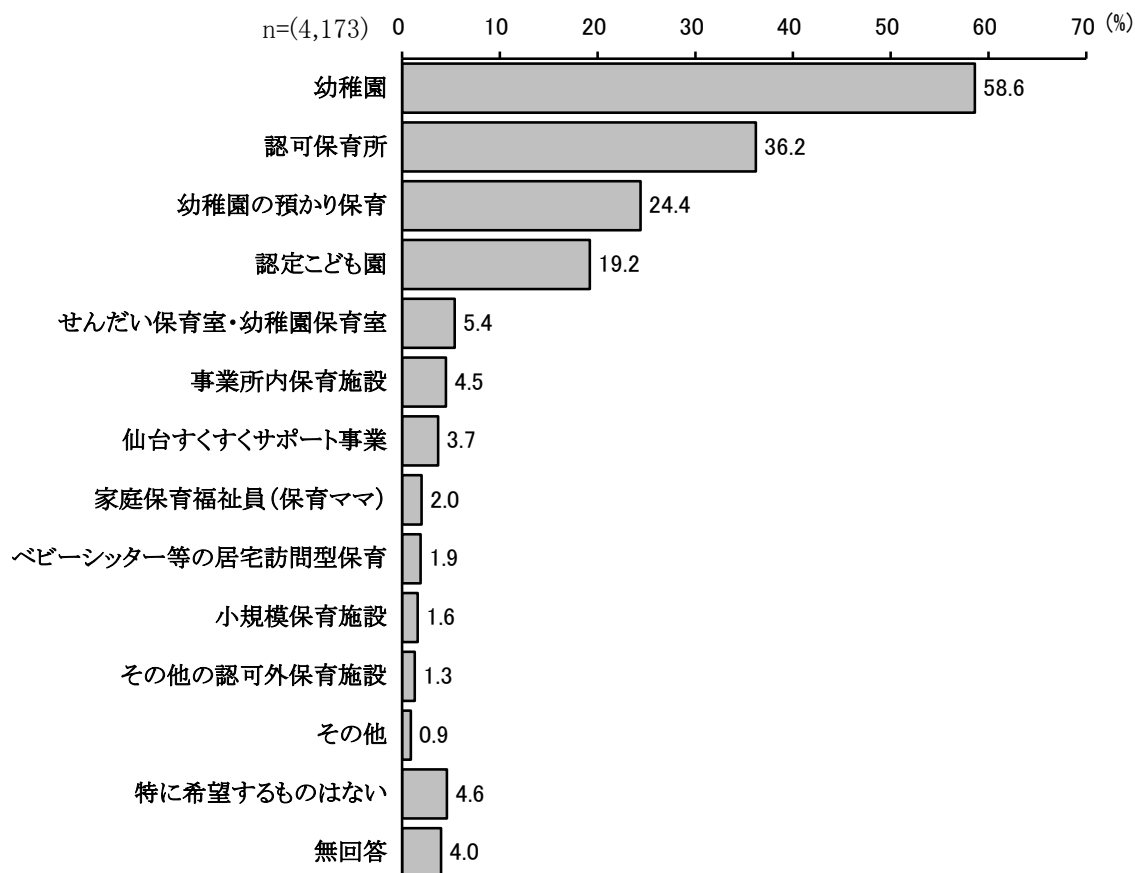
「子どもがまだ小さいため、あまり利用したいと思わない」と回答した人に、「子どもが何歳になったら利用を希望するか」と尋ねたところ、「3歳」(56.5%)との回答が最も多く、次いで「4歳」(23.8%)となっている。(図表 2-6-2)

### 3. 平日の幼稚園・保育施設等の利用希望について

#### (1) 定期的に利用したい事業

問10 現在「利用している」、「利用していない」にかかわらず、宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育施設等として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。利用したい事業について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

図表 3-1-1 定期的に利用したい事業／全体 (○はいくつでも)



定期的に利用したいと考える事業について尋ねたところ、「幼稚園」(58.6%)が最も高く、次いで「認可保育所」(36.2%)、「幼稚園の預かり保育」(24.4%)、「認定こども園」(19.2%)の順となっている。(図表 3-1-1)

図表 3-1-2 定期的にご利用したい事業／年齢別 (〇はいくつでも)

(上段：件 下段：%)

	調査数	幼稚園	認可保育所	幼稚園の預かり	認定こども園	室・せん 室・幼 さい だ い 保 育 育	設 事 業 所 内 保 育 施	ポ ー ト サ ク サ ク サ ク サ	仙 台 す く す く サ ク サ	( 保 育 マ マ ) 家 庭 保 育 福 祉 員	保 育 の 居 宅 訪 問 型	ベ ビ ー シ ン タ ー	小 規 模 保 育 施 設	保 育 の 其 他 の 認 可 外	其 他	の 特 に 希 望 す る も の は な い	無 回 答
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
子どもの年齢別	0歳	717	368	349	146	170	76	42	37	26	7	15	16	6	25	22	
		100.0	51.3	48.7	20.4	23.7	10.6	5.9	5.2	3.6	1.0	2.1	2.2	0.8	3.5	3.1	
	1歳	698	419	314	185	172	43	46	30	13	9	21	10	9	22	12	
		100.0	60.0	45.0	26.5	24.6	6.2	6.6	4.3	1.9	1.3	3.0	1.4	1.3	3.2	1.7	
	2歳	667	429	248	171	135	39	31	22	9	14	10	11	8	25	11	
		100.0	64.3	37.2	25.6	20.2	5.8	4.6	3.3	1.3	2.1	1.5	1.6	1.2	3.7	1.6	
	3歳	708	410	214	185	123	23	28	21	14	15	7	5	1	37	39	
	100.0	57.9	30.2	26.1	17.4	3.2	4.0	3.0	2.0	2.1	1.0	0.7	0.1	5.2	5.5		
4歳	667	389	183	160	109	22	20	21	10	17	8	3	7	41	44		
	100.0	58.3	27.4	24.0	16.3	3.3	3.0	3.1	1.5	2.5	1.2	0.4	1.0	6.1	6.6		
5歳	703	424	197	168	90	22	20	24	12	16	5	8	5	43	40		
	100.0	60.3	28.0	23.9	12.8	3.1	2.8	3.4	1.7	2.3	0.7	1.1	0.7	6.1	5.7		

年齢別にみると、全ての年齢の保護者が「幼稚園」を希望する比率が最も高い。次いで希望する比率が高い「認可保育所」は、3～5歳では3割程度の利用希望であるが、0歳と1歳では5割近い利用希望がある。(図表 3-1-2)

図表 3-1-3 幼稚園、認可保育所の利用開始希望年齢／年齢別

【幼稚園】

【認可保育所】

(上段：件 下段：%)

	調査数	利用開始希望年齢							
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	無回答	
子どもの年齢別	0歳	368	4	4	6	239	77	9	29
		100.0	1.1	1.1	1.6	64.9	20.9	2.4	7.9
	1歳	419	3	6	7	261	97	10	35
		100.0	0.7	1.4	1.7	62.3	23.2	2.4	8.4
	2歳	429	1	3	14	257	113	9	32
		100.0	0.2	0.7	3.3	59.9	26.3	2.1	7.5
	3歳	410	1	3	6	232	106	19	43
	100.0	0.2	0.7	1.5	56.6	25.9	4.6	10.5	
4歳	389	4	1	9	221	81	11	62	
	100.0	1.0	0.3	2.3	56.8	20.8	2.8	15.9	
5歳	424	2	7	6	227	102	17	63	
	100.0	0.5	1.7	1.4	53.5	24.1	4.0	14.9	

(上段：件 下段：%)

	調査数	利用開始希望年齢							
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上	無回答	
子どもの年齢別	0歳	349	89	142	42	36	5	-	35
		100.0	25.5	40.7	12.0	10.3	1.4	-	10.0
	1歳	314	88	68	48	59	5	1	45
		100.0	28.0	21.7	15.3	18.8	1.6	0.3	14.3
	2歳	248	78	65	26	33	5	1	40
		100.0	31.5	26.2	10.5	13.3	2.0	0.4	16.1
	3歳	214	62	56	20	26	14	2	34
	100.0	29.0	26.2	9.3	12.1	6.5	0.9	15.9	
4歳	183	62	39	10	27	6	4	35	
	100.0	33.9	21.3	5.5	14.8	3.3	2.2	19.1	
5歳	197	63	56	21	24	4	2	27	
	100.0	32.0	28.4	10.7	12.2	2.0	1.0	13.7	

さらに、利用希望者数の多い「幼稚園」、「認可保育所」の利用開始を希望する年齢についてみると、「幼稚園」では「3歳」が最も多く、「4歳」を合わせると大部分を占める。「認可保育所」では、「0歳」及び「1歳」で概ね半数以上となっている。(図表 3-1-3)

図表 3-1-4 定期的に利用したい事業／家族構成別（○はいくつでも）

		(上段：件 下段：%)																
		調査数	幼稚園	認可保育所	保育幼稚園の預かり	認定子ども園	室室・せんだい幼稚園保育	設事業所内保育施設	ポト台すくすくサ	仙台すくすくサ	(家庭保育福祉員)	保等の居宅訪問型	ベビータワー	小規模保育施設	保その他の認可外	その他	の特に希望するも	無回答
家族構成別	両親と子ども	3,365 100.0	1,997 59.3	1,209 35.9	837 24.9	672 20	188 5.6	159 4.7	117 3.5	65 1.9	58 1.7	59 1.8	44 1.3	30 0.9	142 4.2	125 3.7		
	ひとり親と子ども	239 100.0	104 43.5	106 44.4	51 21.3	36 15.1	14 5.9	8 3.3	18 7.5	8 3.3	9 3.8	3 1.3	5 2.1	3 1.3	14 5.9	15 6.3		
	多世代同居	503 100.0	306 60.8	169 33.6	117 23.3	78 15.5	19 3.8	16 3.2	18 3.6	9 1.8	10 2	2 0.4	4 0.8	3 0.6	34 6.8	25 5		

家族構成別にみると、「両親と子ども」、「多世代同居」の場合、「幼稚園」を希望する比率が最も高い。「ひとり親と子ども」の場合、「認可保育所」(44.4%)が最も高いが、「幼稚園」(43.5%)も同程度ある。(図表 3-1-4)

図表 3-1-5 定期的に利用したい事業／両親の就労状況別（○はいくつでも）

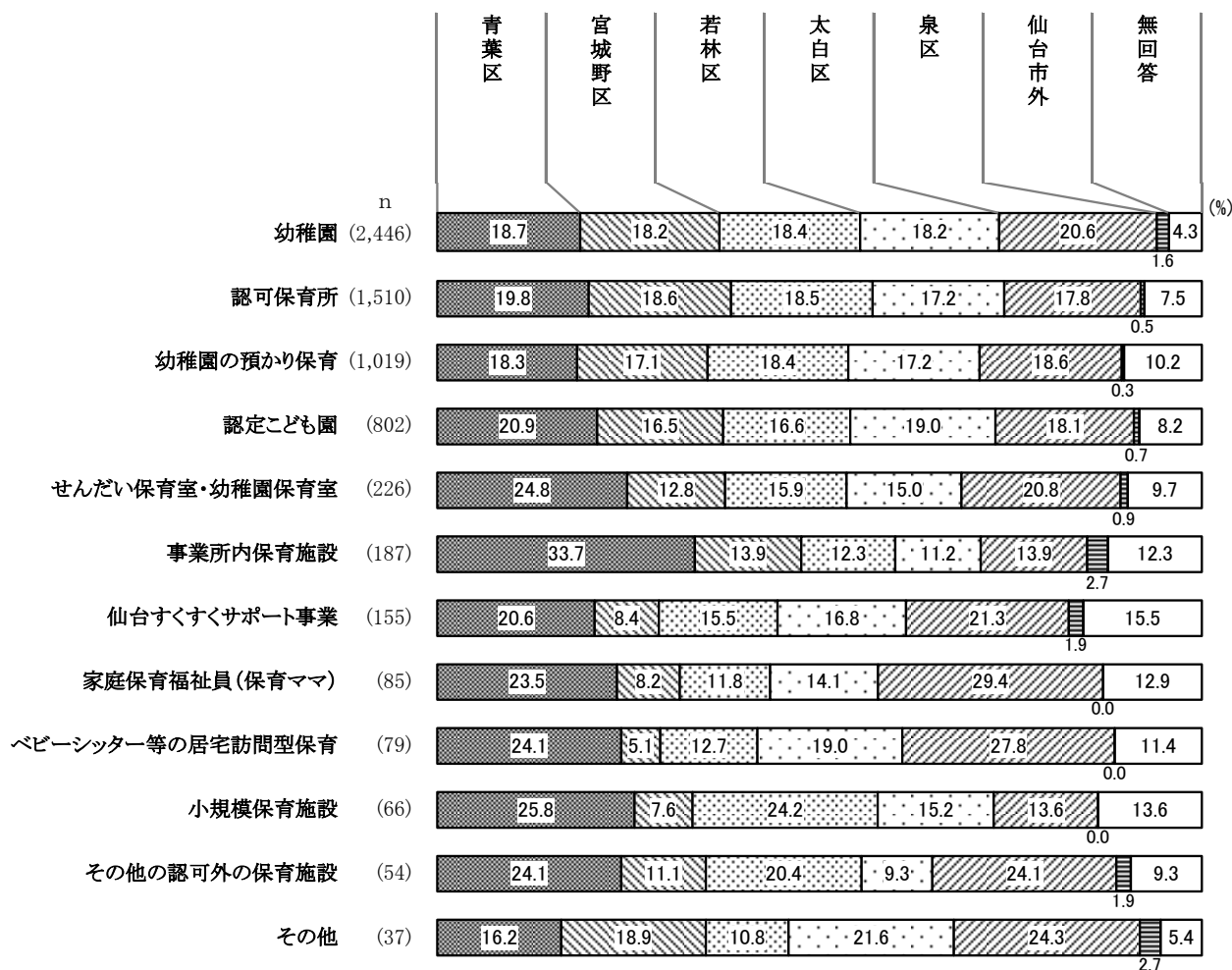
		(上段：件 下段：%)																
		調査数	幼稚園	認可保育所	保育幼稚園の預かり	認定子ども園	室室・せんだい幼稚園保育	設事業所内保育施設	ポト台すくすくサ	仙台すくすくサ	(家庭保育福祉員)	保等の居宅訪問型	ベビータワー	小規模保育施設	保その他の認可外	その他	の特に希望するも	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,713 100.0	662 38.6	944 55.1	452 26.4	443 25.9	124 7.2	92 5.4	49 2.9	45 2.6	36 2.1	20 1.2	29 1.7	19 1.1	61 3.6	57 3.3		
	父親のみ就労	1,979 100.0	1,553 78.5	384 19.4	472 23.9	290 14.7	77 3.9	82 4.1	78 3.9	31 1.6	31 1.6	38 1.9	21 1.1	11 0.6	95 4.8	72 3.6		
	母親のみ就労	226 100.0	73 32.3	114 50.4	44 19.5	31 13.7	15 6.6	7 3.1	12 5.3	3 1.3	3 1.3	6 2.7	2 0.9	4 1.8	19 8.4	20 8.8		
	親は働いていない	215 100.0	140 65.1	54 25.1	42 19.5	34 15.8	8 3.7	4 1.9	13 6.0	4 1.9	7 3.3	2 0.9	1 0.5	3 1.4	15 7.0	13 6.0		

両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「認可保育所」の利用を希望する比率が最も高く、「父親のみ就労」、「親は働いていない」の場合、「幼稚園」が最も高い。(図表 3-1-5)

## (2) 利用を希望する事業の実施場所

問10 利用したい事業の、利用を希望する場所について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 3-2-1 利用を希望する事業の実施場所 (○は1つだけ)

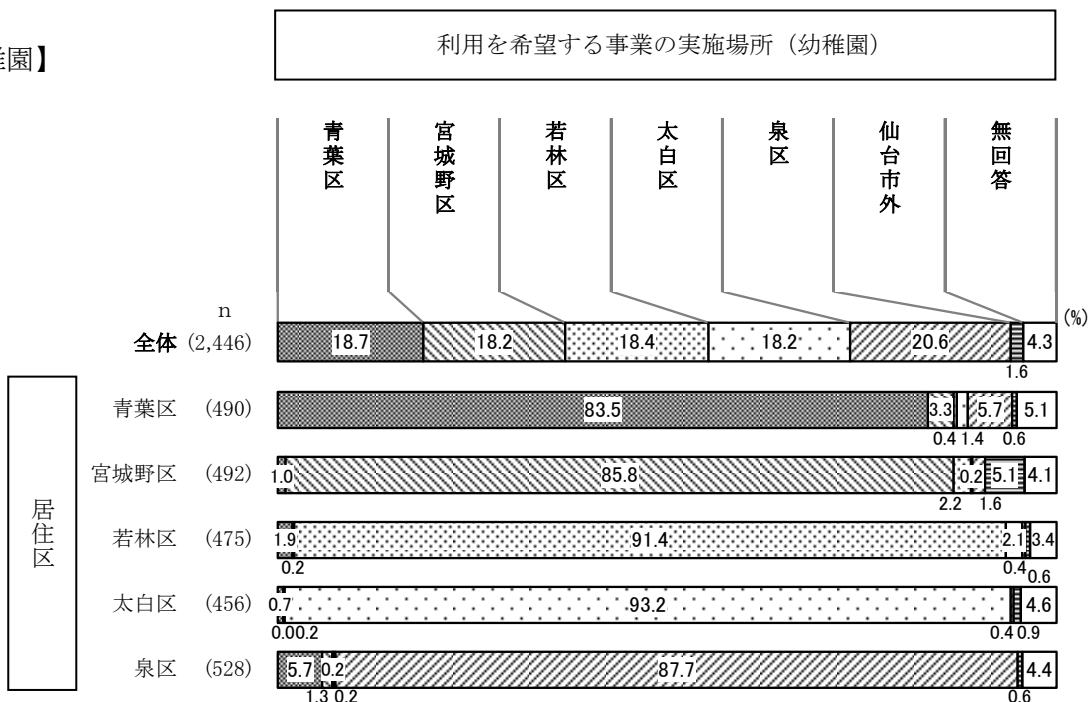


定期的にご利用したいと考える事業の実施場所について尋ねたところ、利用希望者数の多い「幼稚園」、「認可保育所」、「幼稚園の預かり保育」、「認定こども園」では、地域ごとの差はあまり見られない。

上記以外の事業では、地域ごとのばらつきがみられるが、概ね「青葉区」、「泉区」での利用を希望する比率が高い。特に、事業所内保育施設では「青葉区」(33.7%)、家庭保育福祉員(保育ママ)では「泉区」(29.4%)が高い。(図表 3-2-1)

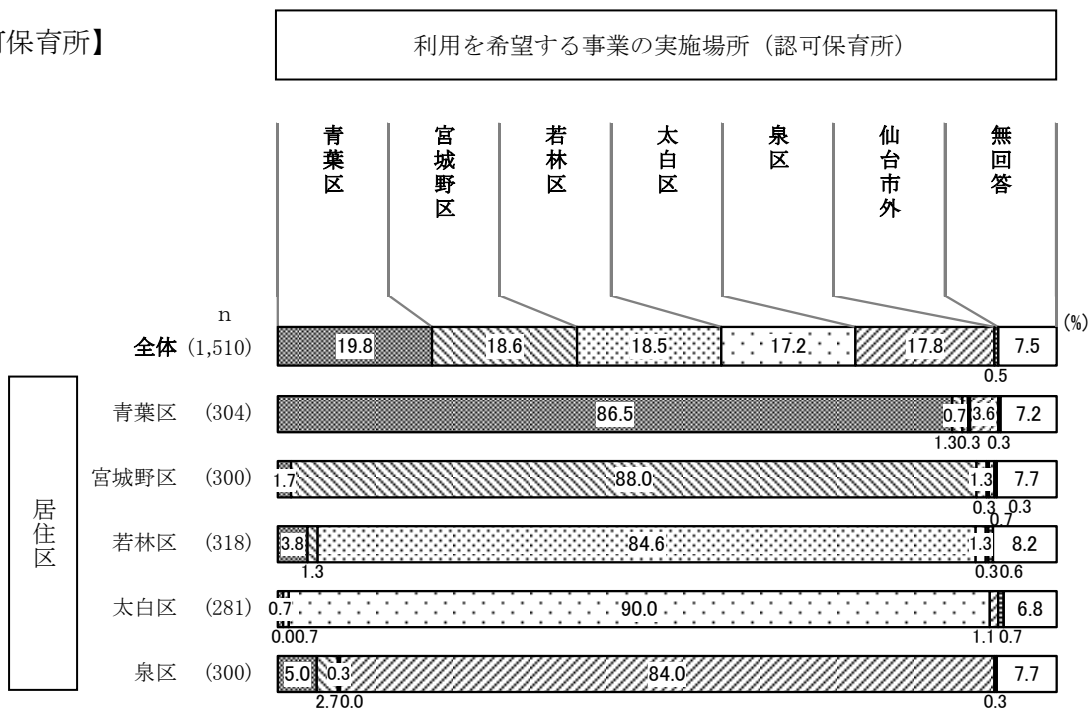
図表 3-2-2 利用を希望する事業の実施場所（幼稚園）／居住区別（○は1つだけ）

【幼稚園】



図表 3-2-3 利用を希望する事業の実施場所（認可保育所）／居住区別（○は1つだけ）

【認可保育所】



利用希望者数の多い、「幼稚園」、「認可保育所」についてみると、ともに居住区内での利用を希望する比率が最も高いが、「幼稚園」利用希望者のうち、青葉区と宮城野区の居住者は、居住区以外での利用希望が1割程度と、他区の居住者に比べ高い。また、「認可保育所」利用希望者のうち、若林区と泉区の居住者は、居住区以外での利用希望が1割弱と他区の居住者に比べ高く、居住区によって、居住区外の事業の利用希望は異なる。（図表 3-2-2、図表 3-2-3）

### (3) 幼稚園・保育施設等の利用状況と利用希望の比較

問8-1 年間を通じて「定期的に」利用している事業の番号すべてに○をつけてください。

問10 現在「利用している」、「利用していない」にかかわらず、宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育施設等として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

図表 3-3-1 幼稚園・保育施設等の利用状況と利用希望 (○はいくつでも)

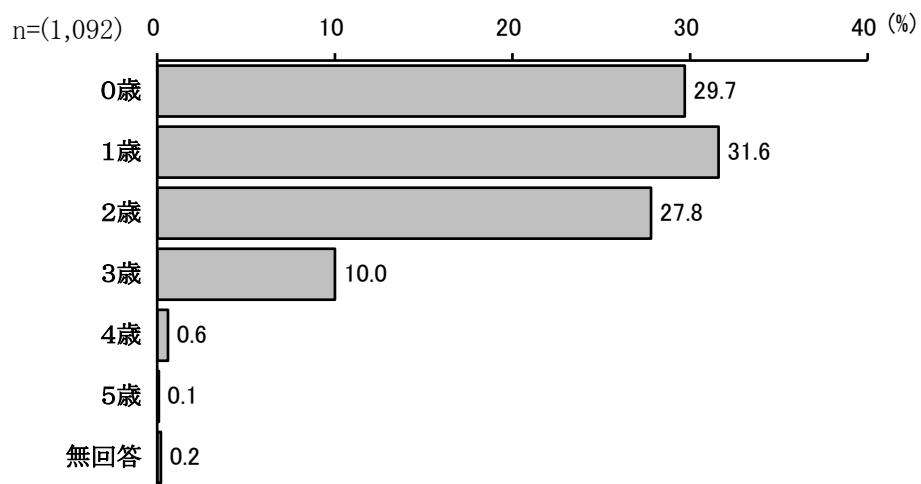
(上段：件 下段：%)

利用を希望する事業	調査数	幼稚園	認可保育所	幼稚園の預かり	認定こども園	せんだい保育園保育	事業所内保育施設	仙台すくすくサポート事業	(家庭保育福祉員(保育ママ))	保育等の居宅訪問型	ベビーシッター	小規模保育施設	その他の認可外	その他	の特にはない希望するも	無回答
現在利用している事業																
幼稚園	1,307 100.0	997 76.3	138 10.6	399 30.5	145 11.1	24 1.8	31 2.4	41 3.1	19 1.5	27 2.1	9 0.7	6 0.5	5 0.4	5 0.4	79 6.0	83 6.4
認可保育所	1,052 100.0	255 24.2	738 70.2	196 18.6	262 24.9	23 2.2	47 4.5	34 3.2	26 2.5	23 2.2	16 1.5	4 0.4	14 1.3	52 4.9	48 4.6	
幼稚園の預かり保育	252 100.0	182 72.2	45 17.9	154 61.1	51 20.2	7 2.8	6 2.4	8 3.2	10 4.0	7 2.8	3 1.2	3 1.2	2 0.8	12 4.8	13 5.2	
せんだい保育室・幼稚園保育室	195 100.0	52 26.7	99 50.8	43 22.1	64 32.8	76 39.0	14 7.2	5 2.6	4 2.1	4 2.1	1 0.5	8 4.1	4 2.1	4 2.1	4 4.1	
その他の認可外保育施設	91 100.0	34 37.4	47 51.6	29 31.9	35 38.5	12 13.2	3 3.3	4 4.4	1 1.1	6 6.6	4 4.4	14 15.4	1 1.1	2 2.2	1 1.1	
事業所内保育施設	49 100.0	17 34.7	15 30.6	14 28.6	15 30.6	-	12 24.5	1 2.0	-	3 6.1	1 2.0	-	-	2 4.1	1 2.0	
仙台すくすくサポート事業	25 100.0	9 36.0	11 44.0	6 24.0	11 44.0	1 4.0	3 12.0	5 20.0	1 4.0	4 16.0	-	1 4.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	
認定こども園	22 100.0	4 18.2	9 40.9	3 13.6	12 54.5	2 9.1	1 4.5	-	2 9.1	-	-	-	-	-	3 13.6	
家庭保育福祉員(保育ママ)	19 100.0	8 42.1	11 57.9	6 31.6	7 36.8	2 10.5	2 10.5	-	8 42.1	-	1 5.3	-	-	-	-	
ベビーシッター等の居宅訪問型保育	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	-	2 40.0	1 20.0	-	2 40.0	-	-	-	-	-	
その他	31 100.0	11 35.5	15 48.4	5 16.1	6 19.4	3 9.7	3 9.7	2 6.5	1 3.2	1 3.2	-	2 6.5	3 9.7	1 3.2	1 3.2	
利用していない	1,462 100.0	1,092 74.7	465 31.8	339 23.2	275 18.8	89 6.1	80 5.5	70 4.8	24 1.6	17 1.2	34 2.3	22 1.5	14 1.0	52 3.6	26 1.8	

現在利用している事業と利用を希望する事業を比較すると、「幼稚園」、「認可保育所」、「幼稚園の預かり保育」、「認定こども園」の利用者は、引き続きその事業の利用を希望する比率が最も高いが、「せんだい保育室・幼稚園保育室」、「その他の認可外保育施設」、「家庭保育福祉員(保育ママ)」の利用者は、「認可保育所」を希望する比率が最も高い。

また、幼稚園・保育施設等を「利用していない」と回答した人は、「幼稚園」の利用を希望する比率が最も高い。(図表 3-3-1)

図表 3-3-2 幼稚園・保育施設等未利用者のうち、幼稚園利用希望者／年齢別



現在、幼稚園・保育施設等を「利用していない」が、今後「幼稚園」の利用を希望している人の年齢についてみると、0～2歳で9割程度となっており、将来的に利用を希望している人が多いと考えられる。(図表 3-3-2)



図表 3-3-3 幼稚園・保育施設等の現状と希望の比較（利用日数）／全体

		調査数	利用日数					1週あたり 平均日数
			1日	2日	3日	4日	5日以上	
幼稚園	希望	2,446	0.3%	0.2%	0.2%	0.9%	95.1%	5.00日
	現状	1,307	0.9%	0.5%	-	0.6%	97.4%	4.95日
認可保育所	希望	1,510	1.1%	0.5%	1.7%	1.9%	91.3%	5.06日
	現状	1,052	1.3%	0.9%	1.2%	2.9%	92.7%	5.01日
幼稚園の預かり保育	希望	1,019	6.6%	5.7%	11.4%	3.8%	66.1%	4.36日
	現状	252	19.0%	7.9%	9.9%	9.5%	40.1%	3.56日
認定こども園	希望	802	0.4%	0.6%	2.2%	1.0%	91.8%	5.09日
	現状	22	-	-	-	-	72.7%	5.13日
せんだい保育室・幼稚園保育室	希望	226	2.2%	0.9%	2.7%	1.3%	88.5%	5.02日
	現状	195	1.0%	-	-	4.1%	93.3%	5.08日
事業所内保育施設	希望	187	4.3%	0.5%	0.5%	3.2%	85.6%	4.98日
	現状	49	4.1%	2.0%	4.1%	2.0%	81.6%	4.70日
仙台すくすくサポート事業	希望	155	44.5%	12.9%	5.8%	1.3%	15.5%	2.20日
	現状	25	48.0%	4.0%	4.0%	-	4.0%	1.47日
家庭保育福祉員（保育ママ）	希望	85	12.9%	4.7%	8.2%	2.4%	60.0%	4.19日
	現状	19	-	-	-	-	89.5%	5.06日
ベビーシッター等の居宅訪問型保育	希望	79	43.0%	15.2%	10.1%	2.5%	17.7%	2.33日
	現状	5	20.0%	20.0%	-	-	-	1.50日
小規模保育施設	希望	66	9.1%	6.1%	7.6%	3.0%	69.7%	4.35日
	現状	-	-	-	-	-	-	-
その他の認可外保育施設	希望	54	3.7%	1.9%	7.4%	3.7%	74.1%	4.80日
	現状	91	4.4%	2.2%	3.3%	2.2%	79.1%	4.87日
その他	希望	37	10.8%	18.9%	5.4%	2.7%	29.7%	3.48日
	現状	31	32.3%	12.9%	12.9%	-	35.5%	2.93日

利用日数の現状と希望を比較すると、「幼稚園」と「認可保育所」では、現状と希望に大きな差はみられない。「幼稚園の預かり保育」については、現状では1週あたり3.56日の利用であるが、希望では4.36日となっており、希望として「週5日以上」利用したいと考えている人の比率が、現状よりも高い。（図表 3-3-3）

図表 3-3-4 幼稚園・保育施設等の現状と希望の比較（利用時間）／全体

		調査数	利用時間				
			1日あたり 平均時間	開始時間 (最頻値)		終了時間 (最頻値)	
幼稚園	希望	2,446	5.98時間	9時台	65.3%	14時台	46.0%
	現状	1,307	5.20時間	9時台	74.3%	14時台	79.3%
認可保育所	希望	1,510	9.34時間	8時台	45.8%	18時台	35.8%
	現状	1,052	9.31時間	8時台	48.1%	18時台	39.7%
幼稚園の預かり保育	希望	1,019	4.75時間	14時台	44.2%	18時台	30.9%
	現状	252	3.49時間	14時台	65.5%	17時台	30.6%
認定こども園	希望	802	9.17時間	8時台	41.0%	18時台	33.9%
	現状	22	8.55時間	9時台	50.0%	17時台	40.9%
せんだい保育室・幼稚園保育室	希望	226	9.43時間	8時台	44.2%	18時台	39.8%
	現状	195	9.60時間	8時台	55.9%	18時台	48.7%
事業所内保育施設	希望	187	9.21時間	8時台	43.3%	18時台	39.0%
	現状	49	9.23時間	8時台	57.1%	18時台	53.1%
仙台すくすくサポート事業	希望	155	4.62時間	10時台	20.0%	15時台	11.0%
	現状	25	2.73時間	18時台	12.0%	19時台	12.0%
				19時台	12.0%	-	-
家庭保育福祉員（保育ママ）	希望	85	8.36時間	8時台	29.4%	18時台	32.9%
	現状	19	9.22時間	8時台	57.9%	18時台	42.1%
ベビーシッター等の居宅訪問型保育	希望	79	5.04時間	9時台	25.3%	16時台	13.9%
				-	-	18時台	13.9%
	現状	5	3.00時間	19時台	40.0%	21時台	20.0%
小規模保育施設	希望	66	7.88時間	8時台	37.9%	18時台	28.8%
	現状	-	-	-	-	-	-
その他の認可外保育施設	希望	54	9.04時間	8時台	38.9%	18時台	29.6%
	現状	91	8.74時間	8時台	36.3%	18時台	35.2%
その他	希望	37	6.93時間	8時台	16.2%	18時台	16.2%
				9時台	16.2%	-	-
	現状	31	4.71時間	10時台	45.2%	14時台	32.3%

利用時間の現状と希望について、開始時間及び終了時間の最頻値をみると、「認定こども園」は、開始時間の希望が8時台、終了時間の希望が18時台と、現状よりもそれぞれ1時間拡大する希望が多い。(図表 3-3-4)

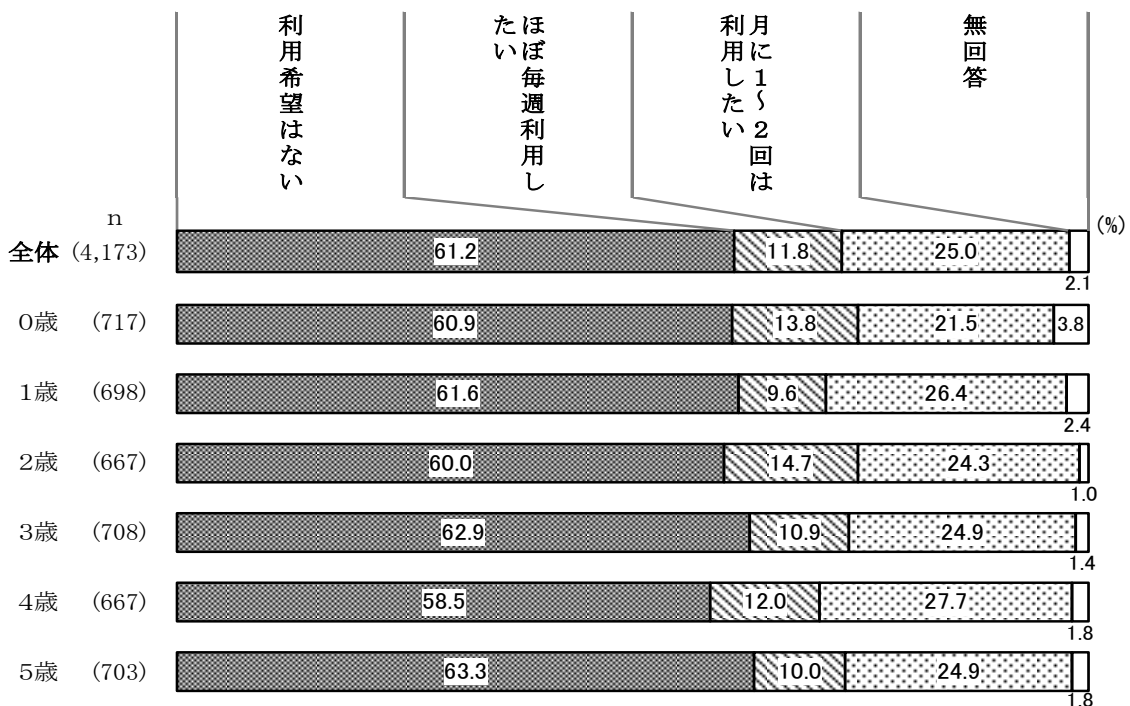
## 4. 土曜・休日の幼稚園・保育施設等の利用希望について

### (1) 土曜日の利用希望

問11 現在、宛名のお子さんについて、土曜日に、幼稚園・保育施設等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、利用希望がある場合は、利用したい時間帯について、(例) 8時～18時のように24時間制で[ ]内に数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※ 「幼稚園・保育施設等」とは、幼稚園や保育所など、問8-1や問10に示した事業が含まれますが、親族・知人による預かりは含みません。

図表 4-1-1 幼稚園・保育施設等の利用希望（土曜日）／年齢別（○は1つだけ）



土曜日の幼稚園・保育施設等の利用希望について尋ねたところ、全体では「利用希望はない」が61.2%と最も高く、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた《利用したい》は36.8%となっている。

年齢別にみても、同様の傾向にある。(図表 4-1-1)

図表 4-1-2 幼稚園・保育施設等の利用希望（土曜日）／家族構成別（○は1つだけ）

(上段：件 下段：%)

		調査数	利用希望はない	たほ いほ 毎週 利用し	月に 1 回 は	無回答
家族構成別	両親と子ども	3,365 100.0	2,102 62.5	365 10.8	830 24.7	68 2.0
	ひとり親と子ども	239 100.0	104 43.5	53 22.2	77 32.2	5 2.1
	多世代同居	503 100.0	307 61.0	65 12.9	117 23.3	14 2.8

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた《利用したい》が54.4%と、他の家族構成に比べ高い。(図表 4-1-2)

図表 4-1-3 幼稚園・保育施設等の利用希望（土曜日）／両親の就労状況別（○は1つだけ）

(上段：件 下段：%)

		調査数	利用希望はない	たほ いほ 毎週 利用し	月に 1 回 は	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,713 100.0	750 43.8	330 19.3	606 35.4	27 1.6
	父親のみ就労	1,979 100.0	1,540 77.8	80 4.0	313 15.8	46 2.3
	母親のみ就労	226 100.0	78 34.5	66 29.2	76 33.6	6 2.7
	親は働いていない	215 100.0	162 75.3	9 4.2	39 18.1	5 2.3

両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた《利用したい》の比率が他の就労状況に比べ高く、特に、「母親のみ就労」の場合、《利用したい》は62.8%と高い。(図表 4-1-3)

図表 4-1-4 幼稚園・保育施設等の利用希望時間（土曜日）／全体

【ほぼ毎週】

【月 1～2 回】

n=492

n=1,042

《開始時間》	
	%
6時以前	-
6時台	0.6
7時台	17.3
8時台	42.5
9時台	32.7
10時台	1.6
11時台	0.2
12時台	0.4
13時台	-
14時台	0.2
15時台	-
16時台	-
17時台	0.2
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	4.3

《終了時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	-
12時台	1.2
13時台	2.8
14時台	2.6
15時台	5.1
16時台	6.3
17時台	19.3
18時台	38.0
19時台	13.6
20時台	5.5
21時台	0.4
22時台	0.4
23時台	-
24時以降	0.2
無回答	4.5

《開始時間》	
	%
6時以前	-
6時台	0.1
7時台	9.7
8時台	33.6
9時台	43.1
10時台	6.6
11時台	0.5
12時台	0.3
13時台	0.3
14時台	0.1
15時台	-
16時台	0.2
17時台	0.3
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	5.3

《終了時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	0.1
9時台	-
10時台	-
11時台	0.2
12時台	3.0
13時台	2.7
14時台	6.1
15時台	13.0
16時台	12.8
17時台	22.7
18時台	26.8
19時台	5.7
20時台	1.3
21時台	0.1
22時台	0.3
23時台	0.1
24時以降	-
無回答	5.2

利用希望時間についてみると、「ほぼ毎週利用したい」では、開始時間は「8 時台」（42.5%）、終了時間は「18 時台」（38.0%）が最も高い。

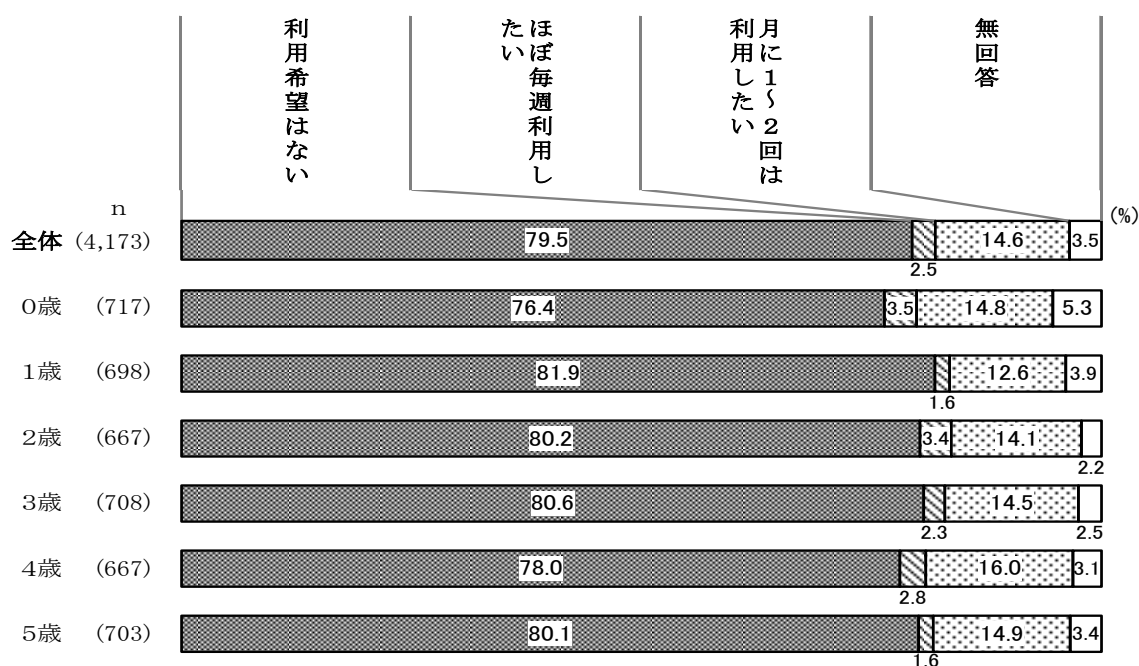
「月 1～2 回は利用したい」では、開始時間は「9 時台」（43.1%）、終了時間は「18 時台」（26.8%）が最も高い。（図表 4-1-4）

## (2) 日曜日・祝日の利用希望

問1 現在、宛名のお子さんについて、日曜日・祝日に、幼稚園・保育施設等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。当てはまる番号1つに○をつけ、利用希望がある場合は、利用したい時間帯について、（例）8時～18時のように24時間制で[ ]内に数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※ 「幼稚園・保育施設等」とは、幼稚園や保育所など、問8-1や問10に示した事業が含まれますが、親族・知人による預かりは含みません。

図表 4-2-1 幼稚園・保育施設等の利用希望（日曜日・祝日）／年齢別（○は1つだけ）



日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望について尋ねたところ、全体では「利用希望はない」が8割を占め、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた《利用したい》は17.1%となっている。

年齢別にみても、同様の傾向にある。（図表 4-2-1）

図表 4-2-2 幼稚園・保育施設等の利用希望（日曜日・祝日）／家族構成別（○は1つだけ）

(上段：件 下段：%)

		調査数	利用希望はない	たほ いぼ 毎週 利用し	月に 1 た い 2 回は	無回答
家族 構成 別	両親と子ども	3,365	2,705	76	465	119
		100.0	80.4	2.3	13.8	3.5
	ひとり親と子ども	239	164	12	57	6
		100.0	68.6	5.0	23.8	2.5
	多世代同居	503	396	16	72	19
		100.0	78.7	3.2	14.3	3.8

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「月に 1～2 回は利用したい」の比率が、他の家族構成に比べ高い。(図表 4-2-2)

図表 4-2-3 幼稚園・保育施設等の利用希望（日曜日・祝日）／両親の就労状況別（○は1つだけ）

(上段：件 下段：%)

		調査数	利用希望はない	たほ いぼ 毎週 利用し	月に 1 た い 2 回は	無回答
両親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,713	1,227	65	366	55
		100.0	71.6	3.8	21.4	3.2
	父親のみ就労	1,979	1,737	21	152	69
		100.0	87.8	1.1	7.7	3.5
	母親のみ就労	226	141	17	58	10
		100.0	62.4	7.5	25.7	4.4
	親は働いていない	215	182	-	27	6
		100.0	84.7	-	12.6	2.8

両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「月に 1～2 回は利用したい」の比率が、他の就労状況に比べ高い。(図表 4-2-3)

図表 4-2-4 幼稚園・保育施設等の利用希望時間（日曜日・祝日）／全体

【ほぼ毎週】

【月 1～2 回】

n=105

n=608

《開始時間》	
	%
6時以前	-
6時台	1.0
7時台	21.0
8時台	37.1
9時台	35.2
10時台	1.9
11時台	-
12時台	-
13時台	-
14時台	-
15時台	-
16時台	-
17時台	-
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	3.8

《終了時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	-
12時台	-
13時台	-
14時台	1.0
15時台	3.8
16時台	4.8
17時台	12.4
18時台	40.0
19時台	17.1
20時台	15.2
21時台	1.0
22時台	1.0
23時台	-
24時以降	-
無回答	3.8

《開始時間》	
	%
6時以前	0.2
6時台	0.5
7時台	13.0
8時台	35.5
9時台	37.7
10時台	6.4
11時台	0.7
12時台	0.3
13時台	0.5
14時台	0.2
15時台	-
16時台	-
17時台	0.3
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	4.8

《終了時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	0.2
9時台	-
10時台	-
11時台	0.2
12時台	2.1
13時台	1.3
14時台	3.1
15時台	8.7
16時台	10.0
17時台	21.7
18時台	33.4
19時台	10.7
20時台	3.1
21時台	0.3
22時台	0.3
23時台	-
24時以降	-
無回答	4.8

利用希望時間についてみると、「ほぼ毎週利用したい」では、開始時間は「8 時台」（37.1%）、終了時間は「18 時台」（40.0%）が最も高い。「月 1～2 回は利用したい」では、開始時間は「9 時台」（37.7%）、終了時間は「18 時台」（33.4%）が最も高い。（図表 4-2-4）

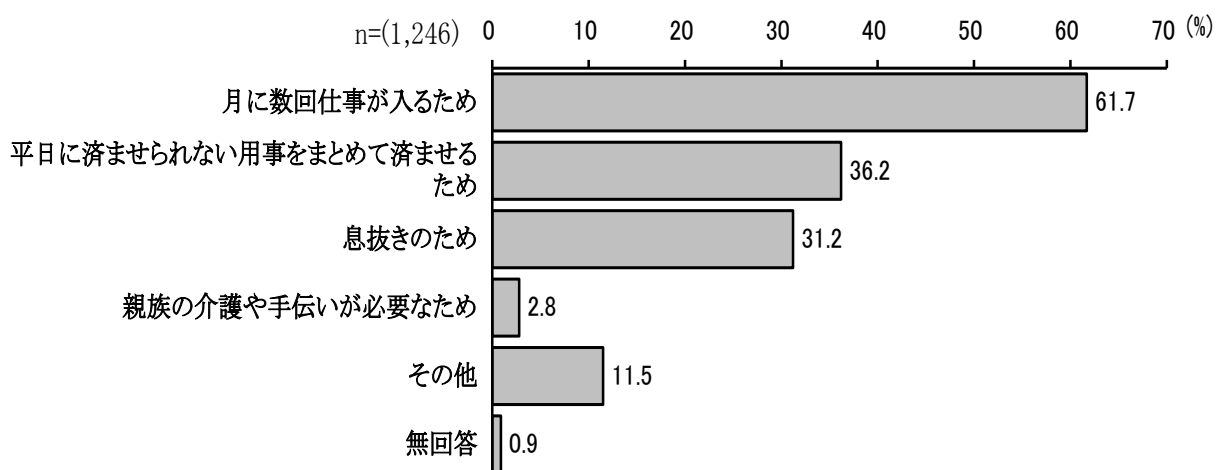


### (3) 毎週ではなく、たまに利用したい理由

問12 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『4(1) 土曜日の利用希望』または『4(2) 日曜日・祝日の利用希望』で、「月に1~2回は利用したい」と回答した方のみ

図表 4-3-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由／全体 (○はいくつでも)



土曜日または日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等を、毎週ではなく、たまに利用したい理由について尋ねたところ、「月に数回仕事が入るため」(61.7%)が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(36.2%)、「息抜きのため」(31.2%)となっている。(図表 4-3-1)

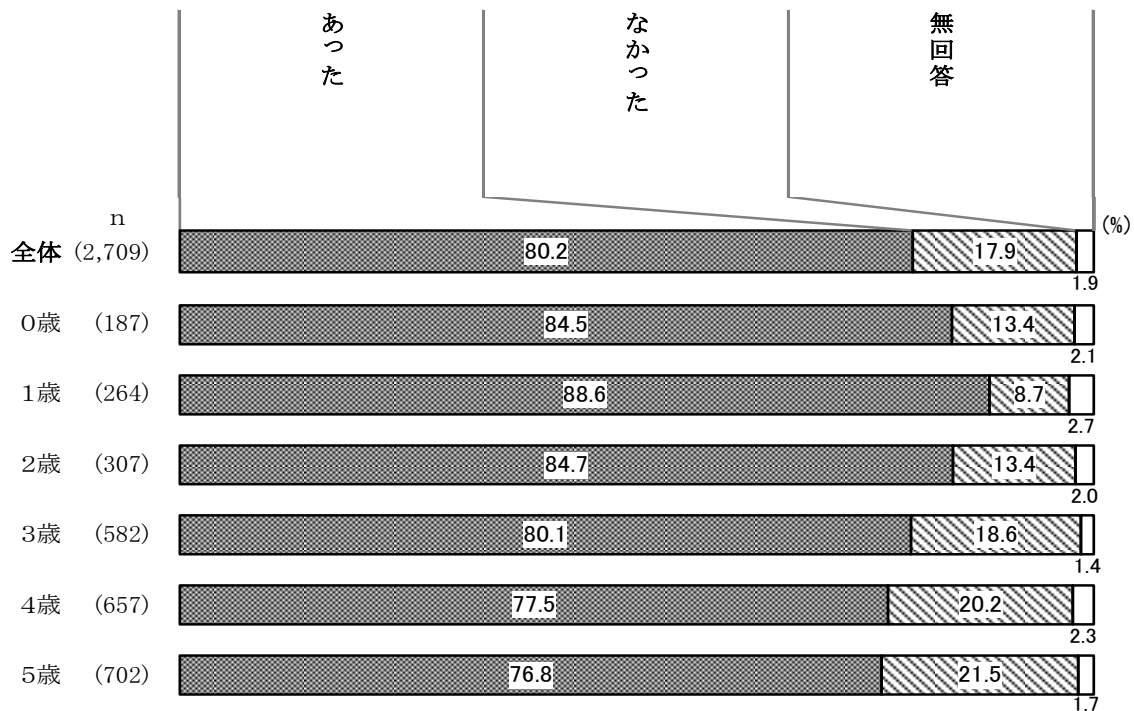
## 5. 病気の際の対応について

### (1) 幼稚園・保育施設等が利用できなかったことの有無

問13 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで、幼稚園・保育施設等が利用できなかったことはありますか。

※ 『2 (1) 平日の幼稚園・保育施設等の利用状況』で、「利用している」と回答した方のみ

図表 5-1-1 幼稚園・保育施設等が利用できなかったことの有無／年齢別 (○は1つだけ)



子どもが病気やケガで、幼稚園・保育施設等が利用できなかったことの有無について尋ねたところ、全体では「あった」が80.2%となっている。

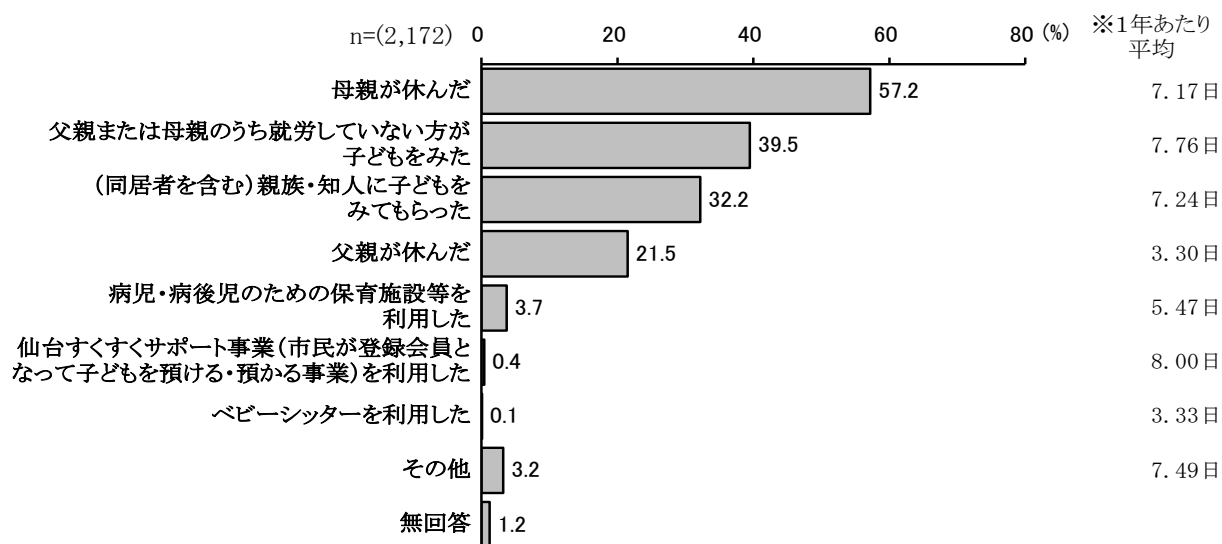
年齢別にみても、「あった」が多い傾向に変わりはないが、年齢が上がるにつれてその比率は減少する傾向にある。(図表 5-1-1)

## (2) 幼稚園・保育施設等が利用できなかった場合の対応

問13-1 その場合、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も[ ]内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

※ 『5 (1) 幼稚園・保育施設等が利用できなかったことの有無』で、「あった」と回答した方のみ

図表 5-2-1 幼稚園・保育施設等が利用できなかった場合の対応／全体（○はいくつでも）



幼稚園・保育施設等が利用できなかった場合の対応については、「母親が休んだ」(57.2%)が最も高く、その年間の平均日数は7.17日となっている。その他、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」(39.5%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(32.2%)、「父親が休んだ」(21.5%)といった、子どもの保護者や親族・知人による対応が殆どであり、「病児・病後児のための保育施設等を利用した」(3.7%)、「仙台すくすくサポート事業(市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業)を利用した」(0.4%)、「ベビーシッターを利用した」(0.1%)といった、施設や事業を利用した比率は低い。(図表 5-2-1)

図表 5-2-2 幼稚園・保育施設等が利用できなかった場合の対応／家族構成別（〇はいくつでも）

(上段：件 下段：%)

		調査数	母親が休んだ	い父 方が また は子 ども を み た	も（同 居者 を 含 む） を み て も ら つ た	父 親 が 休 ん だ	利 用 し た	預 登 仙 台 か る 会 員 と な っ て サ ポ ー ト 事 業 （ 市 民 が 預 け る 事 業） を 利 用 し た	ベ ビ ー シ ッ タ ー を 利 用 し た	そ の 他	無 回 答
家 族 構 成 別	両親と子ども	1,748 100.0	999 57.2	726 41.5	526 30.1	424 24.3	64 3.7	7 0.4	2 0.1	48 2.7	20 1.1
	ひとり親と子ども	161 100.0	110 68.3	34 21.1	61 37.9	21 13.0	15 9.3	1 0.6	1 0.6	11 6.8	3 1.9
	多世代同居	233 100.0	117 50.2	87 37.3	107 45.9	17 7.3	2 0.9	- -	- -	10 4.3	2 0.9

家族構成別にみると、「多世代同居」の場合、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の比率が、他の家族構成に比べ高い。

また、「ひとり親と子ども」の場合、「病児・病後児のための保育施設等を利用した」の比率が、他の家族構成に比べ高い。(図表 5-2-2)

図表 5-2-3 幼稚園・保育施設等が利用できなかった場合の対応／両親の就労状況別（〇はいくつでも）

(上段：件 下段：%)

		調査数	母親が休んだ	い父 方が また は子 ども を み た	も（同 居者 を 含 む） を み て も ら つ た	父 親 が 休 ん だ	利 用 し た	預 登 仙 台 か る 会 員 と な っ て サ ポ ー ト 事 業 （ 市 民 が 預 け る 事 業） を 利 用 し た	ベ ビ ー シ ッ タ ー を 利 用 し た	そ の 他	無 回 答
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,273 100.0	1,055 82.9	182 14.3	571 44.9	417 32.8	62 4.9	6 0.5	1 0.1	55 4.3	15 1.2
	父親のみ就労	657 100.0	43 6.5	601 91.5	45 6.8	30 4.6	3 0.5	1 0.2	1 0.2	5 0.8	6 0.9
	母親のみ就労	163 100.0	133 81.6	16 9.8	77 47.2	18 11.0	16 9.8	1 0.6	- -	9 5.5	- -
	親は働いていない	63 100.0	4 6.3	52 82.5	5 7.9	1 1.6	- -	- -	- -	1 1.6	5 7.9

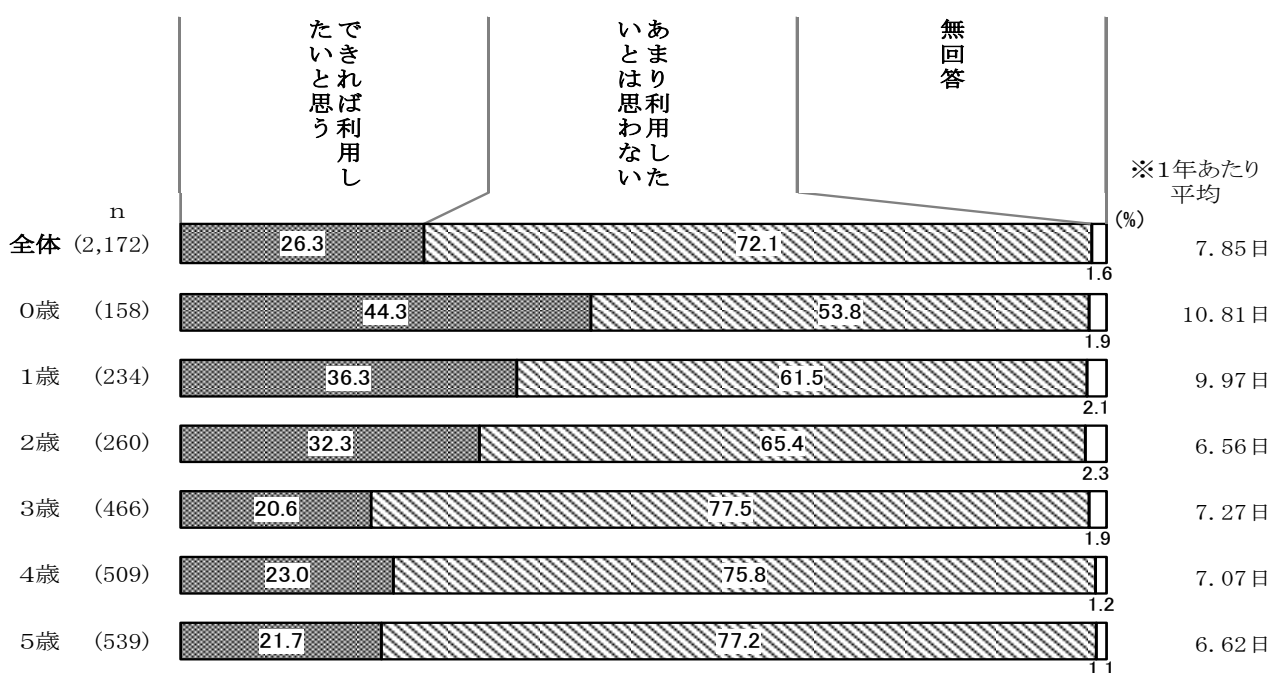
両親の就労状況別にみると、「共働き」の場合、「母親が休んだ」が 82.9%に対し、「父親が休んだ」(32.8%) と大きな開きがある。(図表 5-2-3)

### (3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

問13-2 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、この1年間の日数についても[ ]内に数字でご記入ください。  
 当該施設は、仙台市内には青葉区中山、宮城野区東仙台、太白区長町南、泉区高森の計4ヶ所あります。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、一定の利用料（現在の利用料は、1日あたり2,000円）がかかり、利用前に、かかりつけ医の受診が必要となります。

※ 『5（1）幼稚園・保育施設等が利用できなかったことの有無』で「あった」と回答した方のみ

図表 5-3-1 病児・病後児のための保育施設等の利用希望／年齢別（○は1つだけ）



病児・病後児のための保育施設等の利用希望について尋ねたところ、全体では、「できれば利用したいと思う」が26.3%となっており、利用希望の年間平均日数は7.85日となっている。

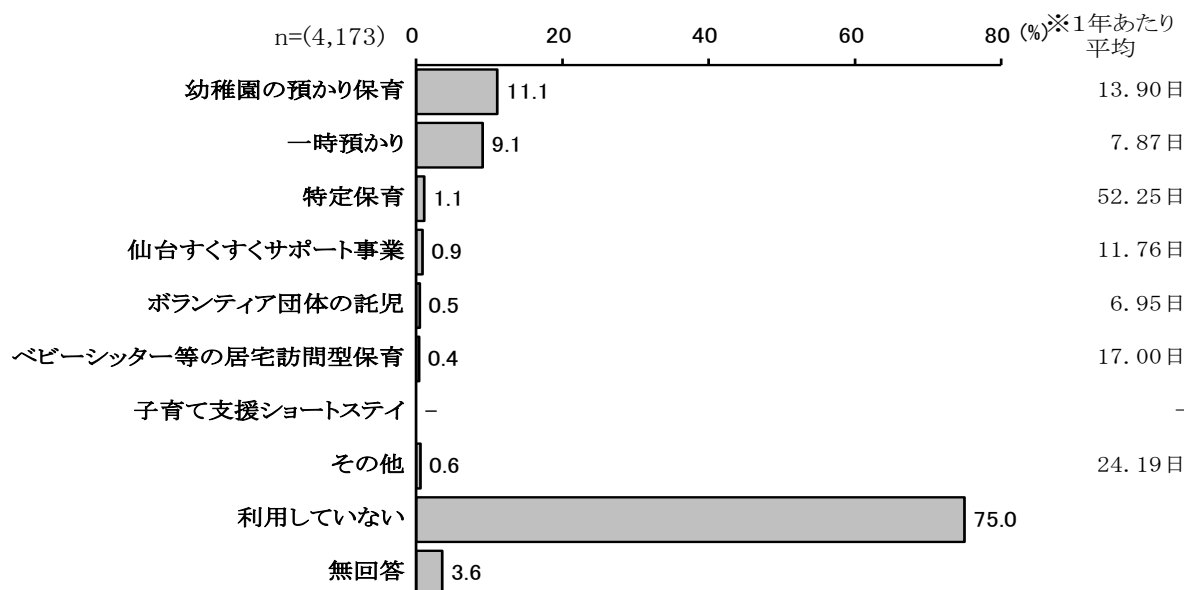
年齢別にみると、「できれば利用したいと思う」は、「0歳」で4割台、「1～2歳」で3割台、「3～5歳」では2割台となり、年齢が上がるにつれて利用を希望する比率は低下する傾向にあり、利用希望の日数も減少する傾向にある。（図表 5-3-1）

## 6. 不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて

### (1) 不定期に利用している一時預かり事業

問14 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している一時預かりの事業はありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、この1年間の利用日数（おおよそ）も[ ]内に数字でご記入ください。

図表 6-1-1 不定期に利用している一時預かり事業／全体（○はいくつでも）



不定期に利用している一時預かり事業について尋ねたところ、「利用していない」（75.0%）が最も高い。利用している事業の中では「幼稚園の預かり保育」（11.1%）と「一時預かり」（9.1%）の比率が高く、これらの年間の平均利用日数は概ね10日前後となっている。（図表 6-1-1）

図表 6-1-2 不定期的に利用している一時預かり事業／家族構成別（〇はいくつでも）

		(上段：件 下段：%)											
		調査数	幼稚園の預かり保育	一時預かり	特定保育	業仙 台す くす くサ ポ ー ト 事	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 の 託 児	訪 問 型 保 育	ベ ビ ー シ ツ タ ー 等 の 居 宅	イ 子 育 て 支 援 シ ョ ー ト ス テ	そ の 他	利 用 し て い な い	無 回 答
家 族 構 成 別	両親と子ども	3,365 100.0	383 11.4	317 9.4	41 1.2	35 1.0	15 0.4	13 0.4	1 0.0	22 0.7	2,497 74.2	125 3.7	
	ひとり親と子ども	239 100.0	19 7.9	22 9.2	1 0.4	1 0.4	3 1.3	3 1.3	-	3 1.3	180 75.3	12 5.0	
	多世代同居	503 100.0	55 10.9	34 6.8	4 0.8	-	-	2 0.4	-	-	2 0.4	402 79.9	12 2.4

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合は「幼稚園の預かり保育」の比率が、また、「多世代同居」の場合は「一時預かり」の比率が、他の家族構成に比べやや低い。（図表 6-1-2）

図表 6-1-3 不定期的に利用している一時預かり事業／両親の就労状況別（〇はいくつでも）

		(上段：件 下段：%)											
		調査数	幼稚園の預かり保育	一時預かり	特定保育	業仙 台す くす くサ ポ ー ト 事	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 の 託 児	訪 問 型 保 育	ベ ビ ー シ ツ タ ー 等 の 居 宅	イ 子 育 て 支 援 シ ョ ー ト ス テ	そ の 他	利 用 し て い な い	無 回 答
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,713 100.0	123 7.2	97 5.7	30 1.8	13 0.8	7 0.4	10 0.6	-	12 0.7	1,375 80.3	75 4.4	
	父親のみ就労	1,979 100.0	303 15.3	242 12.2	13 0.7	17 0.9	12 0.6	3 0.2	1 0.1	11 0.6	1,384 69.9	52 2.6	
	母親のみ就労	226 100.0	14 6.2	17 7.5	2 0.9	4 1.8	1 0.4	1 0.4	-	3 1.3	179 79.2	10 4.4	
	親は働いていない	215 100.0	24 11.2	22 10.2	1 0.5	3 1.4	1 0.5	1 0.5	-	1 0.5	161 74.9	8 3.7	

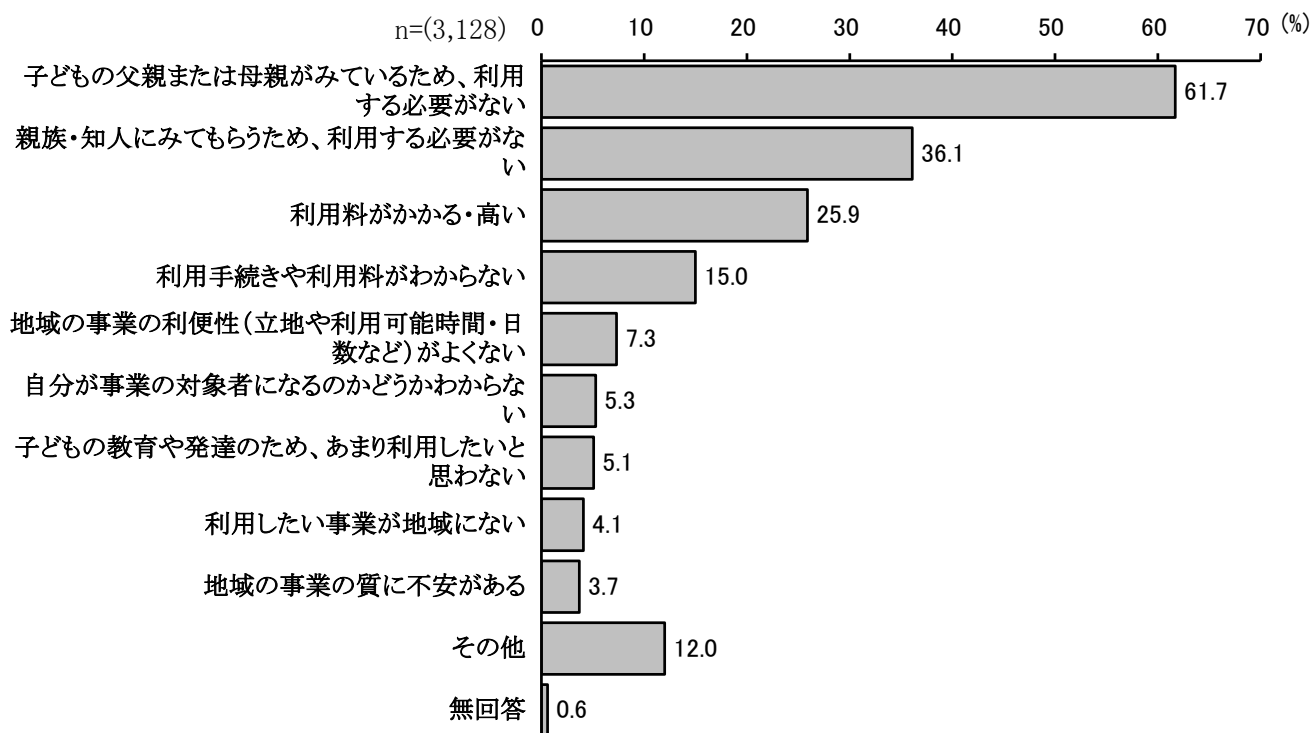
両親の就労状況別にみると、「父親のみ就労」と「親は働いていない」の場合、「幼稚園の預かり保育」と「一時預かり」の比率が、他の就労状況に比べ高い。（図表 6-1-3）

## (2) 一時預かり事業を利用していない理由

問14-1 利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『6 (1) 不定期に利用している一時預かり事業』で「利用していない」と回答した方のみ

図表 6-2-1 一時預かり事業を利用していない理由／全体 (○はいくつでも)



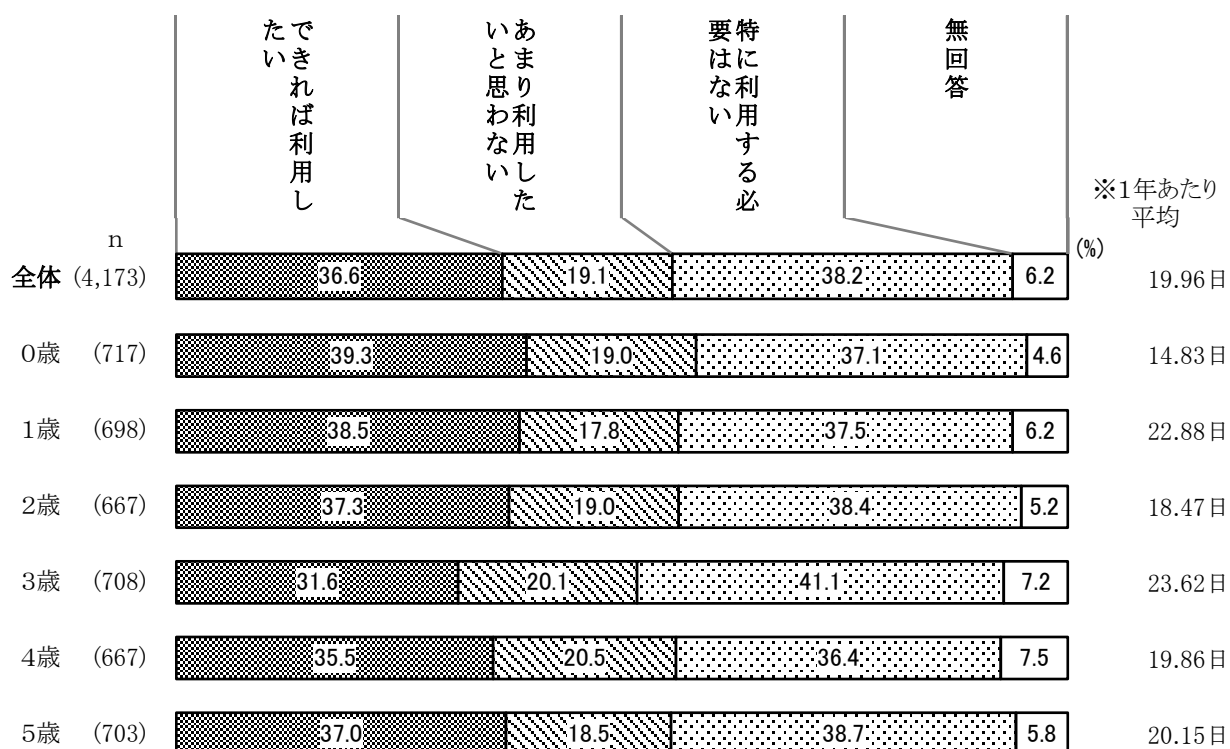
一時預かり事業を利用していない理由について尋ねたところ、「子どもの父親または母親がみているため、利用する必要がない」(61.7%)、「親族・知人にみてもらうため、利用する必要がない」(36.1%)が高く、次いで、「利用料がかかる・高い」(25.9%)となっている。その他には、「利用手続きや利用料がわからない」(15.0%)、「地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」(7.3%)、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」(5.3%)といった、利用に際しての条件や利便性を理由とする回答がある。(図表 6-2-1)



### (3) 一時預かり事業の利用希望

問15 宛名のお子さんに関して、問14のような一時預かりの事業を利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけ、1年間で何日くらい利用したいか〔 〕内に数字でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

図表 6-3-1 一時預かり事業の利用希望／年齢別（○は1つだけ）



一時預かり事業の利用希望について尋ねたところ、全体では「できれば利用したい」(36.6%)と「特に利用する必要はない」(38.2%)が同程度であるが、「あまり利用したいと思わない」(19.1%)も比較的高く、「特に利用する必要はない」と「あまり利用したいと思わない」を合わせた《利用希望が無い》は、全体の6割程度となっている。利用希望の年間平均日数は19.96日となっている。

年齢別にみると、3歳の「できれば利用したい」の比率がやや低いが、傾向として大きな違いはない。(図表 6-3-1)

図表 6-3-2 一時預かり事業の利用希望／家族構成別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	できれば利用したい	思わぬあまり利用したい	ない特に利用する必要は	無回答
家族構成別	両親と子ども	3,365 100.0	1,260 37.4	630 18.7	1,270 37.7	205 6.1
	ひとり親と子ども	239 100.0	92 38.5	57 23.8	72 30.1	18 7.5
	多世代同居	503 100.0	155 30.8	94 18.7	227 45.1	27 5.4

家族構成別にみると、「多世代同居」の場合、「できれば利用したい」の比率が、他の家族構成に比べ低く、「特に利用する必要はない」が、他の家族構成に比べ高い。(図表 6-3-2)

図表 6-3-3 一時預かり事業の利用希望／両親の就労状況別（○は1つだけ）

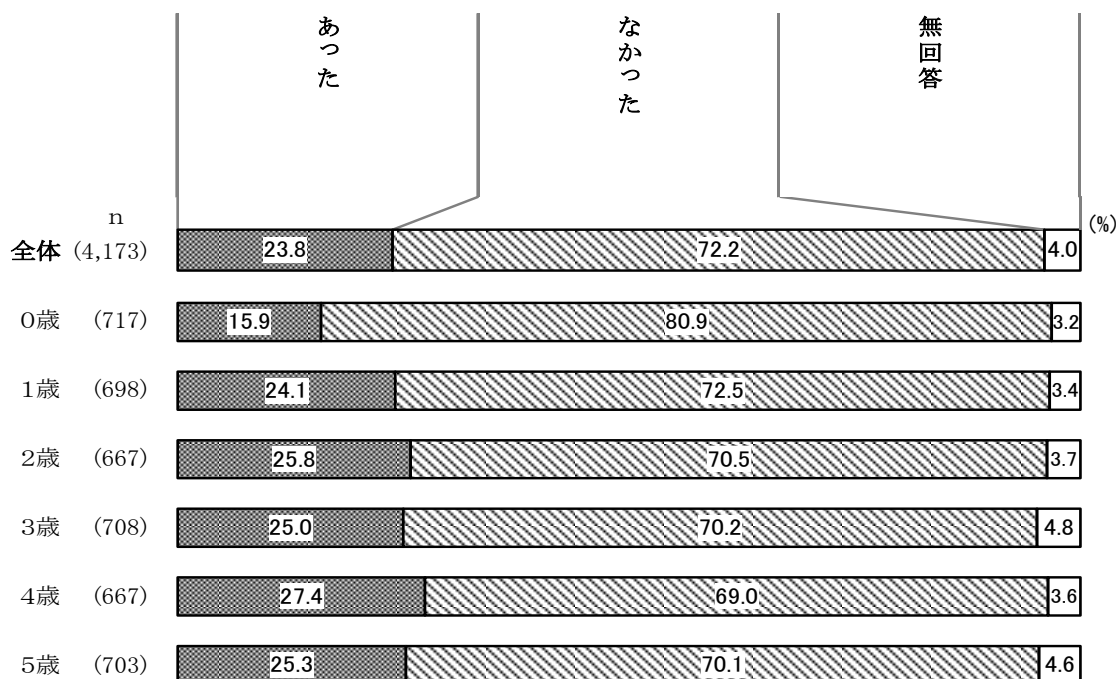
		(上段：件 下段：%)				
		調査数	できれば利用したい	思わぬあまり利用したい	ない特に利用する必要は	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,713 100.0	494 28.8	354 20.7	741 43.3	124 7.2
	父親のみ就労	1,979 100.0	878 44.4	331 16.7	677 34.2	93 4.7
	母親のみ就労	226 100.0	65 28.8	63 27.9	79 35.0	19 8.4
	親は働いていない	215 100.0	78 36.3	37 17.2	85 39.5	15 7.0

両親の就労状況別にみると、「父親のみ就労」の場合、「できれば利用したい」の比率が、他の就労状況に比べ高い。(図表 6-3-3)

#### (4) 子どもを泊りがけで預ける用事の有無

問16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないと思ったことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 6-4-1 子どもを泊りがけで預ける用事の有無（○は1つだけ）



この1年間の、子どもを泊りがけで家族以外に預ける用事の有無について尋ねたところ、全体では「あった」が23.8%に対し、「なかった」は72.2%となっている。

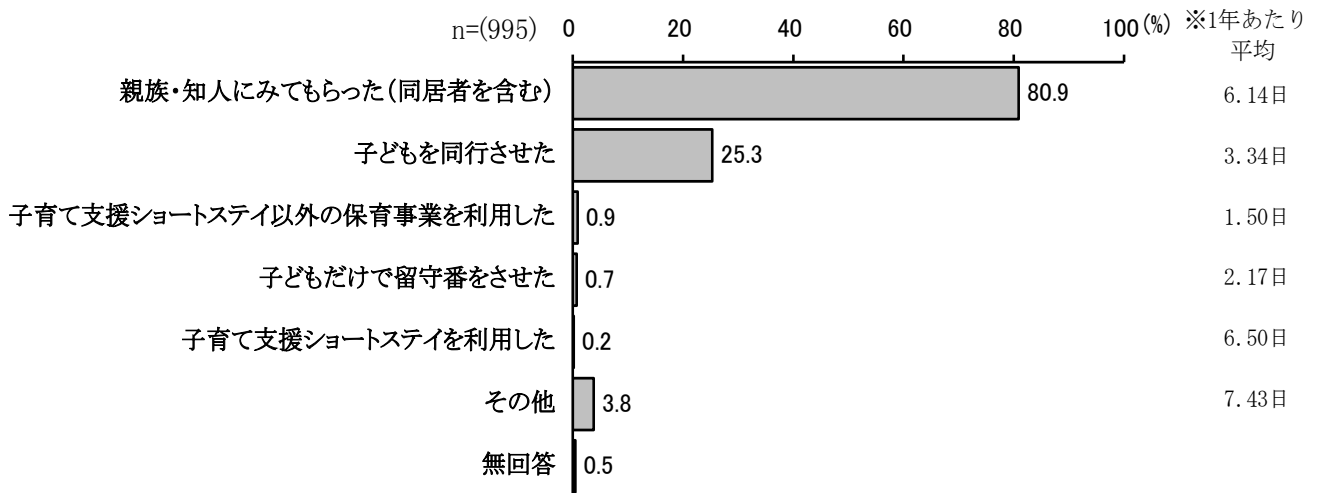
年齢別にみても同様の傾向にあるが、「0歳」では「あった」が15.9%と、他の年齢に比べ低い。（図表 6-4-1）

## (5) 子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応

問16-1 その場合、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を[ ]内に数字でご記入ください。

※ 『6(4) 子どもを泊りがけで預ける用事の有無』で「あった」と回答した方のみ

図表 6-5-1 子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応／全体 (○はいくつでも)



子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応については、「親族・知人にみてもらった(同居者を含む)」(80.9%)が最も高く、年間の平均日数は6.14日となっている。次いで「子どもを同行させた」(25.3%)が高く、年間の平均日数は3.34日となっている。(図表 6-5-1)

図表 6-5-2 子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応／家族構成別（○はいくつでも）

(上段：件 下段：%)

		調査数	むら親 らつ族 た・知 た（人 同居に 者みて をても 含む）	子 ども を同 行さ せた	業ス をテ 利用イ した以 外の 保育 事ト	を子 さども せただ けで 留守 番	ス子 ステイ を育 をテ 利用支 した援 シヨ ト	そ の 他	無 回 答
家 族 構 成 別	両親と子ども	820 100.0	672 82.0	202 24.6	5 0.6	6 0.7	1 0.1	30 3.7	4 0.5
	ひとり親と子ども	72 100.0	51 70.8	21 29.2	3 4.2	-	-	7 9.7	1 1.4
	多世代同居	83 100.0	66 79.5	24 28.9	1 1.2	1 1.2	-	1 1.2	-

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、他の家族構成に比べ「親族・知人にみてもらった（同居者を含む）」の比率が低い。（図表 6-5-2）

図表 6-5-3 子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応／両親の就労状況別（○はいくつでも）

(上段：件 下段：%)

		調査数	むら親 らつ族 た・知 た（人 同居に 者みて をても 含む）	子 ども を同 行さ せた	業ス をテ 利用イ した以 外の 保育 事ト	を子 さども せただ けで 留守 番	ス子 ステイ を育 をテ 利用支 した援 シヨ ト	そ の 他	無 回 答
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	424 100.0	353 83.3	91 21.5	2 0.5	4 0.9	1 0.2	18 4.2	3 0.7
	父親のみ就労	453 100.0	362 79.9	122 26.9	5 1.1	2 0.4	1 0.2	15 3.3	2 0.4
	母親のみ就労	61 100.0	46 75.4	23 37.7	1 1.6	1 1.6	-	3 4.9	-
	親は働いていない	48 100.0	37 77.1	14 29.2	1 2.1	-	-	1 2.1	-

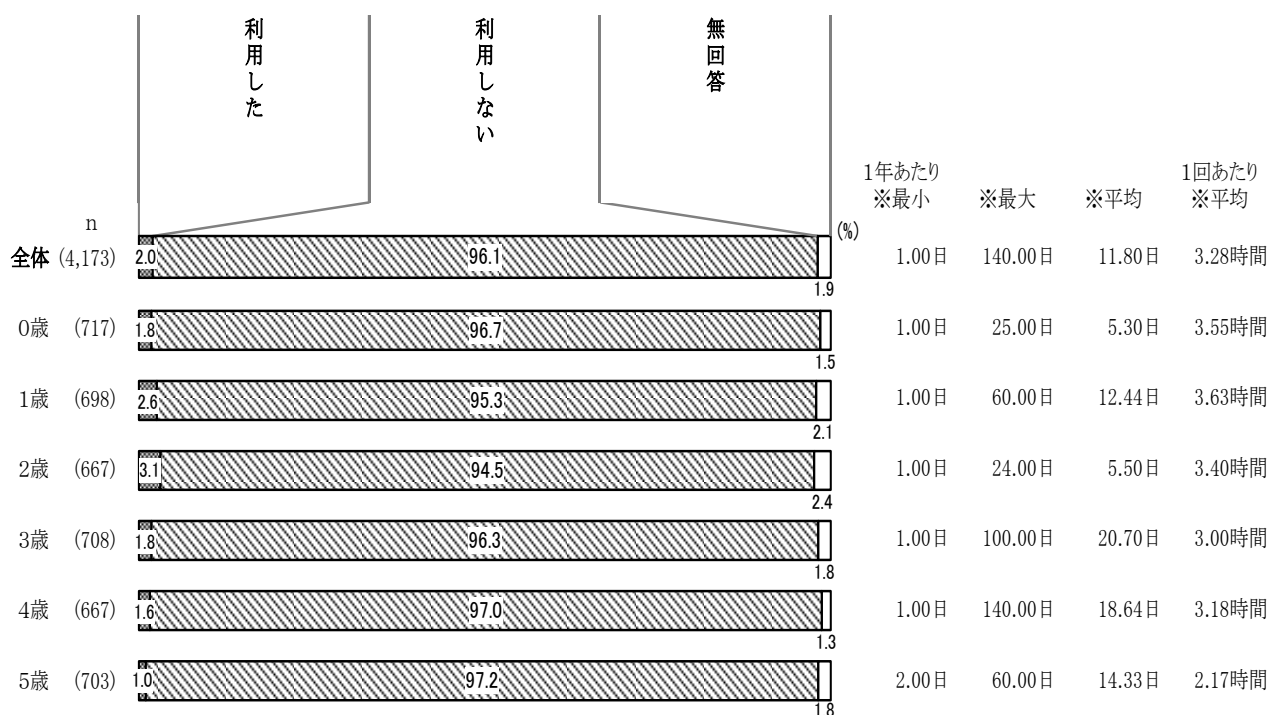
両親の就労状況別にみると、「母親のみ就労」の場合、「子どもを同行させた」の比率が、他の就労状況に比べ高い。（図表 6-5-3）

## 7. 地域の子育て支援事業の利用状況について

### (1) 仙台すくすくサポート事業の利用状況

問17 この1年間に「仙台すくすくサポート事業」(市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業)を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。  
 問17-1 この1年間での利用日数(おおよそ)と1回あたりの利用時間について、[ ]内に数字でご記入ください。

図表 7-1-1 仙台すくすくサポート事業の利用状況(就学前児童) / 年齢別 (○は1つだけ)



この1年間の、仙台すくすくサポート事業の利用状況について尋ねたところ、全体では「利用した」は2.0%と低く、「利用しない」が96.1%となっている。年間の平均利用日数は11.80日、1回あたりの平均利用時間は3.28時間となっている。

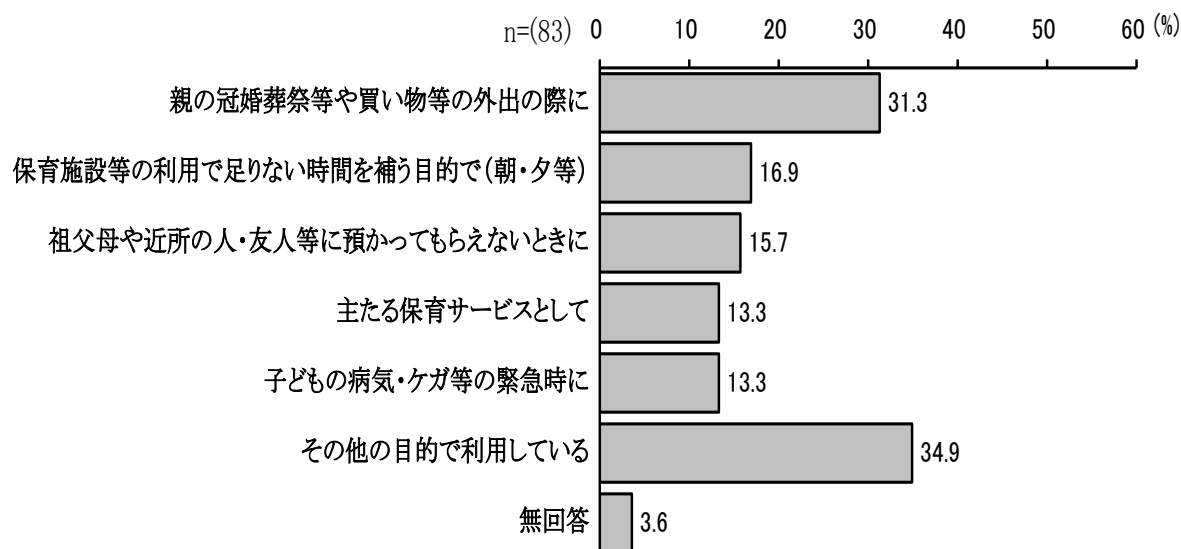
年齢別にみても、同様の傾向にあるが、平均利用日数にばらつきがみられる。(図表 7-1-1)

## (2) 仙台すくすくサポート事業の利用目的

問17-2 どのような目的で利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『7 (1) 仙台すくすくサポート事業の利用状況』で「利用した」と回答した方のみ

図表 7-2-1 仙台すくすくサポート事業の利用目的／全体 (○はいくつでも)



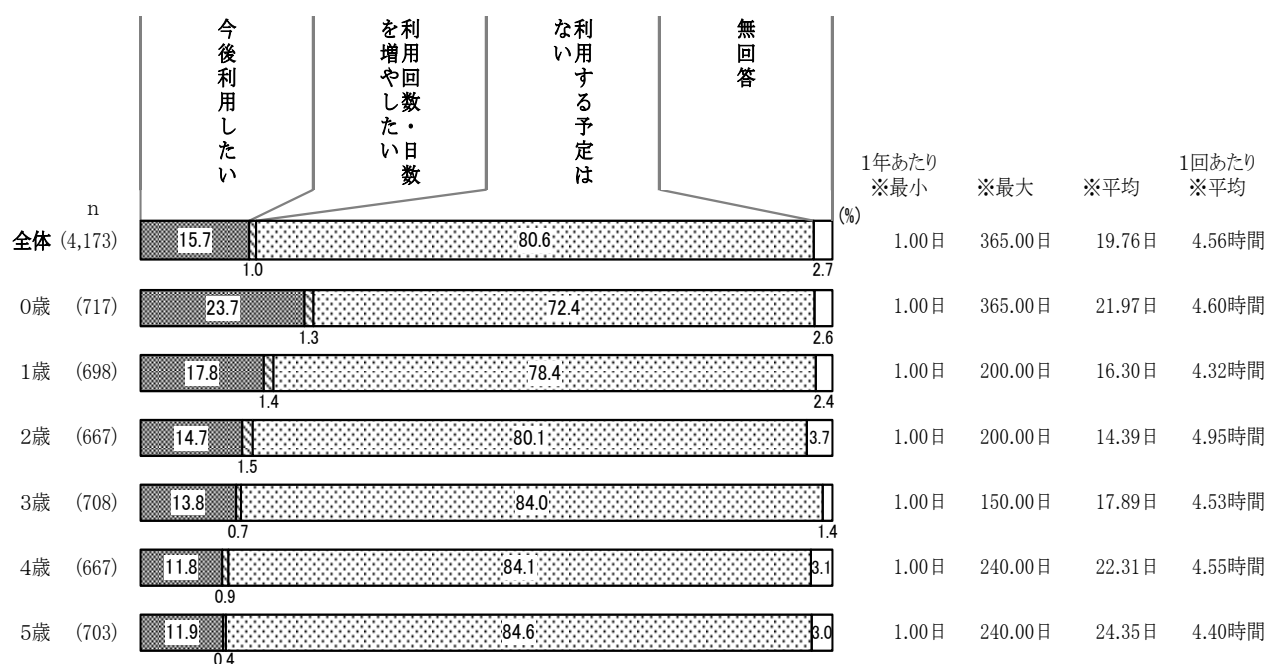
仙台すくすくサポート事業の利用目的について尋ねたところ、「その他の目的で利用している」(34.9%)が最も高いが、「親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に」(31.3%)、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに」(15.7%)、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に」(13.3%)といった、一時的な保育サービスとしての利用が多い。(図表 7-2-1)

### (3) 仙台すくすくサポート事業の利用希望

問17-3 「仙台すくすくサポート事業」を「今後利用したい」、あるいは「利用しているが、今後もっと回数・日数を増やしたい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

問17-4 1年間で何日、1回あたり何時間くらい利用したいとお考えですか。希望の日数・時間について[ ]内に数字でご記入ください。

図表 7-3-1 「仙台すくすくサポート事業」の利用希望/年齢別 (○は1つだけ)



仙台すくすくサポート事業の利用希望について尋ねたところ、全体では「今後利用したい」と「利用回数・日数を増やしたい」を合わせた《利用したい》は16.7%、「利用する予定はない」は80.6%となっている。利用希望の年間平均日数は19.76日、1回あたりの利用時間は4.56時間となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて《利用したい》が減少している。また、利用希望の年間平均日数にばらつきがみられるが、利用時間の希望は4~5時間程度となっている。(図表 7-3-1)



図表 7-3-2 「仙台すくすくサポート事業」の利用希望／家族構成別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	今後利用したい	や利用回 し回数・ たい日数 を増	利用する 予定は ない	無回答
家族構成別	両親と子ども	3,365 100.0	542 16.1	38 1.1	2,699 80.2	86 2.6
	ひとり親と子ども	239 100.0	54 22.6	1 0.4	173 72.4	11 4.6
	多世代同居	503 100.0	52 10.3	3 0.6	432 85.9	16 3.2

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「今後利用したい」の比率が、他の家族構成に比べやや高い。(図表 7-3-2)

図表 7-3-3 「仙台すくすくサポート事業」の利用希望／両親の就労状況別（○は1つだけ）

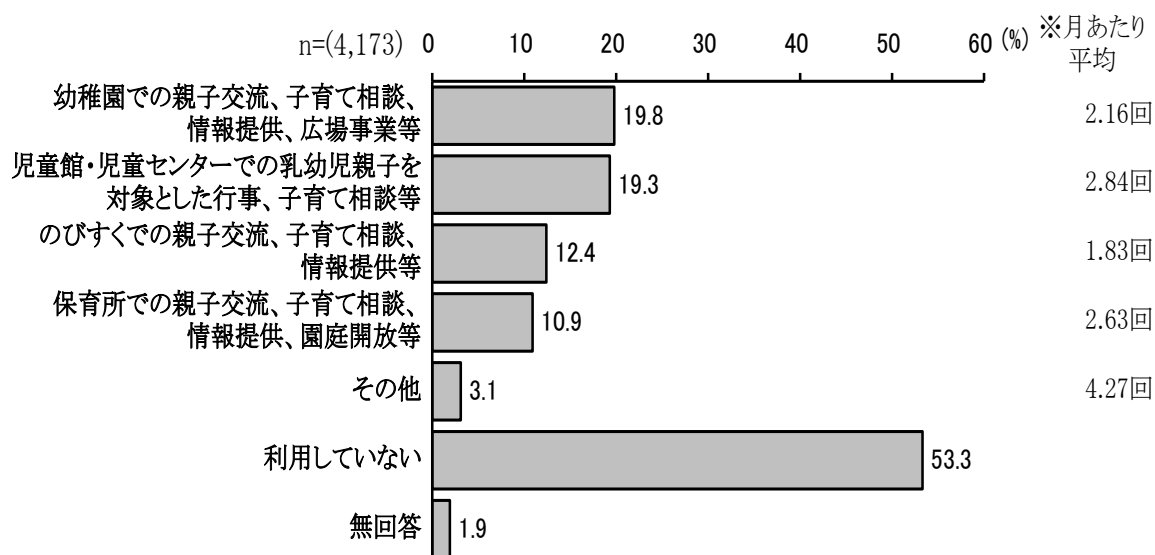
		(上段：件 下段：%)				
		調査数	今後利用したい	や利用回 し回数・ たい日数 を増	利用する 予定は ない	無回答
両親の 就労 状 況 別	共働き	1,713 100.0	270 15.8	18 1.1	1,390 81.1	35 2.0
	父親のみ就労	1,979 100.0	304 15.4	19 1.0	1,610 81.4	46 2.3
	母親のみ就労	226 100.0	38 16.8	4 1.8	174 77.0	10 4.4
	親は働いていない	215 100.0	38 17.7	2 0.9	161 74.9	14 6.5

両親の就労状況別にみると、あまり傾向に差はみられない。(図表 7-3-3)

#### (4) 地域の子育て支援事業の利用状況

問18 宛名のお子さんは、親子が集まって過ごしたり、子育ての相談や情報提供を受ける、地域の子育て支援事業を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を[ ]内に数字でご記入ください。

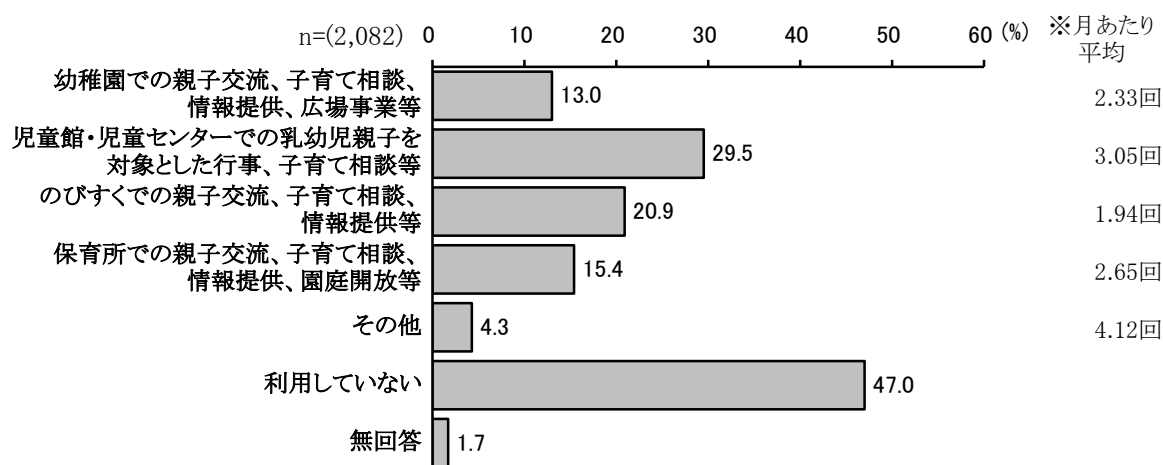
図表 7-4-1 地域の子育て支援事業の利用状況／全体（○はいくつでも）



地域の子育て支援事業の利用状況について尋ねたところ、「利用していない」（53.3%）が最も高い。利用している場合の事業としては、「幼稚園での親子交流、子育て相談、情報提供、広場事業等」（19.8%）、「児童館・児童センターでの乳幼児親子を対象とした行事、子育て相談等」（19.3%）が多く、月あたりの平均利用回数は、2～3回程度となっている。（図表 7-4-1）

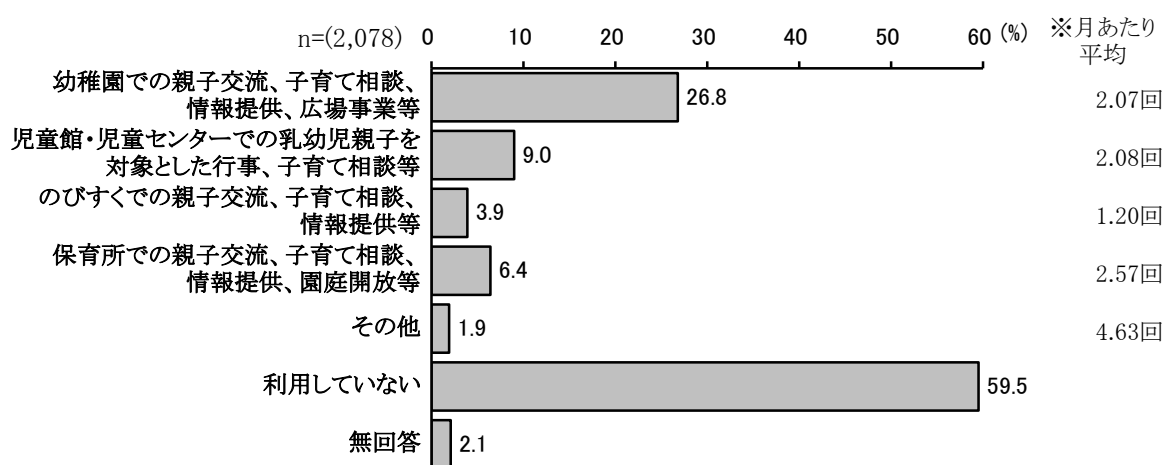
図表 7-4-2 地域の子育て支援事業の利用状況／0～2歳（〇はいくつでも）

【0～2歳】



図表 7-4-3 地域の子育て支援事業の利用状況／3～5歳（〇はいくつでも）

【3～5歳】



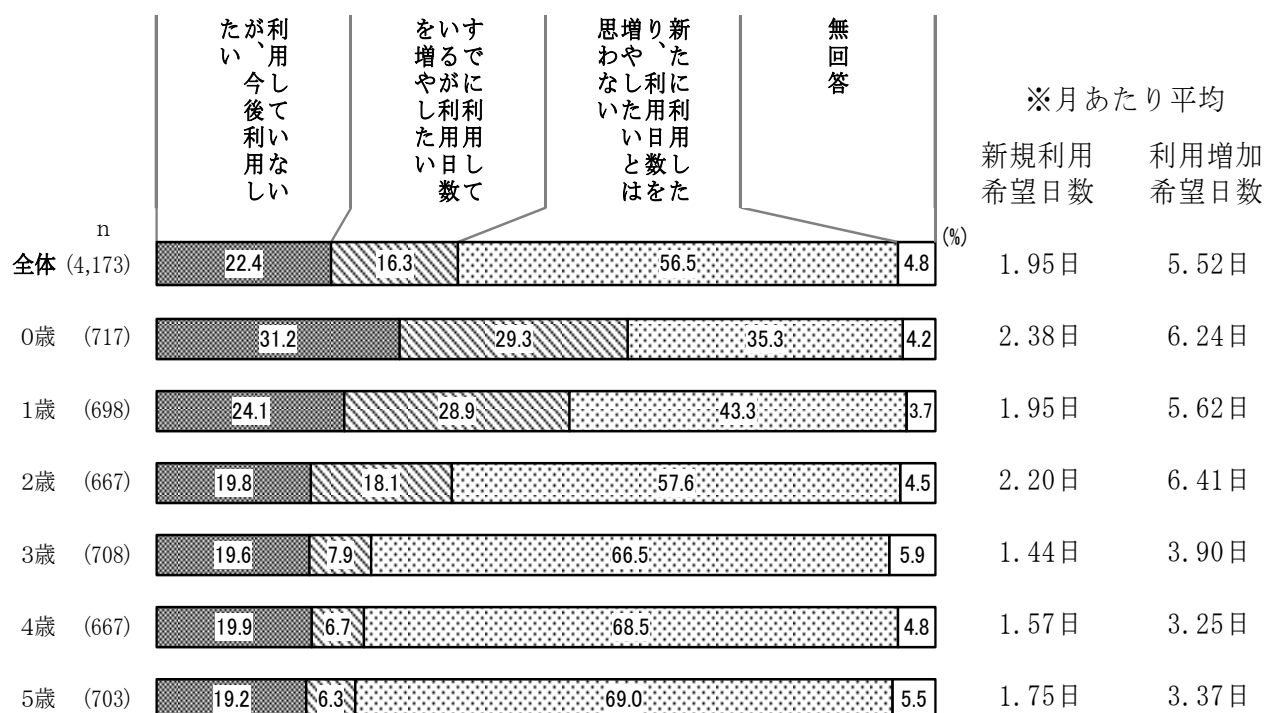
年齢別にみると、0～2歳では「児童館・児童センターでの乳幼児親子を対象とした行事、子育て相談等」（29.5%）、「のびすくでの親子交流、子育て相談、情報提供等」（20.9%）、「保育所での親子交流、子育て相談、情報提供、園庭解放等」（15.4%）が高いが、3～5歳ではこれらが低く、「幼稚園での親子交流、子育て相談、情報提供、広場事業等」（26.8%）が高い。

また、0～2歳に比べ、3～5歳では「利用していない」の比率が高い。（図表 7-4-2、図表 7-4-3）

## (5) 地域の子育て支援事業の利用希望

問19 問18のような地域の子育て支援事業について「今は利用していないが、今後利用したい」、あるいは「利用日数を増やしたい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を[ ]内に数字でご記入ください。

図表 7-5-1 地域の子育て支援事業の利用希望／全体（○はいくつでも）



地域の子育て支援事業の利用希望について尋ねたところ、全体では「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」（56.5%）が高い。

年齢別にみると、0～1歳では「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」を合わせた《利用したい》が、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」を上回っている。

一方、2歳以上では《利用したい》が、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」を下回り、年齢が上がるにつれて《利用したい》は減少している。

利用希望の日数について、新規に利用を希望する日数、利用を増やしたいと考える日数ともに、3～5歳に比べ、0～2歳で多くなっている。（図表 7-5-1）

## 8. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

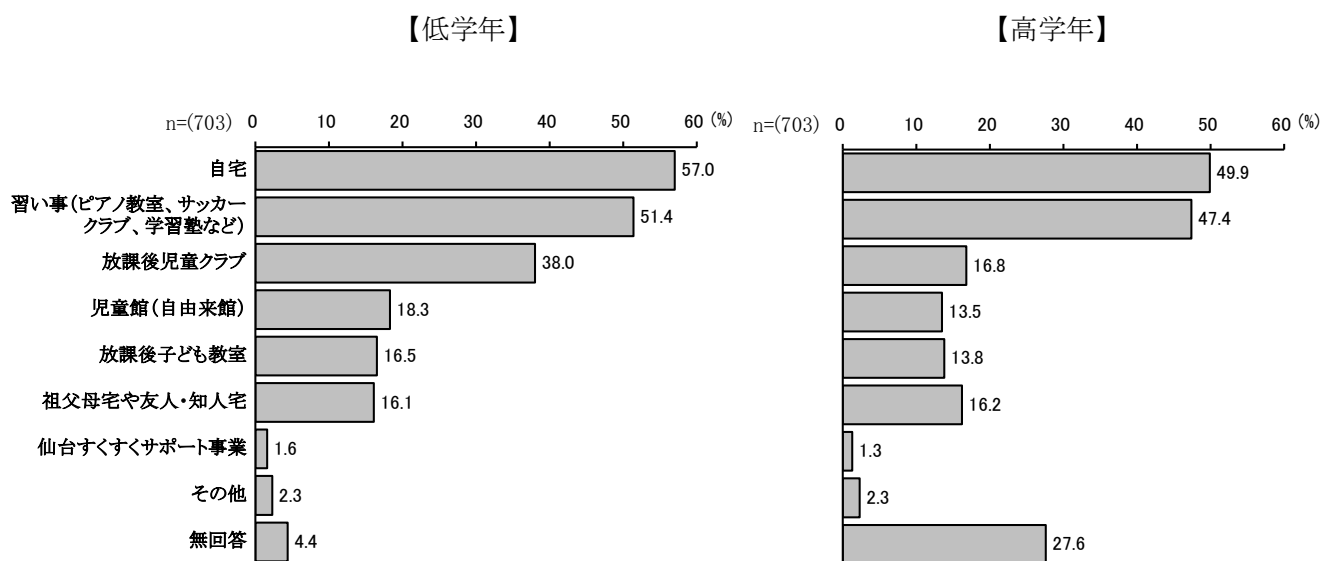
### (1) 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望

問20 宛名のお子さんについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を[ ]内に数字でご記入ください。

小学校低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）のそれぞれの期間についてお答えください。

※ 宛名の子どもが来年度小学校に就学する方のみ

図表 8-1-1 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望／全体（○はいくつでも）



小学校就学後の放課後の過ごし方の希望について尋ねたところ、子どもが低学年の間、高学年の間ともに、「自宅」の比率が最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「放課後児童クラブ」の順となっている。なお、「放課後児童クラブ」は、低学年は38.0%であるのに対し、高学年は16.8%となっている。（図表 8-1-1）

図表 8-1-2 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望／家族構成別（○はいくつでも）

(上段：件 下段：%)

家族構成別		調査数	自宅	塾など サツカー 習い事（ピアノ、 クラブ、学習	放課後児童クラブ	児童館（自由来館）	放課後子ども教室	宅 祖 父 母 母 宅 宅 や 友 人 ・ 知 人	事業 仙 台 す く す く サ ポ ー ト	その他	無回答
低学年	両親と子ども	566 100.0	326 57.6	298 52.7	220 38.9	107 18.9	96 17	90 15.9	11 1.9	14 2.5	23 4.1
	ひとり親と子ども	50 100.0	15 30.0	19 38.0	20 40.0	7 14.0	11 22.0	7 14.0	-	2 4.0	5 10.0
	多世代同居	81 100.0	56 69.1	41 50.6	26 32.1	12 14.8	8 9.9	15 18.5	-	-	3 3.7
高学年	両親と子ども	566 100.0	282 49.8	273 48.2	95 16.8	82 14.5	81 14.3	91 16.1	9 1.6	15 2.7	155 27.4
	ひとり親と子ども	50 100.0	15 30.0	13 26.0	8 16.0	2 4.0	4 8.0	5 10.0	-	1 2.0	24 48.0
	多世代同居	81 100.0	52 64.2	44 54.3	14 17.3	10 12.3	11 13.6	17 21.0	-	-	12 14.8

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「自宅」と回答した比率が、低学年、高学年ともに30.0%と、他の家族構成に比べ低い。(図表 8-1-2)

図表 8-1-3 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望／両親の就労状況別（○はいくつでも）

(上段：件 下段：%)

両親の就労状況別		調査数	自宅	塾など サツカー 習い事（ピアノ、 クラブ、学習	放課後児童クラブ	児童館（自由来館）	放課後子ども教室	宅 祖 父 母 母 宅 宅 や 友 人 ・ 知 人	事業 仙 台 す く す く サ ポ ー ト	その他	無回答
低学年	共働き	289 100.0	94 32.5	106 36.7	186 64.4	49 17.0	44 15.2	30 10.4	7 2.4	7 2.4	8 2.8
	父親のみ就労	323 100.0	270 83.6	221 68.4	47 14.6	59 18.3	58 18.0	71 22.0	3 0.9	7 2.2	16 5.0
	母親のみ就労	53 100.0	11 20.8	13 24.5	30 56.6	11 20.8	12 22.6	3 5.7	1 1.9	1 1.9	5 9.4
	親は働いていない	33 100.0	24 72.7	19 57.6	3 9.1	10 30.3	2 6.1	8 24.2	-	1 3.0	1 3.0
高学年	共働き	289 100.0	131 45.3	119 41.2	68 23.5	34 11.8	38 13.1	40 13.8	5 1.7	7 2.4	71 24.6
	父親のみ就労	323 100.0	186 57.6	186 57.6	35 10.8	47 14.6	49 15.2	63 19.5	3 0.9	8 2.5	88 27.2
	母親のみ就労	53 100.0	18 34.0	12 22.6	11 20.8	6 11.3	9 17.0	5 9.4	1 1.9	-	21 39.6
	親は働いていない	33 100.0	16 48.5	15 45.5	4 12.1	8 24.2	1 3.0	5 15.2	-	1 3.0	10 30.3

両親の就労状況別にみると、低学年、高学年ともに、「共働き」と「母親のみ就労」の場合、「放課後児童クラブ」を希望する比率が、他の就労状況に比べ高い。なお、低学年に比べ高学年では、「放課後児童クラブ」を希望する比率は低下している。(図表 8-1-3)

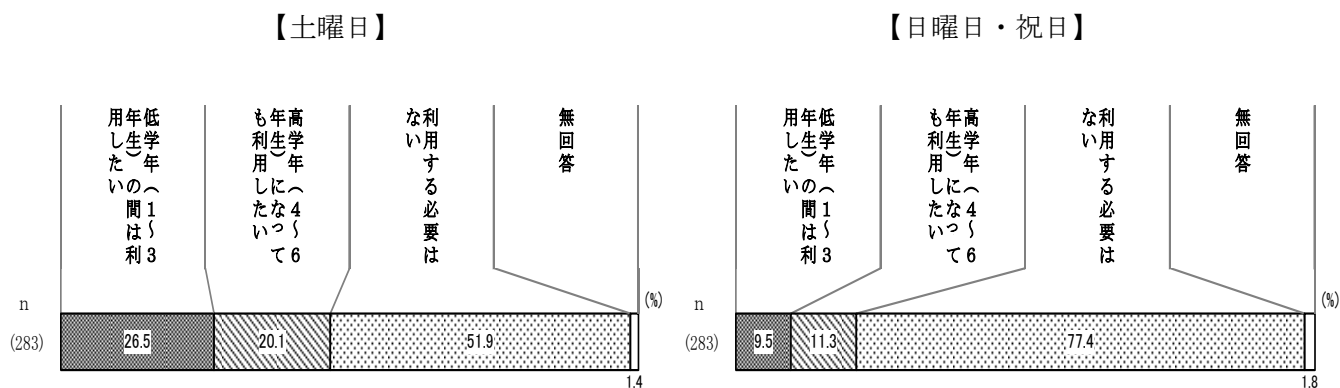
## (2) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問20-1 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1)土曜日と(2)日曜日・祝日それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、(例) 8時～18時のように、24時間制で[ ]内に数字をご記入ください。

※ 『8 (1) 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望』で「放課後児童クラブ」と回答した方のみ

図表 8-2-1 放課後児童クラブの利用希望／全体 (○は1つだけ)



土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望について尋ねたところ、土曜日については、「低学年の間は利用したい」は26.5%、「高学年になっても利用したい」は20.1%の利用希望があるが、日曜日・祝日については、「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」が、それぞれ1割程度の利用希望となっている。(図表 8-2-1)

図表 8-2-2 放課後児童クラブの利用希望／家族構成別（○は1つだけ）

【土曜日】

【日曜日・祝日】

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	の低学年は利用したい (1～3年生)	に高学年(4～6年生)になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
家族構成別	両親と子ども	234 100.0	63 26.9	48 20.5	119 50.9	4 1.7
	ひとり親と子ども	22 100.0	8 36.4	4 18.2	10 45.5	-
	多世代同居	26 100.0	4 15.4	5 19.2	17 65.4	-

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	の低学年は利用したい (1～3年生)	に高学年(4～6年生)になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
家族構成別	両親と子ども	234 100.0	24 10.3	28 12.0	177 75.6	5 2.1
	ひとり親と子ども	22 100.0	2 9.1	2 9.1	18 81.8	-
	多世代同居	26 100.0	1 3.8	2 7.7	23 88.5	-

家族構成別にみると、土曜日の希望について、「ひとり親と子ども」の場合、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（36.4%）は、他の家族構成に比べ高いが、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（18.2%）は、他の家族構成と同程度となっている。

日曜日・祝日の希望については、全ての家族構成で「利用する必要はない」が7割以上と高い。（図表 8-2-2）

図表 8-2-3 放課後児童クラブの利用希望／両親の就労状況別（○は1つだけ）

【土曜日】

【日曜日・祝日】

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	の低学年は利用したい (1～3年生)	に高学年(4～6年生)になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
両親の就労状況別	共働き	190 100.0	52 27.4	41 21.6	95 50.0	2 1.1
	父親のみ就労	57 100.0	11 19.3	11 19.3	33 57.9	2 3.5
	母親のみ就労	30 100.0	10 33.3	4 13.3	16 53.3	-
	親は働いていない	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	-

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	の低学年は利用したい (1～3年生)	に高学年(4～6年生)になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
両親の就労状況別	共働き	190 100.0	20 10.5	25 13.2	142 74.7	3 1.6
	父親のみ就労	57 100.0	4 7.0	4 7.0	48 84.2	1 1.8
	母親のみ就労	30 100.0	2 6.7	3 10.0	25 83.3	-
	親は働いていない	4 100.0	1 25.0	-	2 50.0	1 25.0

両親の就労状況別にみると、土曜日の希望について、「母親のみ就労」の場合、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（33.3%）は、他の就労状況に比べ高いが、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（13.3%）は、他の就労状況に比べ低い。

日曜日・祝日の希望については、就労している世帯で「利用する必要はない」が7割以上と高い。（図表 8-2-3）

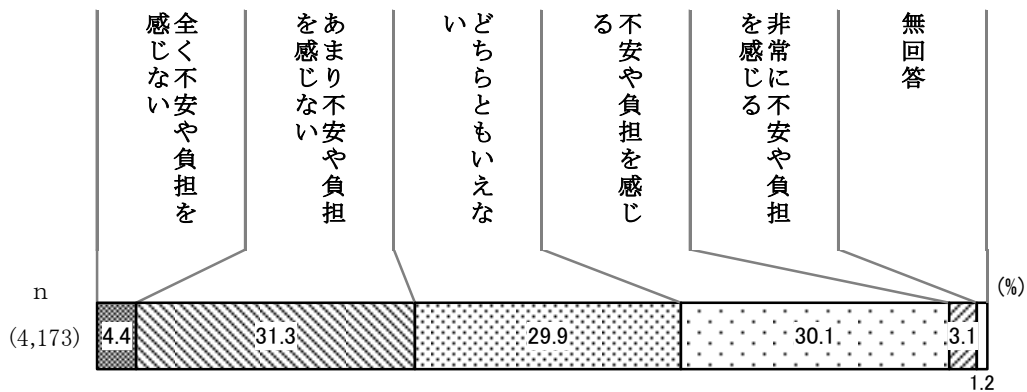


## 9. 子育てに関する悩みや不安、相談先等について

### (1) 子育てに関して不安や負担を感じるか

問21 子育てに関して、不安や負担などを感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

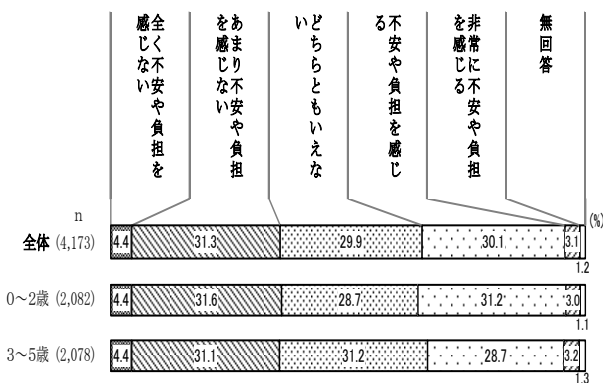
図表 9-1-1 子育てに関して不安や負担を感じるか/全体 (○は1つだけ)



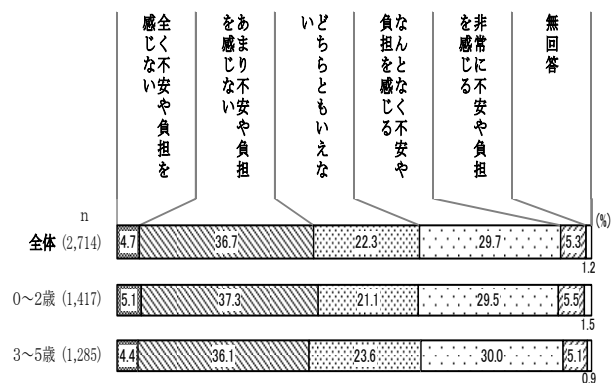
子育てに関しての不安や負担について尋ねたところ、「全く不安や負担を感じない」と「あまり不安や負担を感じない」を合わせた《不安や負担を感じない》(35.7%)は、「不安や負担を感じる」と「非常に不安や負担を感じる」を合わせた《不安や負担を感じる》(33.2%)と同程度である。(図表 9-1-1)

参考：平成20年度調査

図表 9-1-2 子育てに関して不安や負担を感じるか/年齢別 (○は1つだけ)



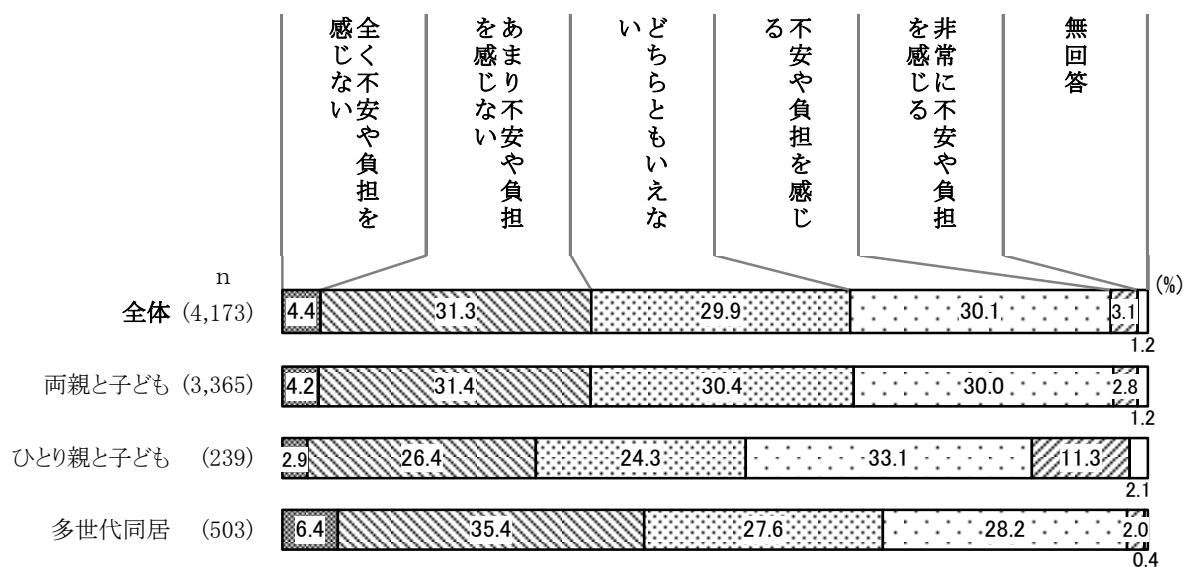
図表 9-1-3 子育てに関して不安や負担を感じるか/年齢別 (○は1つだけ)



年齢別にみると、0~2歳に比べ、3~5歳では《不安や負担を感じる》はやや低下している。(図表 9-1-2)

平成20年度調査と比べると、《不安や負担を感じない》、《不安や負担を感じる》はともに低下し、「どちらともいえない」が上昇している。(図表 9-1-2、図表 9-1-3)

図表 9-1-4 子育てに関して不安や負担を感じるか／家族構成別（○は1つだけ）

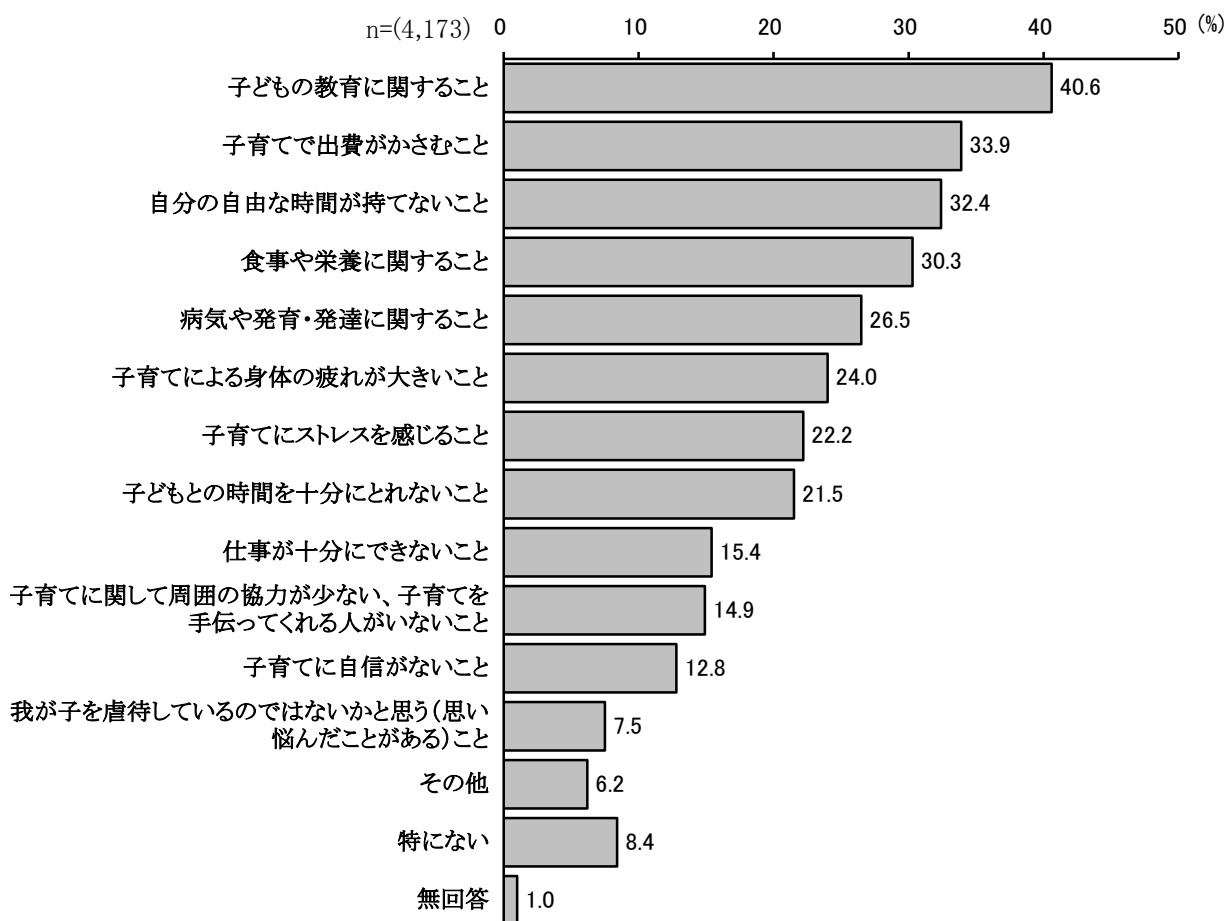


家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、《不安や負担を感じる》（44.4%）が、他の家族構成に比べ高く、また、《不安や負担を感じない》（29.3%）を上回っている。（図表 9-1-4）

## (2) 子育て上の悩みや負担の内容

問22 子育てをする上で、特に悩んでいることや、負担に思うことはどのようなことですか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

図表 9-2-1 子育て上の悩みや負担の内容／全体（○はいくつでも）

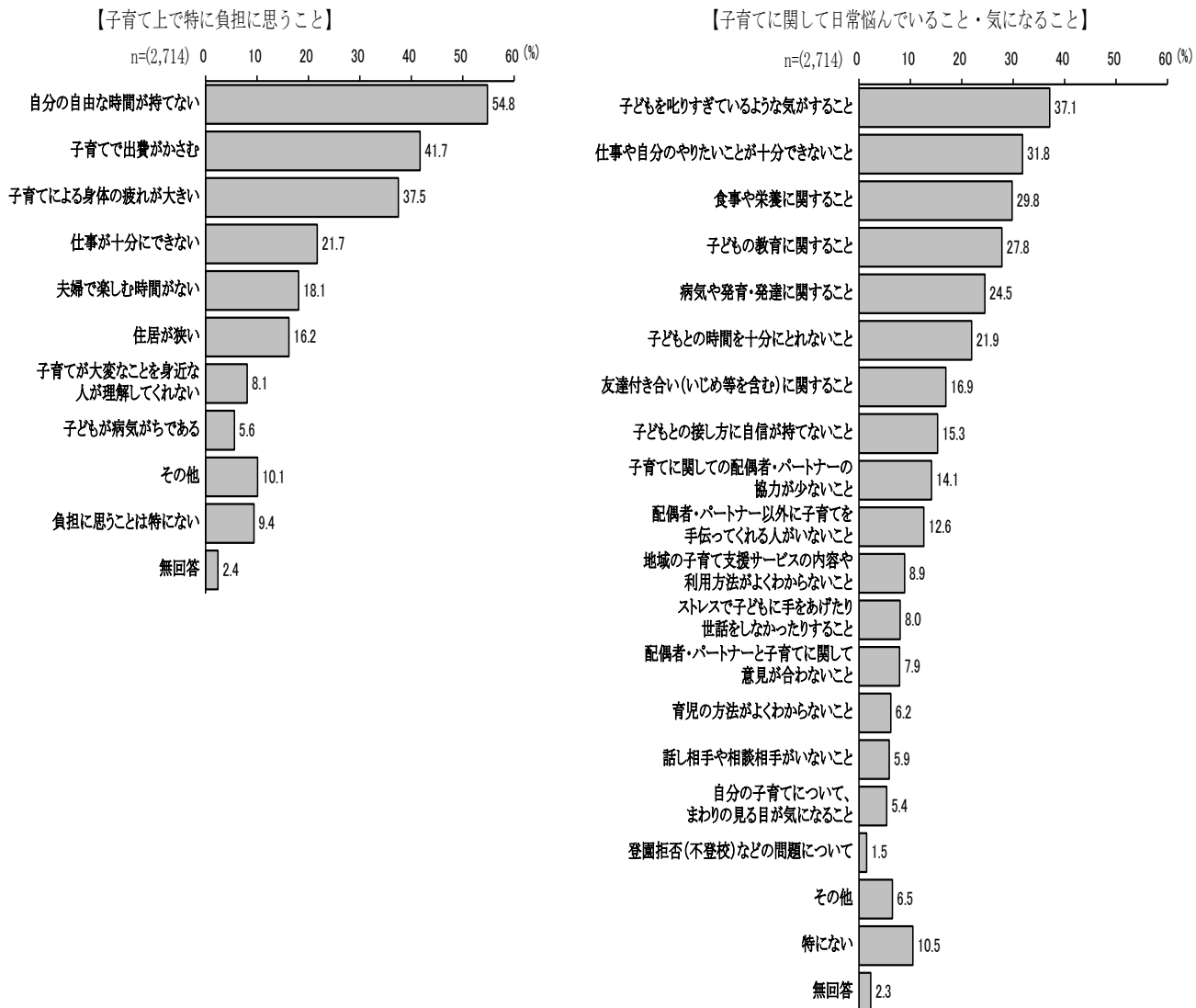


子育て上の悩みや負担の内容について尋ねたところ、「子どもの教育に関すること」(40.6%)、「食事や栄養に関すること」(30.3%)、「病気や発育・発達に関すること」(26.5%)といった子どもに関する悩みや、「子育てで出費がかさむこと」(33.9%)といった経済的な負担が上位を占めている。また、「自分の自由な時間が持てないこと」(32.4%)、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」(24.0%)、「子育てにストレスを感じること」(22.2%)といった保護者自身の悩みに関する内容が多い。(図表 9-2-1)

これらの項目は、平成 20 年度調査の同様の設問においても上位にあがっており、子育てで悩みや負担に思う内容は、年数が経過しても、概ね変化はない。(図表 9-2-1、図表 9-2-2)

図表 9-2-2 子育て上の悩みや負担の内容／全体（〇はいくつでも）

参考：平成 20 年度調査



図表 9-2-3 子育て上の悩みや負担の内容（上位 12 項目）／年齢別、家族構成別（○はいくつでも）

		(上段：件 下段：%)												
		調査数	子どもの教育に関すること	子育てで出費がかさむこと	自分の自由な時間が持てないこと	食事や栄養に関すること	病気や発育・発達に関すること	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てにストレスを感じる事	子どもとの時間を十分にとれないこと	仕事に十分なできないこと	子育てに関して周囲の協力が少ない、子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てに自信がないこと	我が子を虐待しているのではないかと 思う（思い悩んだことがある）こと
年齢別	0～2歳	2,082 100.0	748 35.9	661 31.7	788 37.8	743 35.7	596 28.6	568 27.3	465 22.3	434 20.8	351 16.9	352 16.9	264 12.7	136 6.5
	3～5歳	2,078 100.0	942 45.3	748 36.0	559 26.9	518 24.9	507 24.4	428 20.6	458 22.0	460 22.1	288 13.9	267 12.8	265 12.8	173 8.3
家族構成別	両親と子ども	3,365 100.0	1,340 39.8	1,117 33.2	1,115 33.1	1,019 30.3	898 26.7	825 24.5	774 23.0	697 20.7	501 14.9	521 15.5	440 13.1	246 7.3
	ひとり親と子ども	239 100.0	101 42.3	78 32.6	65 27.2	69 28.9	64 26.8	56 23.4	51 21.3	73 30.5	48 20.1	60 25.1	32 13.4	22 9.2
	多世代同居	503 100.0	220 43.7	193 38.4	150 29.8	150 29.8	126 25.0	104 20.7	88 17.5	114 22.7	80 15.9	25 5.0	52 10.3	38 7.6

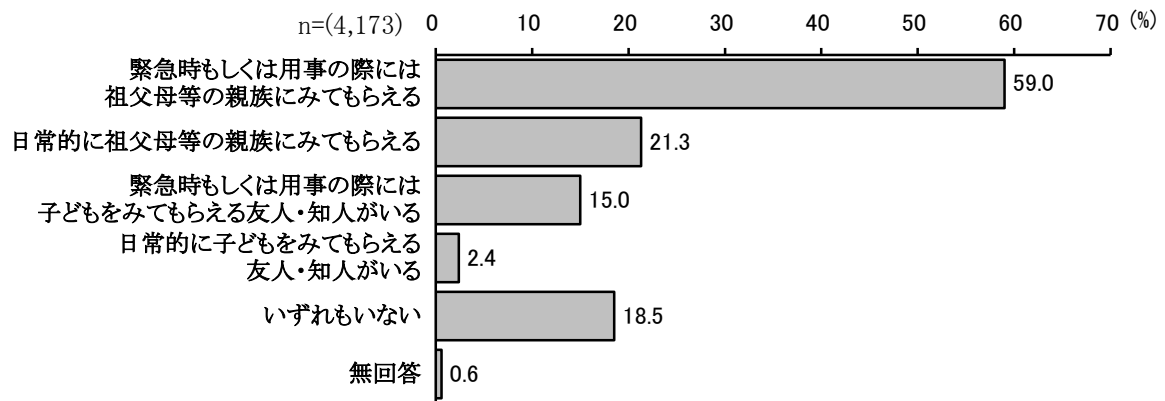
年齢別にみると、0～2歳では、「自分の自由な時間が持てないこと」（37.8%）が最も高いが、3～5歳では、「子どもの教育に関すること」（45.3%）が最も高くなり、「自分の自由な時間が持てないこと」の比率は低下している。

家族構成別にみると、いずれの家族構成でも「子どもの教育に関すること」の比率が高いほか、「ひとり親と子ども」の場合、「子どもとの時間を十分にとれないこと」と「子育てに関して周囲の協力が少ない、子育てを手伝ってくれる人がいないこと」が、他の家族構成に比べ高い。（図表 9-2-3）

### (3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問23 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(※この設問では、親族に配偶者は含まないこととしてお答えください。)

図表 9-3-1 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無／全体 (○はいくつでも)

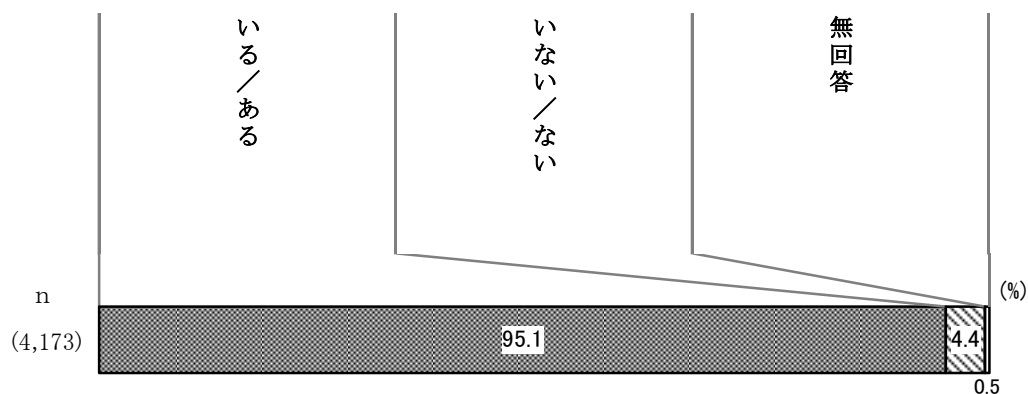


日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無について尋ねたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(59.0%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(21.3%)、「緊急時もしくは用事の際には、子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(15.0%)と回答した人が多いが、「いずれもない」(18.5%)と回答した人も多い。(図表 9-3-1)

#### (4) 子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無

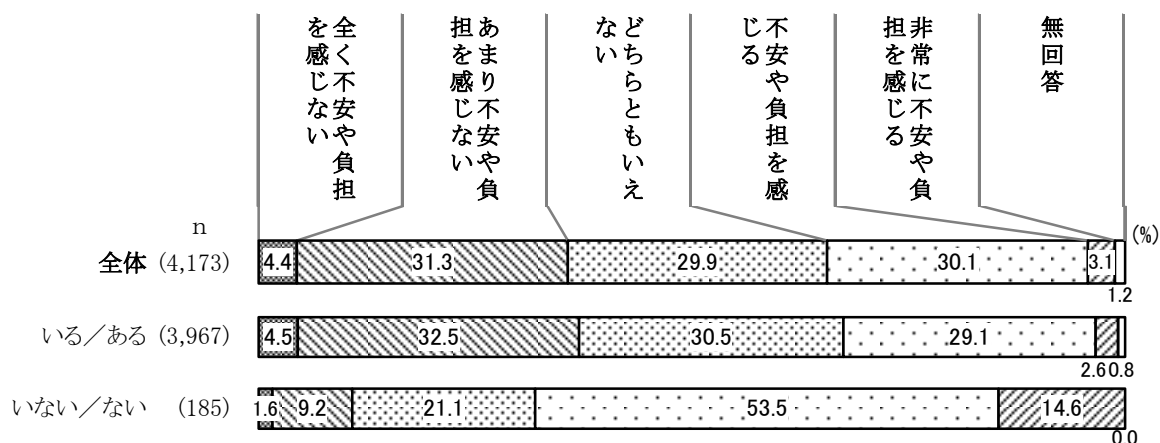
問24 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 9-4-1 子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無/全体 (○は1つだけ)



子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無について尋ねたところ、「いる/ある」が 95.1%、「いない/ない」が 4.4%となっている。(図表 9-4-1)

図表 9-4-2 子育てに関しての不安や負担感/気軽に相談できる人や場所の有無別



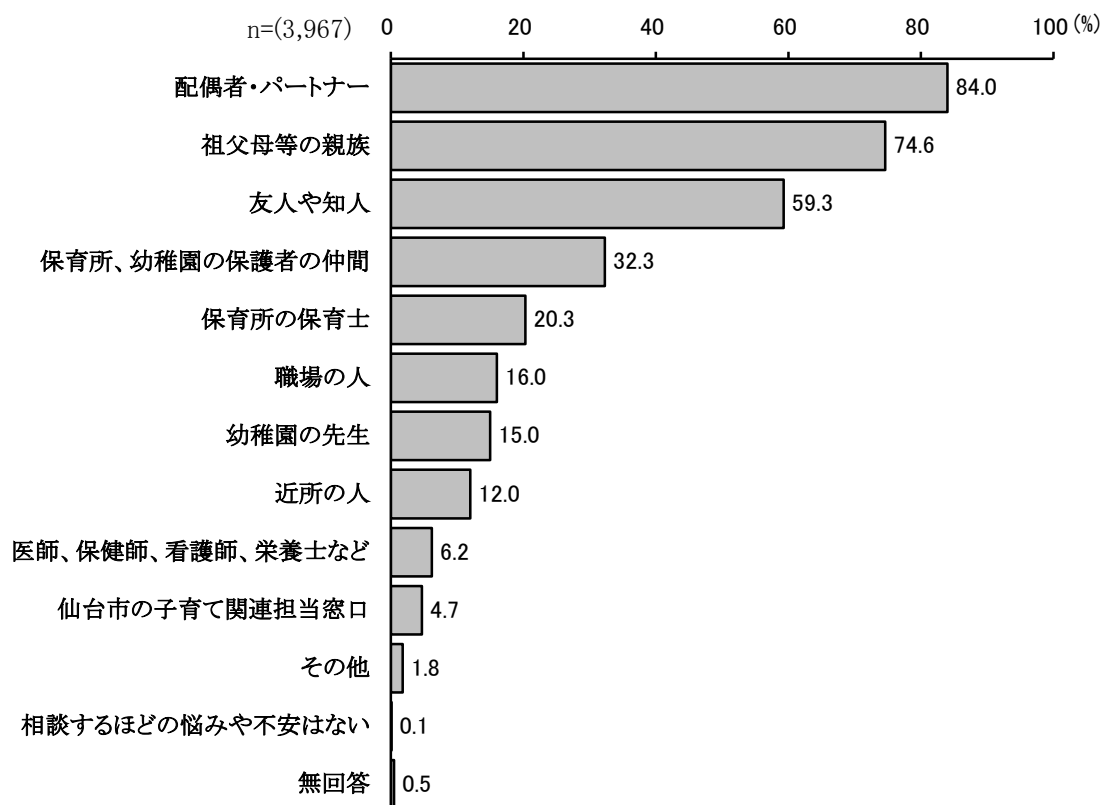
気軽に相談できる人や場所の有無と、『9 (1) 子育てに関して不安や負担を感じるか』の回答についてみると、「不安や負担を感じる」と「非常に不安や負担を感じる」を合わせた《不安や負担を感じる》人の割合は、気軽に相談できる人や場所が「いない/ない」と回答した場合には 68.1%となり、「いる/ある」と回答した場合の 31.7%に比べ高い。気軽に相談できる人や場所の有無が、子育ての不安や負担感に影響していると考えられる。(図表 9-4-2)

## (5) 子育てに関する相談先

問25 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『9（4）子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無』で「いる／ある」と回答した方のみ

図表 9-5-1 子育てに関する相談先／全体（○はいくつでも）



子育てについて、気軽に相談できる先を尋ねたところ、「配偶者・パートナー」（84.0%）、「祖父母等の親族」（74.6%）、「友人や知人」（59.3%）といった身近な人を相談先としている。また、「保育所、幼稚園の保護者の仲間」（32.3%）、「保育所の保育士」（20.3%）、「幼稚園の先生」（15.0%）といった利用している施設に関係する人も上位にあがっている。

その他、「職場の人」（16.0%）、「近所の人」（12.0%）も一定程度あるが、「仙台市の子育て関連担当窓口」は、4.7%にとどまっている。（図表 9-5-1）



図表 9-5-2 子育てに関する相談先／年齢別（○はいくつでも）

(上段：件 下段：%)

		調査数	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	友人や知人	保育所、幼稚園の保護者の仲間	保育所の保育士	職場の人	幼稚園の先生	近所の人	師 医師、保健師、看護士、栄養士など	仙台市の子育て関連担当窓口	その他	相談するほどの悩みや不安はない	無回答
年齢別	0～2歳	1,989	1,692	1,537	1,242	400	438	306	74	197	137	92	44	1	10
		100.0	85.1	77.3	62.4	20.1	22.0	15.4	3.7	9.9	6.9	4.6	2.2	0.1	0.5
	3～5歳	1,966	1,631	1,416	1,106	875	365	326	518	276	108	93	27	1	9
		100.0	83.0	72.0	56.3	44.5	18.6	16.6	26.3	14.0	5.5	4.7	1.4	0.1	0.5

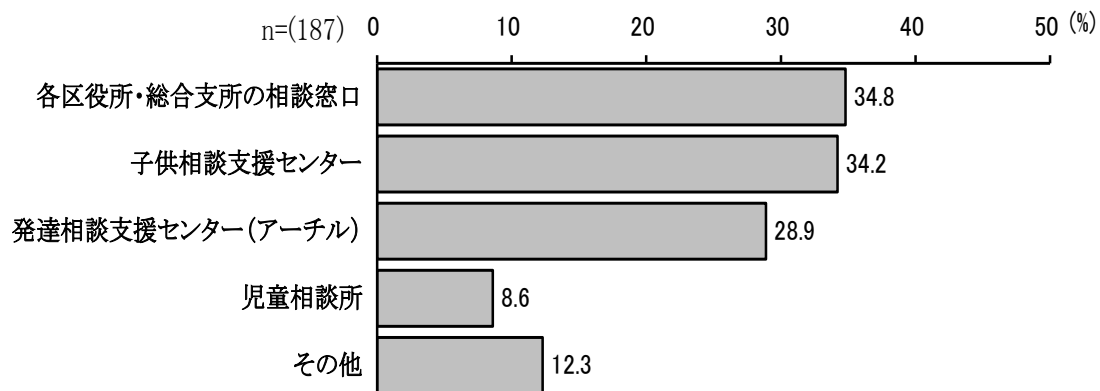
年齢別にみると、0～2歳、3～5歳ともに、「配偶者・パートナー」、「祖父母等の親族」、「友人や知人」の比率が高いが、幼稚園・保育施設等の利用者が増加する3～5歳では、「保育所、幼稚園の保護者の仲間」や「幼稚園の先生」も高い。(図表 9-5-2)

## (6) 気軽に相談できる仙台市の子育て関連担当窓口

問25-1 どの窓口が気軽に相談できるとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『9 (5) 子育てに関する相談先』で「仙台市の子育て関連担当窓口」と回答した方のみ

図表 9-6-1 気軽に相談できる仙台市の子育て関連担当窓口／全体 (○はいくつでも)

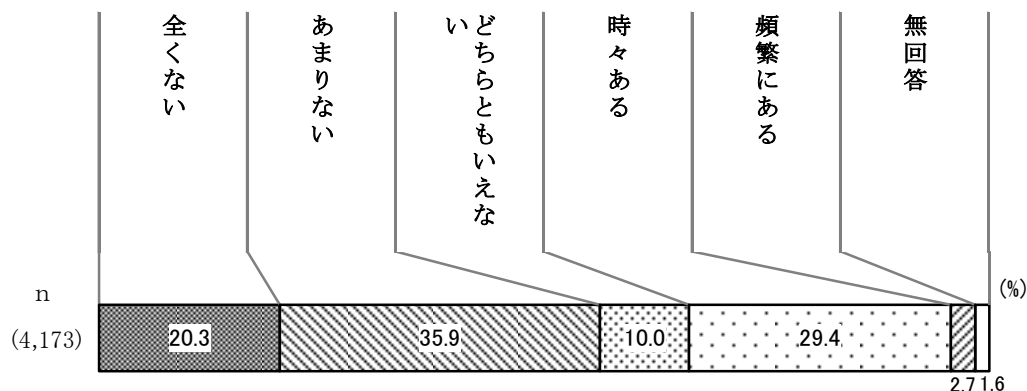


気軽に相談できる仙台市の子育て関連担当窓口について尋ねたところ、「各区役所・総合支所の相談窓口」(34.8%)が最も高く、次いで「子供相談支援センター」(34.2%)、「発達相談支援センター(アーチル)」(28.9%)となっている。(図表 9-6-1)

## (7) 子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無

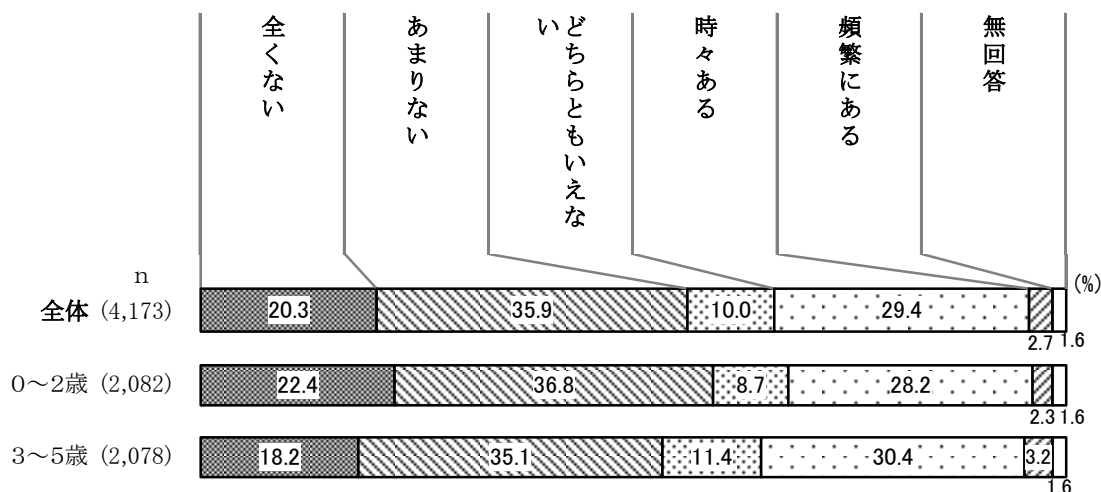
問26 お子さんの気になる情緒や行動の面で相談したいと思ったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 9-7-1 子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無/全体 (○は1つだけ)



子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無について尋ねたところ、「全くない」と「あまりない」を合わせた《ない》が56.2%となり、「時々ある」と「頻繁にある」を合わせた《ある》の32.1%を上回っている。(図表 9-7-1)

図表 9-7-2 子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無/年齢別 (○は1つだけ)

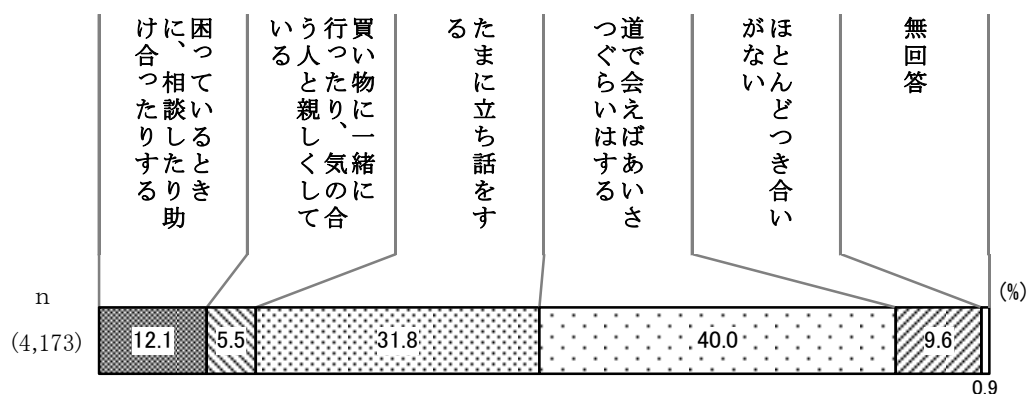


年齢別にみると、0~2歳に比べ、3~5歳では《ない》の比率は低下し、《ある》が上昇している。(図表 9-7-2)

## (8) 近所づきあいの程度

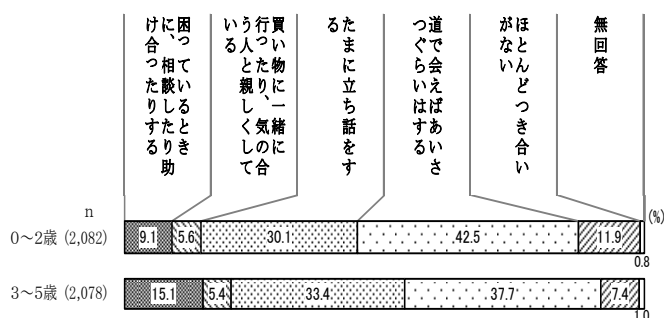
問27 あなたのお宅では、日頃隣近所の方とどのようなつきあいをしていますか。次の中から当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 9-8-1 近所づきあいの程度／全体（○は1つだけ）



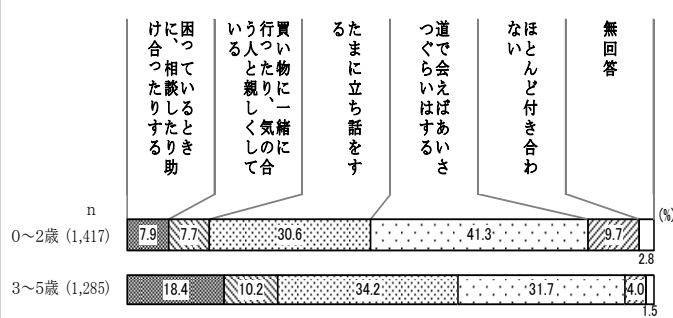
近所づきあいの程度について尋ねたところ、「道で会えばあいさつぐらいはする」（40.0%）が最も高く、次いで「たまに立ち話をする」（31.8%）となっており、「困っているときに、相談したり助け合ったりする」（12.1%）、「買い物と一緒にいたり、気の合う人と親しくしている」（5.5%）といった、親しいつき合いがうかがえる回答の比率が低い。（図表 9-8-1）

図表 9-8-2 近所づきあいの程度／年齢別  
（○は1つだけ）



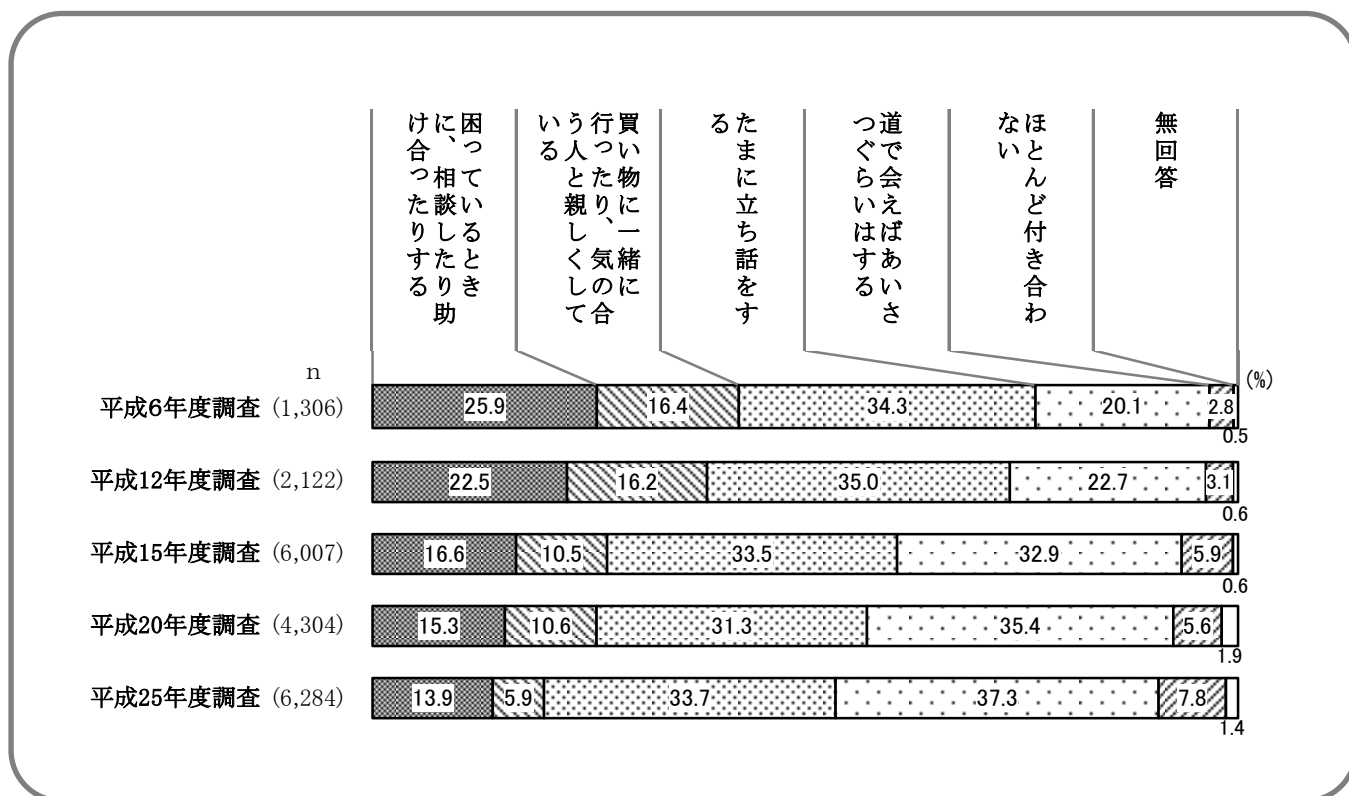
### 参考：平成 20 年度調査

図表 9-8-3 近所づきあいの程度／年齢別  
（○は1つだけ）



年齢別にみると、0～2歳に比べ、3～5歳では「困っている時に相談したり助け合ったりする」の比率が高く、「道で会えばあいさつぐらいはする」、「ほとんどつき合いがない」が低い。これは平成20年度調査と比べても、同様の傾向である。（図表 9-8-2、図表 9-8-3）

図表 9-8-4 近所づきあいの程度／全体／経年比較（就学前児童と小学生の合算値）



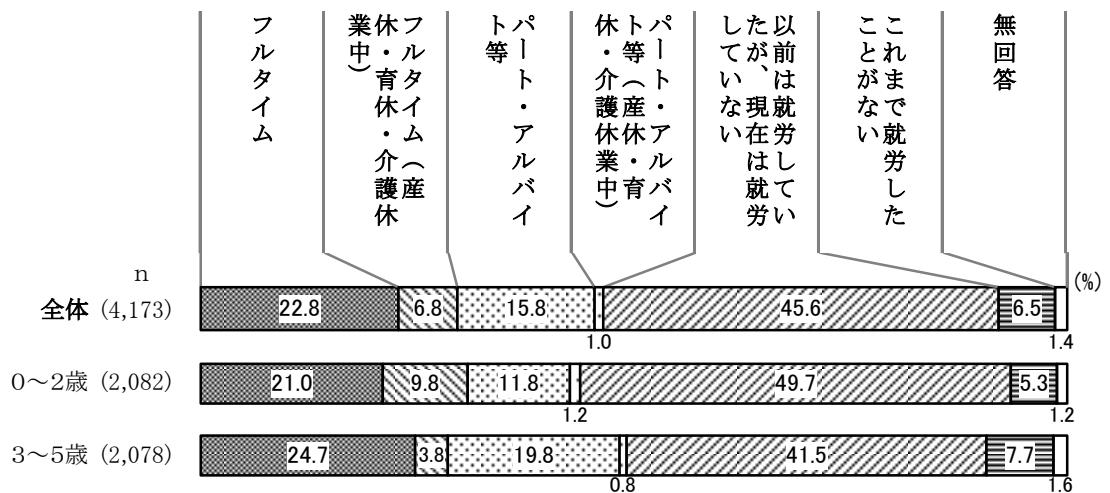
参考までに、就学前児童と小学生の合算値ではあるが、過去の調査との比較では、近年になるほど「困っているときに、相談したり助け合ったりする」、「買い物と一緒にいたり、気の合う人と親しくしている」といった、親しいつき合いがうかがえる回答の比率が減少し、「道で会えばあいさつぐらいはする」、「ほとんど付き合わない」といった、近所づきあいが希薄と考えられる回答の比率が上昇している。(図表 9-8-4)

## 10. 保護者の就労状況について

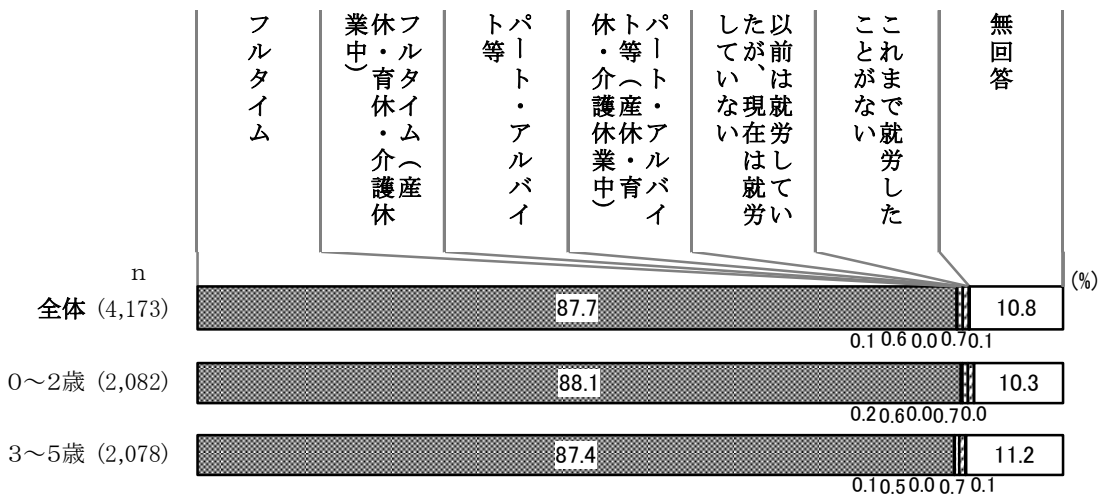
### (1) 保護者の就労状況

問28(1)、(2) 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。就労状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 10-1-1 母親の就労状況/年齢・学年別 (○は1つだけ)



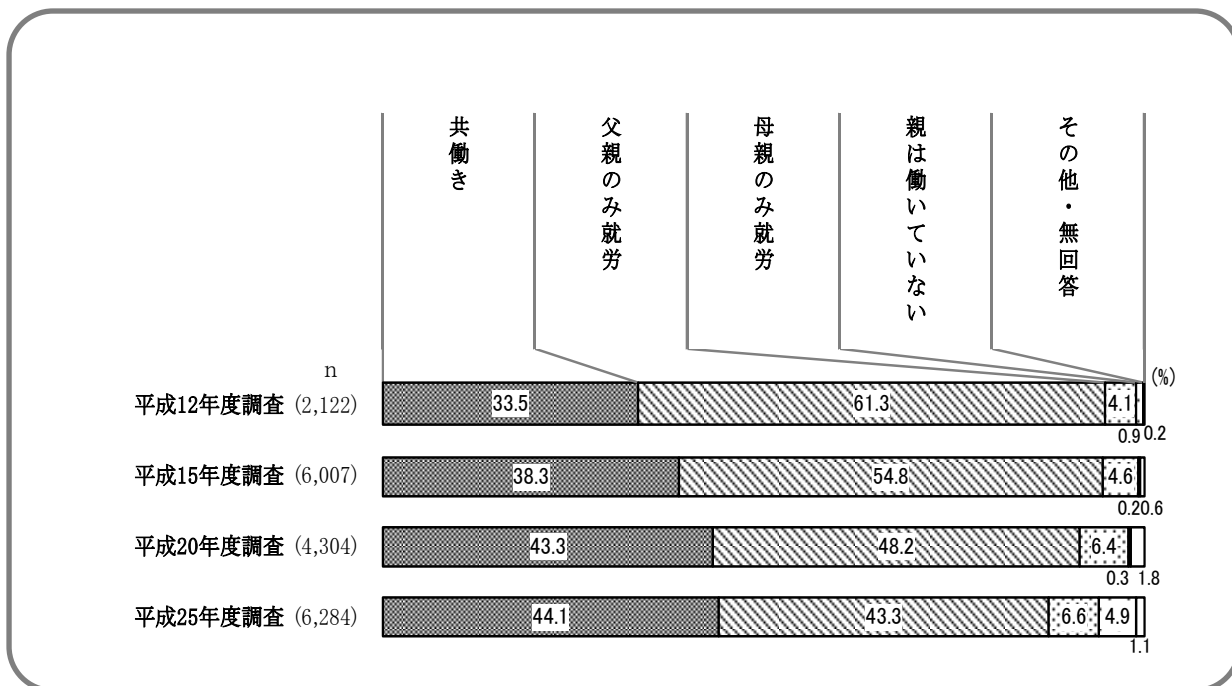
図表 10-1-2 父親の就労状況/年齢・学年別 (○は1つだけ)



保護者の就労状況を尋ねたところ、母親については、いずれの年齢においても「以前は就労していたが、現在は就労していない」の比率が最も高い。年齢別にみると、0~2歳に比べ、3~5歳では「フルタイム」、「パート・アルバイト等」が増加し、「フルタイム(産休・育休・介護休業中)」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は減少している。(図表 10-1-1)

父親については、いずれの年齢においても「フルタイム」が最も高い。(図表 10-1-2)

図表 10-1-3 両親の就労状況／経年比較（就学前児童と小学生の合算値）



参考までに、就学前児童と小学生の合算値ではあるが、両親の就労状況について、過去の調査と比較をすると、近年になるほど「共働き」の比率が上昇し、「父親のみ就労」は減少している。(図表 10-1-3)

## (2) 保護者の就労日数・時間

問 28 (1) -1、(2) -1 ①1 週あたりの就労日数と 1 日あたりの就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時間と帰宅時間を、[ ]内に数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。）時間は、必ず（例）8 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。

※ 『10 (1) 保護者の就労状況』で「フルタイム」、「フルタイム（産休・育休・介護休業中）」、「パート・アルバイト等」、「パート・アルバイト等（産休・育休・介護休業中）」のいずれかに回答した方のみ

図表 10-2-1 週あたりの平均就労日数等／母親・父親別

### 【母親】

	週あたりの 平均就労日数	週あたりの 平均合計就労時間	平均帰宅時間
母親 (n=423)	4.87 日	36 時間 59 分	17 時 55 分

### 【父親】

	週あたりの 平均就労日数	週あたりの 平均合計就労時間	平均帰宅時間
父親 (n=3,692)	5.40 日	56 時間 45 分	20 時 31 分

保護者の就労状況について尋ねたところ、父親の週あたりの平均就労日数、平均合計就労時間は、母親に比べ多く、平均帰宅時間も 20 時台と遅い。（図表 10-2-1）

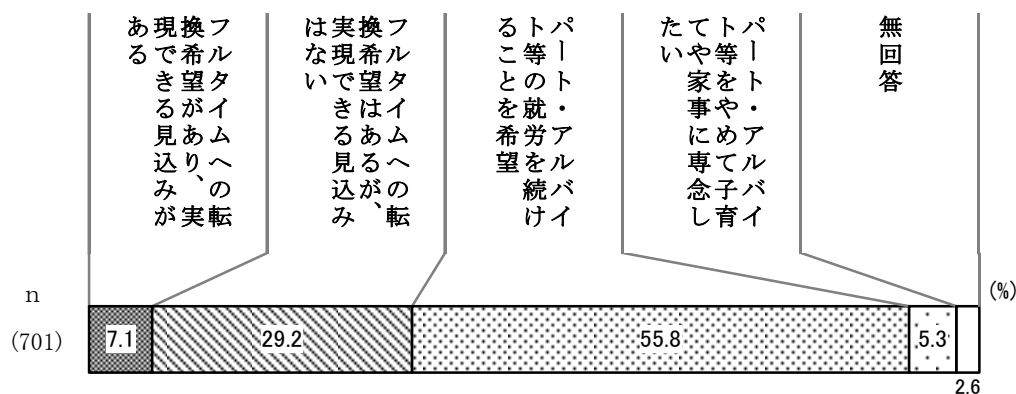


### (3) フルタイムへの転換希望

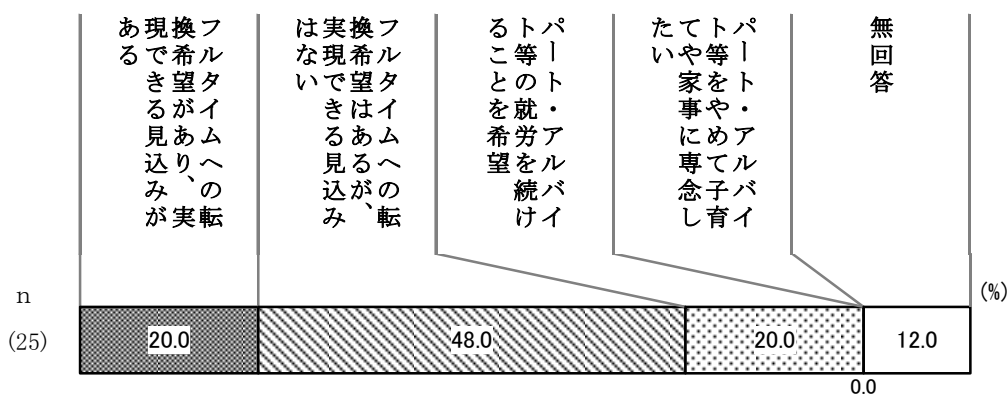
問 28 (1) -2、(2) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 『10 (1) 保護者の就労状況』で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)」と回答した方のみ

図表 10-3-1 フルタイムへの転換希望 (母親) / 全体 (○は1つだけ)



図表 10-3-2 フルタイムへの転換希望 (父親) / 全体 (○は1つだけ)



パート・アルバイト等で就労している保護者に、フルタイムへの転換希望について尋ねたところ、母親については、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた《フルタイムへの転換希望がある》が 36.3% に対し、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は 55.8% となり、現在の就労状況の継続を希望する人が多い。(図表 10-3-1)

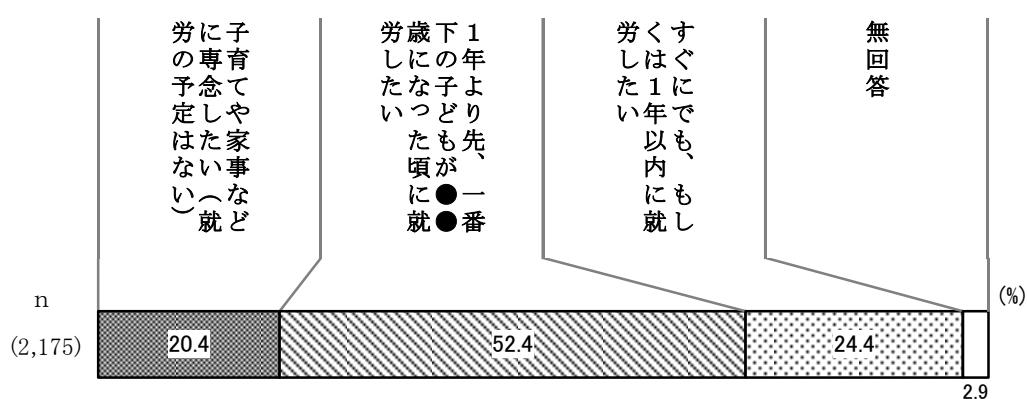
父親については、回答数が少ないため参考値となるが、《フルタイムへの転換希望がある》(68.0%) が、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(20.0%) を大きく上回っている。ただし、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(48.0%) が高く、実際にフルタイムへの転換は厳しい状況にあることがわかる。(図表 10-3-2)

#### (4) 就労希望の有無

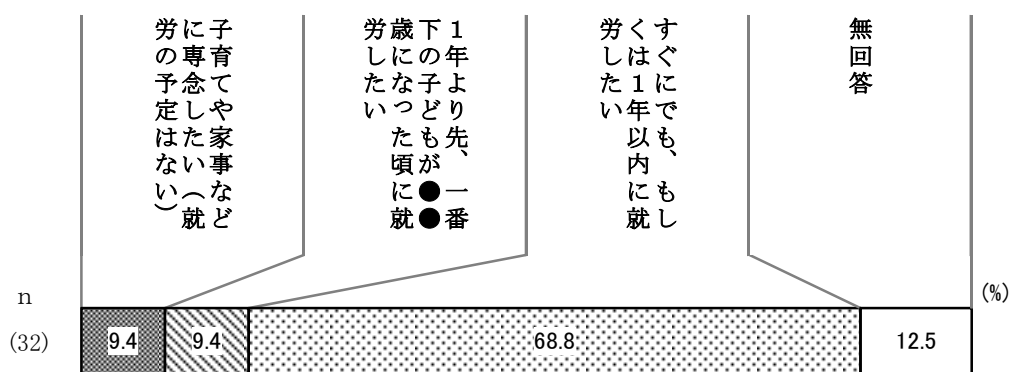
問 28 (1) -3、(2) -3 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。「1年より先、一番下の子どもが●●歳になった頃に就労したい」を選択された方は[ ]内に数字もご記入ください。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択された方は、希望する就労形態について、「フルタイム」または「パート・アルバイト等」1 つに○をつけ、「パート・アルバイト等」に○をつけた場合には、[ ]内に数字もご記入ください。

※ 『10 (1) 保護者の就労状況』で「以前は就労していたが、現在はしていない」または「これまで就労したことがない」と回答した方のみ

図表 10-4-1 就労希望の有無 (母親) / 全体 (○は1つだけ)

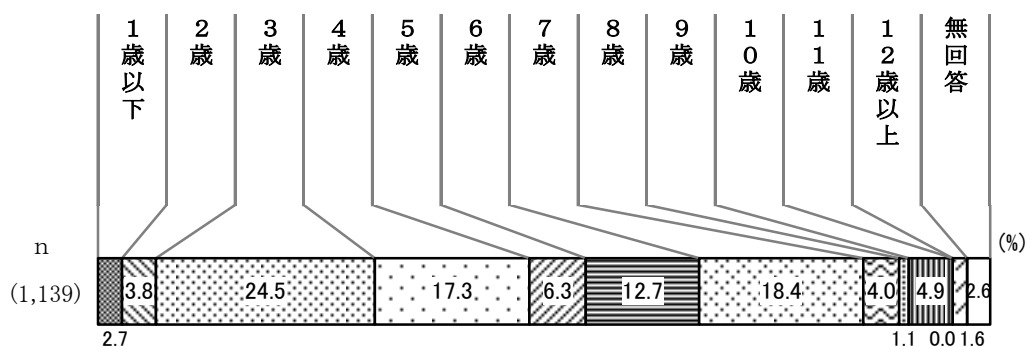


図表 10-4-2 就労希望の有無 (父親) / 全体 (○は1つだけ)



就労希望の有無について尋ねたところ、父親については回答数が少ないため参考値となるが、父母ともに、「1年より先、一番下の子どもが●●歳になった頃に就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を合わせた《就労したい》が8割程度と高い。ただし、母親では「1年より先、一番下の子どもが●●歳になった頃に就労したい」(52.4%)が高く、父親では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(68.8%)が高く、就労を希望する時期に、母親と父親では差がみられる。また、母親については「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が20.4%と、父親の9.4%に比べ高い。(図表 10-4-1、図表 10-4-2)

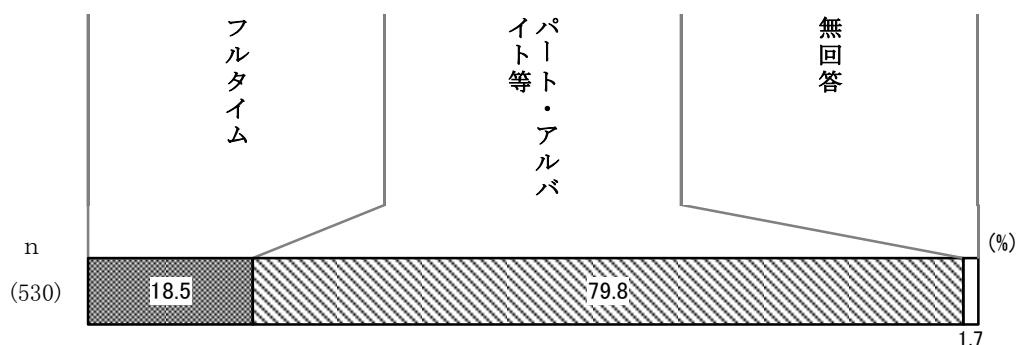
図表 10-4-3 就労を希望する時期の末子の年齢（母親）／全体



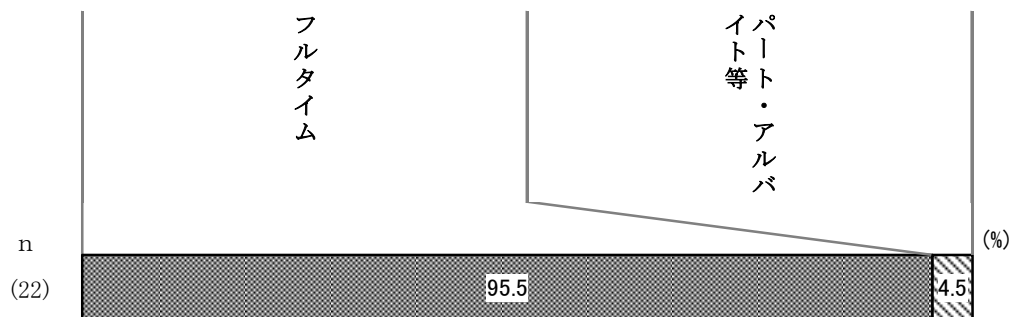
「1年より先、一番下の子どもが●●歳になった頃に就労したい」と回答した人の、就労希望時期の末子の年齢についてみると、母親では「3歳」(24.5%)が最も高く、次いで「7歳」(18.4%)、「4歳」(17.3%)の順となっている。(図表 10-4-3)

父親については、回答数が3件と少なく、傾向がつかめない。

図表 10-4-5 希望就労形態（母親）／全体（○は1つだけ）



図表 10-4-6 希望就労形態（父親）／全体（○は1つだけ）



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の、希望する就労形態についてみると、母親では「パート・アルバイト等」(79.8%)が高い。父親については、回答数が少ないため参考値となるが、「フルタイム」(95.5%)が高い。(図表 10-4-5、図表 10-4-6)

図表 10-4-7 週あたりの平均希望就労日数等／母親・父親別

【母親】

	週あたりの 平均希望就労日数	週あたりの 平均希望就労時間
母親 (n=423)	4.06 日	21 時間 04 分

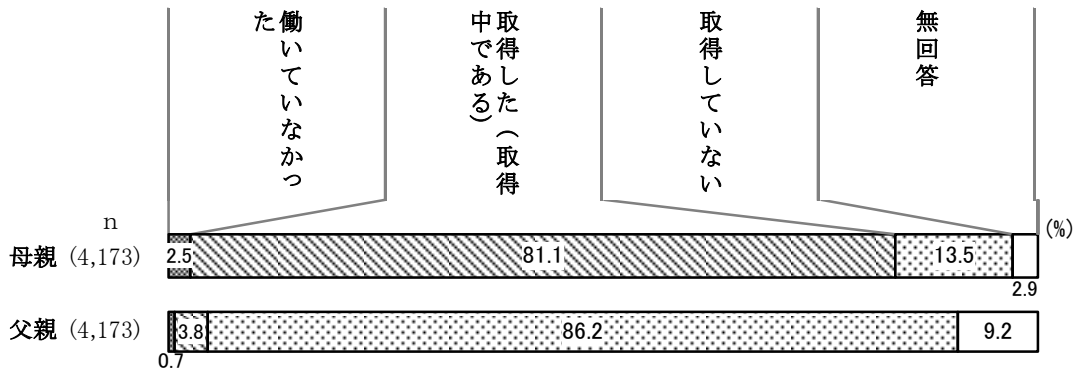
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の、週あたりの平均希望就労日数等についてみると、母親は週あたり4日程度、1日5時間程度の就労を希望している。(図表 10-4-7)  
父親については、回答数が1件と少なく、傾向がつかめない。

# 11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

## (1) 育児休業の取得状況

問29 宛名のお子さんが出産したとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、次の中から当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 11-1-1 育児休業の取得状況／母親・父親別（○は1つだけ）



育児休業の取得状況について尋ねたところ、母親では「取得した（取得中である）」が81.1%と高いが、父親では「取得した（取得中である）」は3.8%となっている。（図表 11-1-1）

図表 11-1-2 育児休業の取得状況／両親の就労状況別（○は1つだけ）

【母親】

【父親】

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	働いていなかった	取得した（取得中である）	取得していない	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,713	37	1,436	223	17
		100.0	2.2	83.8	13.0	1.0
	父親のみ就労	1,979	59	1,604	264	52
		100.0	3.0	81.1	13.3	2.6
	母親のみ就労	226	2	174	40	10
		100.0	0.9	77.0	17.7	4.4
	親は働いていない	215	7	156	32	20
		100.0	3.3	72.6	14.9	9.3

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	働いていなかった	取得した（取得中である）	取得していない	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,713	14	59	1,564	76
		100.0	0.8	3.4	91.3	4.4
	父親のみ就労	1,979	15	73	1,819	72
		100.0	0.8	3.7	91.9	3.6
	母親のみ就労	226	1	11	87	127
		100.0	0.4	4.9	38.5	56.2
	親は働いていない	215	1	16	117	81
		100.0	0.5	7.4	54.4	37.7

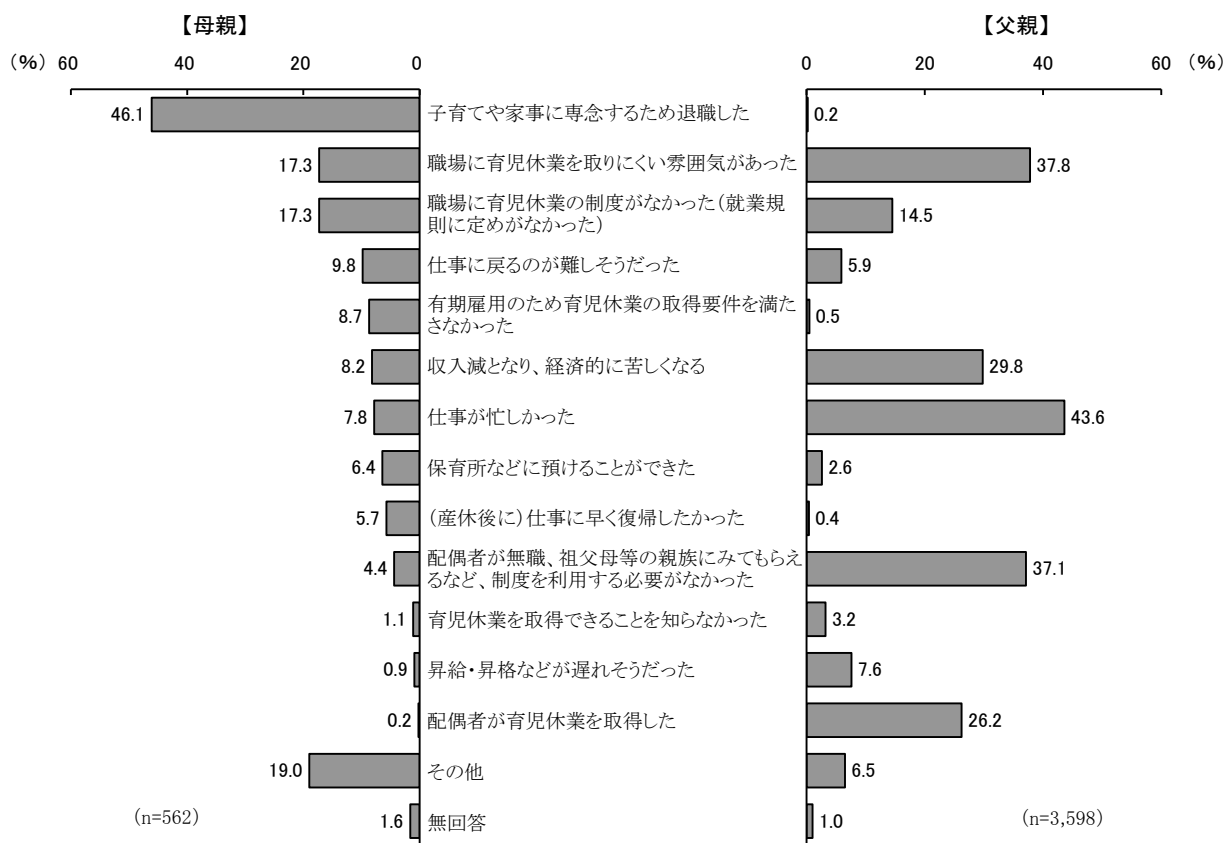
両親の就労状況別にみると、父親の回答のうち、「共働き」、「父親のみ就労」の場合、「取得していない」が9割以上と高い。（図表 11-1-2）

## (2) 育児休業を取得していない理由

問29-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。母親、父親の該当する方について、次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『11(1) 育児休業の取得状況』で母親または父親が「取得していない」と回答した方のみ

図表 11-2-1 育児休業を取得していない理由／母親・父親別（○はいくつでも）



育児休業を取得していない理由について尋ねたところ、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」(46.1%)が最も高いが、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(17.3%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(9.8%)、「仕事が忙しかった」(7.8%)といった職場の状況を理由とするものや、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(17.3%)、「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」(8.7%)といった育児休業制度を理由とするものや、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(8.2%)との回答が多い。

一方、父親では、「仕事が忙しかった」(43.6%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(37.8%)といった職場の状況を理由とするものが多く、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(37.1%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(29.8%)「配偶者が育児休業を取得した」(26.2%)といった回答も多い。(図表 11-2-1)

図表 11-2-2 育児休業を取得していない理由（上位 13 項目）（母親）／両親の就労状況別  
（○はいくつでも）

		(上段：件 下段：%)														
		調査数	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	仕事に戻るのが難しそうだった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	収入減となり、経済的に苦しくなる	仕事が多かった	仕事が多かった	保育所などに預けることができた	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用するに必要がなかった	育児休業を取得できなかった	昇給・昇格などが遅れそうだった	配偶者が育児休業を取得した
両親の就労状況別	共働き	223 100.0	57 25.6	47 21.1	52 23.3	22 9.9	20 9.0	35 15.7	32 14.3	27 12.1	24 10.8	12 5.4	-	-	3 1.3	1 0.4
	父親のみ就労	264 100.0	174 65.9	35 13.3	33 12.5	21 8.0	24 9.1	2 0.8	6 2.3	3 1.1	3 1.1	3 1.0	4 1.5	10 3.8	1 0.4	-
	母親のみ就労	40 100.0	7 17.5	8 20.0	5 12.5	2 5.0	2 5.0	7 17.5	3 7.5	3 7.5	6 15.0	5 12.5	2 5.0	1 2.5	1 2.5	-
	親は働いていない	32 100.0	20 62.5	6 18.8	6 18.8	7 21.9	3 9.4	1 3.1	3 9.4	-	-	-	1 3.1	-	-	-

図表 11-2-3 育児休業を取得していない理由（上位 13 項目）（父親）／両親の就労状況別  
（○はいくつでも）

		(上段：件 下段：%)														
		調査数	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	仕事に戻るのが難しそうだった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	収入減となり、経済的に苦しくなる	仕事が多かった	仕事が多かった	保育所などに預けることができた	（産休後に）仕事に早く復帰したかった	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用するに必要がなかった	育児休業を取得できなかった	昇給・昇格などが遅れそうだった	配偶者が育児休業を取得した
両親の就労状況別	共働き	1,564 100.0	-	588 37.6	222 14.2	93 5.9	13 0.8	540 34.5	617 39.5	78 5.0	6 0.4	327 20.9	53 3.4	119 7.6	809 51.7	
	父親のみ就労	1,819 100.0	6 0.3	693 38.1	269 14.8	107 5.9	4 0.2	476 26.2	864 47.5	9 0.5	6 0.3	935 51.4	54 3.0	139 7.6	89 4.9	
	母親のみ就労	87 100.0	-	36 41.4	12 13.8	5 5.7	1 1.1	28 32.2	34 39.1	6 6.9	-	21 24.1	5 5.7	4 4.6	35 40.2	
	親は働いていない	117 100.0	1 0.9	39 33.3	19 16.2	4 3.4	-	25 21.4	50 42.7	-	-	-	52 44.4	3 2.6	8 6.8	5 4.3

両親の就労状況別にみると、母親が育児休業を取得していない理由として、「共働き」の場合、「職場に育児休業の制度がなかった」、「仕事が多かった」、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」といった職場の状況を理由とするものや、「保育所などに預けることができた」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の比率が、他の就労状況に比べ高い。

また、「父親のみ就労」の場合、「子育てや家事に専念するため退職した」の比率が、また、「母親のみ就労」の場合、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」、「保育所などに預けることができた」の比率が、他の就労状況に比べ高い。

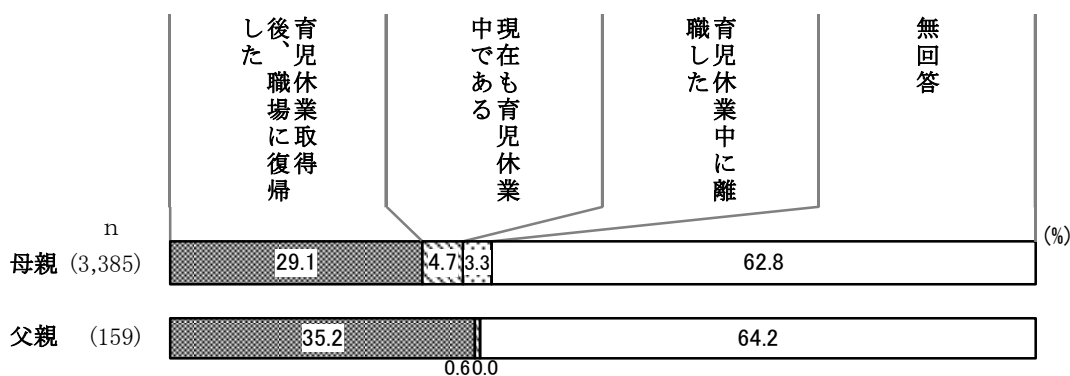
父親が育児休業を取得していない理由として、「共働き」の場合、「配偶者が育児休業を取得した」の比率が、「父親のみ就労」の場合、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の比率が、他の就労状況に比べ高い。（図表 11-2-2、図表 11-2-3）

### (3) 育児休業取得後の職場への復帰状況

問30 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親の該当する方について、次の中から当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 『11(1) 育児休業の取得状況』で母親または父親が「取得した」と回答した方のみ

図表 11-3-1 育児休業取得後の職場への復帰状況/母親・父親別 (○は1つだけ)



育児休業取得後の職場への復帰状況について尋ねたところ、無回答を除き、父母ともに多くが「育児休業取得後、職場に復帰した」となっている。(図表 11-3-1)

図表 11-3-2 育児休業取得後の職場への復帰状況/両親の就労状況別 (○は1つだけ)

【母親】

【父親】

(上段: 件 下段: %)

		調査数	育児休業取得後、職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に離職した	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,436	848	140	27	421
		100.0	59.1	9.7	1.9	29.3
	父親のみ就労	1,604	63	4	68	1,469
		100.0	3.9	0.2	4.2	91.6
	母親のみ就労	174	68	13	9	84
	100.0	39.1	7.5	5.2	48.3	
親は働いていない	156	3	1	9	143	
	100.0	1.9	0.6	5.8	91.7	

(上段: 件 下段: %)

		調査数	育児休業取得後、職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に離職した	無回答
両親の就労状況別	共働き	59	20	-	-	39
		100.0	33.9	-	-	66.1
	父親のみ就労	73	29	1	-	43
		100.0	39.7	1.4	-	58.9
	母親のみ就労	11	6	-	-	5
	100.0	54.5	-	-	45.5	
親は働いていない	16	1	-	-	15	
	100.0	6.3	-	-	93.8	

両親の就労状況別にみると、母親の「共働き」の場合、「育児休業取得後、職場に復帰した」の比率が最も高く、59.1%となっている。また、「父親のみ就労」と「母親のみ就労」の場合、「育児休業中に離職した」が4~5%程度いる。(図表 11-3-2)

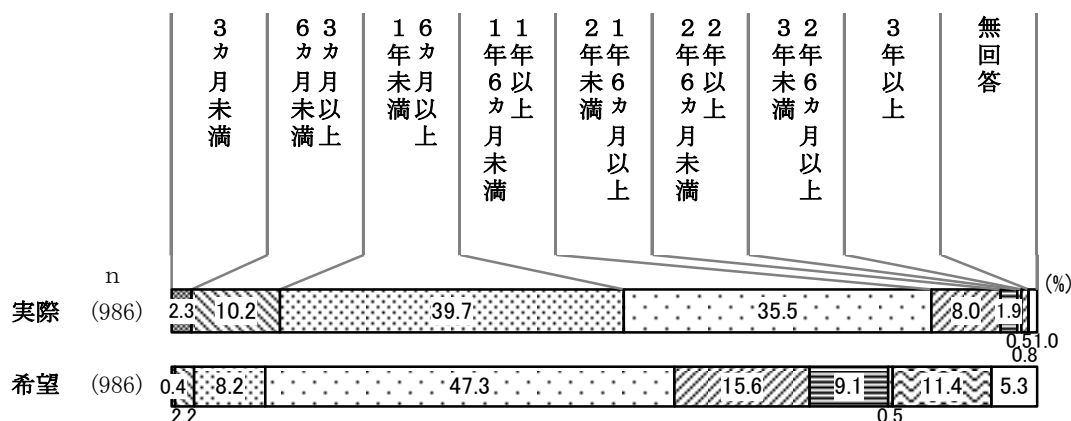


#### (4) 育児休業の取得期間

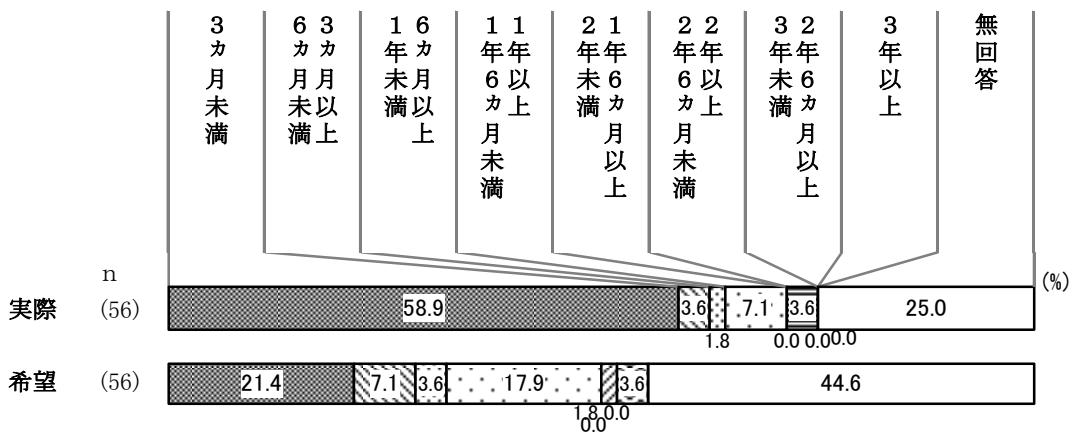
問30-1 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヵ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはお子さんが何歳何ヵ月のときまで育児休業を取得したかったですか。母親、父親の該当する方について、[ ]内に数字でご記入ください。

※ 『11(3) 育児休業取得後の職場への復帰状況』で母親または父親が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

図表 11-4-1 母親の育児休業取得期間／全体



図表 11-4-2 父親の育児休業取得期間／全体



育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間について尋ねたところ、母親では、8割以上が「1年以上」の取得を希望しているが、実際の取得期間は半数以上が「1年未満」となっており、希望する期間を取得できない状況となっている。(図表 11-4-1)

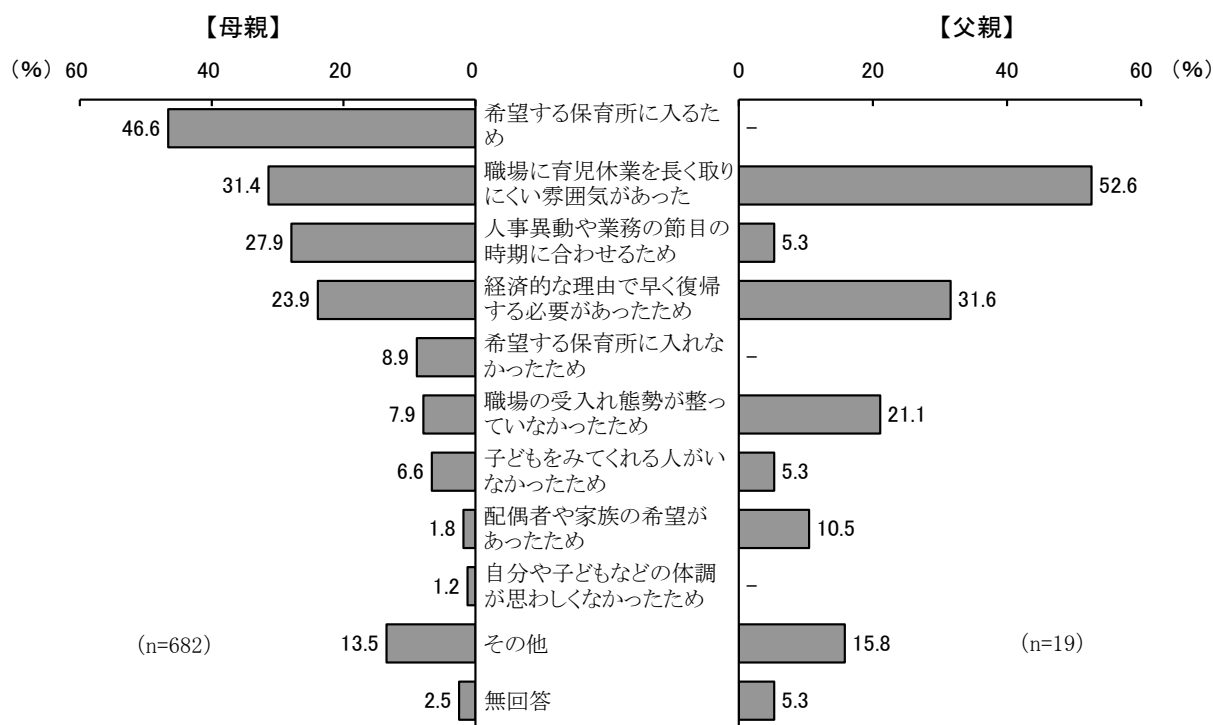
父親では、希望の取得期間は、「3ヵ月未満」と「1年以上1年6ヵ月未満」が多いが、実際の取得期間は「3ヵ月未満」が最も多い。(図表 11-4-2)

## (5) 職場復帰時期が希望と異なる理由

問31 職場復帰が希望の時期と異なっていた理由は何ですか。母親、父親の該当する方について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『11(4) 育児休業の取得期間』で実際の復帰と希望が異なる方のみ

図表 11-5-1 職場復帰が希望の時期と異なる理由／母親・父親別 (○はいくつでも)



職場復帰が希望の時期と異なる理由について尋ねたところ、母親では、「希望する保育所に入るため」(46.6%)が最も高い。また、「職場に育児休業を長く取りにくい雰囲気があった」(31.4%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(27.9%)といった職場の状況を理由とするものや、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(23.9%)との回答が多い。

父親では、回答数が少ないため参考値となるが、職場の状況を理由とするものが特に多く「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(31.6%)との回答も多い。(図表 11-5-1)

図表 11-5-2 職場復帰が希望の時期と異なる理由（母親）／

職場復帰の理由が「希望する保育所に入るため」の方のみ抜粋

(上段：件 下段：%)

【母親】 希望の育児休業取得期間  【母親】 実際の育児休業取得期間	調査数	3	3	6	1	1	2	2	3
		ヵ月未 満	ヵ月以 上6ヵ 月未 満	ヵ月以 上1年 未 満	年以上 1年6 ヵ月未 満	年以上 6ヵ月 以上2 年未 満	年以上 2年6 ヵ月未 満	年以上 3年未 満	年以上
3ヵ月未満	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
3ヵ月以上6ヵ月未満	38 100.0	1 2.6	- -	2 5.3	26 68.4	4 10.5	2 5.3	- -	3 7.9
6ヵ月以上1年未満	192 100.0	1 0.5	1 0.5	3 1.6	105 54.7	42 21.9	23 12.0	2 1.0	15 7.8
1年以上1年6ヵ月未満	65 100.0	- -	- -	- -	13 20.0	28 43.1	14 21.5	- -	10 15.4
1年6ヵ月以上2年未満	15 100.0	- -	- -	1 6.7	1 6.7	- -	4 26.7	1 6.7	8 53.3
2年以上2年6ヵ月未満	4 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	4 100.0
2年6ヵ月以上3年未満	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0
3年以上	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

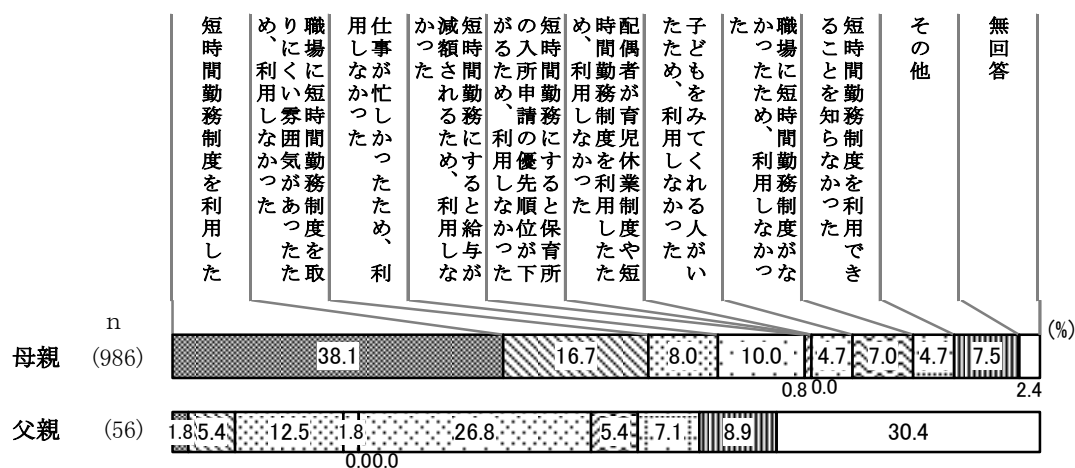
職場復帰が希望の時期と異なる理由として、「希望する保育所に入るため」と回答した母親の、実際の育児休業の取得期間別に、希望する取得期間をみると、実際の取得期間として最も多い「6ヵ月以上1年未満」では、「1年以上1年6ヵ月未満」の希望が最も多く、また、実際の取得期間として次に多い「1年以上1年6ヵ月未満」では、「1年6ヵ月以上2年未満」の希望が最も多い。保育所入所に合わせ、育児休業の取得期間を希望よりも短縮しているケースが多いと考えられる。(図表 11-5-2)

## (6) 短時間勤務制度の利用状況

問32 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 『11(3) 育児休業取得後の職場への復帰状況』で母親または父親が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

図表 11-6-1 短時間勤務制度の利用状況／母親・父親別（○は1つだけ）



育児休業取得後、職場復帰した人に、短時間勤務制度の利用状況について尋ねたところ、母親では「利用した」が38.1%に対し、父親では1.8%となっている。

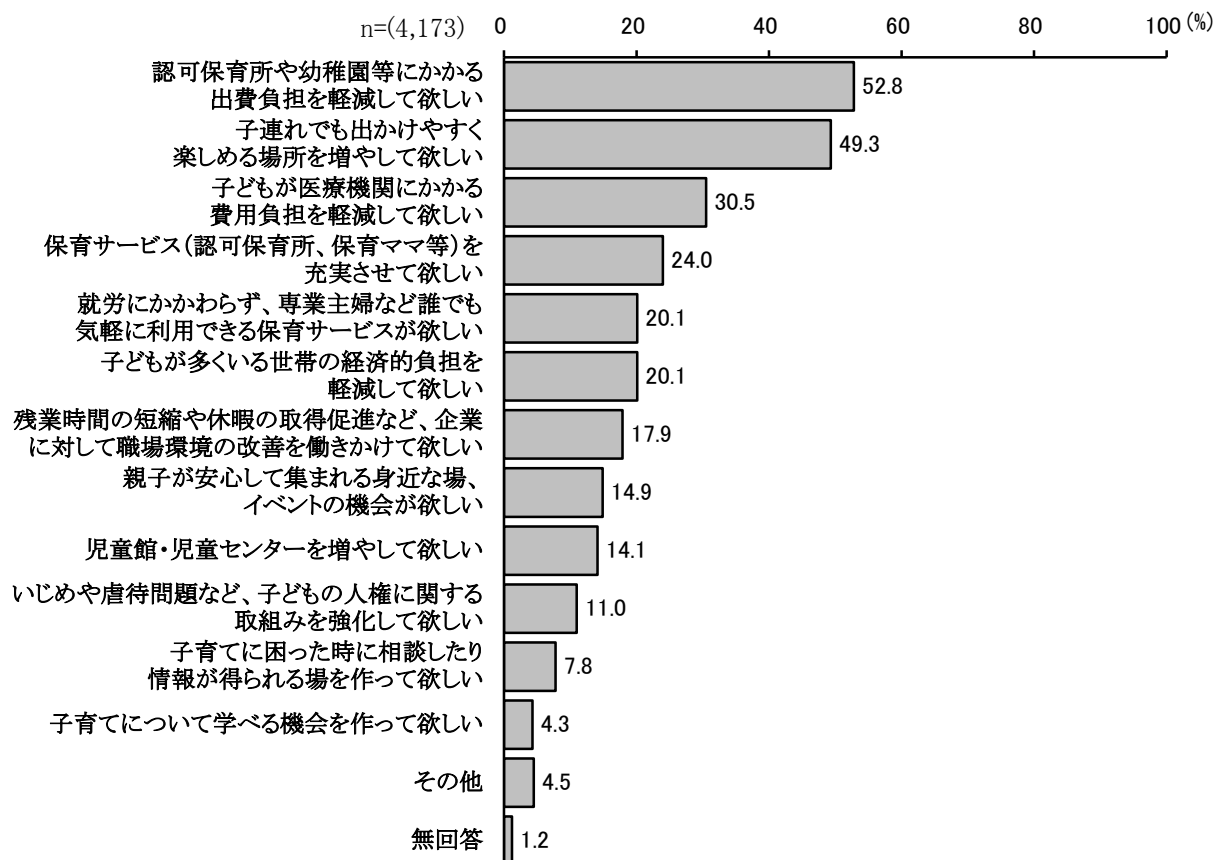
利用しなかった理由として、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」(16.7%)、「仕事が忙しかったため」(8.0%)、「職場に短時間勤務制度がなかったため」(7.0%)といった職場の状況を理由とするものが多く、その他に、「短時間勤務にすると給与が減額されるため」(10.0%)との回答もある。父親では「子どもをみてくれる人がいたため」(26.8%)が最も多く、次いで「仕事が忙しかったため」(12.5%)となっている。(図表 11-6-1)

## 12. 子育てに関する市への意見等について

### (1) 市に充実して欲しい子育て支援

問33 仙台市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと思いますか。次の中から当てはまる番号に、3つまで○をつけてください。

図表 12-1-1 市に充実して欲しい子育て支援／全体（○は3つまで）

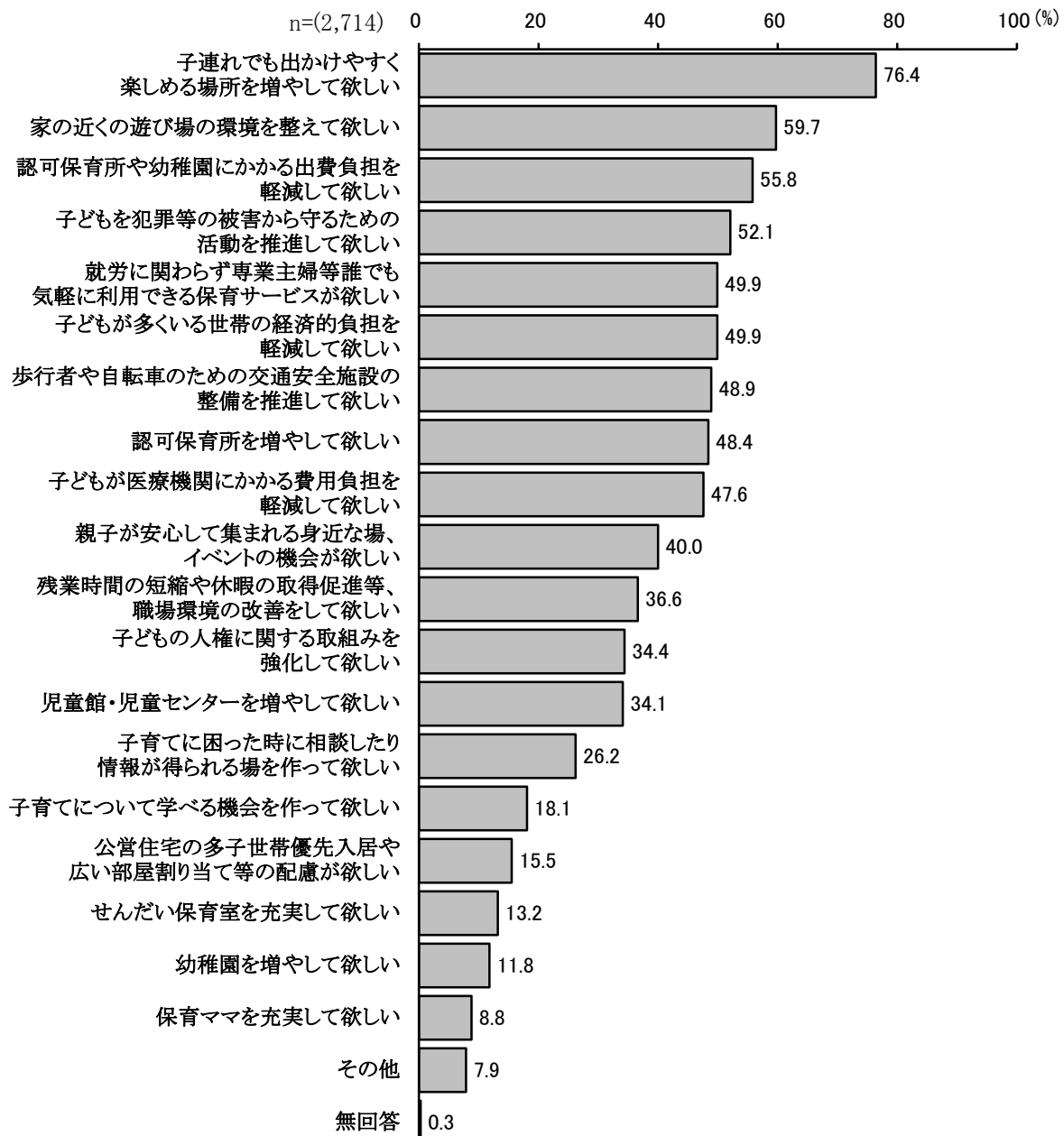


市に充実して欲しい子育て支援について尋ねたところ、上位の項目では、「認可保育所や幼稚園等にかかる出費負担を軽減して欲しい」(52.8%)、「子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減して欲しい」(30.5%)といった、経済的な負担の軽減を望むものが多く、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」(49.3%)、「親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」(14.9%)といった、子どもと過ごす場所の充実を望むものや、「保育サービス(認可保育所、保育ママ等)を充実させて欲しい」、「就労にかかわらず、専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスが欲しい」といった回答が多い。その他、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい」(17.9%)との回答も多い。(図表 12-1-1)

今回上位にあがっている項目は、平成 20 年度調査の同様の設問においても上位にあがっており、市に望む内容は、年数が経過しても、概ね変化はない。(図表 12-1-1、図表 12-1-2)

図表 12-1-2 市に充実して欲しい子育て支援／全体（〇はいくつでも）

参考：平成 20 年度調査



図表 12-1-3 市に充実して欲しい子育て支援／年齢別 (〇は3つまで)

		(上段：件 下段：%)																
		調査数	認可保育所や幼稚園等にかかる出費負担を軽減して欲しい	子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減して欲しい	子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減して欲しい	保育サービス(認可保育所、保育ママ等)を充実させて欲しい	誰でも気軽に利用できる保育サービスが欲しい	就労にかかわらず、専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスが欲しい	子どもが多くなる世帯の経済的負担を軽減して欲しい	子どもの改善を働きかけて欲しい	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい	親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい	児童館・児童センターを増やして欲しい	情報や虐待問題など、子どもの人権に関する取り組みを強化したい	子育てに困った時に相談したり情報を得られる場を作りたい	子育てについて学べる機会を作りたい	その他	無回答
子どもの年齢別	0歳	717 100.0	394 55.0	381 53.1	168 23.4	236 32.9	151 21.1	145 20.2	140 19.5	158 22.0	67 9.3	54 7.5	67 9.3	39 5.4	25 3.5	3 0.4		
	1歳	698 100.0	380 54.4	395 56.6	158 22.6	200 28.7	152 21.8	132 18.9	133 19.1	115 16.5	84 12.0	62 8.9	58 8.3	17 2.4	24 3.4	6 0.9		
	2歳	667 100.0	393 58.9	329 49.3	201 30.1	169 25.3	136 20.4	130 19.5	120 18.0	91 13.6	75 11.2	61 9.1	52 7.8	37 5.5	35 5.2	6 0.9		
	3歳	708 100.0	395 55.8	325 45.9	233 32.9	157 22.2	120 16.9	147 20.8	136 19.2	83 11.7	105 14.8	75 10.6	50 7.1	31 4.4	28 4.0	11 1.6		
	4歳	667 100.0	339 50.8	321 48.1	241 36.1	118 17.7	138 20.7	137 20.5	100 15.0	96 14.4	104 15.6	82 12.3	44 6.6	23 3.4	37 5.5	13 1.9		
	5歳	703 100.0	299 42.5	301 42.8	268 38.1	120 17.1	141 20.1	145 20.6	116 16.5	76 10.8	150 21.3	124 17.6	53 7.5	32 4.6	37 5.3	9 1.3		

年齢別にみると、経済的な負担の軽減を望むもののうち、「認可保育所や幼稚園等にかかる出費負担を軽減して欲しい」は、子どもの年齢が上がるにつれて減少する傾向にあるが、「子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減して欲しい」は、子どもの年齢が上がるにつれて上昇する傾向にある。また、「子ども連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」、「親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」、「保育サービス(認可保育所、保育ママ等)を充実させて欲しい」は、子どもの年齢が上がるにつれて減少する傾向にある。(図表 12-1-3)

図表 12-1-4 市に充実して欲しい子育て支援／両親の就労状況別 (〇は3つまで)

		(上段：件 下段：%)																
		調査数	認可保育所や幼稚園等にかかる出費負担を軽減して欲しい	子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減して欲しい	子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減して欲しい	保育サービス(認可保育所、保育ママ等)を充実させて欲しい	誰でも気軽に利用できる保育サービスが欲しい	就労にかかわらず、専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスが欲しい	子どもが多くなる世帯の経済的負担を軽減して欲しい	子どもの改善を働きかけて欲しい	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい	親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい	児童館・児童センターを増やして欲しい	情報や虐待問題など、子どもの人権に関する取り組みを強化したい	子育てに困った時に相談したり情報を得られる場を作りたい	子育てについて学べる機会を作りたい	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,713 100.0	912 53.2	786 45.9	488 28.5	585 34.2	170 9.9	315 18.4	422 24.6	195 11.4	350 20.4	173 10.1	91 5.3	57 3.3	91 5.3	21 1.2		
	父親のみ就労	1,979 100.0	1,084 54.8	1,033 52.2	651 32.9	308 15.6	583 29.5	429 21.7	257 13.0	339 17.1	167 8.4	220 11.1	190 9.6	97 4.9	69 3.5	15 0.8		
	母親のみ就労	226 100.0	97 42.9	96 42.5	59 26.1	65 28.8	27 11.9	42 18.6	48 21.2	32 14.2	21 9.3	46 20.4	29 12.8	23 10.2	10 4.4	18 8.0	5 2.2	
	親は働いていない	215 100.0	97 45.1	121 56.3	67 31.2	35 16.3	53 24.7	47 21.9	18 8.4	48 22.3	21 9.8	31 14.4	16 7.4	14 6.5	9 4.2	4 1.9		

両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「保育サービス(認可保育所、保育ママ等)を充実させて欲しい」、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい」、「児童館・児童センターを増やして欲しい」が、他の就労状況に比べ高い。また、「父親のみ就労」、「親は働いていない」の場合、「就労に関わらず、専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスが欲しい」が、他の就労状況に比べ高い。(図表 12-1-4)

## (2) 意見・要望

問34 仙台市の子育て支援施策に関するご意見やその他のご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見（就学前）		2,907 件
1. 幼児教育・保育について		928 件
① 認定こども園		34 件
② 保育所整備		272 件
③ 幼稚園・保育施設等		85 件
④ 保育制度		92 件
⑤ 保育所保育時間		33 件
⑥ 保育所一時預かり		73 件
⑦ 保育所入所基準・利用者基準		54 件
⑧ 幼稚園全般		43 件
⑨ 幼稚園保育時間		14 件
⑩ 病児保育		91 件
⑪ すくすくサポート・のびすく仙台		83 件
⑫ 利用施設内一時預かり		14 件
⑬ 児童館		4 件
⑭ その他		36 件
2. 放課後児童について		232 件
① 児童館・放課後児童クラブ		165 件
② 学童保育時間・一時預かり		47 件
③ 放課後子ども教室・その他		20 件
3. 労働環境について		151 件
① 保護者の労働環境		98 件
② 施設従事者の労働環境		53 件
4. 生活環境について		275 件
① 子どもの遊び場（公園や屋内施設）		170 件
② 居住環境		5 件
③ 公共施設（図書館など）・交通		96 件
④ その他		4 件
5. 経済的負担について		487 件
① 子育て家庭への負担軽減		236 件
② 妊娠・出産にかかる負担軽減		16 件
③ 保育料の軽減		233 件
④ その他		2 件
6. 母子保健・医療について		321 件



	① 母子保健・医療全般	311 件
	② 時間外医療	10 件
7. 子育て支援について		213 件
	① 子育て支援全般	3 件
	② 集まりの場・イベント・講座等	67 件
	③ 親育て	13 件
	④ 育児相談	50 件
	⑤ 子育て情報	80 件
8. 行政全般・計画づくりについて		71 件
	① 行政の施策・計画づくり	37 件
	② 行政手続き	12 件
	③ 窓口対応・その他	22 件
9. その他		229 件
	① 地域社会	22 件
	② 学校教育	30 件
	③ 社会の仕組み	69 件
	④ 子どもの権利	6 件
	⑤ 要保護(障害・被虐待)児童	51 件
	⑥ その他	51 件

## 就学前児童の保護者向け調査での自由意見 一部抜粋

### 1. 幼児教育・保育について

#### ①認定こども園

- 「幼・保一体化」を各居住地域に等しく実現して欲しい。
- 認定こども園が普及すればとても助かる。幼稚園へ行かせたいと思うが就労している為、断念して保育所へ行かせているので、こども園普及に期待している。保育所の受入れ人数を増やすことは反対である。子どもが園庭でのびのび遊べなくなるし、危険を感じる。施設自体を増やして欲しい。

#### ②保育所整備

- 中心街の保育所が少ない。幼稚園では働けない。車を持たないのに遠い所の保育所にしか入れず、毎日の送り迎えが大変である。
- 3歳未満児であっても、兄弟が同じ保育所に通えるようにして欲しい。保育所だけでなく小学校就学後も、子どもを預けたり、安心して子どもが過ごせる場を増やして欲しい。

#### ③幼稚園・保育施設等

- サービス業は特に土、日、祝日が仕事なので、日曜日も保育してくれる所を増やして欲しい。現在は、家族に頼んでみられているが、祖父母がおり、高齢者の面倒と子どもの面倒をともに母親が負担している。そういう面からも保育サービスの充実をお願いしたい。
- 質の高い(生活面、学習面)幼児教育を提供していただく場がもう少しあると良いと思う。

#### ④保育制度

○社員としてフルタイムで働いている人に対しても、手厚く制度を考えて欲しい。母子・父子家庭に対する制度を手厚くして欲しい。

○子育て支援制度は頻繁に変わるため、子どもが大きく（中学、高校、大学）なった時の経済的不安が大きい。

#### ⑤保育所保育時間

○幼稚園の閉園時間後、19時くらいまで利用できる施設を充実させて欲しい。

#### ⑥保育所一時預かり

○家の近くに一時保育をしている保育所があるが、2、3ヶ月前に予約しないと利用出来ないのでは、急な用事が入った時でもすぐに利用出来るように改善して欲しい。

○認可保育所の一時預かりが利用できないことが多いので、対応して欲しい。

#### ⑦保育所入所基準・利用者基準

○9月生まれのため、認可保育所の空きはなく、認可外保育を選択せざるをえなかったため、4月以外でも、入所しやすい環境を整えて欲しい。

○育休中で、親が家にいる家庭の子どもが、保育所に通えているのはおかしいと思う。

#### ⑧幼稚園全般

○地域の幼稚園が少なく、未就園児も抽選や地区制のため入れる所がないので、市立の幼稚園を地区に作って欲しい。

○幼稚園の預かり保育事業を充実させて欲しい。

#### ⑨幼稚園保育時間

○幼稚園の預かり保育を（7:00～19:15）まで、全幼稚園でやって欲しい。

#### ⑩病児保育

○病児・病後児保育に興味があるが、自宅近くには施設がなく、車を運転しないので、駅近くに欲しい。

○利用している保育所で病児保育も行なって欲しい。

#### ⑪すくすくサポート・のびすく仙台

○のびすくなどの施設や児童館など、子育てしている人が集まりやすい場所がたくさんある点は、通勤族の私にはとてもありがたい。

○のびすくが若林区にもあると助かる。

#### ⑫利用施設内一時預かり

○ショッピングセンターの中に、乳幼児のみが利用できる無料の遊び場があれば便利だと思う。

#### ⑬児童館

○小学校の中にある児童館は、乳幼児には使いにくい。児童館へ行った時も、部屋に行くまでの間に、校舎から飛び出してきた小学生が、自分の子どもにぶつかったり、突然ベビーカーをゆすられたこともあり、利用に不安がある。

## 2. 放課後児童について

### ①児童館・放課後児童クラブ

○仙台市には楽しく遊べる児童館が全くないと思う。

○放課後児童クラブの対象を小学6年までに拡大するのを早急をお願いしたい。

### ②学童保育時間・一時預かり

○就学後も、子どもを預けたり、安心して子どもが過ごせる場を増やして欲しい。

○学童保育など、民間でもっとやってもらいたい。夜間まで預かって欲しい。

### ③放課後子ども教室・その他

○すべての小学校に「放課後こども教室」を開設して欲しい。

## 3. 労働環境について

### ①保護者の労働環境

○仙台市はまだ待機児童が多いと思うので、待機児童解消に向けてがんばって欲しい。働きたい女性が働ける環境づくりをお願いしたい。

○民間の、特に中小の企業は子育てに関する環境整備はまだまだ整っていない。無理をして働かざるを得ない母親の中（父親も含め）には、メンタル面で非常に苦しい状況に追い込まれている方々も多い。職場でのメンタル面のフォローなども整えて頂きたい。

### ②施設従事者の労働環境

○保育所の先生方は頑張っている。お互いに利用しやすくなるよう、先生方の給料等の待遇改善を希望する。過酷な労働環境のわりには待遇が悪いと感じる。このままでは、保育に係る従事者が不足するのではと懸念している。

○保育所の先生の異動が早いので、子ども達が新しい先生に慣れるまで戸惑っている。

## 4. 生活環境について

### ①子どもの遊び場（公園や屋内施設）

○仙台市には子どもが沢山いるのに、子どもの遊び場、公園が少ないと思う。津波で流されてしまった所もあるが、もっと増やして欲しい。

○雨天でも子どもが体を使って思いっきり遊べる施設（利用料無料で）を作って欲しい。

### ②居住環境

○震災で民間借り上げ住宅に入居しており、子育て支援情報などを目にするが、住む所もまだ定まっていない。子ども達を安心させてあげられる居場所が一刻でも早く見つければ、子育てに関する環境も変わってくるのではないのかと思う。

### ③公共施設（図書館など）・交通

○仙台駅まで近くても、交通機関が利用し難い時や、なかなか街まで行き難いと思う時がよくある。子連れにも利用し易い、工夫のされているバスや地下鉄があったら良いのと思う。

○仙台市の施設（美術館、図書館、博物館など）全てが、月曜日が定休日なので、月曜しか仕事が休みのない我が家の子どもたちは全く利用できない。せめて月に1回ぐらいは月曜日も営業して欲しい。

## 5. 経済的負担について

### ①子育て家庭への負担軽減

○早急に、保育費用の負担軽減をして欲しい。

○私は子どもを4人欲しいと思っているが、子育てにはやはりお金がすごくかかるので、支援の仕方を色々改善して欲しい。

### ②妊娠・出産にかかる負担軽減

○子育ての中でかかるお金や出産費用などの負担を、もう少し軽くして欲しい。

○子育てに力を入れるだけでなく、不妊治療の補助金にもっと力を入れて欲しい。

### ③保育料の軽減

- 仙台市は私立の幼稚園ばかりで、保育料がかかりすぎると思う。
- 母子家庭には保育料が高くて、生活が大変である。

## 6. 母子保健・医療について

### ①母子保健・医療全般

- 3歳以上からの医療費が無料ではなくなるが、3歳以上から集団に入って病気をしやすくなり、お金がかかるため（入園・教育費等）、無料のままにして欲しい。
- 健診（1歳半健診等）の時間が午後では、子どもが昼寝の時間になり、ぐずってしまいゆっくりお話ができないため、午前中にして欲しい。3歳半健診での聴覚・視力検査は、医師や看護師さんにやって欲しい。

### ②時間外医療

- 市立病院の看護師の短時間正職員制度、夜勤専従職員制度、日勤専従職員制度について検討して欲しい。

## 7. 子育て支援について

### ①子育て支援全般

- 仙台市は、育児（子育て）環境が充実してなくて住みにくい。

### ②集まりの場・イベント・講座等

- 働いている為、土日祝日に参加出来るイベントや、子育てセミナー等を増やしてもらえれば、積極的に参加したい。
- 親子で参加できるイベント作り、特に、父親の休日が平日のため、土日だけのイベントではなく、平日参加できるようなものを増やして欲しい。

### ③親育て

- 働くママに優しい仙台市ではなく、全てのママに優しい仙台市にしてもらいたい。子育てをしたくないから働いているママもかなりいると考えられるため、子育てから逃がしてあげるのではなく、子育てのやり方をきちんと教えるべきである。
- 子育ては親の責任で行うものである。仙台市は親を甘やかさない方がよいと思うので、制度の充実はそこそこでいいと思う。

### ④育児相談

- 区役所でやっている子ども相談に、専門性のある人を入れて欲しい。何度か電話をしたが、あまり明確なことを言ってくれる方がいない。
- 外出して子どもの相談をするのは、子どもが増えるとなかなかできない。自宅で相談できる機会が欲しい。

### ⑤子育て情報

- 仙台市は規模が大きく、子育て支援がわかりにくいいため、もっとシンプルでわかりやすい支援制度が欲しい。
- 病院等（医療機関）の情報をくわしく配信して欲しい。

## 8. 行政全般・計画づくりについて

### ①行政の施策・計画づくり

- 区役所に行って、保育サービスの事業を説明してもらっても、多様すぎて混乱する。もっと明解にして欲しい。
- 仙台市でも子育て支援の様々な取り組みをしていると思うが、何をしているのか、何ができるのかについて、情報を自分から進んで入手しないとわからない。

## ②行政手続き

○出生届を出して、児童手当の申請をしてというように、生後14日以内の子を抱えて、何か所も申請する手間を減らして欲しい。

## ③窓口対応・その他

○市の機関の開設日は平日に限られていたりするので、土日などの休日にも、相談や問い合わせなど、利用できる機会が増えるとありがたい。

## 9. その他

### ①地域社会

○仙台市は外国人が多いが、外国人の子育ては特に難しい。国際都市を目指すなら、この部分の改善も行って欲しい。

### ②学校教育

○いじめが多い世の中なので、もっと仙台市の方で各学校への指導を強化して欲しい。10ヶ月間お腹の中で大切に育てて、痛い思いをして産んだ子どもの命を大切にしたい。

○産休育休を取得する事に対し、職場と言うより男性陣の理解が得にくい。中学校、高校からの教育が必要なのではないかと思う。

### ③社会の仕組み

○以前は保育の仕事をしていて、親のニーズに合わせていくこともありがたいと思うが、子どもたちの育ちに大切なことも伝えて行って欲しい。

○子連れで出かけた時の周囲の目が厳しく、親切でない。バスなどに乗る時、手をかしてくれるとか、建物に入る時ドアを押さえてくれるとか、ちょっとした手助けでもいいので、みんなが自然に行動できる仙台市民の育成をして欲しい。

### ④子どもの権利

○子どもの権利は平等だと思う。

### ⑤要保護（障害・被虐待）児童

○障害児に対するサービス、施設が少なく使いづらい、使う人も限られている。支援学校も少なく過密状態となっている。現状に合ったサービスの向上、充実を望む。

○障害のある子に対しての、放課後支援をもっと充実させていただきたい。

### ⑥その他

○子どもが産まれた時にオムツ用としてゴミ袋をもらったが、ゴミ袋をもらうのではなく、透明のゴミ袋に入ればオムツはゴミ袋に入れなくても捨てられるようにして欲しい。

○震災後、気になりだした放射能やPM2.5に対して、個人では判断するのが難しく、国で決められた数値などでは、子どもには安心できないので日々悩んでいる。学校や幼稚園、保育所などで、厳しい検査をしていない気がして不安である。検査や対応状況について、親の私たちにも分かりやすく説明して欲しい。



## **IV 調査結果(小学生の保護者向け)**



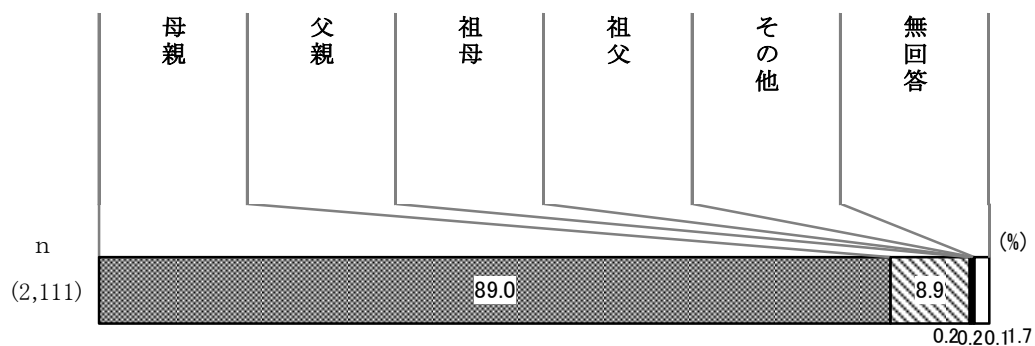


## IV 調査結果（小学生の保護者向け）

### 1. 子どもと家族の状況について

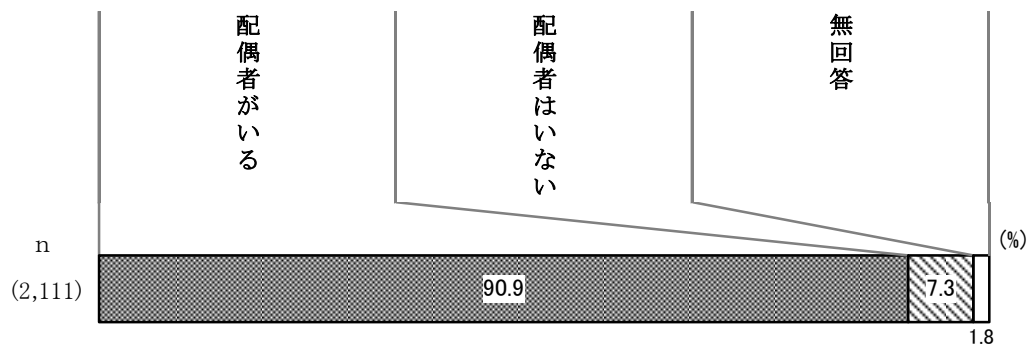
#### （1）回答者

図表 1-1-1 回答者（○は1つだけ）



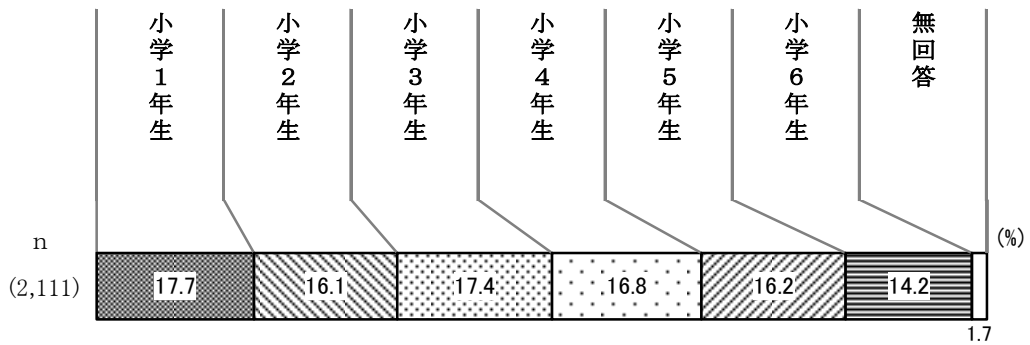
#### （2）配偶者の有無

図表 1-2-1 配偶者の有無（○は1つだけ）



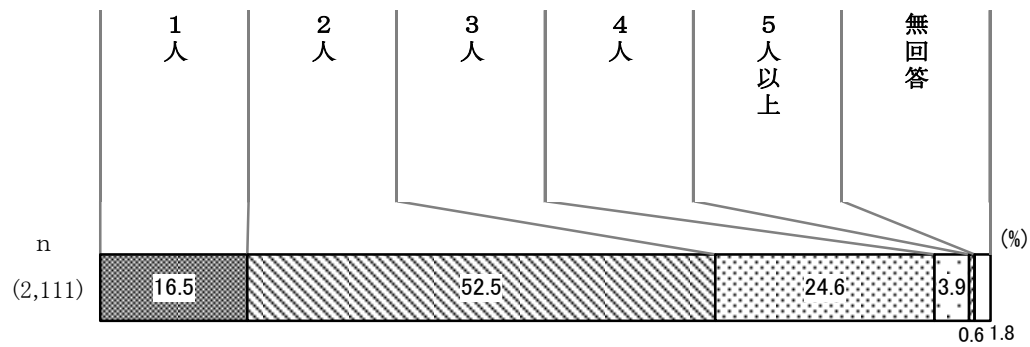
### (3) 子どもの学年

図表 1-3-1 子どもの学年 (○は1つだけ)

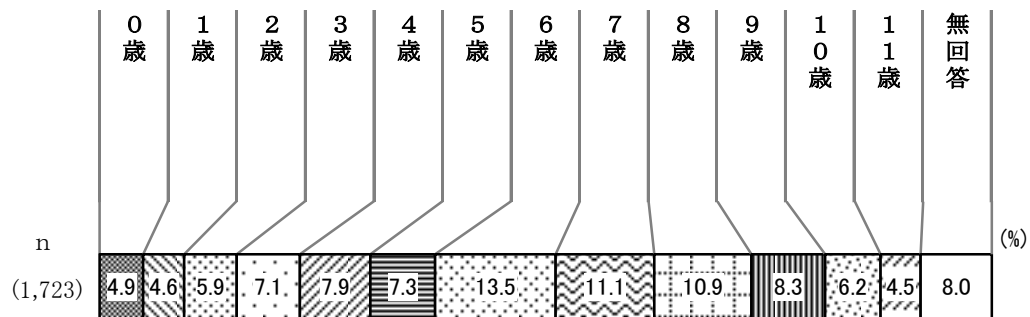


### (4) きょうだいの数と末子の年齢

図表 1-4-1 きょうだいの数

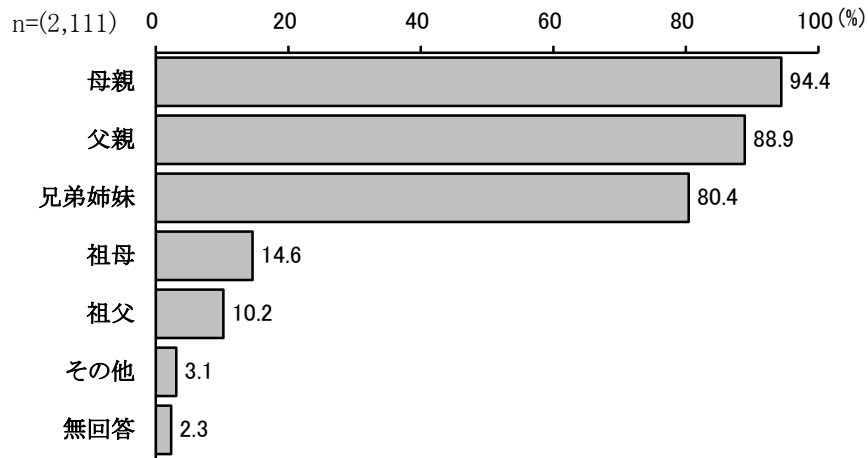


図表 1-4-2 末子の年齢

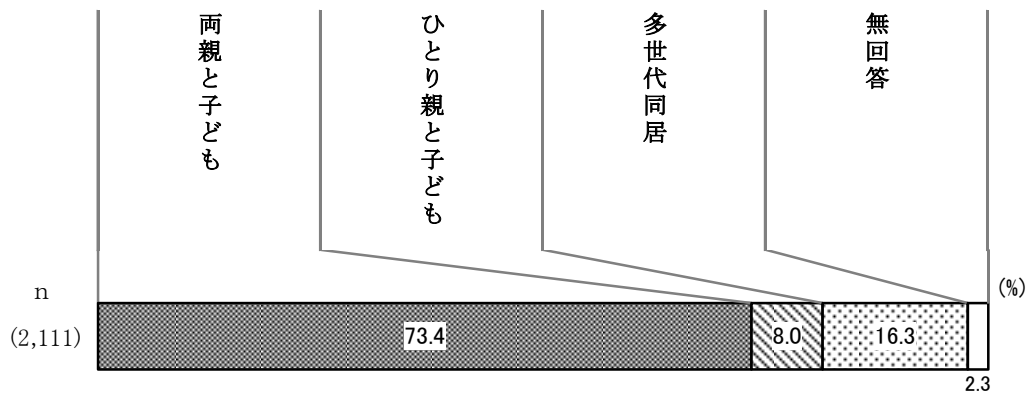


## (5) 家族構成と人数

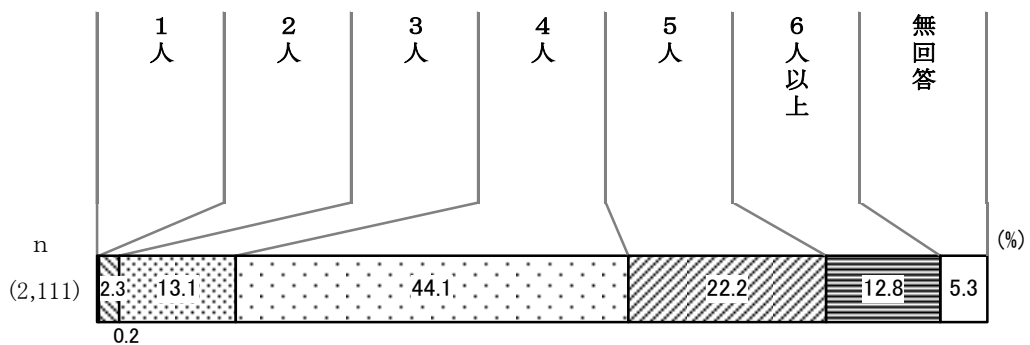
図表 1-5-1 同居家族 (〇はいくつでも)



図表 1-5-2 家族構成

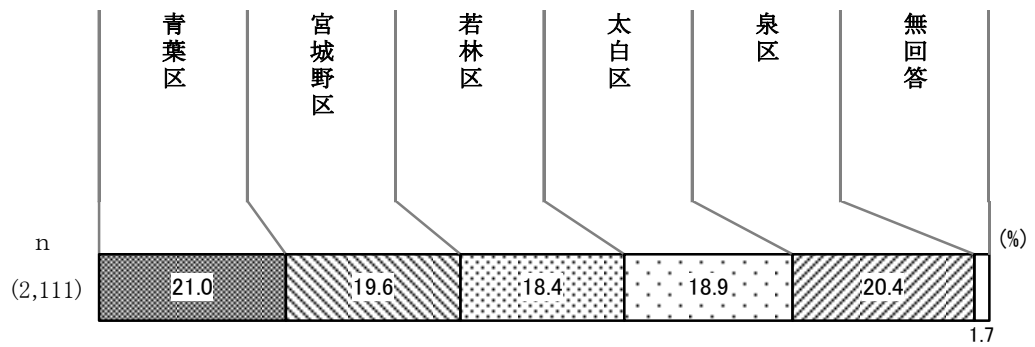


図表 1-5-3 家族の人数



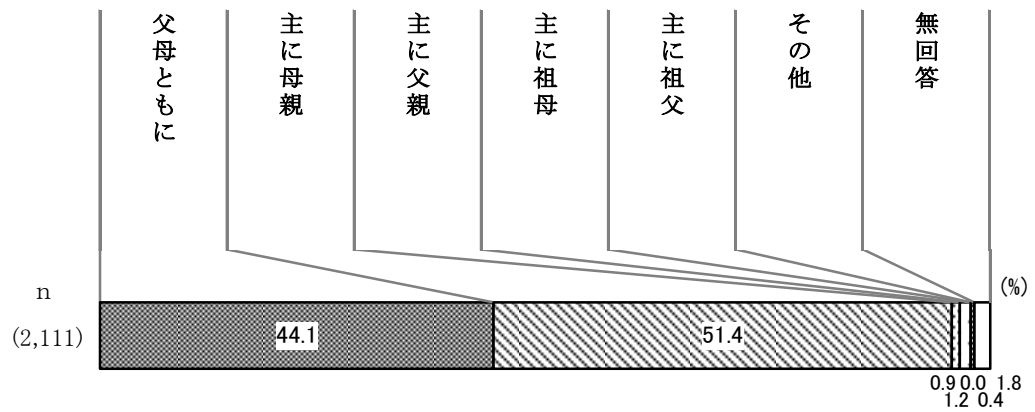
## (6) 居住地区

図表 1-6-1 居住地区



## (7) 子育てを主に行っている人

図表 1-7-1 子育てを主に行っている人 (○は1つだけ)

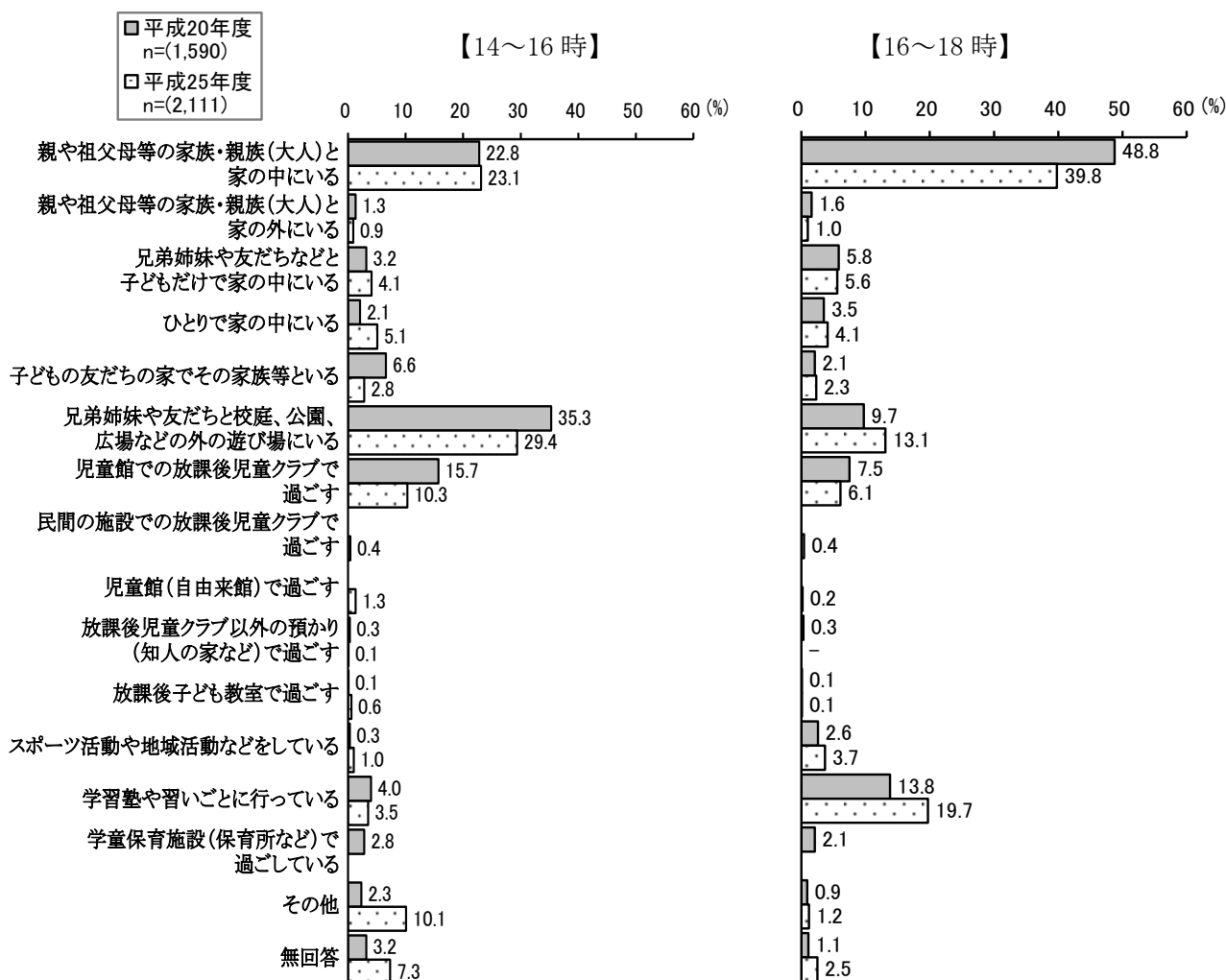


## 2. 平日の放課後や、休日の過ごし方について

### (1) 平日の放課後や、休日の過ごし方

問8 平日の放課後、土曜日、日曜日、長期の休み（夏休みなど）のそれぞれで、日常的な宛名のお子さんの過ごし方が一番多いものについてうかがいます。  
時間帯ごとに当てはまるものをそれぞれ1つずつ選んで番号をご記入ください。

図表 2-1-1 平日の放課後（14～16時、16～18時）の過ごし方／全体／経年比較（○は1つだけ）



平日の放課後や、休日の子どもの過ごし方について尋ねたところ、14～16時では、「兄弟姉妹や友だちと校庭、公園、広場などの外の遊び場にいる」(29.4%)が最も高く、次いで「親や祖父母等の家族・親族(大人)と家の中にいる」(23.1%)となっている。平成20年度調査と同様の傾向にあるが、「兄弟姉妹や友だちと校庭、公園、広場などの外の遊び場にいる」は減少している。

また、16～18時では、「親や祖父母等の家族・親族(大人)と家の中にいる」(39.8%)が最も高く、次いで「学習塾や習いごとに行っている」(19.7%)となっている。平成20年度調査と同様の傾向にあるが、「親や祖父母等の家族・親族(大人)と家の中にいる」は減少する一方で、「学習塾や習いごとに行っている」は上昇している。(図表 2-1-1)

図表 2-1-2 土曜日、日曜日、長期の休みの過ごし方／全体（○は1つだけ）

(n=2,111)

(%)

【全体】		親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる	親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の外にいる	兄弟姉妹や友だちなど子どもだけで家の中にいる	ひとりで家の中にいる	子どもの友だちの家でその家族等という	公園、広場などの外の遊び場にいる	兄弟姉妹や友だちと校庭、公園、広場などの外の遊び場にいる	児童館での放課後児童クラブで過ごす	民間の施設での放課後児童クラブで過ごす	児童館（自由来館）で過ごす（放課後児童クラブで過ごす場合を除く）	放課後児童クラブ以外の預かり（知人の家など）で過ごす	放課後子ども教室で過ごす	スポーツ活動や地域活動（少年団、クラブ）などを行っている	学習塾や習いごとに行っている	その他	無回答
土曜日	午前	53.4	10.9	2.6	1.1	0.7	7.0	1.4	0.1	0.8	0.0	-	11.3	6.9	1.5	2.3	
	午後	29.4	31.6	1.7	0.6	1.4	10.3	1.0	0.0	0.7	0.0	-	11.2	8.4	1.2	2.3	
	夕食後	95.5	1.1	0.1	0.0	-	-	-	-	0.0	-	-	0.6	0.4	0.2	2.1	
日曜日	午前	60.8	18.7	1.1	0.2	0.3	4.5	-	-	-	0.0	-	10.2	1.4	0.6	2.2	
	午後	32.9	44.9	0.9	0.2	0.7	7.8	-	-	0.1	0.1	-	7.9	1.1	1.1	2.4	
	夕食後	96.1	1.1	0.0	0.0	-	0.0	-	-	0.0	-	-	0.0	0.1	0.2	2.2	
長期の休み	午前	43.8	6.9	9.5	5.1	1.0	13.6	9.5	0.7	1.6	0.2	0.1	1.9	1.3	2.2	2.6	
	午後	27.0	16.5	5.9	2.7	1.8	23.8	8.5	0.7	1.4	0.2	0.1	2.4	4.3	2.2	2.6	
	夕食後	95.2	0.9	0.2	0.1	-	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	2.3	

土曜日と日曜日についてみると、午前は「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」の比率が5割を超え最も高いが、午後になると「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の外にいる」が高くなり、外出者が増えることが分かる。

長期の休みでは、午前、午後ともに「親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる」の比率が最も高いが、土曜日、日曜日とは異なり、「兄弟姉妹や友だちと校庭、公園、広場などの外の遊び場にいる」、「児童館での放課後児童クラブで過ごす」が高い。（図表 2-1-2）

図表 2-1-3 土曜日、日曜日、長期の休みの過ごし方／低学年（○は1つだけ）

(n=1,079) (96)

【低学年】		親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる	親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の外にいる	兄弟姉妹や友だちなど子どもだけで家の中にいる	ひとりで家の中にいる	子どもの友だちの家でその家族等といる	公園、広場などの外の遊び場にいる	兄弟姉妹や友だちと校庭、公園、広場などの外の遊び場にいる	児童館での放課後児童クラブで過ごす	民間の施設での放課後児童クラブで過ごす	児童館（自由来館）で過ごす（放課後児童クラブで過ごす場合を除く）	放課後児童クラブ以外の預かり（知人の家など）で過ごす	放課後子ども教室で過ごす	スポーツ活動や地域活動（スポーツ少年団、クラブ活動）などを行っている	学習塾や習いごとに行っている	その他	無回答
		土曜日	午前	56.5	14.4	1.7	0.6	0.3	7.0	2.8	0.2	1.3	0.1	-	6.0	7.1	1.4
	午後	32.1	37.8	0.7	0.1	0.9	8.8	2.0	0.1	1.0	0.1	-	5.7	8.6	1.6	0.5	
	夕食後	97.3	1.4	-	-	-	-	-	-	0.1	-	-	0.5	0.3	0.2	0.3	
日曜日	午前	64.3	23.3	0.6	-	0.2	4.1	-	-	-	0.1	-	5.0	1.2	0.7	0.5	
	午後	33.7	52.5	0.5	-	0.5	6.4	-	-	0.2	0.2	-	3.4	0.5	1.3	0.8	
	夕食後	98.0	1.3	-	-	-	0.1	-	-	0.1	-	-	-	-	0.2	0.4	
長期の休み	午前	44.6	8.4	5.9	1.2	0.9	12.0	18.5	0.8	2.6	0.3	0.2	0.6	0.6	2.4	0.7	
	午後	26.6	20.5	3.2	0.8	1.0	19.4	16.6	0.8	2.2	0.3	0.2	0.9	4.2	2.5	0.7	
	夕食後	96.7	0.8	0.3	0.3	-	0.1	0.4	-	0.1	-	-	-	0.1	0.6	0.6	

図表 2-1-4 土曜日、日曜日、長期の休みの過ごし方／高学年（○は1つだけ）

(n=996) (96)

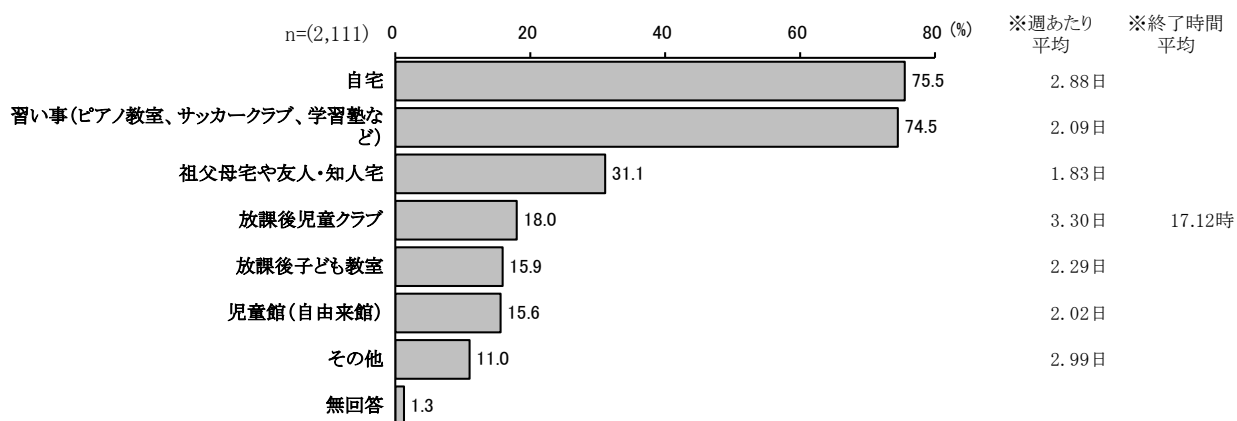
【高学年】		親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の中にいる	親や祖父母等の家族・親族（大人）と家の外にいる	兄弟姉妹や友だちなど子どもだけで家の中にいる	ひとりで家の中にいる	子どもの友だちの家でその家族等といる	公園、広場などの外の遊び場にいる	兄弟姉妹や友だちと校庭、公園、広場などの外の遊び場にいる	児童館での放課後児童クラブで過ごす	民間の施設での放課後児童クラブで過ごす	児童館（自由来館）で過ごす（放課後児童クラブで過ごす場合を除く）	放課後児童クラブ以外の預かり（知人の家など）で過ごす	放課後子ども教室で過ごす	スポーツ活動や地域活動（スポーツ少年団、クラブ活動）などを行っている	学習塾や習いごとに行っている	その他	無回答
		土曜日	午前	51.9	7.5	3.6	1.6	1.1	7.2	-	-	0.3	-	-	17.4	6.9	1.6
	午後	27.6	26.0	2.8	1.2	2.0	12.3	-	-	0.4	-	-	17.6	8.3	0.9	0.8	
	夕食後	96.8	0.8	0.2	0.1	-	-	-	-	-	-	-	0.7	0.5	0.2	0.7	
日曜日	午前	59.1	14.3	1.7	0.4	0.5	5.0	-	-	-	-	-	16.3	1.6	0.5	0.6	
	午後	33.0	38.2	1.3	0.4	0.9	9.6	-	-	-	-	-	13.0	1.9	1.0	0.7	
	夕食後	97.4	1.0	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.2	0.3	0.8	
長期の休み	午前	44.4	5.4	13.7	9.5	1.2	15.9	0.1	0.5	0.5	0.2	-	3.4	2.0	2.1	1.1	
	午後	28.4	12.9	8.9	4.8	2.6	29.3	-	0.6	0.5	0.2	-	4.0	4.5	2.0	1.2	
	夕食後	96.9	1.0	0.2	-	-	-	-	0.1	-	-	0.1	0.1	0.1	0.7	0.7	

学年別にみると、同様の傾向にあるが、「長期の休み」の「午後」の過ごし方について、「低学年」（小学1～3年生）に比べ「高学年」（小学4～6年生）で、「兄弟姉妹や友だちと校庭、公園、広場などの外の遊び場にいる」の比率が高い。（図表 2-1-3、図表 2-1-4）

## (2) 放課後を過ごさせたい場所

問9 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在の利用の有無や状況に関わらず、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を[ ]内に数字でご記入ください。また、「6. 放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

図表 2-2-1 放課後を過ごさせたい場所／全体（○はいくつでも）



放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいか尋ねたところ、「自宅」（75.5%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（74.5%）がともに高く、次いで「祖父母宅や友人・知人宅」（31.1%）となっている。（図表 2-2-1）

図表 2-2-2 放課後を過ごさせたい場所／学年別（○はいくつでも）

		(上段：件 下段：%)								
		調査数	自宅	習い事、 サッカー 学習塾 など	祖父母 宅や 友人・ 知 人	放課 後 児 童 ク ラ ブ	放 課 後 子 ど も 教 室	児 童 館 (自 由 来 館)	そ の 他	無 回 答
学 年 別	低学年	1,079	790	784	321	278	178	214	104	14
		100.0	73.2	72.7	29.7	25.8	16.5	19.8	9.6	1.3
	高学年	996	776	768	323	97	153	109	125	11
		100.0	77.9	77.1	32.4	9.7	15.4	10.9	12.6	1.1

学年別にみても、同様の傾向にあるが、低学年では、「放課後児童クラブ」、「児童館（自由来館）」の比率が高学年に比べ高い。一方、高学年では、「自宅」、「習い事」が低学年に比べ高い。（図表 2-2-2）



図表 2-2-3 放課後を過ごさせたい場所／家族構成別（○はいくつでも）

（上段：件 下段：％）

家族構成別		調査数	自宅	習い事（ピアノ、習字、サッカークラブ、学習塾など）	祖父母宅や友人・知人宅	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	児童館（自由来館）	その他	無回答
低学年	両親と子ども	820 100.0	601 73.3	595 72.6	257 31.3	217 26.5	146 17.8	166 20.2	84 10.2	9 1.1
	ひとり親と子ども	70 100.0	45 64.3	50 71.4	20 28.6	22 31.4	7 10.0	11 15.7	5 7.1	1 1.4
	多世代同居	179 100.0	138 77.1	134 74.9	41 22.9	38 21.2	25 14.0	35 19.6	14 7.8	3 1.7
高学年	両親と子ども	729 100.0	575 78.9	579 79.4	241 33.1	72 9.9	117 16.0	83 11.4	95 13.0	8 1.1
	ひとり親と子ども	98 100.0	63 64.3	57 58.2	35 35.7	13 13.3	11 11.2	5 5.1	14 14.3	1 1.0
	多世代同居	166 100.0	136 81.9	131 78.9	46 27.7	11 6.6	25 15.1	21 12.7	16 9.6	2 1.2

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「低学年」、「高学年」とともに、「自宅」の比率が他の家族構成に比べ低く、「放課後児童クラブ」は他の家族構成に比べ高い。ただし、「放課後児童クラブ」を希望する比率は、低学年に比べ高学年では低下している。（図表 2-2-3）

図表 2-2-4 放課後を過ごさせたい場所／両親の就労状況別（〇はいくつでも）

(上段：件 下段：%)

両親の就労状況別		調査数	自宅	習い事（ピアノ、習字、サッカークラブ、学習塾など）	祖父母宅や友人・知人宅	放課後児童クラブ	放課後子ども教室	児童館（自由来館）	その他	無回答
低学年	共働き	511 100.0	339 66.3	345 67.5	132 25.8	196 38.4	83 16.2	76 14.9	31 6.1	7 1.4
	父親のみ就労	428 100.0	354 82.7	350 81.8	154 36.0	40 9.3	76 17.8	108 25.2	65 15.2	3 0.7
	母親のみ就労	80 100.0	51 63.8	53 66.3	22 27.5	32 40.0	8 10.0	17 21.3	2 2.5	1 1.3
	親は働いていない	46 100.0	34 73.9	28 60.9	9 19.6	8 17.4	11 23.9	11 23.9	4 8.7	3 6.5
高学年	共働き	527 100.0	394 74.8	408 77.4	166 31.5	68 12.9	88 16.7	55 10.4	68 12.9	4 0.8
	父親のみ就労	308 100.0	264 85.7	251 81.5	103 33.4	16 5.2	37 12.0	35 11.4	44 14.3	3 1.0
	母親のみ就労	103 100.0	67 65.0	64 62.1	37 35.9	10 9.7	20 19.4	12 11.7	10 9.7	1 1.0
	親は働いていない	45 100.0	40 88.9	37 82.2	16 35.6	3 6.7	8 17.8	6 13.3	1 2.2	1 2.2

両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「放課後児童クラブ」の比率が、他の就労状況に比べ高い。ただし、低学年に比べ高学年では、「放課後児童クラブ」を希望する比率は低下している。

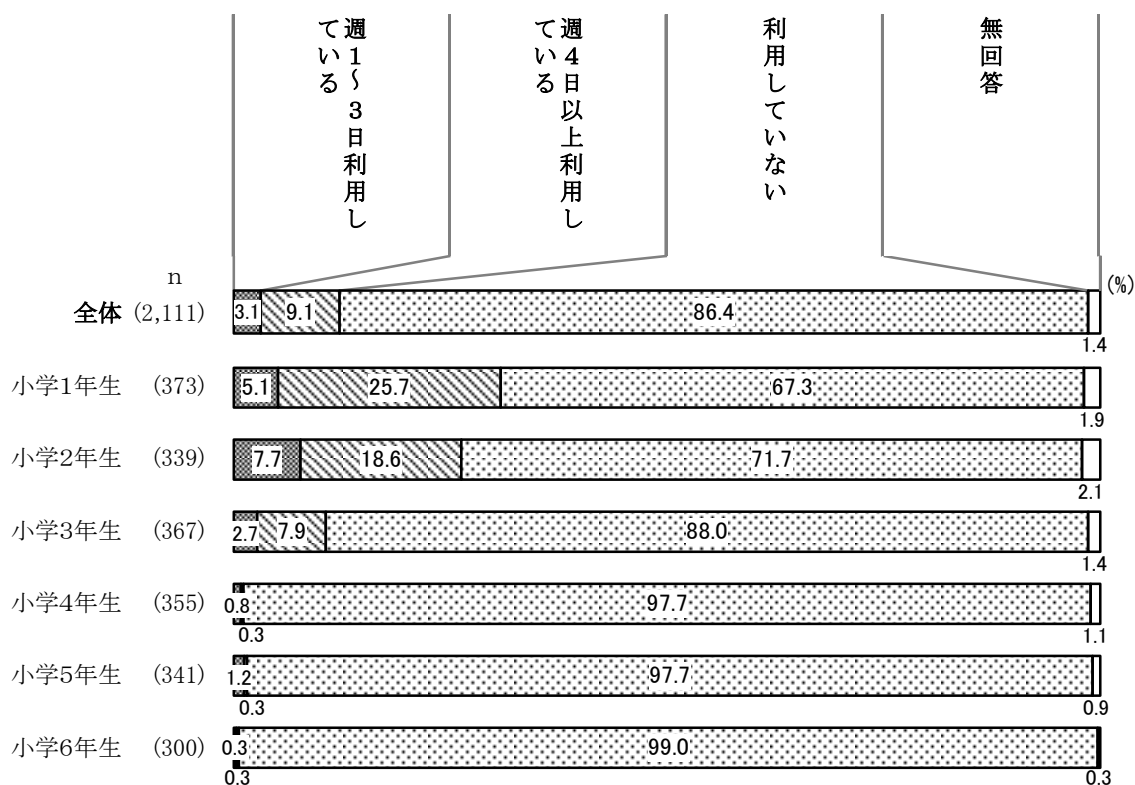
一方、「父親のみ就労」、「親は働いていない」の場合、「自宅」の比率が他の就労状況に比べ高い。  
(図表 2-2-4)

### 3. 放課後児童クラブの利用状況について

#### (1) 平日の利用状況

問10 宛名のお子さんは、現在、平日に放課後児童クラブを利用していますか。それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、利用している日数と時間帯を[ ]内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。

図表 3-1-1 平日の利用状況/学年別 (○は1つだけ)



放課後児童クラブの平日の利用状況について尋ねたところ、全体では、「週1～3日利用している」と「週4日以上利用している」を合わせた《利用している》は12.2%、「利用していない」は86.4%となっている。

学年別にみると、《利用している》は小学1年生が30.8%、小学2年生が26.3%、小学3年生が10.6%と、学年が上がるにつれて減少している。(図表3-1-1)

図表 3-1-2 平日の利用状況／家族構成別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	し週 て1 い5 る3 日 利 用	し週 て4 日 以 上 利 用	利 用 し て い な い	無 回 答
家族 構 成 別	両親と子ども	1,550 100.0	50 3.2	148 9.5	1,334 86.1	18 1.2
	ひとり親と子ども	168 100.0	7 4.2	19 11.3	142 84.5	- -
	多世代同居	345 100.0	5 1.4	23 6.7	310 89.9	7 2.0

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「週4日以上利用している」の比率がやや高い。  
 (図表 3-1-2)

図表 3-1-3 平日の利用状況／両親の就労状況別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	し週 て1 い5 る3 日 利 用	し週 て4 日 以 上 利 用	利 用 し て い な い	無 回 答
両親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,057 100.0	54 5.1	156 14.8	829 78.4	18 1.7
	父親のみ就労	743 100.0	4 0.5	2 0.3	733 98.7	4 0.5
	母親のみ就労	189 100.0	6 3.2	29 15.3	152 80.4	2 1.1
	親は働いていない	93 100.0	2 2.2	1 1.1	85 91.4	5 5.4

両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「週4日以上利用している」の比率が高く、「父親のみ就労」の場合、殆どが「利用していない」となっている。(図表 3-1-3)

図表 3-1-4 平日の利用時間／全体

n=263

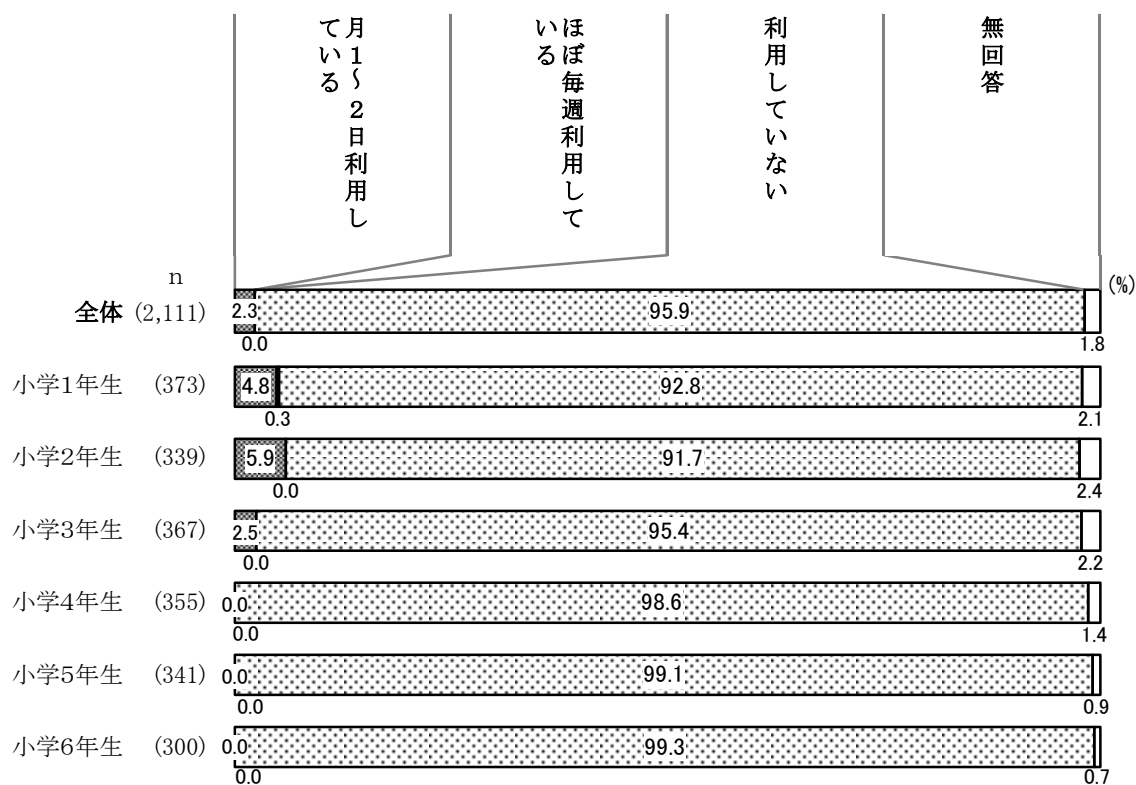
《開始時間》		《終了時間》	
	%		%
6時以前	-	6時以前	-
6時台	-	6時台	-
7時台	-	7時台	-
8時台	1.1	8時台	-
9時台	0.8	9時台	-
10時台	-	10時台	-
11時台	-	11時台	-
12時台	-	12時台	-
13時台	0.4	13時台	-
14時台	18.6	14時台	-
15時台	65.4	15時台	1.5
16時台	4.9	16時台	21.3
17時台	-	17時台	30.4
18時台	-	18時台	29.7
19時台	-	19時台	16.0
20時台	-	20時台	0.4
21時台	-	21時台	-
22時台	-	22時台	-
23時台	-	23時台	-
24時以降	-	24時以降	-
無回答	8.7	無回答	0.8

利用時間については、開始が「15時台」、終了は「17～18時台」の比率が高い。(図表 3-1-4)

## (2) 土曜日の利用状況

問10 宛名のお子さんは、現在、土曜日に放課後児童クラブを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけ、利用している日数と時間帯を[ ]内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。

図表 3-2-1 土曜日の利用状況／学年別 (○は1つだけ)



放課後児童クラブの土曜日の利用状況について尋ねたところ、全体では、「月1～2日利用している」と「ほぼ毎週利用している」を合わせた《利用している》は2.3%、「利用していない」は95.9%となっている。

学年別にみると、《利用している》は、小学1年生が5.1%、小学2年生が5.9%、小学3年生が2.5%となっている。(図表 3-2-1)

図表 3-2-2 土曜日の利用状況／家族構成別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	月1日 利用	ほぼ 毎週 利用し	利用 してい ない	無 回答
家族 構 成 別	両親と子ども	1,550 100.0	33 2.1	1 0.1	1,495 96.5	21 1.4
	ひとり親と子ども	168 100.0	8 4.8	-	159 94.6	1 0.6
	多世代同居	345 100.0	6 1.7	-	329 95.4	10 2.9

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「月 1~2 日利用している」の比率が、他の家族構成に比べやや高い。(図表 3-2-2)

図表 3-2-3 土曜日の利用状況／両親の就労状況別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	月1日 利用	ほぼ 毎週 利用し	利用 してい ない	無 回答
両親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,057 100.0	31 2.9	1 0.1	1,001 94.7	24 2.3
	父親のみ就労	743 100.0	2 0.3	-	737 99.2	4 0.5
	母親のみ就労	189 100.0	11 5.8	-	174 92.1	4 2.1
	親は働いていない	93 100.0	2 2.2	-	86 92.5	5 5.4

両親の就労状況別にみると、「父親のみ就労」の場合、「月 1~2 日利用している」の比率が、他の就労状況に比べ低い。(図表 3-2-3)

図表 3-2-4 土曜日の利用時間／全体

n=56

《開始時間》		《終了時間》	
	%		%
6時以前	-	6時以前	-
6時台	-	6時台	-
7時台	-	7時台	-
8時台	7.1	8時台	-
9時台	83.9	9時台	-
10時台	5.4	10時台	-
11時台	-	11時台	-
12時台	-	12時台	8.9
13時台	3.6	13時台	3.6
14時台	-	14時台	7.1
15時台	-	15時台	3.6
16時台	-	16時台	26.8
17時台	-	17時台	46.4
18時台	-	18時台	1.8
19時台	-	19時台	1.8
20時台	-	20時台	-
21時台	-	21時台	-
22時台	-	22時台	-
23時台	-	23時台	-
24時以降	-	24時以降	-
無回答	-	無回答	-

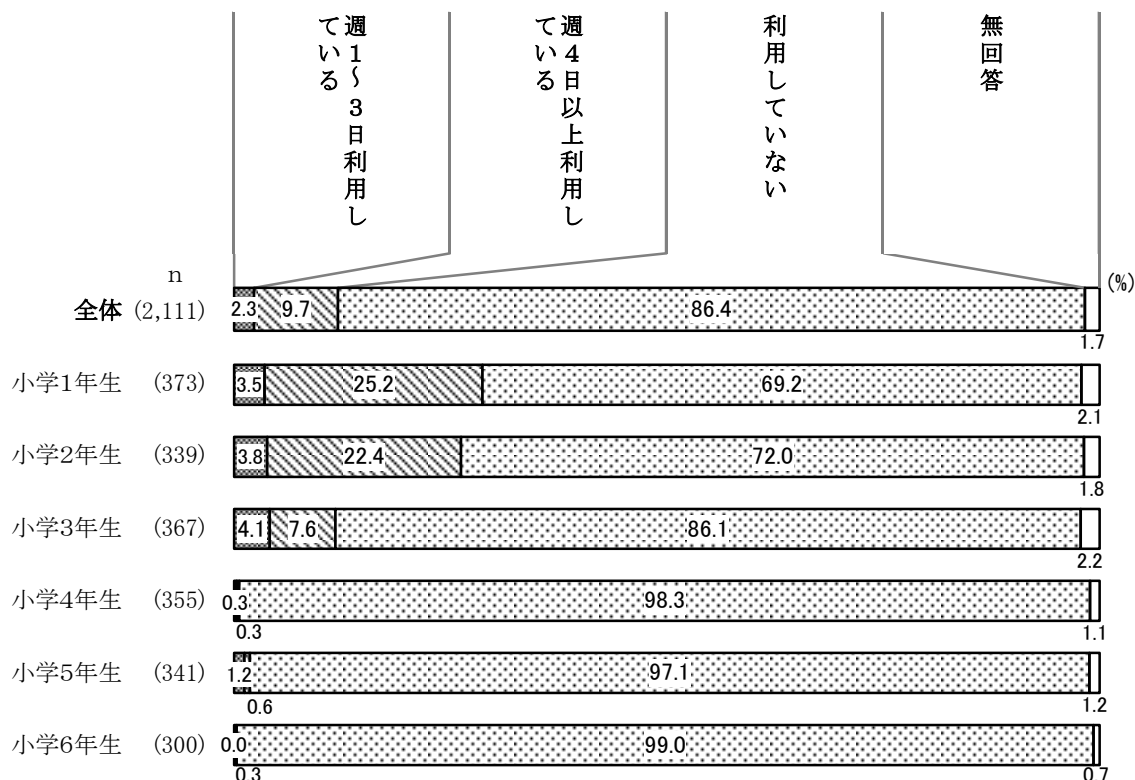
利用時間については、開始が「9時台」、終了は「16～17時台」の比率が高い。(図表 3-2-4)



### (3) 長期の休みの利用状況

問10 宛名のお子さんは、現在、長期の休み（夏休みなど）に放課後児童クラブを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけ、利用している日数と時間帯を[ ]内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。

図表 3-3-1 長期の休みの利用状況／学年別（○は1つだけ）



放課後児童クラブの長期の休みの利用状況について尋ねたところ、全体では「週1～3日利用している」と「週4日以上利用している」を合わせた《利用している》は12.0%、「利用していない」は86.4%となっている。

学年別にみると、《利用している》は小学1年生が28.7%、小学2年生が26.2%、小学3年生が11.7%と、学年が上がるにつれて減少している。（図表3-3-1）

図表 3-3-2 長期の休みの利用状況／家族構成別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	週 1 日 利用	週 4 日 以上 利用	利用 して いない	無 回 答
家族 構 成 別	両親と子ども	1,550 100.0	37 2.4	159 10.3	1,333 86.0	21 1.4
	ひとり親と子ども	168 100.0	3 1.8	20 11.9	145 86.3	- -
	多世代同居	345 100.0	5 1.4	22 6.4	309 89.6	9 2.6

家族構成別にみると、「多世代同居」の場合、「週4日以上利用している」の比率が、他の家族構成に比べ低い。(図表 3-3-2)

図表 3-3-3 長期の休みの利用状況／両親の就労状況別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	週 1 日 利用	週 4 日 以上 利用	利用 して いない	無 回 答
両親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,057 100.0	38 3.6	171 16.2	825 78.1	23 2.2
	父親のみ就労	743 100.0	6 0.8	1 0.1	731 98.4	5 0.7
	母親のみ就労	189 100.0	4 2.1	29 15.3	154 81.5	2 1.1
	親は働いていない	93 100.0	- -	1 1.1	87 93.5	5 5.4

両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「週4日以上利用している」の比率が、他の就労状況に比べ高い。(図表 3-3-3)

図表 3-3-4 長期の休みの利用時間／全体

n = 259

《開始時間》		《終了時間》	
	%		%
6時以前	-	6時以前	-
6時台	-	6時台	-
7時台	-	7時台	-
8時台	54.4	8時台	-
9時台	37.8	9時台	-
10時台	5.4	10時台	-
11時台	-	11時台	-
12時台	-	12時台	3.9
13時台	0.8	13時台	-
14時台	0.4	14時台	0.8
15時台	0.4	15時台	6.6
16時台	-	16時台	19.3
17時台	-	17時台	25.9
18時台	-	18時台	27.4
19時台	-	19時台	15.1
20時台	-	20時台	0.4
21時台	-	21時台	-
22時台	-	22時台	-
23時台	-	23時台	-
24時以降	-	24時以降	-
無回答	0.8	無回答	0.8

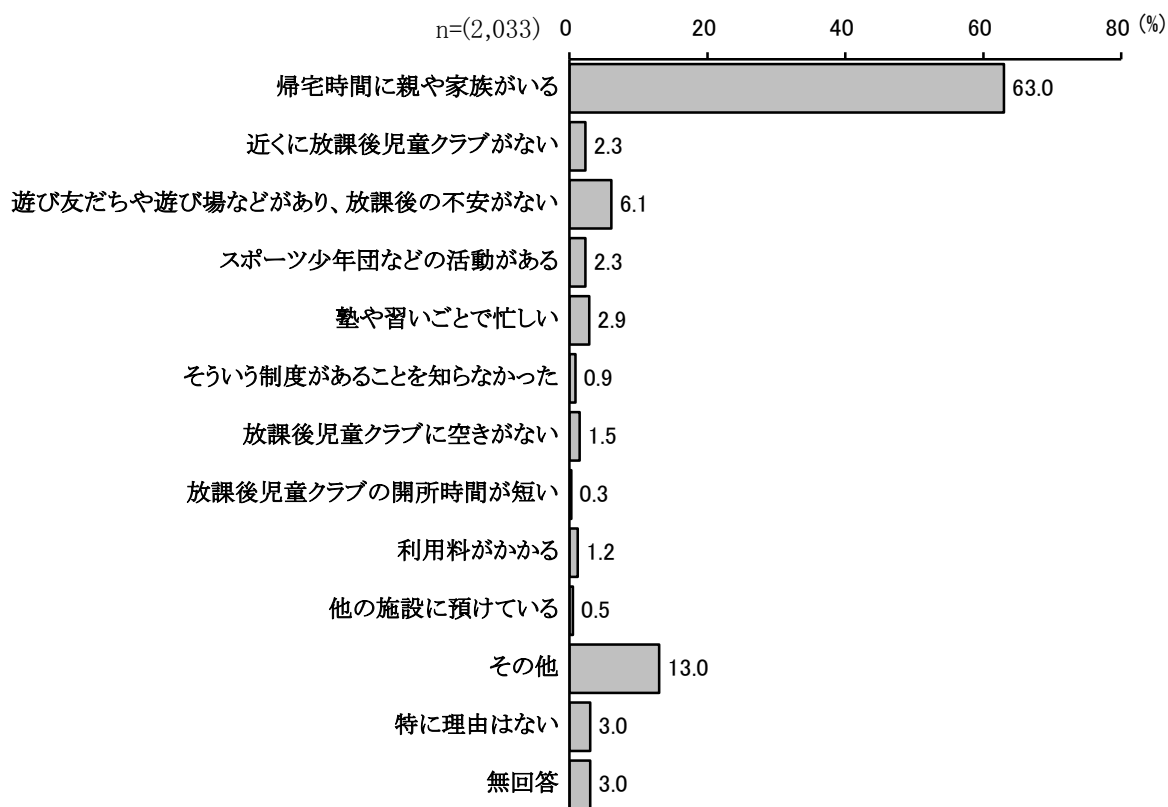
利用時間については、開始が「8～9時台」、終了は「17～18時台」の比率が高い。(図表 3-3-4)

#### (4) 放課後児童クラブを利用しない理由

問1 放課後児童クラブを、平日または土曜日に利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 『3 (1) 平日の利用状況』または『3 (2) 土曜日の利用状況』で、「利用していない」と回答した方のみ

図表 3-4-1 放課後児童クラブを利用しない理由／全体 (○は1つだけ)



放課後児童クラブを、平日または土曜日に利用していない理由について尋ねたところ、「帰宅時間に親や家族がいる」、「遊び友だちや遊び場などがあり、放課後の不安がない」といった、利用の必要性がないとする理由が7割程度となっている。

その他には、「近くに放課後児童クラブがない」、「放課後児童クラブに空きがない」といった放課後児童クラブに係る理由や、「スポーツ少年団などの活動がある」、「塾や習い事で忙しい」といった、他に放課後の過ごし方があることを理由とする回答もある。(図表 3-4-1)

図表 3-4-2 放課後児童クラブを利用しない理由／学年別（○は1つだけ）

（上段：件 下段：％）

		調査数	帰宅時間に親や家族がいるから	近くに放課後児童クラブがないから	遊び友だちや遊び場などがないから	スポーツ少年団などの活動があるから	塾や習いごとで忙しいから	そういう制度があることを知らなかったから	放課後児童クラブに空きがないから	放課後児童クラブの開所時間が短いから	利用料がかかるから	他の施設に預けているから	その他	特に理由はない	無回答
学年別	小学1年生	346 100.0	265 76.6	4 1.2	6 1.7	2 0.6	3 0.9	1 0.3	4 1.2	2 0.6	2 0.6	2 0.6	29 8.4	2 0.6	24 6.9
	小学2年生	313 100.0	225 71.9	3 1.0	14 4.5	2 0.6	6 1.9	1 0.3	2 0.6	2 0.6	8 2.6	1 0.3	24 7.7	2 0.6	23 7.3
	小学3年生	352 100.0	228 64.8	6 1.7	14 4.0	6 1.7	19 5.4	2 0.6	10 2.8	2 0.6	10 2.8	2 0.6	37 10.5	9 2.6	7 2.0
	小学4年生	351 100.0	201 57.3	12 3.4	22 6.3	10 2.8	10 2.8	3 0.9	5 1.4	-	1 0.3	4 1.1	68 19.4	13 3.7	2 0.6
	小学5年生	339 100.0	190 56.0	11 3.2	27 8.0	12 3.5	8 2.4	5 1.5	4 1.2	1 0.3	1 0.3	-	57 16.8	18 5.3	5 1.5
	小学6年生	299 100.0	150 50.2	8 2.7	37 12.4	15 5.0	11 3.7	7 2.3	4 1.3	-	3 1.0	1 0.3	46 15.4	17 5.7	-

学年別にみると、小学1年生と小学2年生では、ともに「帰宅時間に親や家族がいるから」が7割を超えているが、学年が上がるにつれてその比率は徐々に減少している。

一方、「遊び友だちや遊び場などがあり、放課後の不安がないから」、「スポーツ少年団などの活動があるから」、「塾や習いごとで忙しいから」は、学年が上がるにつれて上昇する傾向にある。（図表 3-4-2）

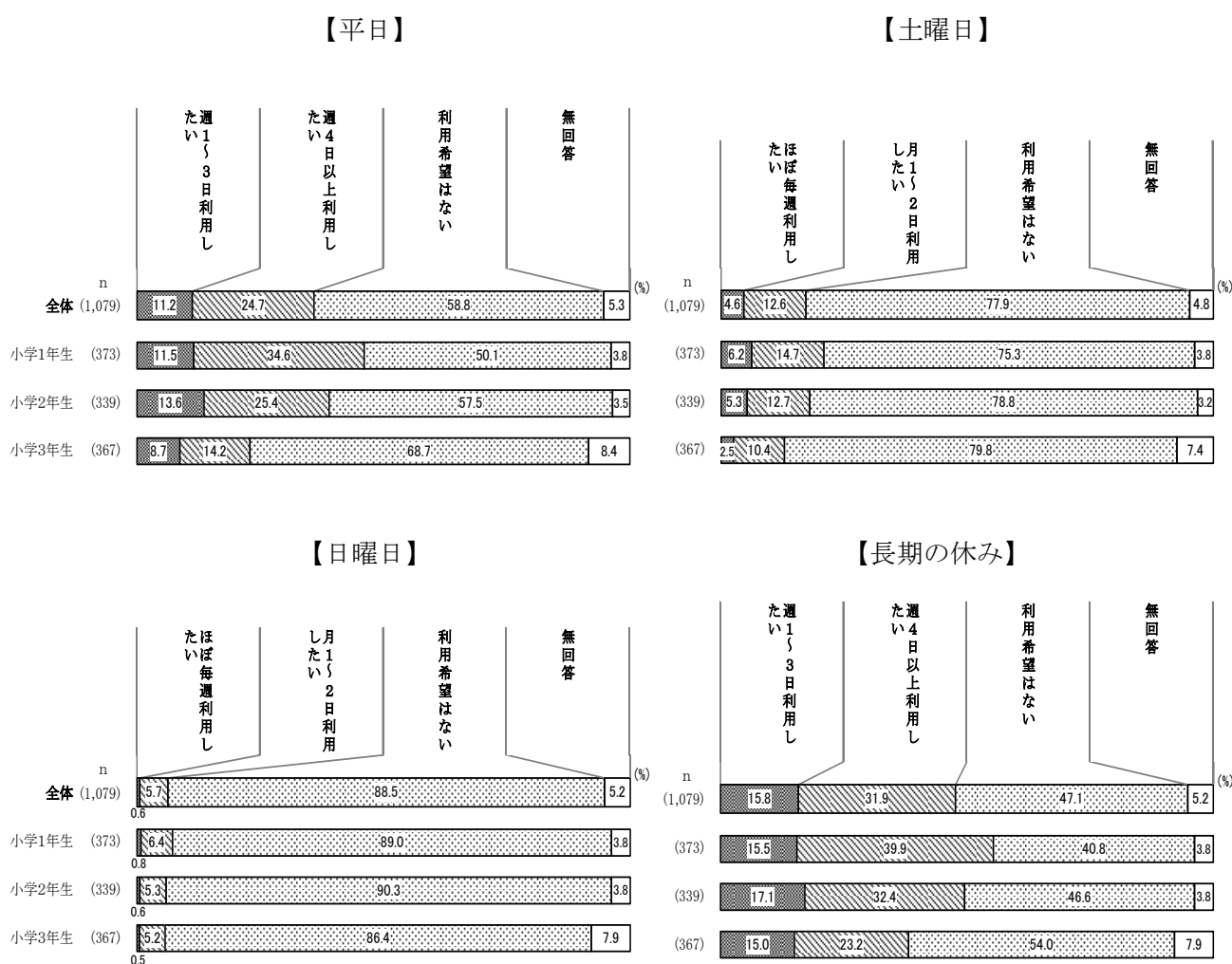
## 4. 放課後児童クラブの利用希望について

### (1) 低学年の間の利用希望

問12 放課後児童クラブが、小学校6年生まで利用可能となった場合、宛名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望はありますか。現在の利用状況の有無に関わらず、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期の休み（夏休みなど）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、[ ]内には利用を希望する時間帯を、数字でご記入ください。時間は、必ず（例）8時～18時のように、24時間制でお答えください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※ 宛名の子どもが小学校低学年（1～3年生）の場合のみ

図表 4-1-1 放課後児童クラブの利用希望（低学年の間）／学年別（○は1つだけ）



低学年の間の放課後児童クラブの利用希望について尋ねたところ、「週1～3日利用したい」と「週4日以上利用したい」または「ほぼ毎週利用したい」と「月1～2日利用したい」を合わせた《利用したい》は、全体では「平日」が35.9%、「土曜日」が17.2%、「日曜日」が6.3%、「長期の休み」が47.7%となっている。

学年別にみると、学年が上がるにつれて《利用したい》は減少している。（図表 4-1-1）

図表 4-1-2 放課後児童クラブの利用希望（低学年の間）／家族構成別（○は1つだけ）

【平日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	週1 以上 3日 利用 したい	週4 以上 利用 したい	利用 希望 はない	無 回答
家族 構成 別	両親と子ども	820 100.0	98 12.0	211 25.7	472 57.6	39 4.8
	ひとり親と子ども	70 100.0	7 10.0	19 27.1	39 55.7	5 7.1
	多世代同居	179 100.0	15 8.4	35 19.6	117 65.4	12 6.7

【土曜日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	ほぼ 毎週 利用 したい	月1 以上 2日 利用 したい	利用 希望 はない	無 回答
家族 構成 別	両親と子ども	820 100.0	35 4.3	110 13.4	639 77.9	36 4.4
	ひとり親と子ども	70 100.0	6 8.6	10 14.3	50 71.4	4 5.7
	多世代同居	179 100.0	8 4.5	15 8.4	145 81.0	11 6.1

【日曜日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	ほぼ 毎週 利用 したい	月1 以上 2日 利用 したい	利用 希望 はない	無 回答
家族 構成 別	両親と子ども	820 100.0	7 0.9	42 5.1	732 89.3	39 4.8
	ひとり親と子ども	70 100.0	-	8 11.4	58 82.9	4 5.7
	多世代同居	179 100.0	-	10 5.6	157 87.7	12 6.7

【長期の休み】

(上段：件 下段：%)

		調査数	週1 以上 3日 利用 したい	週4 以上 利用 したい	利用 希望 はない	無 回答
家族 構成 別	両親と子ども	820 100.0	132 16.1	272 33.2	376 45.9	40 4.9
	ひとり親と子ども	70 100.0	10 14.3	30 42.9	25 35.7	5 7.1
	多世代同居	179 100.0	27 15.1	40 22.3	102 57.0	10 5.6

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「長期の休み」に「週4日以上利用したい」の比率が、他の家族構成に比べ高い。(図表 4-1-2)

図表 4-1-3 放課後児童クラブの利用希望（低学年の間）／両親の就労状況別（○は1つだけ）

【平日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	週1日 利用	週4日 以上 利用	利用希望 はない	無回答
両親の 就労 状況 別	共働き	511 100.0	50 9.8	186 36.4	238 46.6	37 7.2
	父親のみ就労	428 100.0	58 13.6	33 7.7	323 75.5	14 3.3
	母親のみ就労	80 100.0	8 10.0	37 46.3	34 42.5	1 1.3
	親は働いていない	46 100.0	5 10.9	9 19.6	29 63.0	3 6.5

【土曜日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	ほぼ 毎週 利用し	月1日 2日 利用	利用希望 はない	無回答
両親の 就労 状況 別	共働き	511 100.0	30 5.9	70 13.7	380 74.4	31 6.1
	父親のみ就労	428 100.0	7 1.6	37 8.6	369 86.2	15 3.5
	母親のみ就労	80 100.0	9 11.3	22 27.5	48 60.0	1 1.3
	親は働いていない	46 100.0	4 8.7	7 15.2	32 69.6	3 6.5

【日曜日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	ほぼ 毎週 利用し	月1日 2日 利用	利用希望 はない	無回答
両親の 就労 状況 別	共働き	511 100.0	4 0.8	30 5.9	443 86.7	34 6.7
	父親のみ就労	428 100.0	1 0.2	15 3.5	396 92.5	16 3.7
	母親のみ就労	80 100.0	2 2.5	11 13.8	66 82.5	1 1.3
	親は働いていない	46 100.0	-	5 10.9	38 82.6	3 6.5

【長期の休み】

(上段：件 下段：%)

		調査数	週1日 以上 利用	週4日 以上 利用	利用希望 はない	無回答
両親の 就労 状況 別	共働き	511 100.0	69 13.5	233 45.6	177 34.6	32 6.3
	父親のみ就労	428 100.0	79 18.5	61 14.3	272 63.6	16 3.7
	母親のみ就労	80 100.0	15 18.8	38 47.5	24 30.0	3 3.8
	親は働いていない	46 100.0	8 17.4	11 23.9	24 52.2	3 6.5

両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「平日」、「長期の休み」に「週4日以上利用したい」の比率が、他の就労状況に比べ高い。

また、「母親のみ就労」の場合、「土曜日」、「日曜日」に「月1～2日利用したい」の比率が、他の就労状況に比べ高い。(図表 4-1-3)



図表 4-1-4 放課後児童クラブの利用希望時間 平日（低学年の間）／全体

【平日】

n=393

《開始時間》		《終了時間》	
	%		%
6時以前	-	6時以前	-
6時台	-	6時台	-
7時台	0.8	7時台	-
8時台	2.8	8時台	-
9時台	2.8	9時台	-
10時台	-	10時台	-
11時台	-	11時台	-
12時台	-	12時台	-
13時台	0.8	13時台	-
14時台	14.8	14時台	-
15時台	60.1	15時台	0.5
16時台	8.7	16時台	7.9
17時台	-	17時台	30.8
18時台	-	18時台	36.6
19時台	-	19時台	19.6
20時台	-	20時台	3.1
21時台	-	21時台	-
22時台	-	22時台	-
23時台	-	23時台	-
24時以降	-	24時以降	-
無回答	9.4	無回答	1.5

利用希望時間については、「平日」では、開始が「15時台」、終了が「17～18時台」の比率が高い。  
 (図表 4-1-4)

図表 4-1-5 放課後児童クラブの利用希望時間 土曜日（低学年の間）／全体

【土曜日】

【ほぼ毎週利用したい】

【月 1～2 日利用したい】

n=50

n=136

《開始時間》	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	2.0
8時台	40.0
9時台	44.0
10時台	10.0
11時台	-
12時台	-
13時台	-
14時台	-
15時台	-
16時台	-
17時台	-
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	4.0

《終了時間》	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	-
12時台	8.0
13時台	4.0
14時台	12.0
15時台	4.0
16時台	12.0
17時台	26.0
18時台	20.0
19時台	10.0
20時台	2.0
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	2.0

《開始時間》	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	2.9
8時台	33.1
9時台	49.3
10時台	9.6
11時台	-
12時台	0.7
13時台	-
14時台	-
15時台	0.7
16時台	-
17時台	-
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	3.7

《終了時間》	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	0.7
12時台	7.4
13時台	1.5
14時台	2.2
15時台	10.3
16時台	10.3
17時台	30.9
18時台	22.1
19時台	9.6
20時台	1.5
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	3.7

図表 4-1-6 放課後児童クラブの利用希望時間 日曜日（低学年の間）／全体

【日曜日】

【ほぼ毎週利用したい】

【月 1～2 日利用したい】

n=7

n=61

《開始時間》	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	42.9
9時台	57.1
10時台	-
11時台	-
12時台	-
13時台	-
14時台	-
15時台	-
16時台	-
17時台	-
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	-

《終了時間》	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	-
12時台	-
13時台	-
14時台	28.6
15時台	-
16時台	14.3
17時台	-
18時台	28.6
19時台	14.3
20時台	14.3
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	-

《開始時間》	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	1.6
8時台	29.5
9時台	41.0
10時台	16.4
11時台	-
12時台	-
13時台	-
14時台	1.6
15時台	1.6
16時台	-
17時台	-
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	8.2

《終了時間》	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	-
12時台	6.6
13時台	1.6
14時台	1.6
15時台	4.9
16時台	18.0
17時台	32.8
18時台	21.3
19時台	6.6
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	6.6

図表 4-1-7 放課後児童クラブの利用希望時間 長期の休み（低学年の間）／全体

【長期の休み】

n=518

《開始時間》		《開始時間》	
	%		%
6時以前	-	6時以前	-
6時台	-	6時台	-
7時台	2.7	7時台	-
8時台	43.1	8時台	-
9時台	41.3	9時台	-
10時台	7.7	10時台	-
11時台	0.2	11時台	0.2
12時台	0.2	12時台	5.6
13時台	1.5	13時台	0.2
14時台	0.4	14時台	4.1
15時台	0.2	15時台	11.4
16時台	0.4	16時台	16.2
17時台	-	17時台	21.2
18時台	-	18時台	24.9
19時台	-	19時台	13.1
20時台	-	20時台	1.2
21時台	-	21時台	-
22時台	-	22時台	-
23時台	-	23時台	-
24時以降	-	24時以降	-
無回答	2.3	無回答	1.9

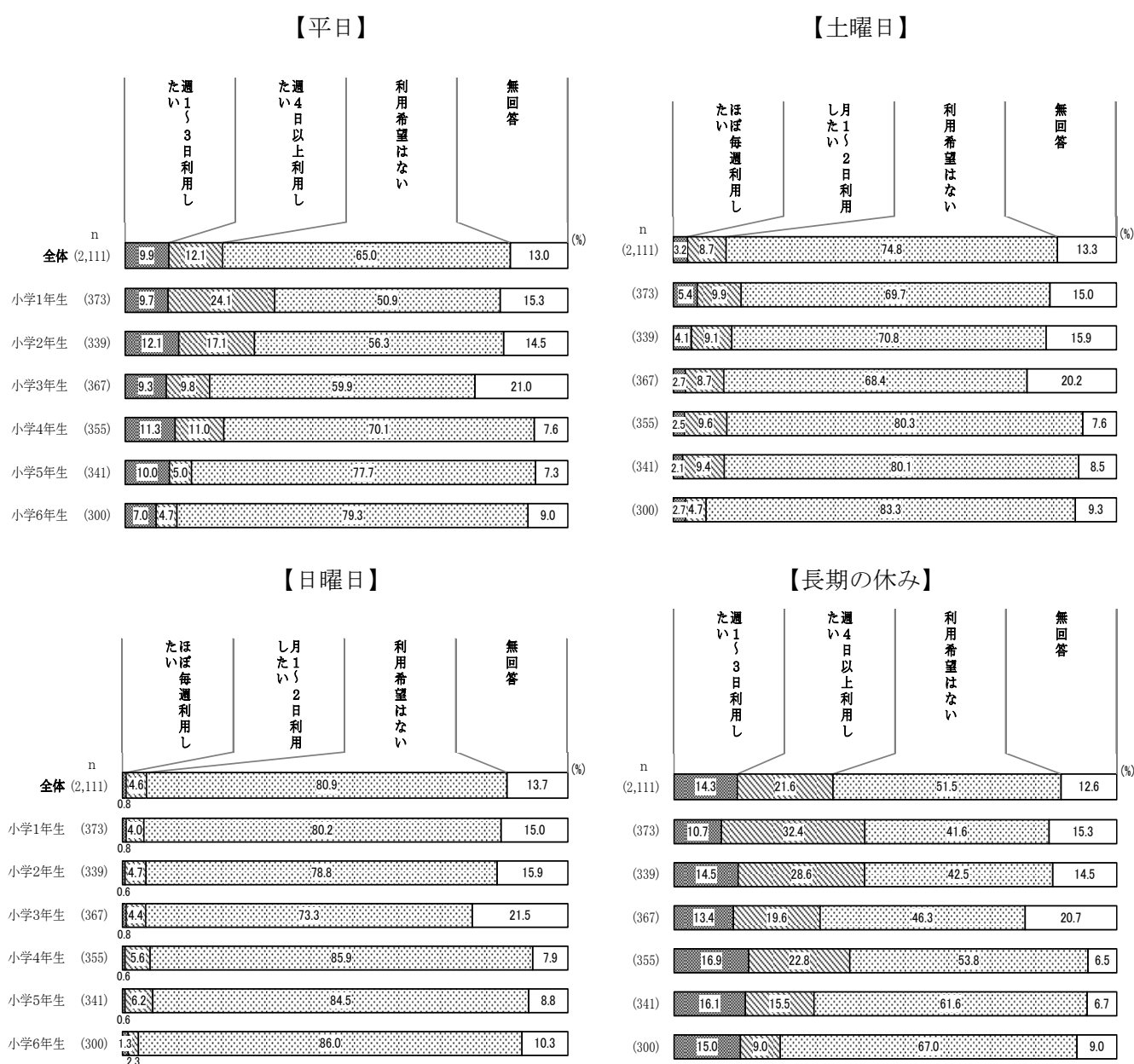
「土曜日」、「日曜日」、「長期の休み」では、開始が「8～9時台」、終了が「17～18時台」に回答が集中している。（図表 4-1-5、図表 4-1-6、図表 4-1-7）

## (2) 高学年の間の利用希望

問12 放課後児童クラブが、小学校6年生まで利用可能となった場合、宛名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望はありますか。現在の利用状況の有無に関わらず、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期の休み（夏休みなど）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、[ ]内には利用を希望する時間帯を、数字でご記入ください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※ 宛名の子どもが小学校低学年（1～3年生）の場合は、高学年（4～6年生）にあがったときの希望を記入

図表 4-2-1 放課後児童クラブの利用希望（高学年の間）／学年別（○は1つだけ）



高学年の間の放課後児童クラブの利用希望について尋ねたところ、「週 1～3 日利用したい」と「週 4 日以上利用したい」または「ほぼ毎週利用したい」と「月 1～2 日利用したい」を合わせた《利用したい》は、全体では「平日」が 22.0%、「土曜日」が 11.9%、「日曜日」が 5.4%、「長期の休み」が 35.9% となっている。

学年別にみると、《利用したい》は学年が上がるにつれて減少する傾向にあり、現在の低学年の子どもが高学年にあがったときの利用希望に比べ、現在の高学年の子どもが利用を希望する比率は低い。(図表 4-2-1)

図表 4-2-2 放課後児童クラブの利用希望（高学年の間）／家族構成別（○は 1 つだけ）

【平日】

【土曜日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	週 1～3 日利用したい	週 4 日以上利用したい	利用希望はない	無回答
家族構成別	両親と子ども	1,550 100.0	159 10.3	199 12.8	1,003 64.7	189 12.2
	ひとり親と子ども	168 100.0	17 10.1	25 14.9	109 64.9	17 10.1
	多世代同居	345 100.0	30 8.7	27 7.8	236 68.4	52 15.1

(上段：件 下段：%)

		調査数	ほぼ毎週利用したい	月 1～2 日利用したい	利用希望はない	無回答
家族構成別	両親と子ども	1,550 100.0	47 3.0	137 8.8	1,173 75.7	193 12.5
	ひとり親と子ども	168 100.0	6 3.6	18 10.7	125 74.4	19 11.3
	多世代同居	345 100.0	15 4.3	24 7.0	254 73.6	52 15.1

【日曜日】

【長期の休み】

(上段：件 下段：%)

		調査数	ほぼ毎週利用したい	月 1～2 日利用したい	利用希望はない	無回答
家族構成別	両親と子ども	1,550 100.0	12 0.8	64 4.1	1,276 82.3	198 12.8
	ひとり親と子ども	168 100.0	-	15 8.9	133 79.2	20 11.9
	多世代同居	345 100.0	4 1.2	17 4.9	268 77.7	56 16.2

(上段：件 下段：%)

		調査数	週 1～3 日利用したい	週 4 日以上利用したい	利用希望はない	無回答
家族構成別	両親と子ども	1,550 100.0	237 15.3	348 22.5	785 50.6	180 11.6
	ひとり親と子ども	168 100.0	20 11.9	48 28.6	84 50.0	16 9.5
	多世代同居	345 100.0	40 11.6	52 15.1	198 57.4	55 15.9

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「平日」、「長期の休み」に「週 4 日以上利用したい」の比率と、「土曜日」、「日曜日」に「月 1～2 日利用したい」の比率が、他の家族構成に比べ高い。(図表 4-2-2)

図表 4-2-3 放課後児童クラブの利用希望（高学年の間）／両親の就労状況別（○は1つだけ）

【平日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	し週 た1 い3 日 利用	し週 た4 い 日 以上 利用	利 用 希 望 は な い	無 回 答
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,057 100.0	124 11.7	159 15.0	645 61.0	129 12.2
	父親のみ就労	743 100.0	60 8.1	48 6.5	537 72.3	98 13.2
	母親のみ就労	189 100.0	14 7.4	34 18.0	119 63.0	22 11.6
	親は働いていない	93 100.0	8 8.6	12 12.9	53 57.0	20 21.5

【土曜日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	たほ いほ 毎 週 利用 し	し月 た1 い3 日 利用	利 用 希 望 は な い	無 回 答
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,057 100.0	36 3.4	90 8.5	798 75.5	133 12.6
	父親のみ就労	743 100.0	12 1.6	47 6.3	584 78.6	100 13.5
	母親のみ就労	189 100.0	11 5.8	29 15.3	128 67.7	21 11.1
	親は働いていない	93 100.0	7 7.5	15 16.1	51 54.8	20 21.5

【日曜日】

(上段：件 下段：%)

		調査数	たほ いほ 毎 週 利用 し	し月 た1 い3 日 利用	利 用 希 望 は な い	無 回 答
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,057 100.0	7 0.7	46 4.4	868 82.1	136 12.9
	父親のみ就労	743 100.0	3 0.4	23 3.1	611 82.2	106 14.3
	母親のみ就労	189 100.0	3 1.6	19 10.1	146 77.2	21 11.1
	親は働いていない	93 100.0	2 2.2	8 8.6	62 66.7	21 22.6

【長期の休み】

(上段：件 下段：%)

		調査数	し週 た1 い3 日 利用	し週 た4 い 日 以上 利用	利 用 希 望 は な い	無 回 答
両 親 の 就 労 状 況 別	共働き	1,057 100.0	168 15.9	288 27.2	480 45.4	121 11.4
	父親のみ就労	743 100.0	93 12.5	88 11.8	466 62.7	96 12.9
	母親のみ就労	189 100.0	26 13.8	59 31.2	82 43.4	22 11.6
	親は働いていない	93 100.0	14 15.1	18 19.4	41 44.1	20 21.5

両親の就労状況別にみると、「共働き」、「母親のみ就労」の場合、「平日」、「長期の休み」に「週4日以上利用したい」の比率が、他の就労状況に比べ高い。

また、「母親のみ就労」、「親は働いていない」の場合、「土曜日」、「日曜日」に「月1~2日利用したい」の比率が、他の就労状況に比べ高い。(図表 4-2-3)

図表 4-2-4 放課後児童クラブの利用希望時間 平日（高学年の間）／全体

【平日】

n=470

《開始時間》		《終了時間》	
	%		%
6時以前	-	6時以前	-
6時台	-	6時台	-
7時台	0.4	7時台	-
8時台	3.6	8時台	-
9時台	3.8	9時台	-
10時台	0.2	10時台	-
11時台	-	11時台	-
12時台	-	12時台	-
13時台	0.4	13時台	-
14時台	6.8	14時台	0.2
15時台	47.7	15時台	0.6
16時台	25.5	16時台	4.9
17時台	0.2	17時台	22.3
18時台	-	18時台	44.9
19時台	-	19時台	21.3
20時台	-	20時台	3.0
21時台	-	21時台	0.2
22時台	-	22時台	-
23時台	-	23時台	-
24時以降	-	24時以降	-
無回答	11.3	無回答	2.6

利用希望時間については、「平日」では、開始が「15時台」、終了が「18時台」の比率が最も高い。  
 (図表 4-2-4)

図表 4-2-5 放課後児童クラブの利用希望時間 土曜日（高学年の間）／全体

【土曜日】

【ほぼ毎週利用したい】

【月 1～2 日利用したい】

n=68

n=183

《開始時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	1.5
8時台	33.8
9時台	48.5
10時台	10.3
11時台	-
12時台	-
13時台	-
14時台	-
15時台	-
16時台	-
17時台	-
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	5.9

《終了時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	-
12時台	2.9
13時台	2.9
14時台	10.3
15時台	8.8
16時台	10.3
17時台	25.0
18時台	26.5
19時台	7.4
20時台	1.5
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	4.4

《開始時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	2.2
8時台	30.6
9時台	47.0
10時台	11.5
11時台	-
12時台	-
13時台	2.7
14時台	-
15時台	0.5
16時台	-
17時台	-
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	5.5

《終了時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	0.5
12時台	9.8
13時台	1.6
14時台	2.2
15時台	10.9
16時台	15.3
17時台	21.9
18時台	21.9
19時台	8.7
20時台	1.6
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	5.5

図表 4-2-6 放課後児童クラブの利用希望時間 日曜日（高学年の間）／全体

【日曜日】

【ほぼ毎週利用したい】

【月 1～2 日利用したい】

n=16

n=98

《開始時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	37.5
9時台	43.8
10時台	12.5
11時台	-
12時台	-
13時台	-
14時台	-
15時台	-
16時台	-
17時台	-
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	6.3

《終了時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	-
12時台	-
13時台	-
14時台	-
15時台	12.5
16時台	18.8
17時台	25.0
18時台	25.0
19時台	6.3
20時台	6.3
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	6.3

《開始時間》	
	%
6時以前	1.0
6時台	-
7時台	1.0
8時台	29.6
9時台	45.9
10時台	11.2
11時台	-
12時台	-
13時台	3.1
14時台	1.0
15時台	1.0
16時台	-
17時台	-
18時台	-
19時台	-
20時台	-
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	6.1

《終了時間》	
	%
6時以前	-
6時台	-
7時台	-
8時台	-
9時台	-
10時台	-
11時台	-
12時台	8.2
13時台	1.0
14時台	3.1
15時台	7.1
16時台	17.3
17時台	23.5
18時台	22.4
19時台	10.2
20時台	1.0
21時台	-
22時台	-
23時台	-
24時以降	-
無回答	6.1



図表 4-2-7 放課後児童クラブの利用希望時間 長期の休み（高学年の間）／全体

【長期の休み】

n=765

《開始時間》		《開始時間》	
	%		%
6時以前	-	6時以前	-
6時台	-	6時台	-
7時台	2.0	7時台	-
8時台	39.6	8時台	-
9時台	44.3	9時台	-
10時台	7.2	10時台	-
11時台	0.3	11時台	0.1
12時台	0.3	12時台	6.3
13時台	3.3	13時台	0.8
14時台	0.4	14時台	3.1
15時台	1.0	15時台	12.8
16時台	0.4	16時台	16.7
17時台	-	17時台	19.7
18時台	-	18時台	25.5
19時台	-	19時台	12.5
20時台	-	20時台	1.3
21時台	-	21時台	-
22時台	-	22時台	-
23時台	-	23時台	-
24時以降	-	24時以降	-
無回答	1.3	無回答	1.0

「土曜日」、「日曜日」、「長期の休み」では、開始が「8～9時台」、終了が「17～18時台」に回答が集中している。（図表 4-2-5、図表 4-2-6、図表 4-2-7）

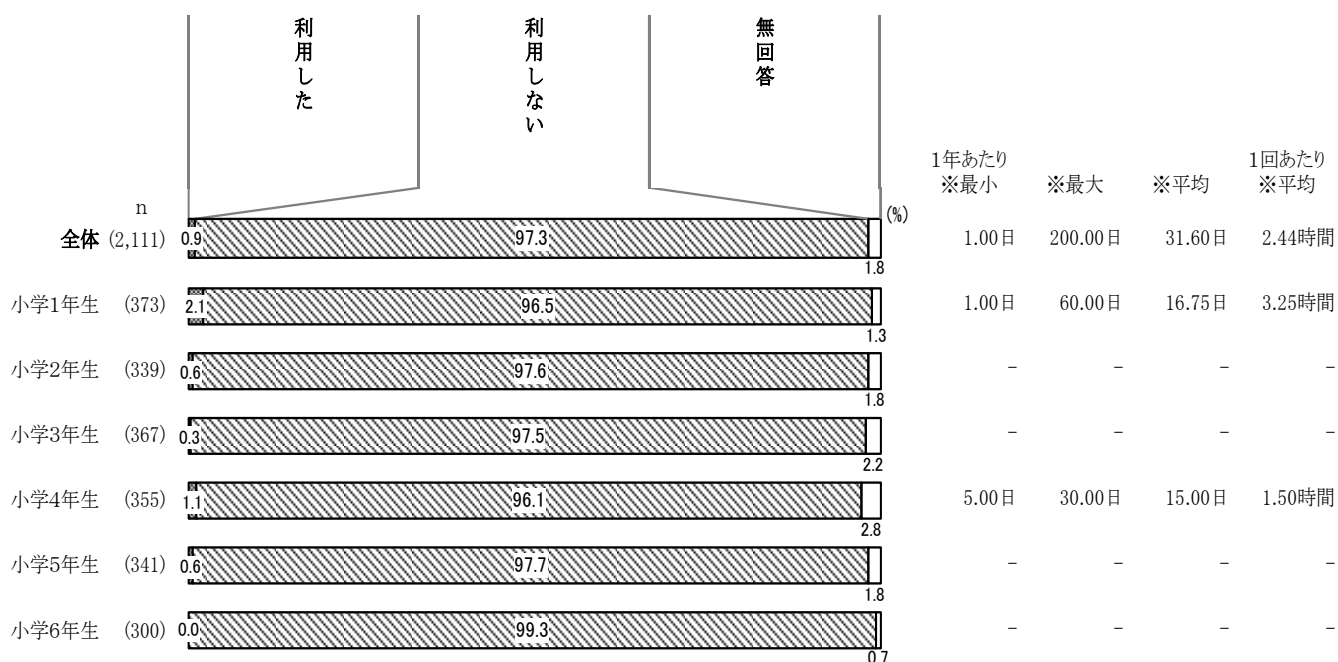
## 5. 地域の子育て支援事業の利用状況について

### (1) 仙台すくすくサポート事業の利用状況

問13 この1年間に「仙台すくすくサポート事業」（市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業）を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

問13-1 この1年間での利用日数（おおよそ）と1回あたりの利用時間について、[ ]内に数字でご記入ください。

図表 5-1-1 仙台すくすくサポート事業の利用状況（小学生）／学年別（○は1つだけ）



この1年間の、仙台すくすくサポート事業の利用状況について尋ねたところ、全体では「利用した」は0.9%と低く、「利用しない」が97.3%となっている。年間の平均利用日数は31.60日、1回あたりの平均利用時間は2.44時間となっている。

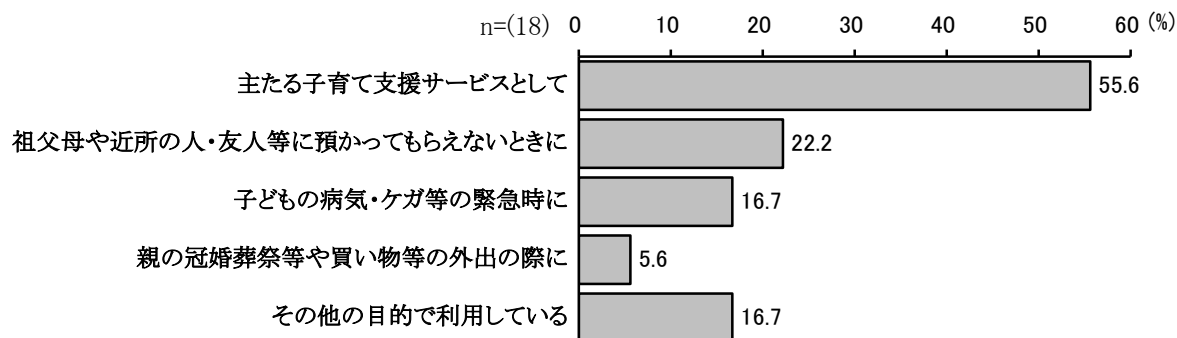
学年別にみても、同様の傾向にある。(図表 5-1-1)

## (2) 仙台すくすくサポート事業の利用目的

問13-2 どのような目的で利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『5 (1) 仙台すくすくサポート事業の利用状況』で「利用した」と回答した方のみ

図表 5-2-1 仙台すくすくサポート事業の利用目的／全体 (○はいくつでも)



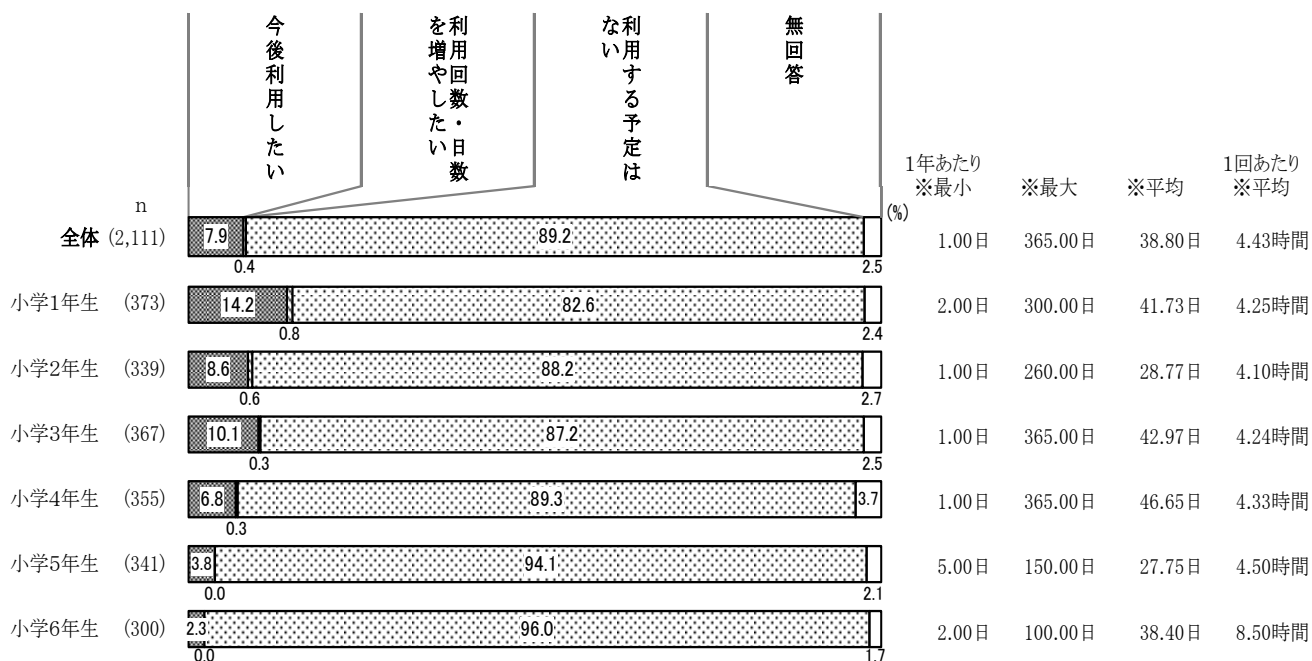
仙台すくすくサポート事業の利用目的について尋ねたところ、回答数が少ないため参考値となるが、「主たる子育て支援サービスとして」(55.6%)が最も高く、次いで「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに」(22.2%)となっている。(図表 5-2-1)

### (3) 仙台すくすくサポート事業の利用希望

問13-3 「仙台すくすくサポート事業」を「今後利用したい」、あるいは「利用しているが、今後もっと回数・日数を増やしたい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

問13-4 1年間で何日、1回あたり何時間くらい利用したいとお考えですか。希望の日数・時間について[ ]内に数字でご記入ください。

図表 5-3-1 仙台すくすくサポート事業の利用希望／学年別（○は1つだけ）



仙台すくすくサポート事業の利用希望について尋ねたところ、全体では「今後利用したい」と「利用回数・日数を増やしたい」を合わせた《利用したい》は8.3%、「利用する予定はない」は89.2%となっている。利用希望の年間平均日数は38.80日、1回あたりの利用時間は4.43時間となっている。

学年別にみると、学年があがるにつれて《利用したい》が減少していく傾向にある。利用希望の年間平均日数にばらつきがみられるが、利用時間の希望は4時間程度となっている。（図表 5-3-1）

図表 5-3-2 仙台すくすくサポート事業の利用希望／家族構成別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	今後利用したい	や利用したい回数・日数を増	利用する予定はない	無回答
家族構成別	両親と子ども	1,550 100.0	121 7.8	6 0.4	1,383 89.2	40 2.6
	ひとり親と子ども	168 100.0	18 10.7	1 0.6	143 85.1	6 3.6
	多世代同居	345 100.0	21 6.1	- -	318 92.2	6 1.7

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、「今後利用したい」の比率が、他の家族構成に比べやや高い。(図表 5-3-2)

図表 5-3-3 仙台すくすくサポート事業の利用希望／両親の就労状況別（○は1つだけ）

		(上段：件 下段：%)				
		調査数	今後利用したい	や利用したい回数・日数を増	利用する予定はない	無回答
両親の就労状況別	共働き	1,057 100.0	72 6.8	4 0.4	951 90.0	30 2.8
	父親のみ就労	743 100.0	67 9.0	2 0.3	662 89.1	12 1.6
	母親のみ就労	189 100.0	13 6.9	- -	172 91.0	4 2.1
	親は働いていない	93 100.0	11 11.8	2 2.2	77 82.8	3 3.2

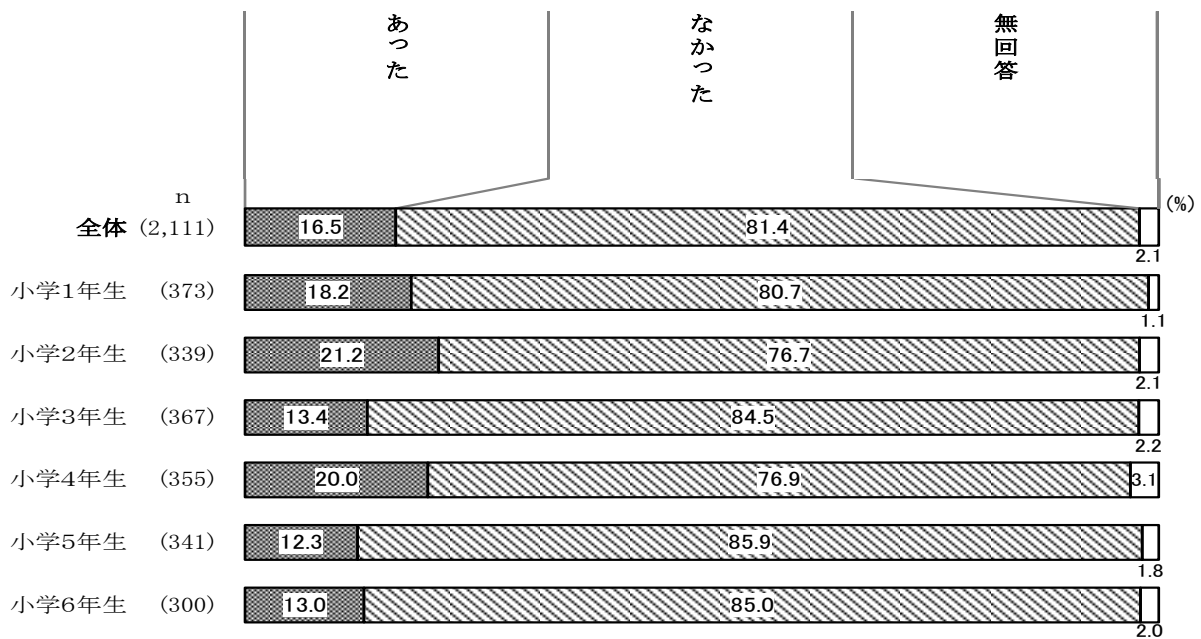
両親の就労状況別にみると、「親は働いていない」の場合、「今後利用したい」の比率が、他の就労状況に比べやや高い。(図表 5-3-3)

## 6. 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望について

### (1) 子どもを泊りがけで預ける用事の有無

問14 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないと思ったことはありませんでしたか。（預け先が見つからなかった場合も含まれます。）当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 6-1-1 子どもを泊りがけで預ける用事の有無（○は1つだけ）



この1年間の、子どもを泊りがけで家族以外に預ける用事の有無について尋ねたところ、全体では「あった」が16.5%に対し、「なかった」は81.4%となっている。

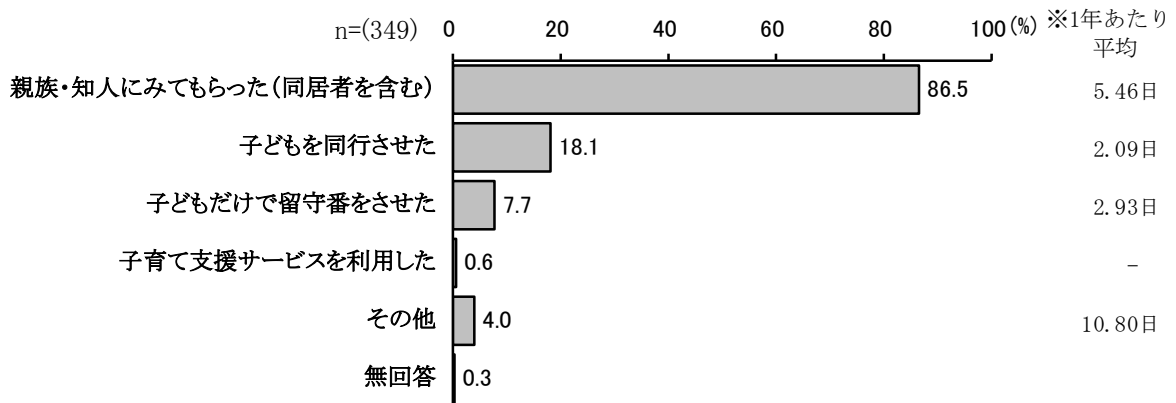
学年別にみても、同様の傾向にある。（図表 6-1-1）

## (2) 子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応

問1 4-1 その場合、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を[ ]内に数字でご記入ください。

※ 『6 (1) 子どもを泊りがけで預ける用事の有無』で「あった」と回答した方のみ

図表 6-2-1 子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応／全体 (○はいくつでも)



子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応については、「親族・知人にみてもらった（同居者を含む）」(86.5%) が最も高く、年間の平均日数は5.46日となっている。次いで「子どもを同行させた」(18.1%) が高く、年間の平均日数は2.09日となっている。また、「子どもだけで留守番をさせた」(7.7%) も一定程度ある。(図表 6-2-1)

図表 6-2-2 子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応／家族構成別（○はいくつでも）

（上段：件 下段：％）

		調査数	た親族・同居者を含み （同居者にみてもらった）	子どもを同行させた	せ子どもだけで留守番をさせた	用子育て支援サービスを利用した	その他	無回答
家族構成別	両親と子ども	264 100.0	234 88.6	46 17.4	18 6.8	1 0.4	6 2.3	1 0.4
	ひとり親と子ども	43 100.0	36 83.7	8 18.6	7 16.3	-	1 2.3	-
	多世代同居	32 100.0	23 71.9	7 21.9	2 6.3	-	7 21.9	-

家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、他の家族構成に比べ「子どもだけで留守番をさせた」の比率が高い。（図表 6-2-2）

図表 6-2-3 子どもを泊りがけで預ける必要が出た時の対応／両親の就労状況別（○はいくつでも）

（上段：件 下段：％）

		調査数	た親族・同居者を含み （同居者にみてもらった）	子どもを同行させた	せ子どもだけで留守番をさせた	用子育て支援サービスを利用した	その他	無回答
両親の就労状況別	共働き	193 100.0	171 88.6	35 18.1	12 6.2	-	4 2.1	-
	父親のみ就労	97 100.0	84 86.6	14 14.4	8 8.2	-	3 3.1	1 1.0
	母親のみ就労	38 100.0	32 84.2	8 21.1	5 13.2	1 2.6	3 7.9	-
	親は働いていない	16 100.0	12 75.0	6 37.5	2 12.5	-	2 12.5	-

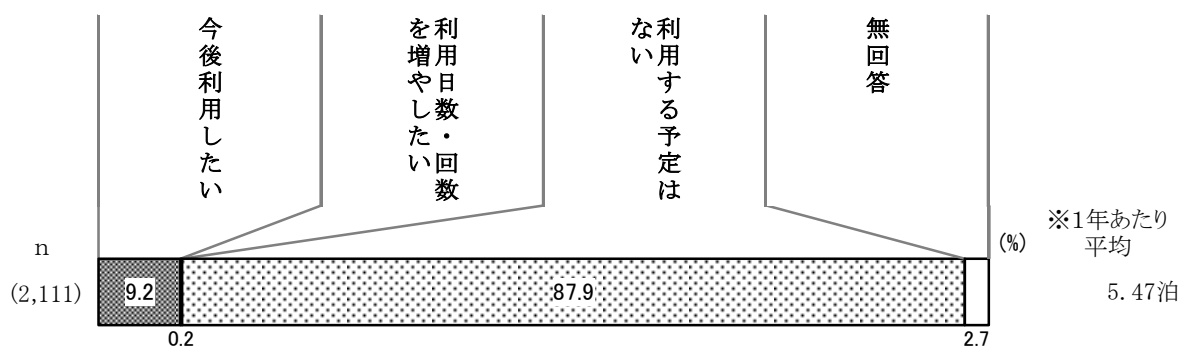
両親の就労状況別にみると、「母親のみ就労」、「親は働いていない」の場合、「子どもだけで留守番をさせた」の比率が、他の家族構成に比べ高い。（図表 6-2-3）



### (3) 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望

問14-2 泊りがけでお子さんをみてもらう事業を「できれば今後利用したい」、あるいは「利用しているが、今後もっと日数・回数を増やしたい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

図表 6-3-1 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望／全体（○は1つだけ）



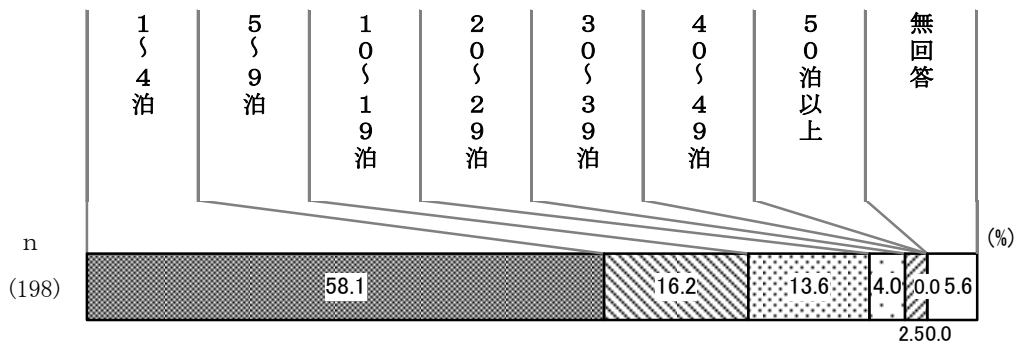
子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望について尋ねたところ、「今後利用したい」と「利用日数・回数を増やしたい」を合わせた《利用したい》は9.4%、「利用する予定はない」が87.9%となっている。（図表 6-3-1）

#### (4) 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望日数

問14-3 1年間で何日くらい利用したいとお考えですか。理想の日数を[ ]内に、数字でご記入ください。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

※ 『6(3) 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望』で「今後利用したい」または「利用日数・回数を増やしたい」と回答した方のみ

図表 6-4-1 子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望日数／全体



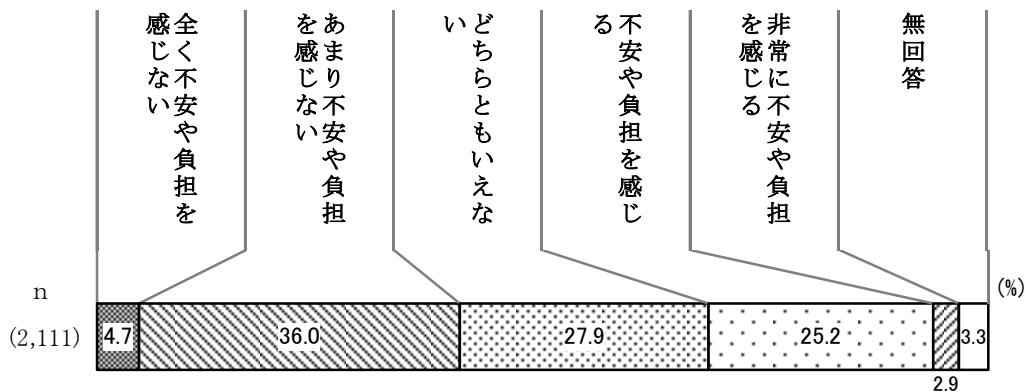
子どもを泊りがけで預ける事業の利用希望日数について尋ねたところ、「1～4泊」(58.1%)が最も多く、次いで「5～9泊」(16.2%)、「10～19泊」(13.6%)の順となっている。(図表 6-4-1)

## 7. 子育てに関する悩みや不安、相談先等について

### (1) 子育てに関して不安や負担を感じるか

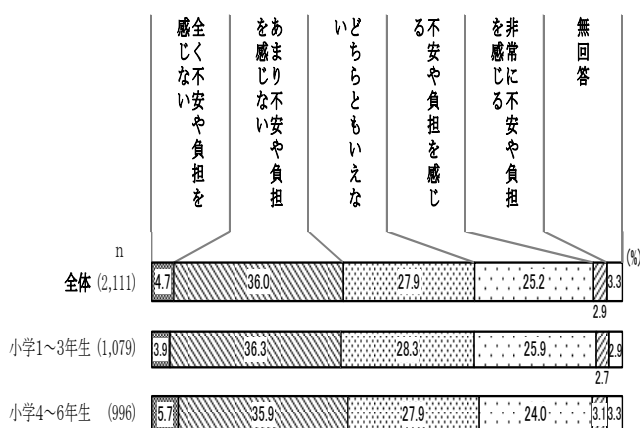
問15 子育てに関して、不安や負担などを感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 7-1-1 子育てに関して不安や負担を感じるか/全体 (○は1つだけ)



子育てに関しての不安や負担について尋ねたところ、「全く不安や負担を感じない」と「あまり不安や負担を感じない」を合わせた《不安や負担を感じない》(40.7%)は、「不安や負担を感じる」と「非常に不安や負担を感じる」を合わせた《不安や負担を感じる》(28.1%)を上回っている。(図表 7-1-1)

図表 7-1-2 子育てに関して不安や負担を感じるか/学年別 (○は1つだけ)

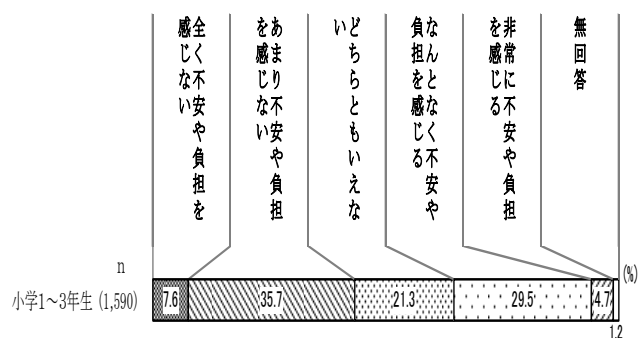


学年別にみると、小学1~3年生、小学4~6年生ともに、《不安や負担を感じない》は《不安や負担を感じる》を上回っており、同様の傾向にある。(図表 7-1-2)

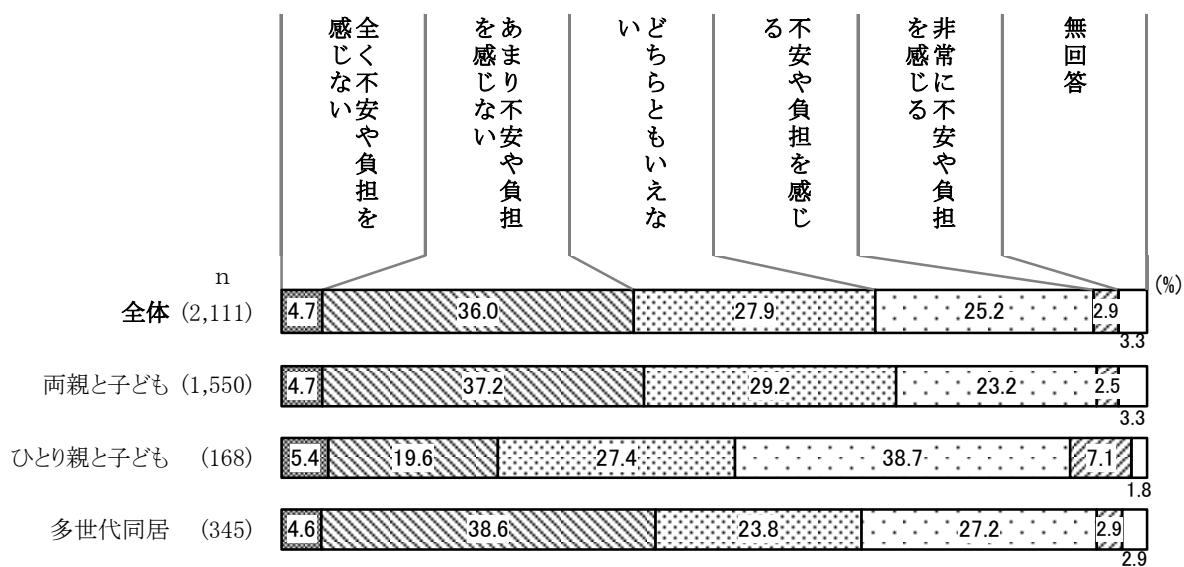
平成20年度調査と比べると、《不安や負担を感じない》、《不安や負担を感じる》はともに低下し、「どちらともいえない」が上昇している。(図表 7-1-2、図表 7-1-3)

#### 参考：平成20年度調査

図表 7-1-3 子育てに関して不安や負担を感じるか/学年別 (○は1つだけ)



図表 7-1-4 子育てに関して不安や負担を感じるか／家族構成別（○は1つだけ）

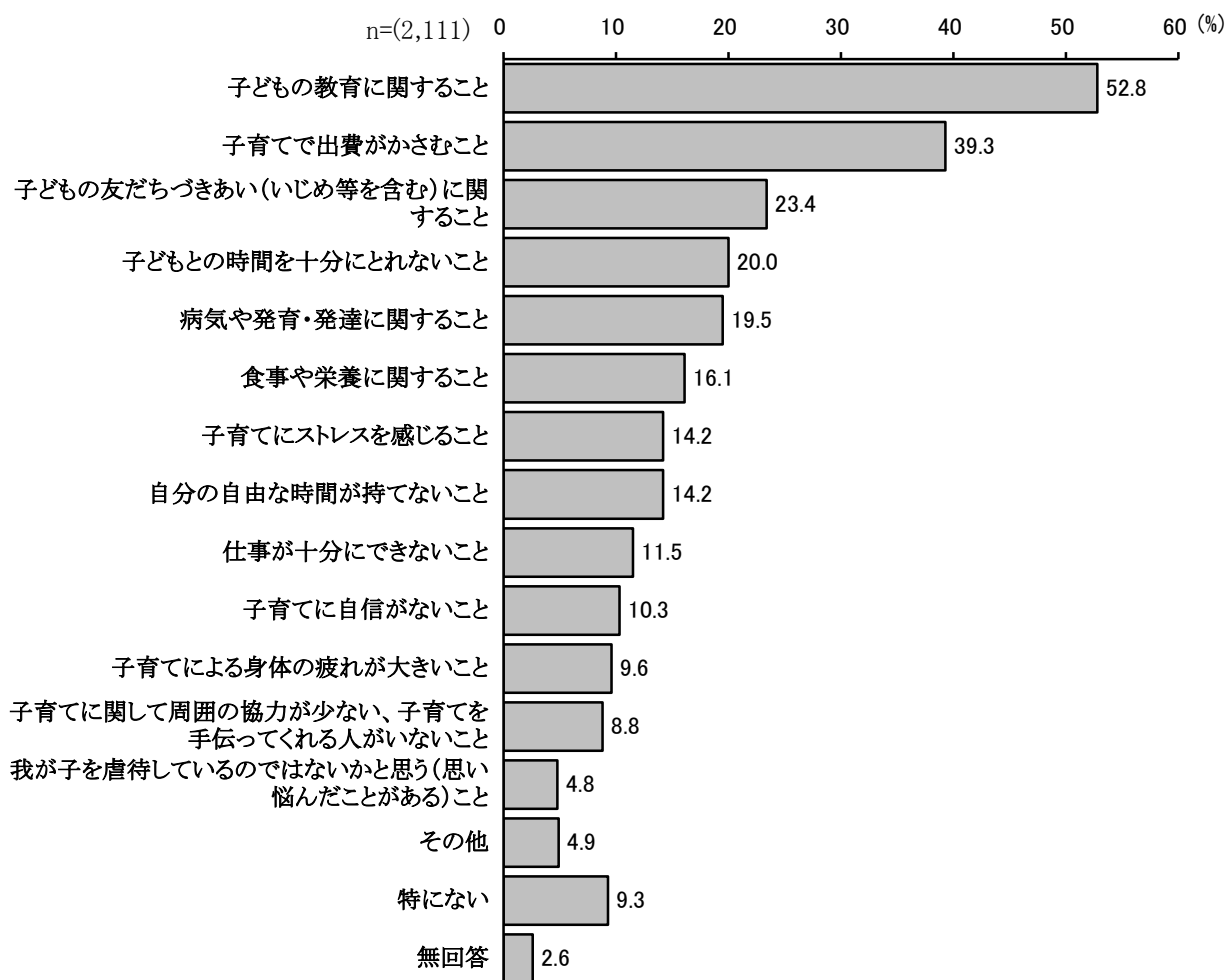


家族構成別にみると、「ひとり親と子ども」の場合、《不安や負担を感じる》(45.8%)が、他の家族構成に比べて高く、また、《不安や負担を感じない》(25.0%)を上回っている。(図表 7-1-4)

## (2) 子育て上の悩みや負担の内容

問16 子育てをする上で、特に悩んでいることや、負担に思うことはどのようなことですか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

図表 7-2-1 子育て上の悩みや負担の内容／全体（○はいくつでも）

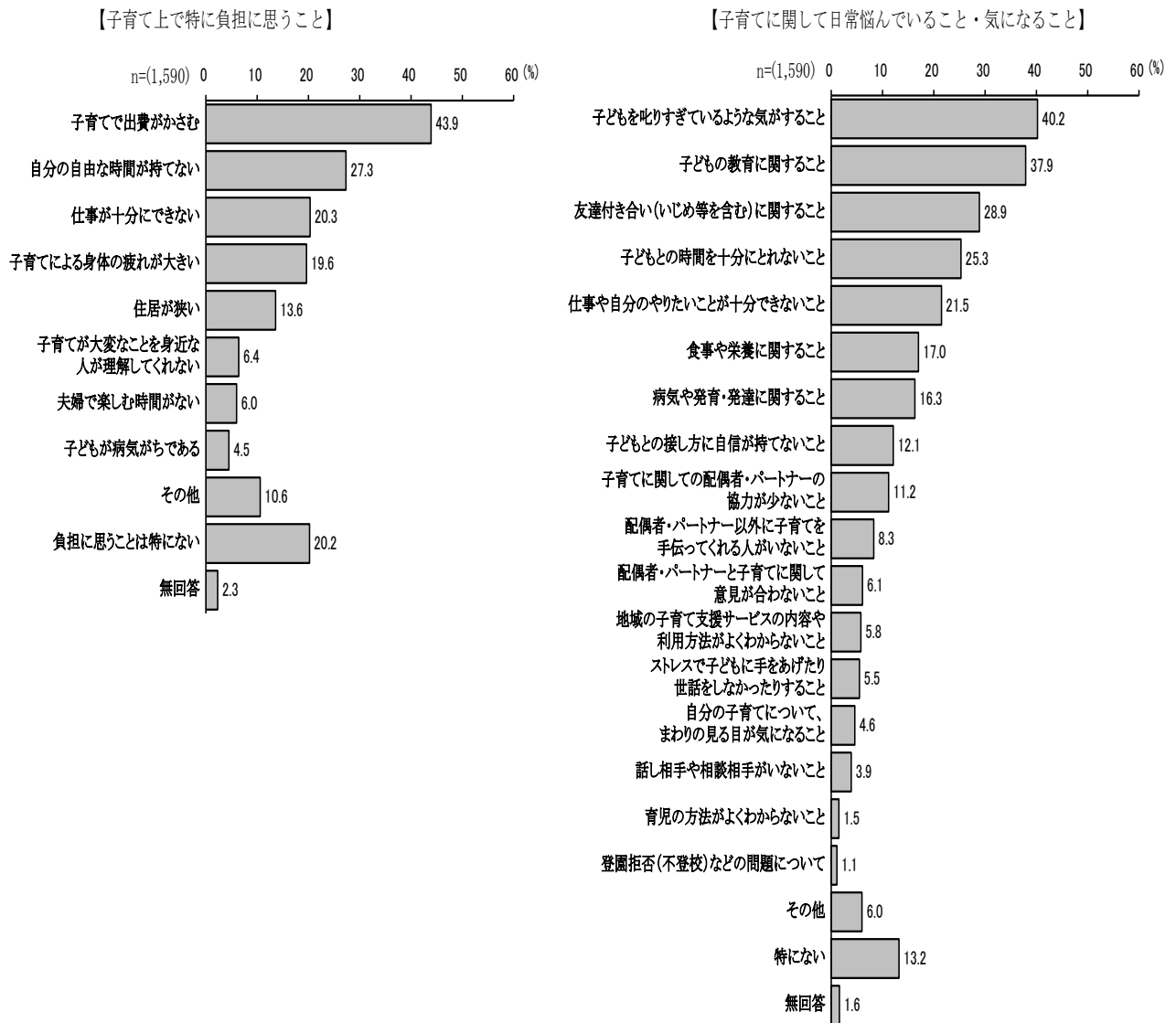


子育て上の悩みや負担の内容について尋ねたところ、「子どもの教育に関すること」(52.8%)、「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」(23.4%)、「病気や発育・発達に関すること」(19.5%)、「食事や栄養に関すること」(16.1%)といった子どもに関する悩みや、「子育てで出費がかさむこと」(39.3%)といった経済的な負担、「子どもとの時間を十分に取れないこと」(20.0%)が上位を占めている。また、「子育てにストレスを感じること」(14.2%)、「自分の自由な時間が持てないこと」(14.2%)といった保護者自身の悩みに関する内容が多い。(図表 7-2-1)

これらの項目は、平成 20 年度調査の同様の設問においても上位にあがっており、子育てで悩みや負担に思う内容は、年数が経過しても、概ね変化はない。(図表 7-2-1、図表 7-2-2)

図表 7-2-2 子育て上の悩みや負担の内容／全体（〇はいくつでも）

参考：平成 20 年度調査



図表 7-2-3 子育て上の悩みや負担の内容（上位 13 項目）／学年別、家族構成別（○はいくつでも）

		(上段：件 下段：%)													
		調査数	子どもの教育に関すること	子育てで出費がかさむこと	子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること	子どもとの時間を十分にとれないこと	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育てにストレスを感じる事	自分の自由な時間が持てないこと	仕事が多すぎてできないこと	子育てに自信がないこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子育てに関して周囲の協力が少ない、子育てを手伝ってくれる人がいないこと	我が子を虐待しているのではないかと 思う（思い悩んだことがある）こと
学年別	小学 1～3 年生	1,079	557	389	252	230	223	184	173	184	137	120	125	115	63
		100.0	51.6	36.1	23.4	21.3	20.7	17.1	16.0	17.1	12.7	11.1	11.6	10.7	5.8
学年別	小学 4～6 年生	996	541	423	235	184	182	145	120	110	102	93	72	70	38
		100.0	54.3	42.5	23.6	18.5	18.3	14.6	12.0	11.0	10.2	9.3	7.2	7.0	3.8
家族構成別	両親と子ども	1,550	813	602	367	285	294	250	231	211	179	160	152	142	74
		100.0	52.5	38.8	23.7	18.4	19.0	16.1	14.9	13.6	11.5	10.3	9.8	9.2	4.8
	ひとり親と子ども	168	89	61	42	50	41	30	27	38	36	22	22	31	19
	100.0	53.0	36.3	25.0	29.8	24.4	17.9	16.1	22.6	21.4	13.1	13.1	18.5	11.3	
	多世代同居	345	193	146	78	74	69	50	36	43	21	32	22	10	8
		100.0	55.9	42.3	22.6	21.4	20.0	14.5	10.4	12.5	6.1	9.3	6.4	2.9	2.3

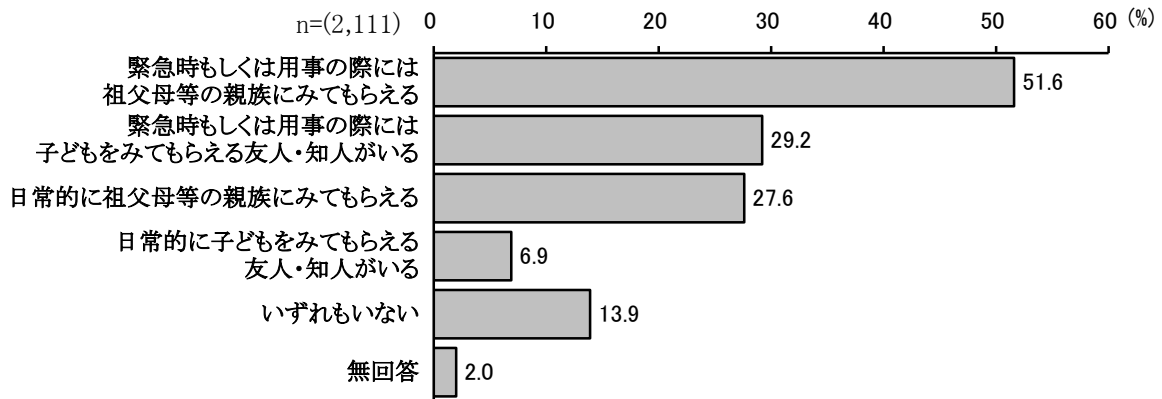
学年別にみると、小学 1～3 年生では「子育てで出費がかさむこと」が 36.1%であるが、小学 4～6 年生では 42.5%となっている。

家族構成別にみると、いずれの家族構成でも「子どもの教育に関すること」の比率が高いほか、「ひとり親と子ども」の場合、「子どもとの時間を十分にとれないこと」、「自分の自由な時間が持てないこと」、「仕事が多すぎてできないこと」、「子育てに関して周囲の協力が少ない、子育てを手伝ってくれる人がいないこと」の比率が、他の家族構成に比べ高い。(図表 7-2-3)

### (3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問17 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(※この設問では、親族に配偶者は含まないこととしてお答えください。)

図表 7-3-1 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無／全体 (○はいくつでも)



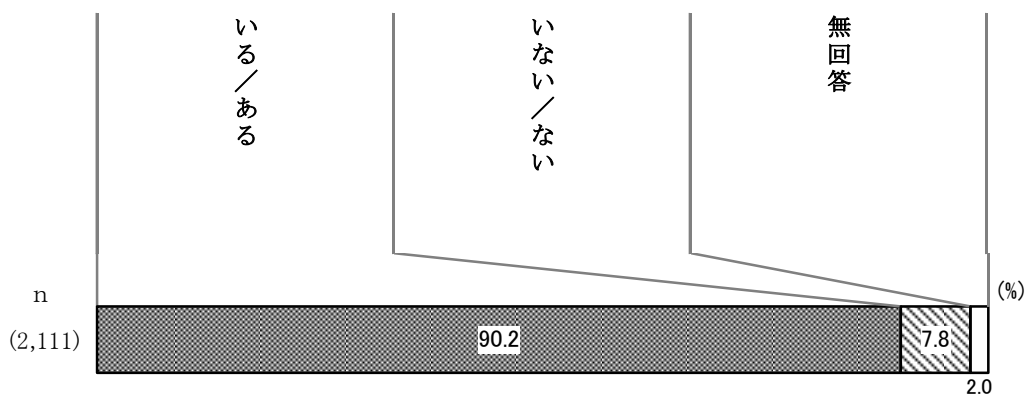
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無について尋ねたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(51.6%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(29.2%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(27.6%)と回答した人が多いが、「いずれもない」(13.9%)と回答した人もいる。(図表 7-3-1)



#### (4) 子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無

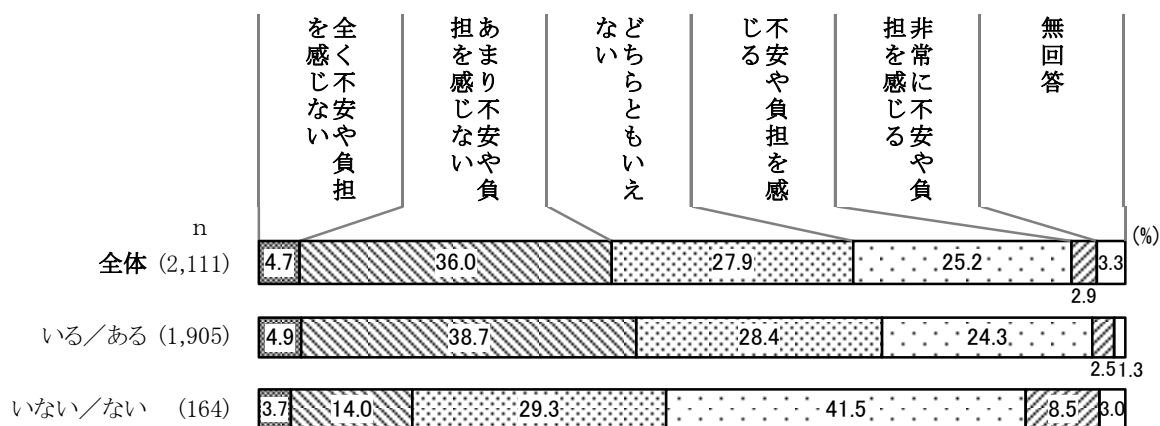
問18 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 7-4-1 子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無/全体 (○は1つだけ)



子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無について尋ねたところ、「いる/ある」が 90.2%、「いない/ない」が 7.8%となっている。(図表 7-4-1)

図表 7-4-2 子育てに関する不安や負担感/気軽に相談できる人や場所の有無別



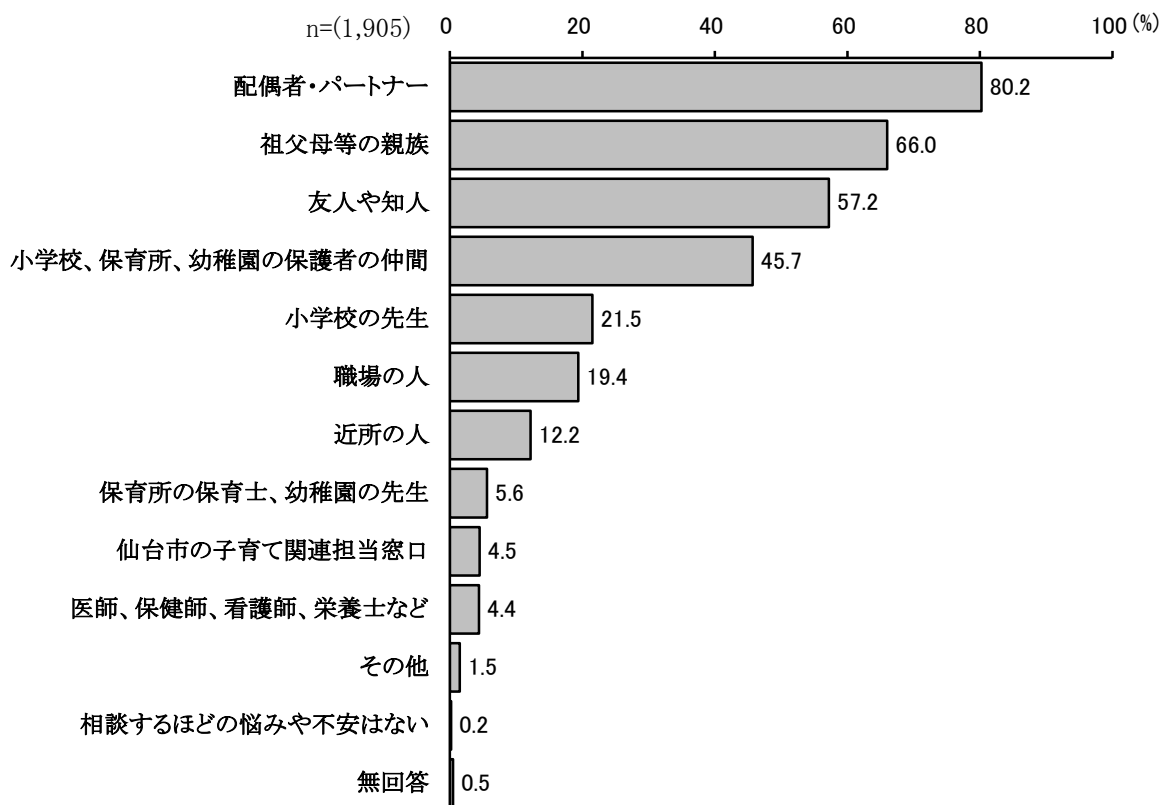
気軽に相談できる人や場所の有無と、『7 (1) 子育てに関して不安や負担を感じるか』の回答についてみると、「不安や負担を感じる」と「非常に不安や負担を感じる」を合わせた《不安や負担を感じる》人の割合は、気軽に相談できる人や場所が「いない/ない」と回答した場合には 50.0%となり、「いる/ある」と回答した場合の 26.8%に比べ高い。気軽に相談できる人や場所の有無が、子育ての不安や負担感に影響していると考えられる。(図表 7-4-2)

## (5) 子育てに関する相談先

問19 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『7（4）子育てについて気軽に相談できる人の有無』で「いる／ある」と回答した方のみ

図表 7-5-1 子育てに関する相談先／全体（○はいくつでも）



子育てについて、気軽に相談できる先を尋ねたところ、「配偶者・パートナー」（80.2%）、「祖父母等の親族」（66.0%）、「友人や知人」（57.2%）といった身近な人を相談先としている。また、「小学校、保育所、幼稚園の保護者の仲間」（45.7%）、「小学校の先生」（21.5%）といった学校等に関係する人も上位にあがっている。

その他、「職場の人」（19.4%）、「近所の人」（12.2%）も一定程度あるが、「仙台市の子育て関連担当窓口」は4.5%にとどまっている。（図表 7-5-1）

図表 7-5-2 子育てに関する相談先／全体 (〇はいくつでも)

		(上段：件 下段：%)														
		調査数	配偶者・パートナー	祖父母等の親族	友人や知人	小学校、保育所、幼稚園の保護者の仲間	小学校の先生	職場の人	近所の人	園の先生	保育所の保育士、幼稚園	仙台市の子育て関連担当窓口	医師、保健師、看護師、栄養士など	その他	相談するほどの悩みや不安はない	無回答
学年別	小学1～3年生	990	808	674	571	448	198	170	121	77	50	47	11	1	3	
		100.0	81.6	68.1	57.7	45.3	20.0	17.2	12.2	7.8	5.1	4.7	1.1	0.1	0.3	
	小学4～6年生	886	694	563	501	410	203	190	105	27	36	36	17	3	7	
		100.0	78.3	63.5	56.5	46.3	22.9	21.4	11.9	3.0	4.1	4.1	1.9	0.3	0.8	

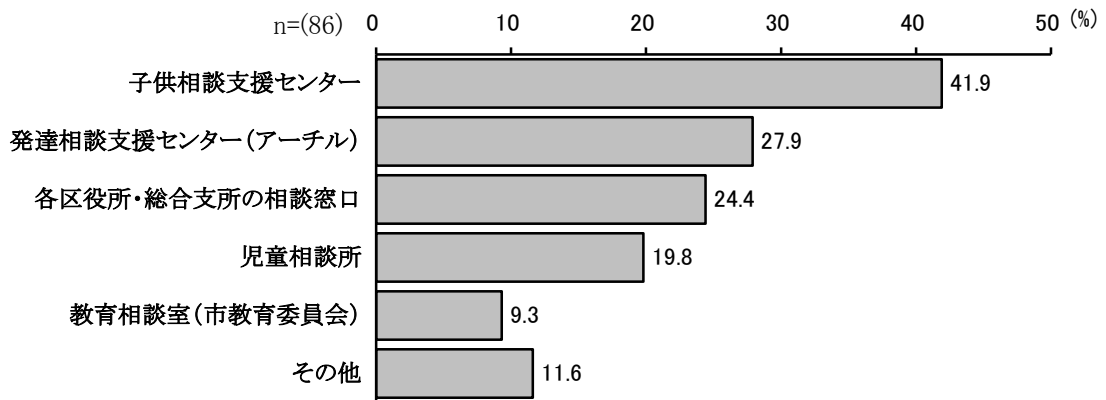
学年別にみても、同様の傾向にある。(図表 7-5-2)

## (6) 気軽に相談できる仙台市の子育て関連担当窓口

問19-1 どの窓口が気軽に相談できるとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 『7(5) 子育てに関する相談先』で「仙台市の子育て関連担当窓口」と回答した方のみ

図表 7-6-1 気軽に相談できる仙台市の子育て関連担当窓口／全体 (○はいくつでも)

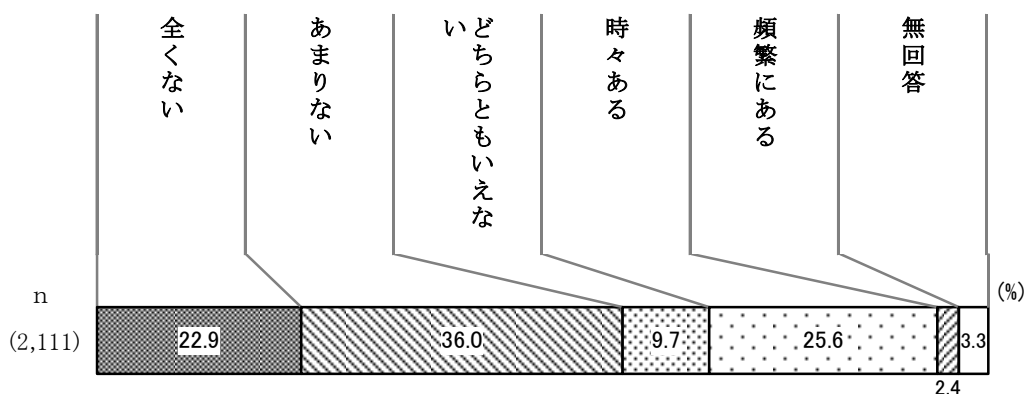


気軽に相談できる仙台市の子育て関連担当窓口について尋ねたところ、「子供相談支援センター」(41.9%)が最も高く、次いで「発達相談支援センター(アーチル)」(27.9%)、「各区役所・総合支所の相談窓口」(24.4%)となっている。(図表 7-6-1)

## (7) 子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無

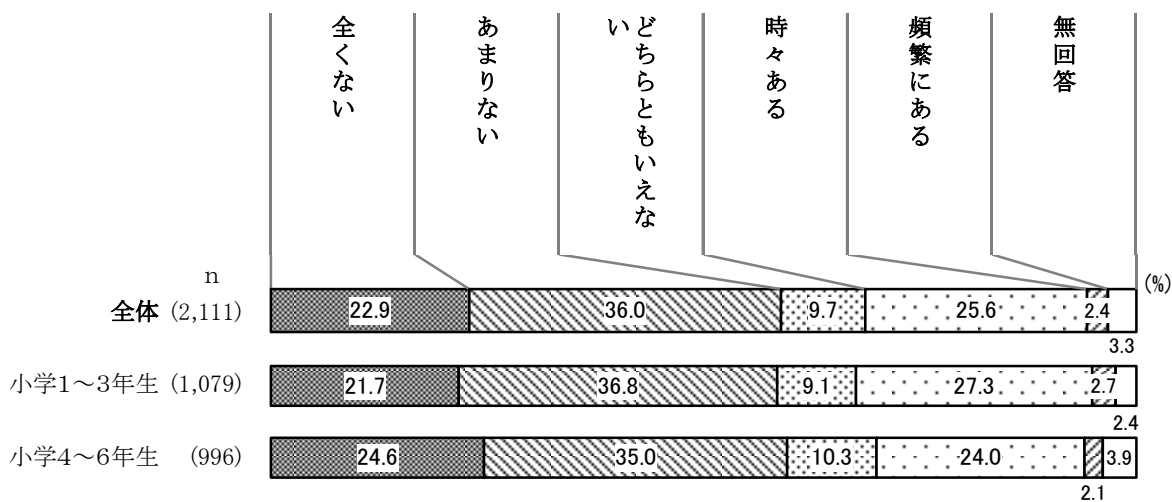
問20 お子さんの気になる情緒や行動の面で相談したいと思ったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 7-7-1 子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無/全体 (○は1つだけ)



子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無について尋ねたところ、「全くない」と「あまりない」を合わせた《ない》が58.9%となり、「時々ある」と「頻繁にある」を合わせた《ある》の28.0%を上回っている。(図表 7-7-1)

図表 7-7-2 子どもの情緒や行動の面で相談したいことの有無/学年別 (○は1つだけ)

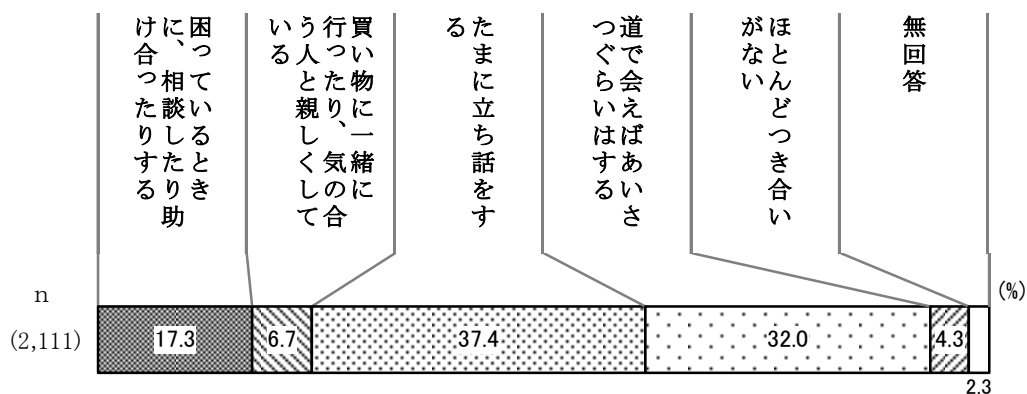


学年別にみると、小学1～3年生に比べ、小学4～6年生では《ある》の比率がやや低下している。(図表 7-7-2)

## (8) 近所づきあいの程度

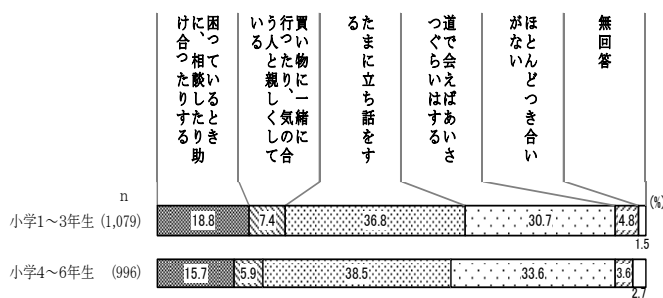
問21 あなたのお宅では、日頃隣近所の方とどのようなつきあいをしていますか。次の中から当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 7-8-1 近所づきあいの程度/全体 (○は1つだけ)



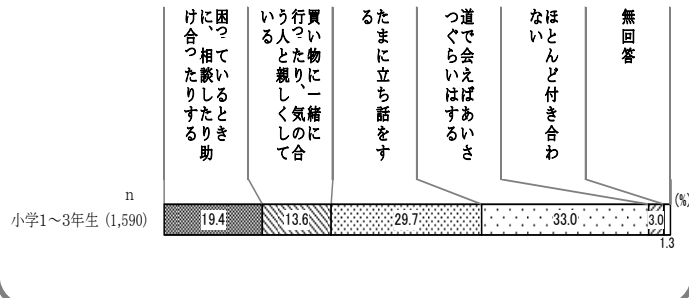
近所づきあいの程度について尋ねたところ、「たまに立ち話をする」(37.4%)が最も高く、次いで「道で会えばあいさつぐらいはする」(32.0%)となっており、「困っているときに、相談したり助けあったりする」(17.3%)、「買い物と一緒にいたり、気の合う人と親しくしている」(6.7%)といった、親しいつき合いがうかがえる回答の比率が低い。(図表 7-8-1)

図表 7-8-2 近所づきあいの程度/学年別 (○は1つだけ)



参考：平成20年度調査

図表 7-8-3 近所づきあいの程度/学年別 (○は1つだけ)



学年別にみると、小学1～3年生に比べ、小学4～6年生では「困っている時に相談したり助けあったりする」、「買い物と一緒にいたり、気の合う人と親しくしている」といった親しいつき合いがうかがえる回答の比率が低く、「たまに立ち話をする」、「道で会えばあいさつぐらいはする」が高い。(図表 7-8-2)

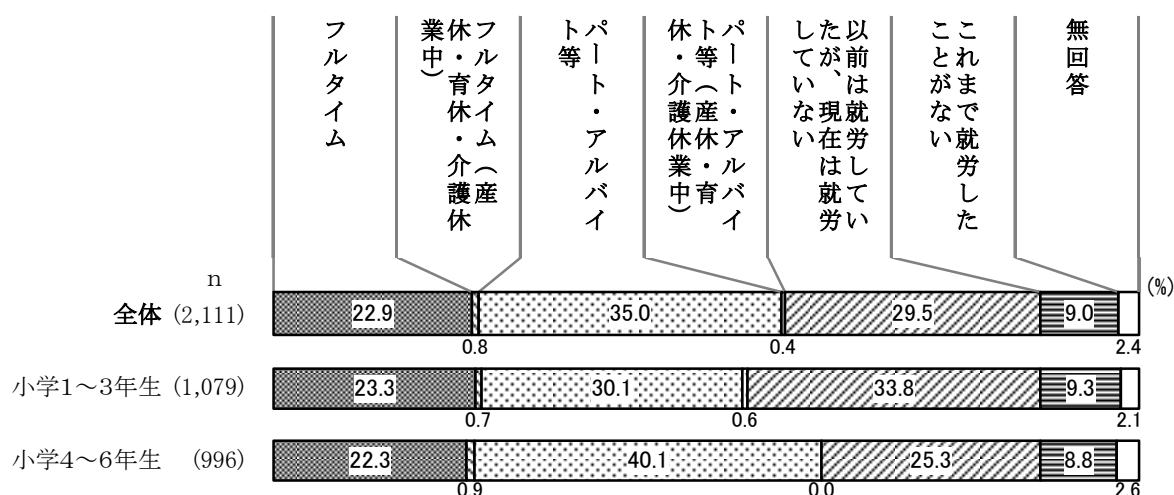
平成20年度調査との比較では、「買い物と一緒にいたり、気の合う人と親しくしている」が低く、「たまに立ち話をする」が高い。(図表 7-8-2、図表 7-8-3)

## 8. 保護者の就労状況について

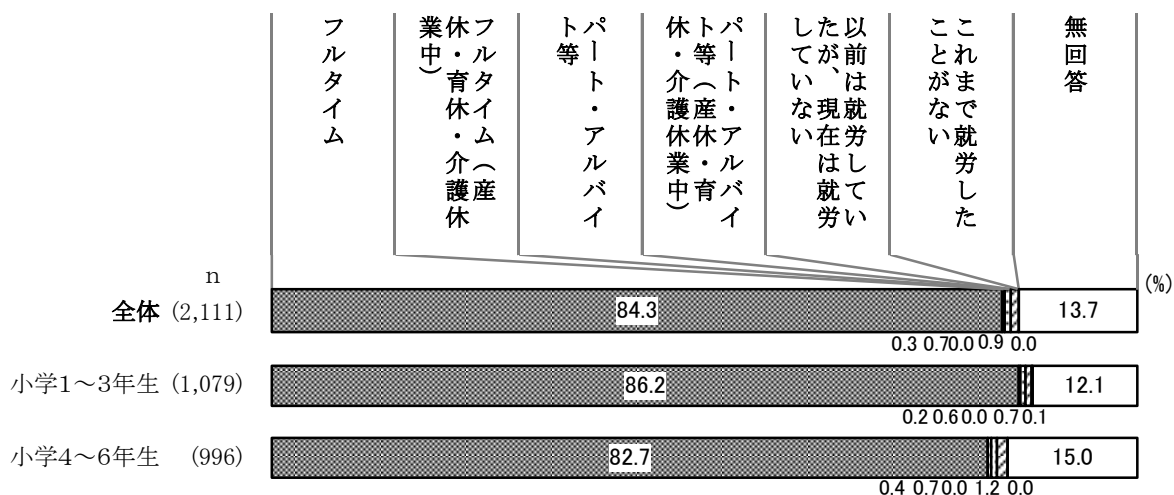
### (1) 保護者の就労状況

問22(1)、(2) 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。就労状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

図表 8-1-1 母親の就労状況／学年別（○は1つだけ）



図表 8-1-2 父親の就労状況／学年別（○は1つだけ）



保護者の就労状況を尋ねたところ、母親については、全体では「パート・アルバイト等」の比率が最も高い。学年別にみると、小学1～3年生では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も高いが、小学4～6年生になると「パート・アルバイト等」が最も高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は減少している。（図表 8-1-1）

父親については、いずれの学年においても「フルタイム」が最も高い。（図表 8-1-2）

## (2) 保護者の就労日数・時間

問 22 (1) -1、(2) -1 ①1 週あたりの就労日数と 1 日あたりの就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時間と帰宅時間を、[ ]内に数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。）時間は、必ず(例) 8 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。

※ 『8 (1) 保護者の就労状況』で「フルタイム」、「フルタイム (産休・育休・介護休業中)」、「パート・アルバイト等」、「パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)」のいずれかに回答した方のみ

図表 8-2-1 週あたりの平均就労日数等／母親・父親別

### 【母親】

	週あたりの 平均就労日数	週あたりの 平均合計就労時間	平均帰宅時間
母親 (n=1, 246)	4.62 日	31 時間 15 分	17 時 03 分

### 【父親】

	週あたりの 平均就労日数	週あたりの 平均合計就労時間	平均帰宅時間
父親 (n=1, 800)	5.38 日	54 時間 30 分	20 時 24 分

保護者の就労状況について尋ねたところ、父親の週あたりの平均就労日数、平均合計就労時間は、母親に比べ多く、平均帰宅時間も 20 時台と遅い。(図表 8-2-1)

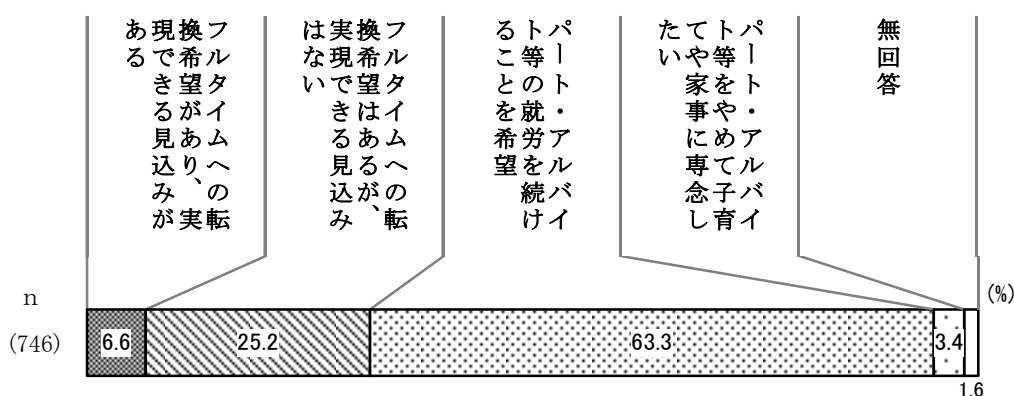


### (3) フルタイムへの転換希望

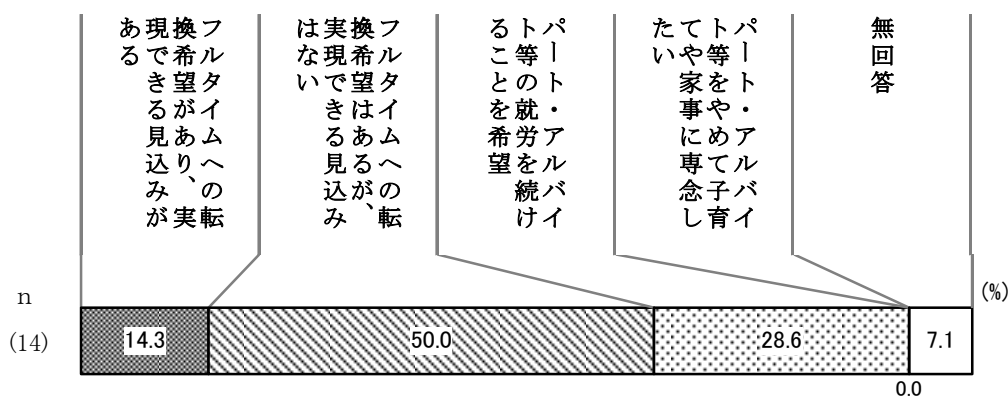
問 22 (1) -2、問 22 (2) -2 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 『8 (1) 保護者の就労状況』で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等 (産休・育休・介護休業中)」と回答した方のみ

図表 8-3-1 フルタイムへの転換希望 (母親) / 全体 (○は1つだけ)



図表 8-3-2 フルタイムへの転換希望 (父親) / 全体 (○は1つだけ)



パート・アルバイト等で就労している保護者に、フルタイムへの転換希望について尋ねたところ、母親については、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた《フルタイムへの転換希望がある》が 31.8% に対し、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は 63.3% となり、現在の就労状況の継続を希望する者が多い。(図表 8-3-1)

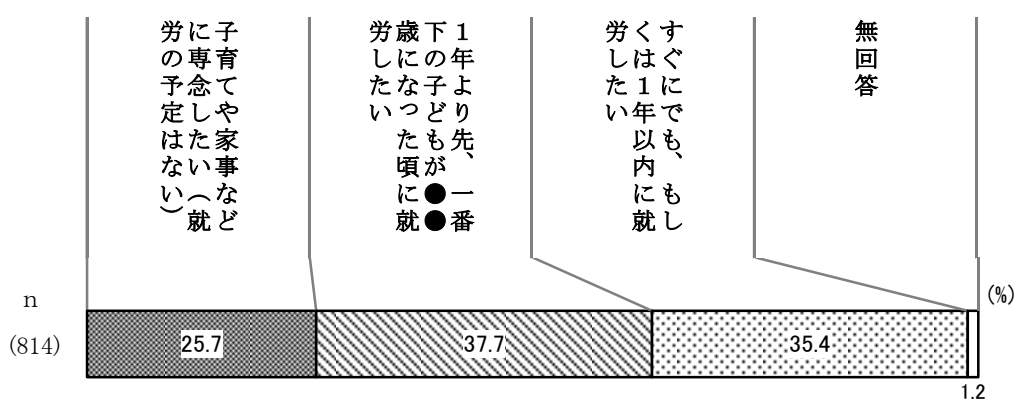
父親については、回答数が少ないため参考値となるが、《フルタイムへの転換希望がある》(64.3%) が、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(28.6%) を大きく上回っている。ただし、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(50.0%) が高く、実際にフルタイムへの転換は厳しい状況にあることがわかる。(図表 8-3-2)

#### (4) 就労希望の有無

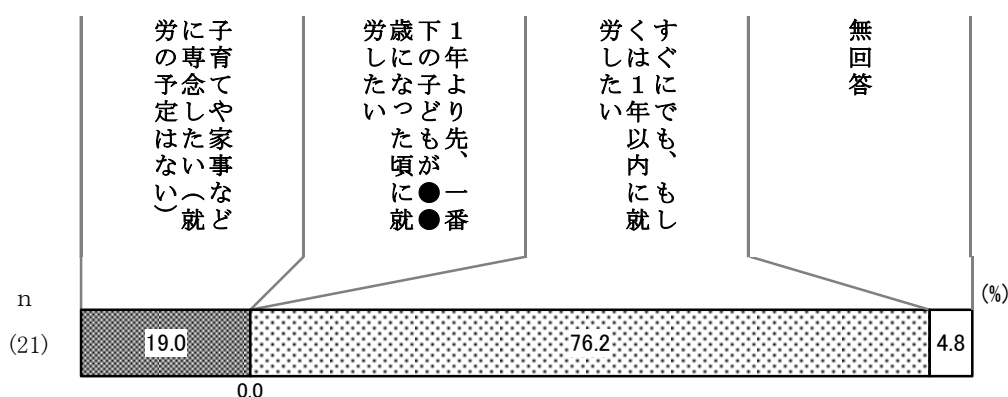
問 22 (1) -3、(2) -3 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。「1年より先、一番下の子どもが●●歳になった頃に就労したい」を選択された方は[ ]内に数字もご記入ください。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択された方は、希望する就労形態について、「フルタイム」または「パート・アルバイト等」1 つに○をつけ、「パート・アルバイト等」に○をつけた場合には、[ ]内に数字もご記入ください。

※ 『8 (1) 保護者の就労状況』で「以前は就労していたが、現在はしていない」または「これまで就労したことがない」と回答した方のみ

図表 8-4-1 就労希望の有無 (母親) / 全体 (○は1つだけ)

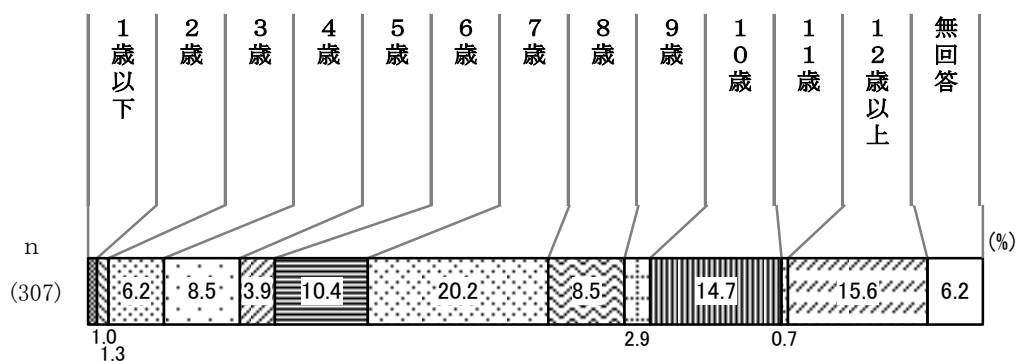


図表 8-4-2 就労希望の有無 (父親) / 全体 (○は1つだけ)



就労希望の有無について尋ねたところ、父親については回答数が少ないため参考値となるが、父母ともに、「1年より先、一番下の子どもが●●歳になった頃に就労したい」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を合わせた《就労したい》が7割を超えている。ただし、母親については「1年より先、一番下の子どもが●●歳になった頃に就労したい」が4割程度あり、就労を希望する時期に、母親と父親では差がみられる。また、母親については、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が25.7%と、父親の19.0%に比べ高い。(図表 8-4-1、図表 8-4-2)

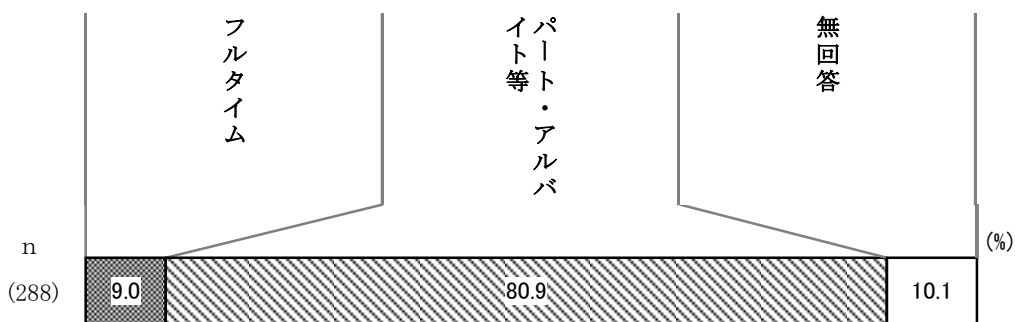
図表 8-4-3 就労を希望する時期の末子の年齢（母親）／全体



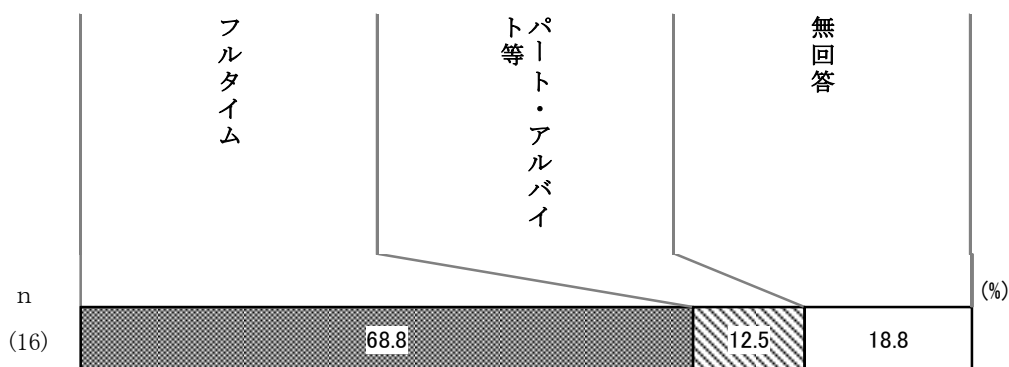
「1年より先、一番下の子どもが●●歳になった頃に就労したい」と回答した母親の、就労希望時期の末子の年齢についてみると、「7歳」(20.2%)が最も高く、次いで「12歳以上」(15.6%)、「10歳」(14.7%)の順となっている。(図表 8-4-3)

父親については、「1年より先、一番下の子どもが●●歳になった頃に就労したい」と回答した人はいない。

図表 8-4-4 希望就労形態（母親）／全体（○は1つだけ）



図表 8-4-5 希望就労形態（父親）／全体（○は1つだけ）



「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の、希望する就労形態についてみると、母親では「パート・アルバイト等」(80.9%)が高く、父親については、回答数が少ないため参考値となるが、「フルタイム」(68.8%)が高い。(図表 8-4-4、図表 8-4-5)

図表 8-4-6 週あたりの平均希望就労日数等／母親・父親別

【母親】

	週あたりの 平均就労希望日数	週あたりの 平均合計就労希望時間
母親 (n=233)	3.99 日	20 時間 01 分

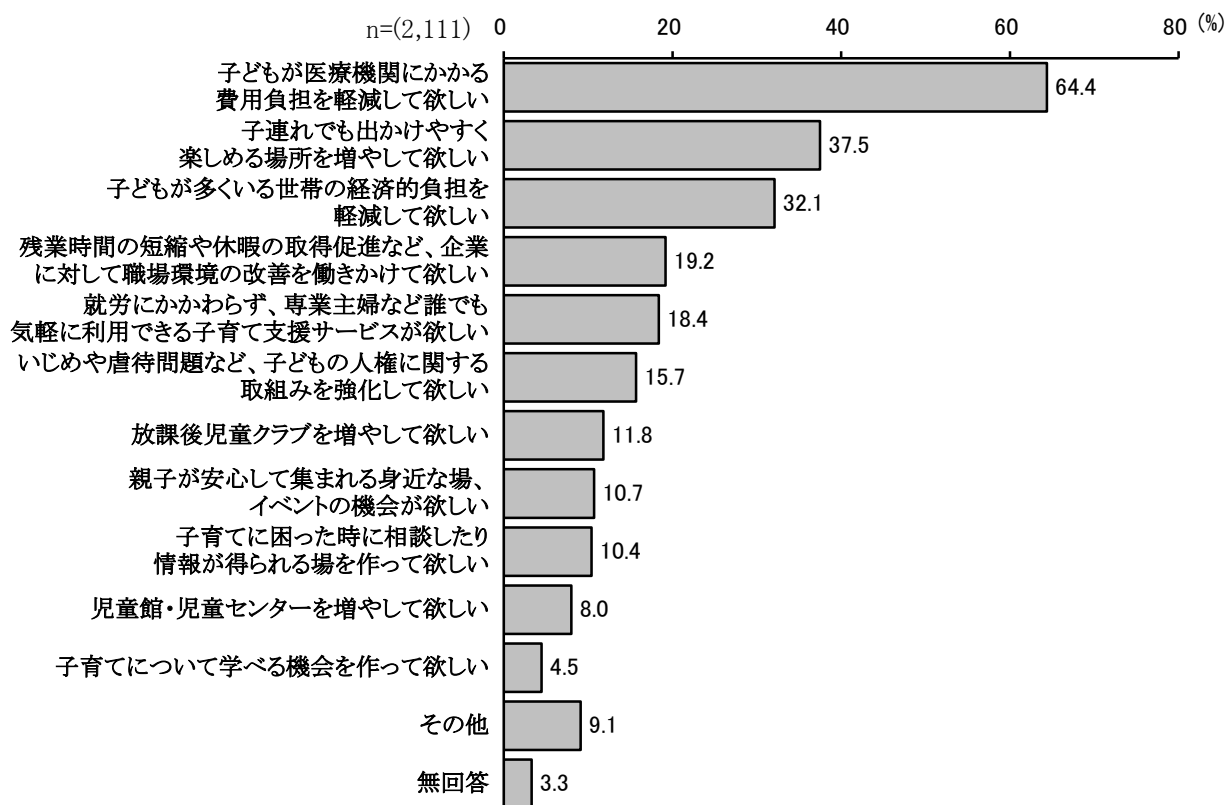
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人の、週あたりの平均希望就労日数等についてみると、母親は週あたり4日程度、一日5時間程度の就労を希望している。(図表 8-4-6)  
父親については、回答数が2件と少なく、傾向がつかめない。

## 9. 子育てに関する市への意見等について

### (1) 市に充実して欲しい子育て支援

問23 仙台市に対して、どのような子育て支援の充実を図って欲しいと思いますか。次の中から当てはまる番号に、3つまで○をつけてください。

図表 9-1-1 市に充実して欲しい子育て支援／全体（○は3つまで）

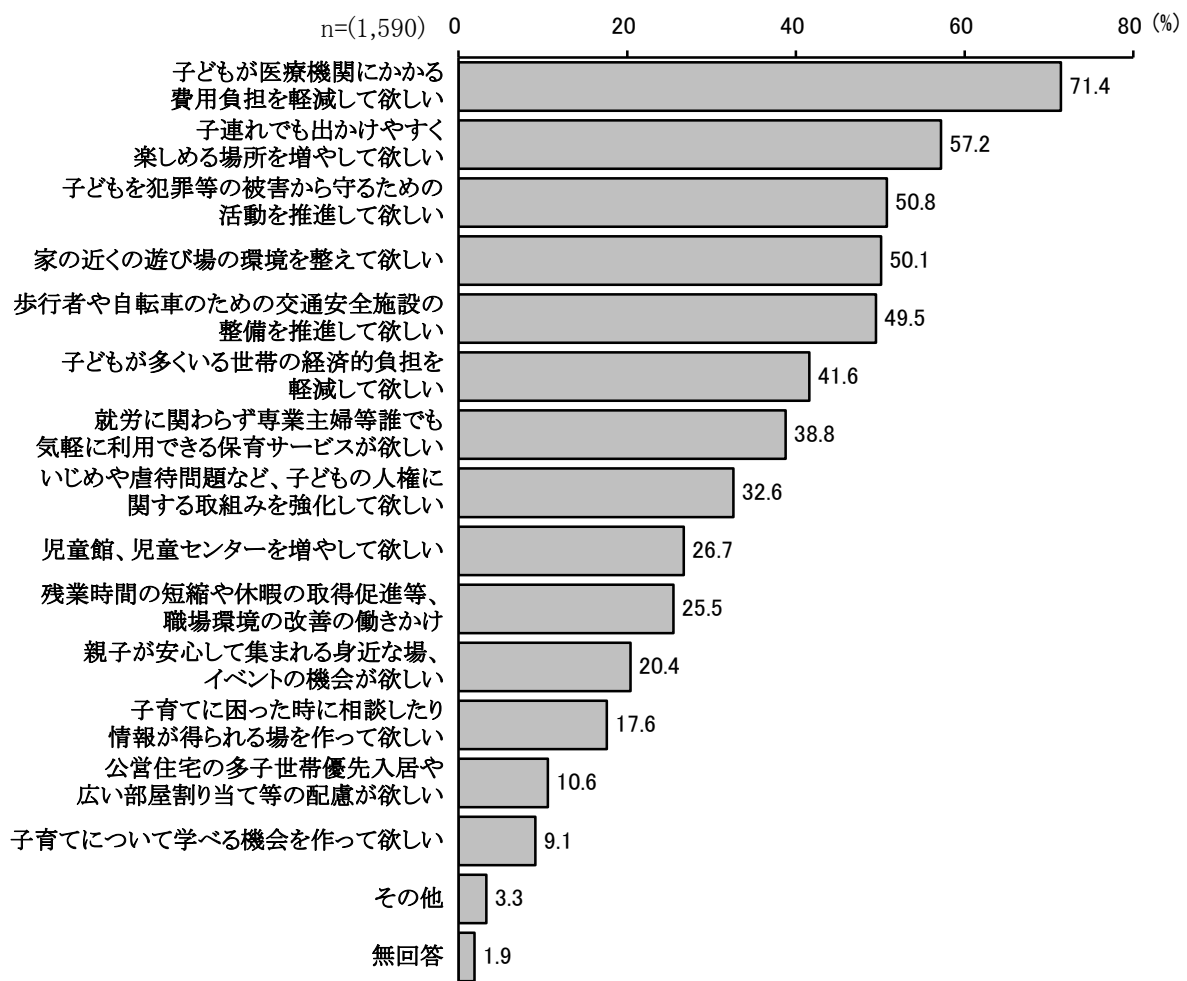


市に充実して欲しい子育て支援について尋ねたところ、上位の項目では、「子どもが医療機関にかかる費用負担を軽減して欲しい」（64.4%）、「子どもが多くいる世帯の経済的負担を軽減して欲しい」（32.1%）といった、経済的な負担の軽減を望むものが多く、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」（37.5%）、「親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」（10.7%）といった、子どもと過ごす場所の充実を望むものや、「就労にかかわらず、専業主婦など誰でも利用できる子育て支援サービスが欲しい」（18.4%）といった回答が多い。その他、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい」（19.2%）、「いじめや虐待問題など、子どもの人権に関する取組みを強化して欲しい」（15.7%）との回答も多い。（図表 9-1-1）

今回上位にあがっている項目は、平成 20 年度調査の同様の設問においても上位にあがっており、市に望む内容は、年数が経過しても、概ね変化はない。（図表 9-1-1、図表 9-1-2）

図表 9-1-2 市に充実して欲しい子育て支援／全体（〇はいくつでも）

参考：平成 20 年度調査





## (2) 意見・要望

問24 仙台市の子育て支援施策に関するご意見やその他のご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見（小学生）		1,126 件
1. 幼児教育・保育について		63 件
① 認定こども園		1 件
② 保育所整備		25 件
③ 幼稚園・保育施設等		3 件
④ 保育制度		4 件
⑤ 保育所一時預かり		3 件
⑥ 病児保育		14 件
⑦ すくすくサポート・のびすく仙台		8 件
⑧ 利用施設内一時預かり		3 件
⑨ その他		2 件
2. 放課後児童について		219 件
① 児童館・放課後児童クラブ		132 件
② 学童保育時間・一時預かり		57 件
③ 放課後子ども教室・その他		20 件
④ 小学生の病児預かり		10 件
3. 労働環境について		44 件
① 保護者の労働環境		23 件
② 施設従事者の労働環境		21 件
4. 生活環境について		119 件
① 子どもの遊び場（公園や屋内施設）		89 件
② 居住環境		1 件
③ 公共施設（図書館など）・交通		29 件
5. 経済的負担について		169 件
① 子育て家庭への負担軽減		137 件
② 妊娠・出産にかかる負担軽減		1 件
③ 保育料の軽減		26 件
④ その他		1 件
6. 母子保健・医療について		252 件
① 母子保健・医療全般		252 件
7. 子育て支援について		69 件
① 子育て支援全般		31 件
② 集まりの場・イベント・講座等		10 件
③ 親育て		4 件



	④ 育児相談	14 件
	⑤ 子育て情報	10 件
8. 行政全般・計画づくりについて		27 件
	① 行政の施策・計画づくり	18 件
	② 行政手続き	8 件
	③ 窓口対応・その他	1 件
9. その他		168 件
	① 地域社会	7 件
	② 学校教育	58 件
	③ 社会の仕組み	20 件
	④ 子どもの権利	3 件
	⑤ 要保護(障害・被虐待)児童	26 件
	⑥ その他	54 件

### 小学生の保護者向け調査での自由意見 一部抜粋

#### 1. 幼児教育・保育について

##### ①認定こども園

○認定こども園のメリットを感じない。

##### ②保育所整備

○保育所や幼稚園へ預けやすくして欲しい。

○保育所の待機児童を今すぐに改善して欲しい。

##### ③幼稚園・保育施設等

○一時預かりなどの可能な保育所等が少ない。

##### ④保育制度

○特に児童館、放課後クラブ、保育所は、施設によって質の差が大きすぎる。小学校区に1つを基本にするなら、その差は、不公平につながると思う。

○子育て支援制度は頻繁に変わるため、子どもが大きく（中学、高校、大学）なった時の経済的不安が大きい。

##### ⑤保育所一時預かり

○一時保育が利用できる保育所を増やして欲しい。

##### ⑥病児保育

○多少の発熱時にも預けられるような場所がもっとあれば、仕事を続けられたと思う。

○現在ある病後児保育などは予約制のため、朝、急に具合が悪くなった時などにサポートしてくれるシステムが少ない。

##### ⑦すくすくサポート・のびすく仙台

○「仙台すくすくサポート事業」は、利用しようと思ったことがあるが、以前住んでいた自治体よりも、会員になるまでの登録（講習等）が面倒で、会員になっていない。

○郊外型の“のびすく”を作って欲しい。（街中には出かけにくい。駐車場がないので。）

##### ⑧利用施設内一時預かり

○もっと気軽に子どもを何時間か預けられる施設があったらいいと思う。近くの保育所などは人も多く、気軽に

利用できなかったので、街中などに分かりやすくあると良いと思う。

## 2. 放課後児童について

### ①児童館・放課後児童クラブ

○小学校と同敷地内に設置されている児童館（センター）を増やしていくべきだと思う。

○児童館（児童クラブ）の高学年の利用を可能にして欲しい。

### ②学童保育時間・一時預かり

○兄弟姉妹が急に病院に行くことになった時など、他の子どもをもう少し柔軟に、児童クラブなどで一時預かりをしてもらえるようにして欲しい。

○児童クラブの時間が短い。フルタイムで仕事（9時-18時）をしていたが、どこの会社でも18時にすぐ帰社できるわけではない。また、学校の近くで仕事をしている訳ではないので、19時に延長になっても、迎えに間に合わない。

### ③放課後子ども教室・その他

○放課後子ども教室など、高学年でも希望により、校内で勉強や体験活動ができるところを、各学校に設置して欲しい。

### ④小学生の病児預かり

○小学生も利用可能な病児保育サービス施設を増やして欲しい。

## 3. 労働環境について

### ①保護者の労働環境

○企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい。

○子どもが小学校に入ってすぐの1~2年生の間も、子育てがとても大変で手がかかることから、その期間についても育児短時間制度等を使えるように企業に働きかけて欲しい。

### ②施設従事者の労働環境

○保育所の先生方について、いろいろ事情はあると思うが、待遇が改善されることを希望する。

○児童館で子どもに接する職員の質の向上を本気で考えていただきたい。

## 4. 生活環境について

### ①子どもの遊び場（公園や屋内施設）

○児童館の整備も良いが、高学年になるとあまり行きたがらないのも現実にはある。子ども達が自然に遊べる公園（自由にボール遊びなどができる所）が少なすぎるので、その整備をして欲しい。

○のびすくのように、赤ちゃんだけでなく、小学生も無料で利用できる屋内施設を作って欲しい。

### ②居住環境

○市営住宅を多くして欲しい。

### ③公共施設（図書館など）・交通

○道路が狭小で危険な通学路を利用し、子どもが1人で学校に通っている。何とかして欲しい。

○児童センター内の遊具が古く、足場も危険だと思うので、改善して欲しい。

## 5. 経済的負担について

### ①子育て家庭への負担軽減

○各種手当や助成金等を、他の自治体と比べて差がない様にしてもらいたい。また、それらの対象や条件を、世帯の収入だけでなく、子どもの数や状況に合わせて、細かく設定して欲しい。

○子どもが大きくなり、小さい時よりも人の手を借りたいという事はなくなったが、その分、経済的負担が大きくなった。夫も私も常に働きどおしで、子ども達との時間をもちたくても持てない。小さい子がいる家庭と、大きい子どもだけになった家庭では、子育ての悩みや生活状況も変わってくるが、共通することは、子どもを育てるのには、やはり、何かと出費がかさむということである。

### ②妊娠・出産にかかる負担軽減

○子どもを産むことが負担にならないような経済的支援が欲しい。

### ③保育料の軽減

○3歳児までの保育料が非常に高額である。パート代では、まかないきれない。

## 6. 母子保健・医療について

### ①母子保健・医療全般

○医療費助成の年齢を、他地域のように中学校前まで延ばして欲しい。

○インフルエンザなど、任意の予防接種も無料にして欲しい。

## 7. 子育て支援について

### ①子育て支援全般

○母子家庭でも負い目がなく、伸び伸び子育てのできる環境を作って欲しい。母子家庭ではなくとも全ての母親が子どもの心配をしなくても就労できる環境を作って欲しい。

### ②集まりの場・イベント・講座等

○私立に通学しており、土曜日学校のため、イベントに参加したいのに出来ない。同じ仙台市民なのにすごく不公平な気持ちである。

○勾当台公園や錦町公園などで、無料の映画やコンサートなど、夏休みの平日夜に楽しめるイベントがあればいいと思う。

### ③親育て

○子育てと共に「親育て」にも取り組んでいただきたい。今の小学校には「先生の言うことなんか聞かなくていい」という親が現実に存在している。

### ④育児相談

○子育てで相談しようと思っても、相談窓口が多すぎて、どこにどんな話をしたらいいのか全くわからない。各区役所に、まずは相談窓口を一本化してもらい、内容に応じて、専門機関や細部まで相談にのってくれるところを紹介して欲しい。

○気軽に子どもに関する相談を出来るフリーダイヤルを教えて欲しい。

### ⑤子育て情報

○子育ての相談ができる場所や施設などがあっても、その情報を知らなければ役に立たないので、もっと情報がわかるようにして欲しい。

○子育て支援サービス等について、もう少し詳しく説明して欲しい。3月に引越しをして仙台に来たが、「読めばわかりますから」といった説明でパンフレット等を渡されたが、詳しいことは後日友達から聞いたり、市役所

へ電話で確認した。

## 8. 行政全般・計画づくりについて

### ①行政の施策・計画づくり

○社会全体として、共稼ぎ家庭中心のサポートが子育て支援として打ち出されているが、バランスよく施策を考えていただければと思う。

○今後ますます、共働き世帯は増加すると思うので、安心して子どもを預けることが出来る場所、制度を作って欲しい。

### ②行政手続き

○4ヶ月の育児教室に参加する為、区役所に向ったが、子育ての事情もあって、集合時間に間にあわなかった際、事情も全く理解してもらえず、追い返された。4ヶ月の子どもをかかえて、出掛けることはとても大変な中であったが、悩みを話しあえる知り合いを作るのに良いと思い参加を決心し、区役所に出かけたが、本当に冷たい対応だった。

## 9. その他

### ①地域社会

○年齢に応じて、1人で行動（外出）できるようになって欲しいが、不審者情報などを聞くと、なかなか、1人で送り出すことができない。地域的な取組みを働きかけて、安全な町にして欲しい。

### ②学校教育

○生徒数が多すぎて、グラウンドが校舎の増設工事で狭くなり、グラウンドで遊べず体力低下につながっていると思う。学区割りの見直しも含め、改善が必要だと思う。

○教育委員会と、子育て支援を別途行う側、保育を行う側が縦割りではなく、一体となり施策を行って欲しい。働く親が増える中、家庭への負担が増えるようなアンバランスな施策にならないようにして欲しい。

### ③社会の仕組み

○少子化が進む中、子どもをもう1人産みたくても、現実的な仕事復帰や経済的な理由であきらめている女性がたくさんいるはずである。なんとか、子どもを産んでも母親の負担が少なくなる社会の仕組みができあがることを切に望んでいる。

### ④子どもの権利

○子どもの間に格差が無くなるようにして欲しい。

### ⑤要保護（障害・被虐待）児童

○知的障害児の放課後や、長期休暇の預かり支援、発達障害児の教育、医療、福祉の連携した取組みがもっと必要である。親が心のバランスを崩し、子どもが偏見による心のダメージのため不登校になるケースが多く認められる。

○知的障害で軽度の子は、普通すぎてまわりの子とあまり差がないのに、障害枠に入っているだけで、高校、就職の不安がかなり大きい。グレーゾーンの子たちのサポートをしっかりして欲しい。

### ⑥その他

○楽天、ベガルタなどプロスポーツ観戦のチャンスが仙台市には多い。子育ての中で、非常に良い事だと思うので、支援施策に取り入れてもらおうと良い。

○震災復興のためにも子育て支援は大変重要課題であると思う。他の都市の真似をするのではなく、仙台市独自の斬新な改革をご検討いただきたい。食育にも力を注いでいただけると、良いと思う。

## **V 資料(調査票)**



# 子ども・子育てに関するアンケート調査

(就学前児童の保護者様向け)

## ○調査ご協力をお願い

この調査は、平成27年度にスタートする「子ども・子育て支援新制度」(詳細は別紙「おしえて!子ども・子育て支援新制度」をご参考ください)のもと、幼児期の学校教育・保育や子育て支援の充実を図るため、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握する基礎資料として実施するものです。

今回の調査では、平成25年8月1日現在の住民基本台帳の中から就学前のお子さんを無作為に9,000人抽出させていただき、その保護者の方にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはなく、ご回答者個人が特定されることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月 仙台市

## ○ご記入に当たってのお願い

- 1 特にことわりのある場合以外は、**封筒の宛名のお子さん**についてご記入ください。
- 2 アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
- 3 ご回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合**がございます。
- 4 選択肢の場合、**お選びいただく数が設問によって異なります**ので注意書きに従ってください。また「**その他**」をお選びいただいた場合は、その後にある( )内に**具体的な内容**をご記入ください。
- 5 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、**24時間制**(例:午後6時→18時)でご記入ください。
- 6 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印**に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- 7 無作為にお子さんを抽出しているため、調査票が複数届く場合もございますが、封筒の宛名のお子さんについて、それぞれの調査票にご回答のうえ返送願います。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

連絡先: 仙台市子供未来局子供育成部総務課 佐々木、大槻

住所: 〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

電話: 022-214-8522

ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒により、11月1日(金)まで、切手は貼らずに投函してください。

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他 ( )

問2 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問3 宛名のお子さんの誕生日は、次のうちどれに該当しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 平成24年4月2日～平成25年4月1日 2. 平成23年4月2日～平成24年4月1日  
3. 平成22年4月2日～平成23年4月1日 4. 平成21年4月2日～平成22年4月1日  
5. 平成20年4月2日～平成21年4月1日 6. 平成19年4月2日～平成20年4月1日

問4 宛名のお子さんも含めて、全部でお子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の方の生年月を[ ]内に数字でご記入ください。

お子さんの人数 [ ] 人 末子の生年月 平成 [ ] 年 [ ] 月生まれ

問5 宛名のお子さんと同居（2世帯住宅を含む）されている方について、該当するすべての番号に○をつけてください。続柄はお子さんから見た関係です。また、同居している家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数を[ ]内に数字でご記入ください。

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹	計 [ ] 人
4. 祖母 5. 祖父 6. その他 ( )	

問6 お住まいの区と町丁名を( )内にご記入ください。

※ 記入例：( 青葉 ) 区 ( 国分町3丁目 )、( 宮城野 ) 区 ( 岩切字余目 )

( ) 区 ( )

問7 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親  
4. 主に祖母 5. 主に祖父 6. その他 ( )



**宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育施設等の利用状況についてうかがいます。**

※ ここでいう「幼稚園・保育施設等」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 8-1 に示した事業が含まれますが、親族・知人による預かりは含みません。

問 8 宛名のお子さんは現在、平日に「幼稚園・保育施設等」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに〇をつけてください。

1. 利用している      2. 利用していない ---> 問 9 へ

---> 問 8-1 問 8 で「1.」に〇をつけた方にうかがいます。①年間を通じて「定期的に」利用している事業の番号すべてに〇をつけ、②その事業をどのくらい利用しており、何歳から利用しているかについて、[ ] 内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例) 8時～18時のように、24時間制でお答えください。また、③利用している事業の実施場所について、当てはまる番号 1 つに〇をつけてください。

①利用している事業 (当てはまるものすべてに〇)	②現在の利用状況	③利用している事業の実施場所(〇は1つ)
1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	1 週当たり [ ] 日 1 日当たり [ ] 時間 ([ ] 時～[ ] 時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	1 週当たり [ ] 日 1 日当たり [ ] 時間 ([ ] 時～[ ] 時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
3. 認可保育所 (各自治体の認可を受けた保育施設)	1 週当たり [ ] 日 1 日当たり [ ] 時間 ([ ] 時～[ ] 時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
4. 認定こども園※ (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	1 週当たり [ ] 日 1 日当たり [ ] 時間 ([ ] 時～[ ] 時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
5. せんだい保育室・幼稚園保育室 (認可保育所ではないが、仙台市が独自に認定したもの)	1 週当たり [ ] 日 1 日当たり [ ] 時間 ([ ] 時～[ ] 時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
6. その他の認可外の保育施設	1 週当たり [ ] 日 1 日当たり [ ] 時間 ([ ] 時～[ ] 時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
7. 家庭保育福祉員(保育ママ) (仙台市認定の保育ママの自宅等で子どもを保育する事業)	1 週当たり [ ] 日 1 日当たり [ ] 時間 ([ ] 時～[ ] 時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外

※ 「認定こども園」: 幼稚園における幼児教育と、保育所における保育サービスを提供する機能を併せ持つ施設です。3歳までは保育サービスを提供し、3歳以降は幼児教育の提供および保育サービス(保育が必要な子どもの場合)を提供します。

(次のページに続きます)

①利用している事業 (当てはまるものすべてに○)	②現在の利用状況	③利用している事業の 実施場所(○は1つ)
8. ベビーシッター等の居宅訪問型保育(子どもの家庭を訪問して保育する事業)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
9. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する保育施設)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
10. 仙台すくすくサポート事業 (市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
11. その他 ( )	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外

問 8-2 平日に幼稚園・保育施設等を利用している理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため 2. 子育てをしている方が現在就労している 3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である 4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している 5. 子育てをしている方が病気や障害がある 6. 子育てをしている方が学生である 7. その他 ( )
---

問 8-3 現在利用している幼稚園・保育施設等を選んだ理由は何ですか。次の中から当てはまるものを優先度の高い順に3つまで○をつけてください。

1. 住まいに近いから 2. 通勤の関係で便利だから 3. 教育・保育内容が優れているから 4. 保育料(預かり料)が安いから 5. 保育(預かり)時間が自分の利用しやすい時間だから 6. 職員の対応等が良いから 7. 建物・設備が充実しているから 8. 知名度が高い、評判が良いから 9. 近所の子供が通っているから 10. 兄弟姉妹が通っているから 11. 希望した施設に入れなかったから 12. 子どもの障害や発達の状況に対応できると考えたから 13. 周辺環境が良いから 14. その他 ( )
--

問9 問8で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号 1つに○をつけてください。(2を選択の方は、[ ]内に数字もご記入ください。)

1. 子どもの教育や発達のため、あまり利用したいと思わない
2. 子どもがまだ小さいため、あまり利用したいと思わない ([ ] 歳くらいになったら利用しようと考えている)
3. 子どもの父親または母親がみているため、利用する必要がない
4. 子どもの祖父母や親戚の人がみているため、利用する必要がない
5. 近所の人や父母の友人・知人がみているため、利用する必要がない
6. 利用したいが、幼稚園・保育施設等に空きがない
7. 利用したいが、経済的な理由で幼稚園・保育施設等を利用できない
8. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
9. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
10. その他 ( )

**宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育施設等の利用希望についてうかがいます。**

※ ここでいう「幼稚園・保育施設等」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問10に示した事業が含まれますが、親族・知人による預かりは含みません。

問10 現在「利用している」、「利用していない」にかかわらず、宛名のお子さんの平日の幼稚園・保育施設等として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。①利用したい事業について、当てはまる番号すべてに○をつけ、②希望としてはどのくらい利用したいか、何歳から利用したいか（利用しなかったか）について、[ ] 内に数字でご記入ください。また、③その事業の利用を希望する場所について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。別紙「仙台市の主な子ども・子育て支援関連事業の内容等について」を参考にお答えください。

①利用したいと考える事業 (当てはまるものすべてに○)	②希望の利用時間等	③利用を希望する事業 の実施場所(○は1つ)
1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
3. 認可保育所 (各自治体の認可を受けた保育施設)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
4. 認定こども園※ (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
5. せんだい保育室・幼稚園保育室 (認可保育所ではないが、仙台市が独自に認定したもの)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
6. その他の認可外の保育施設	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
7. 家庭保育福祉員(保育ママ) (仙台市認定の保育ママの自宅等で子どもを保育する事業)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
8. ベビーシッター等の居宅訪問型保育 (子どもの家庭を訪問して保育する事業)	1 週当たり[ ]日 1 日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ] 歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外

※ 「認定こども園」: 幼稚園における幼児教育と、保育所における保育サービスを提供する機能を併せ持つ施設です。3歳までは保育サービスを提供し、3歳以降は幼児教育の提供および保育サービス(保育が必要な子どもの場合)を提供します。

(次のページに続きます)

①利用したいと考える事業 (当てはまるものすべてに○)	②希望の利用時間等	③利用を希望する事業 の実施場所(○は1つ)
9. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する保育施設)	1週当たり[ ]日 1日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ]歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
10. 仙台すくすくサポート事業 (市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業)	1週当たり[ ]日 1日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ]歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
11. 小規模保育施設※ (定員が概ね6人～19人の、小規模な施設で子どもを保育する事業。)	1週当たり[ ]日 1日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ]歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
12. その他 具体的に：( )	1週当たり[ ]日 1日当たり[ ]時間 ([ ]時～[ ]時) [ ]歳から利用	1. 青葉区 2. 宮城野区 3. 若林区 4. 太白区 5. 泉区 6. 仙台市外
13. 特に希望するものはない		

※ 「小規模保育施設」：平成 27 年度以降の新規事業。原則として満3歳未満児を対象とします。(満3歳以降は、基本的に幼稚園、認可保育所、認定こども園で受け入れ。)

宛名のお子さんの土曜・休日の幼稚園・保育施設等の利用希望についてうかがいます。

問 11 現在、宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育施設等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。(1)、(2)それぞれの当てはまる番号 1 つに○をつけ、利用希望がある場合は、利用したい時間帯について、(例) 8時～18時のように24時間制で[ ]内に数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※ 「幼稚園・保育施設等」とは、幼稚園や保育所など、問 8-1 や問 10 に示した事業が含まれますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 利用希望はない      |                         |
| 2. ほぼ毎週利用したい    | ⇒ 利用したい時間帯 [ ]時から[ ]時まで |
| 3. 月に1～2回は利用したい | ⇒ 利用したい時間帯 [ ]時から[ ]時まで |

(2) 日曜日・祝日

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 利用希望はない      |                         |
| 2. ほぼ毎週利用したい    | ⇒ 利用したい時間帯 [ ]時から[ ]時まで |
| 3. 月に1～2回は利用したい | ⇒ 利用したい時間帯 [ ]時から[ ]時まで |

問 12 問 11 の(1)または(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため             |
| 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため         |
| 4. 息抜きのため                  |
| 5. その他 ( )                 |

宛名のお子さんが病気の際の対応についてうかがいます。  
(平日に幼稚園・保育施設等を利用する方のみ)

宛名のお子さんが、平日に「幼稚園・保育施設等」を利用している方(P.2の問8で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は、問14にお進みください。

問13 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで、幼稚園・保育施設等が利用できなかったことはありますか。

1. あった

2. なかった ---> 問14へ

--->問13-1 問13で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。 その場合、この1年間の対応として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も[ ]内に**数字**でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

- |  |      |
|--|------|
| 1. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた                   | [ ]日 |
| 2. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった                   | [ ]日 |
| 3. 母親が休んだ                                      | [ ]日 |
| 4. 父親が休んだ                                      | [ ]日 |
| 5. 病児・病後児のための保育施設等を利用した                        | [ ]日 |
| 6. ベビーシッターを利用した                                | [ ]日 |
| 7. 仙台すくすくサポート事業(市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業)を利用した | [ ]日 |
| 8. その他( )                                      | [ ]日 |

--->問13-2 問13で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。当てはまる番号**1つ**に○をつけ、この1年間の日数についても[ ]内に**数字**でご記入ください。

当該施設は、仙台市内には青葉区中山、宮城野区東仙台、太白区长町南、泉区高森の計4ヶ所あります。なお、病児・病後児のための保育施設等の利用には、**一定の利用料(現在の利用料は、1日当たり2,000円)がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。**

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. できれば利用したいと思う => [ ]日 (この1年間で) |
| 2. あまり利用したいとは思わない                |

宛名のお子さんの不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについてうかがいます。

問 14 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で**不定期**に利用している一時預かりの事業はありますか。当てはまる番号**すべてに○**をつけ、この1年間の利用日数（おおよそ）も[ ]内に**数字**でご記入ください。別紙「仙台市の主な子ども・子育て支援関連事業の内容等について」を参考にお答えください。

- |   |       |
|---|-------|
| 1. 一時預かり<br>(私用など理由を問わずに保育所・のびすく <sup>*</sup> などで一時的に子どもを預かる事業)         | [ ] 日 |
| 2. 特定保育<br>(保護者の就労等により断続的に家庭保育が困難となる児童に対して、週3日以内を限度として保育所などで子どもを保育する事業) | [ ] 日 |
| 3. 幼稚園の預かり保育<br>(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)                      | [ ] 日 |
| 4. 仙台すくすくサポート事業<br>(市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業)                           | [ ] 日 |
| 5. 子育て支援ショートステイ<br>(児童養護施設等で一定期間子どもを保護・養育する事業)                          | [ ] 日 |
| 6. ベビーシッター等の居宅訪問型保育 (子どもの家庭を訪問して保育する事業)                                 | [ ] 日 |
| 7. ボランティア団体の託児  | [ ] 日 |
| 8. その他 ( )  | [ ] 日 |
| 9. 利用していない  |       |

問 15 へ

※「のびすく」：親子が気軽に立ち寄り交流できる場や、子育て支援に関するさまざまな情報を提供する場です。市内には、仙台・泉中央・長町南・宮城野の4か所あります。乳幼児の一時預かりも実施しています。

問 14-1 問 14 で「9. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。当てはまる番号**すべてに○**をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため、あまり利用したいと思わない
2. 子どもの父親または母親がみているため、利用する必要がない
3. 親族・知人にみてもらうため、利用する必要がない
4. 利用したい事業が地域にない
5. 地域の事業の質に不安がある
6. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
7. 利用料がかかる・高い
8. 利用手続きや利用料がわからない
9. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
10. その他 ( )



問 15 宛名のお子さんに関して、問 14 のような一時預かりの事業を利用したいと思いますか。当てはまる番号 1 つ に○をつけ、1 年間で何日くらい利用したいか [ ] 内に **数字** でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。別紙「仙台市の主な子ども・子育て支援関連事業の内容等について」を参考にお答えください。

1. できれば利用したい ⇒ 年間 [ ] 日くらい
2. あまり利用したいと思わない
3. 特に利用する必要はない

問 16 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないと思ったことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1. あった
2. なかった ----▶ 問 17 へ

問 16-1 問 16 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。その場合、この 1 年間の対応として当てはまる番号 すべて に○をつけ、それぞれの日数を [ ] 内に **数字** でご記入ください。

1. 親族・知人にみてもらった（同居者を含む） [ ] 泊
2. 子育て支援ショートステイを利用した  
（児童養護施設等で一定期間子どもを保護・養育する事業） [ ] 泊
3. 上記 2 以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した [ ] 泊
4. 子どもを同行させた [ ] 泊
5. 子どもだけで留守番させた [ ] 泊
6. その他（ ） [ ] 泊

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 この1年間に「仙台すくすくサポート事業」（市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業）を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用した

2. 利用しない -----▶ 問 17-3 へ

---▶ 問 17-1 問 17 で「1.」に○をつけた方にうかがいます。この1年間での利用日数（おおよそ）と1回当たりの利用時間について、[ ]内に数字でご記入ください。

年間 [ ] 日くらい 1回当たり [ ] 時間程度

---▶ 問 17-2 問 17 で「1.」に○をつけた方にうかがいます。どのような目的で利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している。
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. その他の目的で利用している（ ）

問 17-3 「仙台すくすくサポート事業」を「今後利用したい」、あるいは「利用しているが、今後もっと日数・回数を増やしたい」と思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。別紙「仙台市の主な子ども・子育て支援関連事業の内容等について」を参考にお答えください。

1. 今後利用したい

2. 利用回数・日数を増やしたい

3. 利用する予定はない -----▶ 問 18 へ

---▶ 問 17-4 問 17-3 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。1年間で何日、1回当たり何時間くらい利用したいとお考えですか。希望の日数・時間について[ ]内に数字でご記入ください。

年間 [ ] 日くらい 1回当たり [ ] 時間程度

問 18 宛名のお子さんは、親子が集まって過ごしたり、子育ての相談や情報提供を受ける、地域の子育て支援事業を利用していますか。次の中から、利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を[ ]内に**数字**でご記入ください。

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1. のびすくでの親子交流、子育て相談、情報提供等               | ⇒ 1 ヶ月当たり [ ]回 程度 |
| 2. 幼稚園での親子交流、子育て相談、情報提供、広場事業等           | ⇒ 1 ヶ月当たり [ ]回 程度 |
| 3. 保育所での親子交流、子育て相談、情報提供、園庭開放等           | ⇒ 1 ヶ月当たり [ ]回 程度 |
| 4. 児童館・児童センターでの乳幼児親子を対象とした行事、<br>子育て相談等 | ⇒ 1 ヶ月当たり [ ]回 程度 |
| 5. その他（ ）                               | ⇒ 1 ヶ月当たり [ ]回 程度 |
| 6. 利用していない                              |                   |

問 19 問 18 のような地域の子育て支援事業について「今は利用していないが、今後利用したい」、あるいは「利用日数を増やしたい」と思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を[ ]内に**数字**でご記入ください。

- |                              |                   |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 利用していないが、今後利用したい          | ⇒ 1 ヶ月当たり [ ]回 程度 |
| 2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい      | ⇒ 1 ヶ月当たり [ ]回 程度 |
| 3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない |                   |

宛名のお子さんが、来年度小学校に就学される方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒上記に該当しない方は問 21 へ進んでください

問 20 宛名のお子さんについて、小学校就学後の放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を[ ]内に数字でご記入ください。

**小学校低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）のそれぞれの期間についてお答えください。**

※ 児童館・児童センターで開設している放課後児童クラブを利用する場合は、「6.」を選択し、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

※ 児童館・児童センターで開設している放課後児童クラブの現在の利用料は、児童一人当たり月額で3,000円、18時00分以降の延長時間の利用を希望する場合は月額1,000円が加算されます。

	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）
1. 自宅	週 [ ] 日くらい	週 [ ] 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 [ ] 日くらい	週 [ ] 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 [ ] 日くらい	週 [ ] 日くらい
4. 児童館（自由来館）	週 [ ] 日くらい	週 [ ] 日くらい
5. 放課後子ども教室※1	週 [ ] 日くらい	週 [ ] 日くらい
6. 放課後児童クラブ※2	週 [ ] 日くらい → 下校時から [ ] 時まで	週 [ ] 日くらい → 下校時から [ ] 時まで
7. 仙台すくすくサポート事業 （市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業）	週 [ ] 日くらい	週 [ ] 日くらい
8. その他（ ）	週 [ ] 日くらい	週 [ ] 日くらい

※1「放課後子ども教室」…主に小学校校舎内を開設場所として、地域の方々が運営委員会を組織し、放課後の児童の居場所としての機能を持たせながら、学習支援や豊かな体験活動の機会を提供する事業です。開設している小学校の児童が利用できます。

※2「放課後児童クラブ」…保護者が仕事などにより昼間家庭にいない児童を対象に、適切な遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。仙台市では、児童館・児童センターにおいて登録制の「児童クラブ」として開設しています。

問 20-1 問 20 で「6. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にかがいます。 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1)土曜日と(2)日曜日・祝日それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。  
また利用したい時間帯を、(例)8時～18時のように、24時間制で[ ]内に数字をご記入ください。

(1)土曜日

- |                         |           |        |        |
|-------------------------|-----------|--------|--------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい   | ⇒利用したい時間帯 | [ ]時から | [ ]時まで |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | ⇒利用したい時間帯 | [ ]時から | [ ]時まで |
| 3. 利用する必要はない            |           |        |        |

(2)日曜日・祝日

- |                         |           |        |        |
|-------------------------|-----------|--------|--------|
| 1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい   | ⇒利用したい時間帯 | [ ]時から | [ ]時まで |
| 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい | ⇒利用したい時間帯 | [ ]時から | [ ]時まで |
| 3. 利用する必要はない            |           |        |        |



問 25 問 24 で「1. いる／ある」に○をつけた方にかがいます。 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー	2. 祖父母等の親族
3. 保育所、幼稚園の保護者の仲間	4. 友人や知人
5. 近所の人	6. 職場の人
7. 保育所の保育士	8. 幼稚園の先生
9. 医師、保健師、看護師、栄養士など	10. 仙台市の子育て関連担当窓口
11. その他（ ）	12. 相談するほどの悩みや不安はない

問 25-1 問 25 で「10. 仙台市の子育て関連担当窓口」に○をつけた方にかがいます。 どの窓口が気軽に相談できるとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 各区役所・総合支所の相談窓口	2. 子供相談支援センター
3. 児童相談所	4. 発達相談支援センター（アーチル）
5. その他（ ）	

問 26 お子さんの気になる情緒や行動の面で相談したいと思ったことはありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 全くない	2. あまりない	3. どちらともいえない
4. 時々ある	5. 頻繁にある	

問 27 あなたのお宅では、日頃隣近所の方とどのようなつきあいをしていますか。次の中から当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 困っているときに、相談したり助け合ったりする
2. 買い物に一緒に行ったり、気の合う人と親しくしている
3. たまに立ち話をする
4. 道で会えばあいさつぐらいはする
5. ほとんどつき合いがない

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 28 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 母親の就労状況について、当てはまる番号 1つに○ をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

次のページの  
(1)-3へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労  
※雇用契約上はフルタイムである場合、育児休業明けに短時間勤務で復職している方も、フルタイムに含みます。

(1)-1 (1)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 ①1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間(残業時間を含む)、②家を出る時間と帰宅時間を、[ ]内に数字でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。(産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。) 時間は、必ず(例) 8時～18時のように、24時間制でお答えください。

- ① 1週当たり [ ] 日 1日当たり [ ] 時間  
② 家を出る時間 [ ] 時 帰宅時間 [ ] 時

(1)-2 (1)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1つに○ をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労



(1)-3 (1)で「5.」または「6.」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「2.」を選択された方は[ ]内に**数字も**ご記入ください。「3.」を選択された方は、希望する就労形態について、「ア」または「イ」1つに○をつけ、「イ」に○をつけた場合には、[ ]内に**数字も**ご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが [ ]歳になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

【希望する就労形態】

ア. フルタイム      イ. パート・アルバイト等

【希望する就労条件】 ←

1週当たり [ ] 日、1日当たり [ ] 時間程度の勤務

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 父親の就労状況について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

次のページの  
(2)-3へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

※雇用契約上はフルタイムである場合、育児休業明けに短時間勤務で復職している方も、フルタイムに含みます。

(2)-1 (2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。①1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間(残業時間を含む)、②家を出る時間と帰宅時間を、[ ]内に**数字**でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。(産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)時間は、必ず(例) **8時～18時のように、24時間制**でお答えください。

- ① 1週当たり [ ] 日      1日当たり [ ] 時間
- ② 家を出る時間 [ ] 時      帰宅時間 [ ] 時

(2)-2 (2)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

(2)-3 (2)で「5.」または「6.」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「2.」を選択された方は[ ]内に数字もご記入ください。「3.」を選択された方は、希望する就労形態について、「ア」または「イ」1つに○をつけ、「イ」に○をつけた場合には、[ ]内に数字もご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが[ ]歳になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

【希望する就労形態】

ア. フルタイム      イ. パート・アルバイト等

【希望する就労条件】 ←

1週当たり [ ] 日、1日当たり [ ] 時間程度の勤務

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 29 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、次の中から当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

【母親】（父子家庭の場合は記入不要です）	【父親】（母子家庭の場合は記入不要です）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない

問 29-1 問 29 で母親または父親が「3. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。育児休業を取得していない理由は何ですか。母親、父親の該当する方について、次の中から当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

母親	父親	取得していない理由
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が忙しかった
3	3	（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しそうだった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育所などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業を取得した
9	9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった
14	14	その他（ ）

問 29 で母親または父親が「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方⇒問 30 へ  
それ以外に○をつけた方⇒問 33 へ

問 30 問 29 で母親または父親が「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親の該当する方について、次の中から当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親	父親	育児休業取得後の職場復帰について
1	1	育児休業取得後、職場に復帰した
2	2	現在も育児休業中である（宛名のお子さんのお子さんにかかる産休・育休を連続して取得した場合も含む）
3	3	育児休業中に離職した

問 30-1 問 30 で母親または父親が「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とご回答した方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヵ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としてはお子さんが何歳何ヵ月のときまで育児休業を取得したかったですか。母親、父親の該当する方について、[ ]内に**数字**でご記入ください。

母親		父親	
実際の取得期間	[ ] 歳 [ ] ヶ月	実際の取得期間	[ ] 歳 [ ] ヶ月
希望	[ ] 歳 [ ] ヶ月	希望	[ ] 歳 [ ] ヶ月

問 31 問 30-1 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。職場復帰が希望の時期と異なっていた理由は何ですか。母親、父親の該当する方について、当てはまる番号**すべて**に○をつけてください。

母親	父親	理由
1	1	希望する保育所に入るため
2	2	配偶者や家族の希望があったため
3	3	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
4	4	経済的な理由で早く復帰する必要があったため
5	5	職場に育児休業を長く取りにくい雰囲気があった
6	6	希望する保育所に入れなかったため
7	7	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
8	8	子どもをみってくれる人がいなかったため
9	9	職場の受入れ態勢が整っていなかったため
10	10	その他 ( )

問 32 問 30 で母親または父親が「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」とご回答した方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号**1つ**に○をつけてください。

母親	父親	短時間勤務制度の利用について
1	1	短時間勤務制度を利用した
2	2	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため、利用しなかった
3	3	仕事が忙しかったため、利用しなかった
4	4	短時間勤務にすると給与が減額されるため、利用しなかった
5	5	短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がるため、利用しなかった
6	6	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため、利用しなかった
7	7	子どもをみってくれる人がいたため、利用しなかった
8	8	職場に短時間勤務制度がなかったため、利用しなかった
9	9	短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10	10	その他 ( )





# 子ども・子育てに関するアンケート調査

(小学生の保護者様向け)

## ○調査ご協力のお願い

この調査は、平成27年度にスタートする「子ども・子育て支援新制度」（詳細は別紙「おしえて！子ども・子育て支援新制度」をご参考ください）のもと、子育て支援の充実を図るため、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握する基礎資料として実施するものです。

今回の調査では、平成25年8月1日現在の住民基本台帳の中から小学生のお子さんを無作為に4,800人抽出させていただき、その保護者の方にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、調査の目的以外に使用することはなく、ご回答者個人が特定されることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年10月 仙台市

## ○ご記入に当たってのお願い

- 1 特にことわりのある場合以外は、**封筒の宛名のお子さん**についてご記入ください。
- 2 アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
- 3 ご回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合**がございます。
- 4 選択肢の場合、**お選びいただく数が設問によって異なります**ので注意書きに従ってください。また「**その他**」をお選びいただいた場合は、その後にある( )内に**具体的な内容**をご記入ください。
- 5 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- 6 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印**に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- 7 無作為にお子さんを抽出しているため、調査票が複数届く場合もございますが、封筒の宛名のお子さんについて、それぞれの調査票にご回答のうえ返送願います。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

連絡先：仙台市子供未来局子供育成部総務課 佐々木、大槻

住所：〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

電話：022-214-8522

ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒により、11月1日（金）まで、切手は貼らずに投函してください。

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます。

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。  
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他 ( )

問2 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問3 宛名のお子さんの学年について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 小学1年生 2. 小学2年生 3. 小学3年生  
4. 小学4年生 5. 小学5年生 6. 小学6年生

問4 宛名のお子さんも含めて、全部でお子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の方の生年月を[ ]内に数字でご記入ください。

お子さんの人数 [ ] 人 末子の生年月 平成 [ ] 年 [ ] 月

問5 宛名のお子さんと同居（2世帯住宅を含む）されている方すべての番号に○をつけてください。  
続柄はお子さんからみた関係です。また、同居している家族全員（ご両親と宛名のお子さんを含む）の人数を[ ]内に数字でご記入ください。

- |       |       |            |         |
|-------|-------|------------|---------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 兄弟姉妹    | 計 [ ] 人 |
| 4. 祖母 | 5. 祖父 | 6. その他 ( ) |         |

問6 お住まいの区と町丁名を( )内にご記入ください。

※ 記入例：( 青葉 ) 区 ( 国分町3丁目 )、( 宮城野 ) 区 ( 岩切字余目 )

( ) 区 ( )

問7 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親  
4. 主に祖母 5. 主に祖父 6. その他 ( )







宛名のお子さんの放課後児童クラブの利用状況についてうかがいます。

問 10 宛名のお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。(1)平日、(2)土曜日、(3)長期の休み(夏休みなど)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、利用している日数と時間帯を[ ]内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。

(1) 平日

1. 週 [ ] 日利用している ⇒利用時間帯 [ ]時 から [ ]時 まで  
2. 利用していない

(2) 土曜日

1. 週 [ ] 日利用している ⇒利用時間帯 [ ]時 から [ ]時 まで  
2. 利用していない

(3) 長期の休み

1. 週 [ ] 日利用している ⇒利用時間帯 [ ]時 から [ ]時 まで  
2. 利用していない

問 11 問 10 の(1)または(2)で、「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。放課後児童クラブを、平日または土曜日に利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 帰宅時間に親や家族がいるから  
2. 近くに放課後児童クラブがないから  
3. 遊び友だちや遊び場などがあり、放課後の不安がないから  
4. スポーツ少年団などの活動があるから  
5. 塾や習いごとで忙しいから  
6. そういう制度があることを知らなかったから  
7. 放課後児童クラブに空きがないから  
8. 放課後児童クラブの開所時間が短いから  
9. 利用料がかかるから  
10. 他の施設に預けているから  
11. その他 ( )  
12. 特に理由はない



(2) 小学校高学年（4～6年生）の間の利用希望について

※ 宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の場合は、高学年（4～6年生）にあがったときの希望をご記入ください。

平日	1. 週 [ ] 日利用したい ⇒希望の時間帯 [ ]時 から [ ]時 まで 2. 利用希望はない
土曜日	1. ほぼ毎週利用したい ⇒希望の時間帯 [ ]時 から [ ]時 まで 2. 月 1～2 日利用したい ⇒希望の時間帯 [ ]時 から [ ]時 まで 3. 利用希望はない
日曜日	1. ほぼ毎週利用したい ⇒希望の時間帯 [ ]時 から [ ]時 まで 2. 月 1～2 日利用したい ⇒希望の時間帯 [ ]時 から [ ]時 まで 3. 利用希望はない
長期の 休みの	1. 週 [ ] 日利用したい ⇒希望の時間帯 [ ]時 から [ ]時 まで 2. 利用希望はない

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 13 この1年間に「仙台すくすくサポート事業」（市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業）を利用しましたか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. 利用した

2. 利用しない -----▶ 問 13-3 へ

---▶問 13-1 問 13 で「1. 利用した」に○をつけた方にうかがいます。この1年間での利用日数（おおよそ）と1回当たりの利用時間について、[ ] 内に 数字 でご記入ください。

年間 [ ] 日くらい 1回当たり [ ] 時間程度

---▶問 13-2 問 13 で「1. 利用した」に○をつけた方にうかがいます。どのような目的で利用していますか。次の中から当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

1. 主たる子育て支援サービスとして利用している
2. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
3. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している。
4. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
5. その他の目的で利用している ( )

問 13-3 「仙台すくすくサポート事業」を「今後利用したい」、あるいは「利用しているが、今後もっと日数・回数を増やしたい」と思いますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。別紙「仙台市の主な子ども・子育て支援関連事業の内容等について」を参考に、お答えください。

1. 今後利用したい

2. 利用回数・日数を増やしたい

3. 利用する予定はない -----▶ 問 14 へ

---▶問 13-4 問 13-3 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。1年間で何日、1回当たり何時間くらい利用したいとお考えですか。希望の日数・時間について [ ] 内に 数字 でご記入ください。

年間 [ ] 日くらい 1回当たり [ ] 時間程度







問 19 問 18 で「1. いる／ある」に○をつけた方にかがいます。 宛名のお子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー	2. 祖父母等の親族
3. 小学校、保育所、幼稚園の保護者の仲間	4. 友人や知人
5. 近所の人	6. 職場の人
7. 保育所の保育士、幼稚園の先生	8. 小学校の先生
9. 医師、保健師、看護師、栄養士など	10. 仙台市の子育て関連担当窓口
11. その他（ ）	12. 相談するほどの悩みや不安はない

問 19-1 問 19 で「10. 仙台市の子育て関連担当窓口」に○をつけた方にかがいます。 どの窓口が気軽に相談できるとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 各区役所・総合支所の相談窓口	2. 子供相談支援センター
3. 児童相談所	4. 発達相談支援センター（アーチル）
5. 教育相談室（市教育委員会）	6. その他（ ）

問 20 宛名のおさんの気になる情緒や行動の面で相談したいと思っことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 全くない	2. あまりない	3. どちらともいえない
4. 時々ある	5. 頻繁にある	

問 21 あなたのお宅では、日頃隣近所の方とどのようなつきあいをしていますか。次の中から当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 困っているときに、相談したり助け合ったりする
2. 買い物に一緒に行ったり、気の合う人と親しくしている
3. たまに立ち話をする
4. 道で会えばあいさつぐらいはする
5. ほとんどつき合いがない

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 22 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 母親の就労状況について、当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

次のページの  
(1)-3へ

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

※雇用契約上はフルタイムである場合、育児休業明けに短時間勤務で復職している方も、フルタイムに含みます。

(1)-1 (1)で「1.」～「4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。①1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間（残業時間を含む）、②家を出る時間と帰宅時間を、[ ]内に**数字**でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。（産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。）時間は、必ず(例) **8時～18時のように、24時間制**でお答えください。

- ① 1週当たり [ ] 日 1日当たり [ ] 時間  
② 家を出る時間 [ ] 時 帰宅時間 [ ] 時

(1)-2 (1)で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

(1)-3 (1)で「5.」または「6.」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。「2.」を選択された方は[ ]内に**数字も**ご記入ください。「3.」を選択された方は、希望する就労形態について、「ア」または「イ」1つに○をつけ、「イ」に○をつけた場合には、[ ]内に**数字も**ご記入ください。

<p>1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）</p> <p>2. 1年より先、一番下の子どもが [ ] 歳になった頃に就労したい</p> <p>3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい</p> <p>【希望する就労形態】</p> <p>ア. フルタイム    <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">イ. パート・アルバイト等</span></p> <p>【希望する就労条件】 ←-----</p> <p>1週当たり [ ] 日、1日当たり [ ] 時間程度の勤務</p>
---

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

(2) **父親【母子家庭の場合は記入は不要です】** 父親の就労状況について、当てはまる番号 1つに○をつけてください。

<p>1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない</p> <p>2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である</p> <p>3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない</p> <p>4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である</p> <p>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</p> <p>6. これまで就労したことがない</p>	<p>次のページの (2)-3へ</p>
---	--------------------------

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

※雇用契約上はフルタイムである場合、育児休業明けに短時間勤務で復職している方も、フルタイムに含みます。

(2)-1 (2)で「1.」～「4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。①1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間(残業時間を含む)、②家を出る時間と帰宅時間を、[ ]内に**数字**でご記入ください。就労日数や就労時間等が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。(産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。)時間は、必ず(例) **8時～18時のように、24時間制**でお答えください。

<p>① 1週当たり [ ] 日    1日当たり [ ] 時間</p> <p>② 家を出る時間 [ ] 時    帰宅時間 [ ] 時</p>
--

(2)-2 (2)で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

(2)-3 (2)で「5.」または「6.」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。「2.」を選択された方は[ ]内に数字もご記入ください。「3.」を選択された方は、希望する就労形態について、「ア」または「イ」1つに○をつけ、「イ」に○をつけた場合には、[ ]内に数字もご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが[ ]歳になった頃に就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

【希望する就労形態】

ア. フルタイム

イ. パート・アルバイト等

【希望する就労条件】 ←

1週当たり [ ] 日、1日当たり [ ] 時間程度の勤務

※フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労





子ども・子育てに関するアンケート調査 調査結果報告書

平成 26 年 3 月

仙台市子供未来局子供育成部総務課

仙台市青葉区一番町四丁目 7 番 17 号

TEL : 022-214-8522 FAX : 022-214-5010